男女共同参画社会に関する市民意識調査

【報告書】

令和8年3月

上　田　市

［調査の概要］

１　調査の目的

2026（令和8）年度に策定する「第5次上田市男女共同参画計画」策定の基礎資料とするため、市内に在住の18歳以上の市民の方から、無作為に選んだ2,000人の方を対象に、ご意見をお伺いするものです。

２　調査設計

１）調査対象：市内在住の18歳以上の市民から2,000人を無作為抽出
２）調査方法：郵便法
（郵送により調査票を配布し、郵送により回収またはインターネットによる回答）
３）調査期間：令和７年11月10日～11月28日
４）配 布 数：2,000票
５）回 収 数：753票
６）回 収 率：37.7%

３　集計上の留意点

１）回答率（割合（%））は、小数点第２位を四捨五入して、小数点第１位までを表記しました。このため、回答率の合計が100にならない場合があります。
２）複数回答方式（マルチ回答）の設問では、回答率（割合（%））は回答者総数に対する回答数の割合を示しています。したがって、回答率の合計は100になりません。同様に、回答数の合計は回答者総数とは一致しません。
３）単回答設問の集計は円グラフまたは帯グラフで、複数回答設問の集計は横棒グラフで表記してあります。ただし、特に数量を比較したい場合には単回答に横棒グラフを用いた集計もあります。

［目　次］

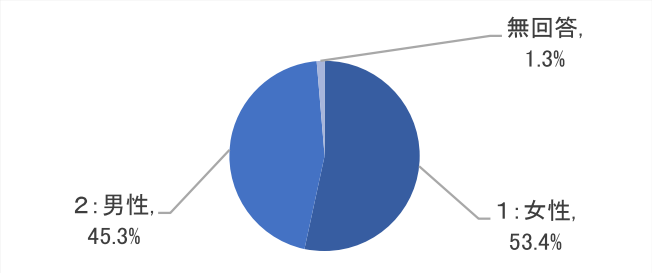
ご自身のことについて……１
男女平等に関する意識について……16
性別役割分担に関する意識について……46
家庭や学校での男女共同参画に必要なこと……52
進路選択のジェンダー格差……54
意思決定の場への女性の参画が少ない理由……55
女性の就業上の課題……57
女性管理職を増やすにあたっての障害……59
育児休業、介護休業の取得状況……61
男性の育児休業、介護休業の取得が進まない理由……63
男性が家事・子育て・介護等へより参画するために重要なこと……64
ワーク・ライフ・バランス……66
性暴力根絶に向けた対策……74
性暴力相談窓口の認知度……76
語句の認知度……78
男女共同参画社会の実現に向け、行政がすべきこと……86

自由意見……88
各設問「その他」の記述内容……94

ご自身のことについて

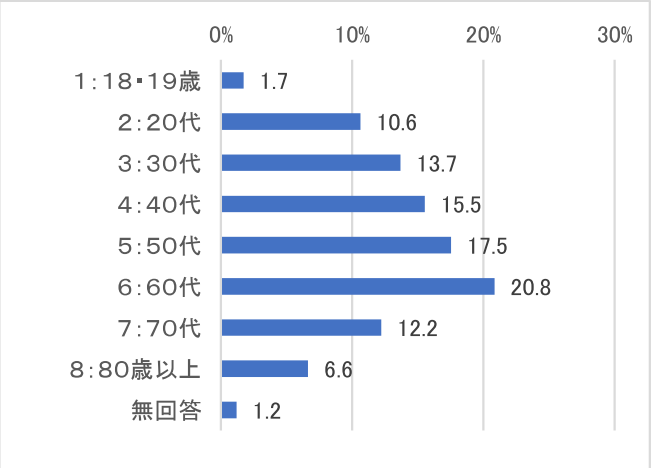
問1－1　問1-1　あなたの性別
※　戸籍上の性別にかかわらず、ご自身が自認される性別でご記入ください。

	集計	割合
1:女性	402	53.4%
2:男性	341	45.3%
3:その他	0	0%
無回答	10	1.3%
総計	**753**	**100.0%**



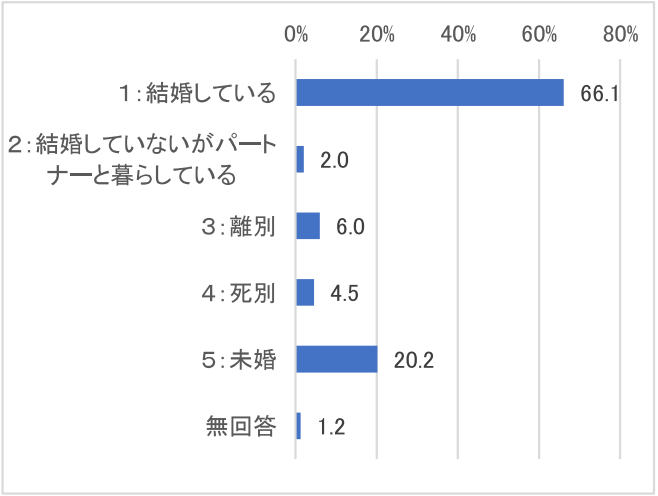
問1－2　あなたの年齢について、次の中から選び、〇で囲んでください。

	集計	割合
1:18･19 歳	13	1.7%
2:20 代	80	10.6%
3:30 代	103	13.7%
4:40 代	117	15.5%
5:50 代	132	17.5%
6:60 代	157	20.8%
7:70 代	92	12.2%
8:80 歳以上	50	6.6%
無回答	9	1.2%
総計	**753**	**100.0%**



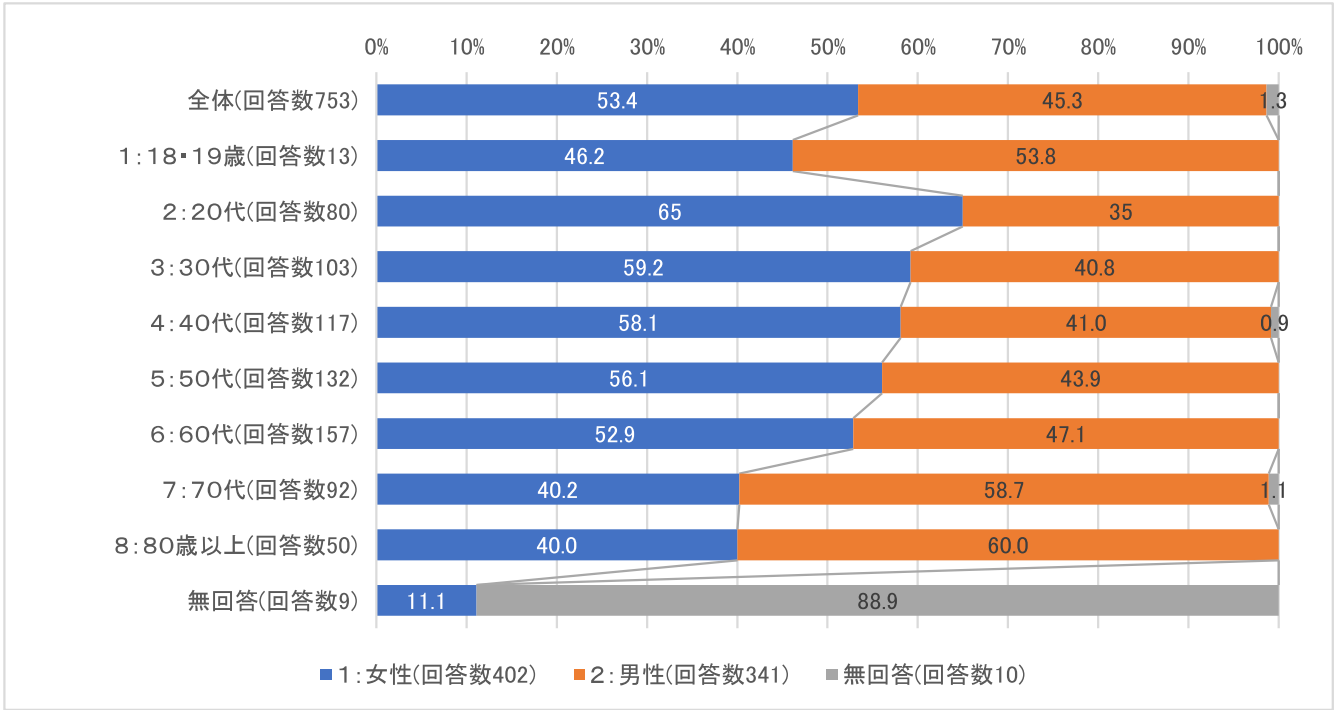
問1－3　あなたは、結婚していますか。次の中から選び、〇で囲んでください。

	集計	割合
1:結婚している	498	66.1%
2:結婚していないがパートナーと暮らしている	15	2.0%
3:離別	45	6.0%
4:死別	34	4.5%
5:未婚	152	20.2%
無回答	9	1.2%
総計	**753**	**100.0%**



問1－2　性別×年齢別回答者数

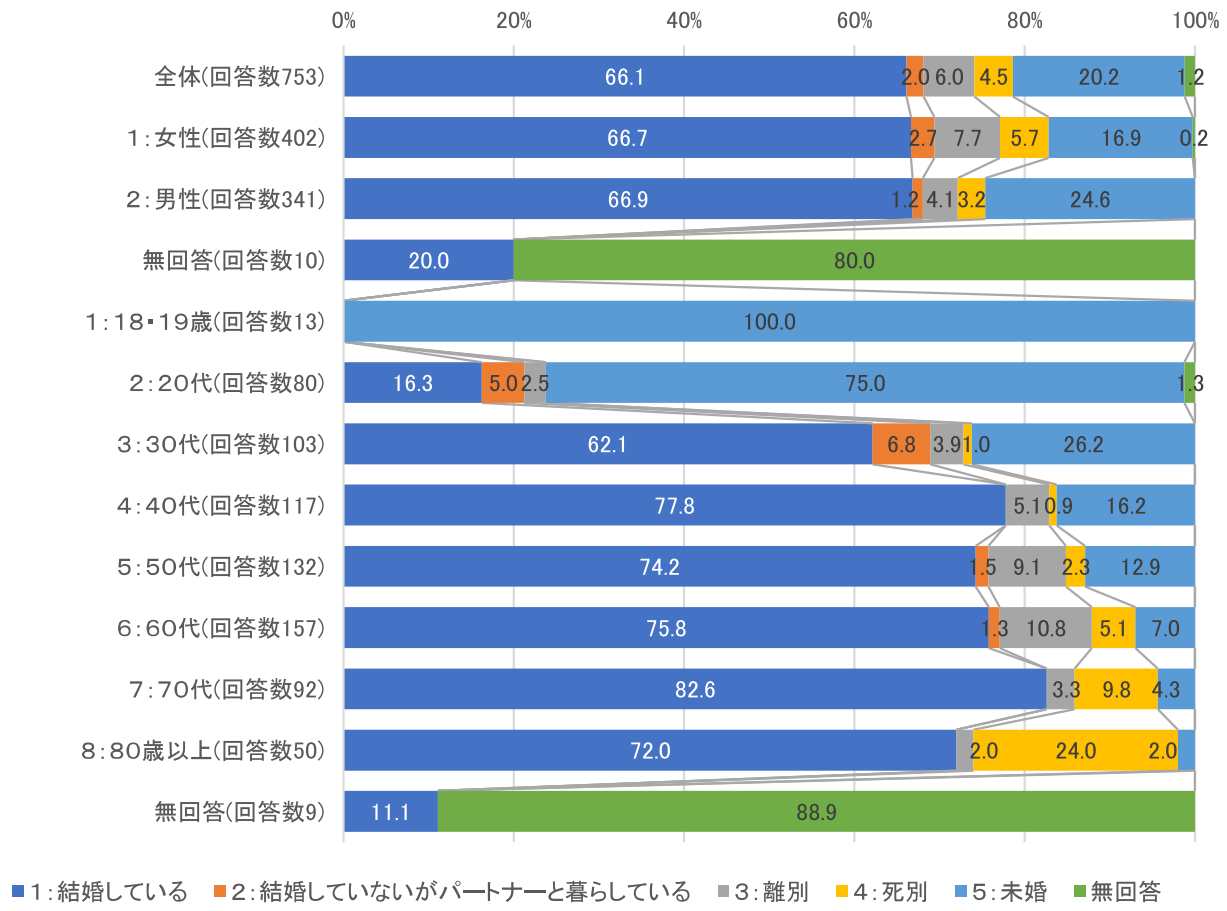
上段:回答者数(人) 下段:割合(%)	1:女性(回答数 402)	2:男性(回答数 341)	無回答(回答数 10)	総計
全体(回答数 753)	402	341	10	753
	53.4	45.3	1.3	100.0
1:18･19歳(回答数 13)	6	7		13
	46.2	53.8	0.0	100.0
2:20代(回答数 80)	52	28		80
	65	35	0	100
3:30代(回答数 103)	61	42		103
	59.2	40.8	0.0	100.0
4:40代(回答数 117)	68	48	1	117
	58.1	41.0	0.9	100.0
5:50代(回答数 132)	74	58		132
	56.1	43.9	0.0	100.0
6:60代(回答数 157)	83	74		157
	52.9	47.1	0.0	100.0
7:70代(回答数 92)	37	54	1	92
	40.2	58.7	1.1	100.0
8:80歳以上(回答数 50)	20	30		50
	40.0	60.0	0.0	100.0
無回答(回答数 9)	1		8	9
	11.1	0.0	88.9	100.0



問1－3　性別、年齢×婚姻歴

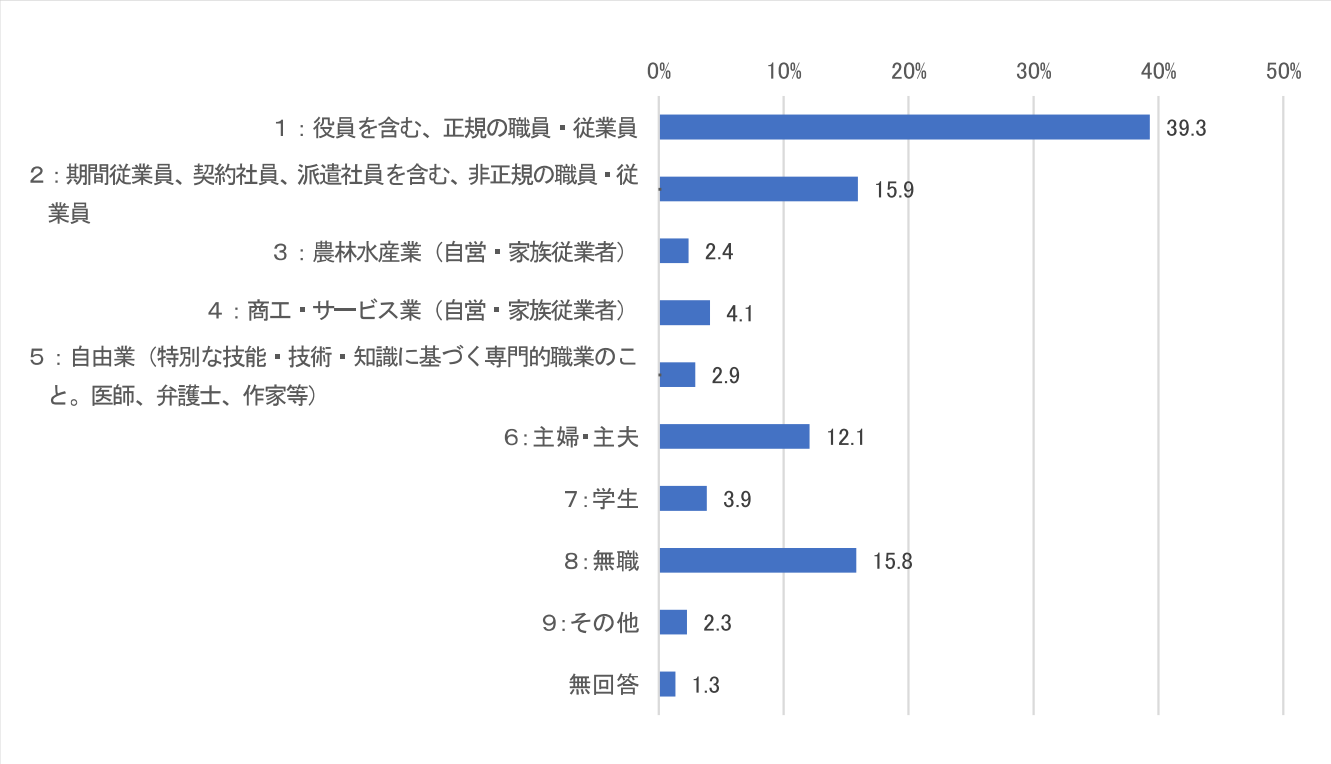
上段:回答者数(人) 下段:割合(%)	1:結婚している	2:結婚していないがパートナーと暮らしている	3:離別	4:死別	5:未婚	無回答	総計
全体(回答数 753)	498	15	45	34	152	9	753
	66.1	2.0	6.0	4.5	20.2	1.2	100.0
1:女性(回答数 402)	268	11	31	23	68	1	402
	66.7	2.7	7.7	5.7	16.9	0.2	100.0
2:男性(回答数 341)	228	4	14	11	84		341
	66.9	1.2	4.1	3.2	24.6	0.0	100.0
無回答(回答数 10)	2					8	10
	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	100.0
1:18･19歳(回答数 13)					13		13
	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
2:20代(回答数 80)	13	4	2		60	1	80
	16.3	5.0	2.5	0.0	75.0	1.3	100.0
3:30代(回答数 103)	64	7	4	1	27		103
	62.1	6.8	3.9	1.0	26.2	0.0	100.0
4:40代(回答数 117)	91		6	1	19		117
	77.8	0.0	5.1	0.9	16.2	0.0	100.0
5:50代(回答数 132)	98	2	12	3	17		132
	74.2	1.5	9.1	2.3	12.9	0.0	100.0
6:60代(回答数 157)	119	2	17	8	11		157
	75.8	1.3	10.8	5.1	7.0	0.0	100.0
7:70代(回答数 92)	76		3	9	4		92
	82.6	0.0	3.3	9.8	4.3	0.0	100.0
8:80歳以上(回答数 50)	36		1	12	1		50
	72.0	0.0	2.0	24.0	2.0	0.0	100.0
無回答(回答数 9)	1					8	9
	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	88.9	100.0

問1－3　あなたは、結婚していますか。次の中から選び、○で囲んでください。



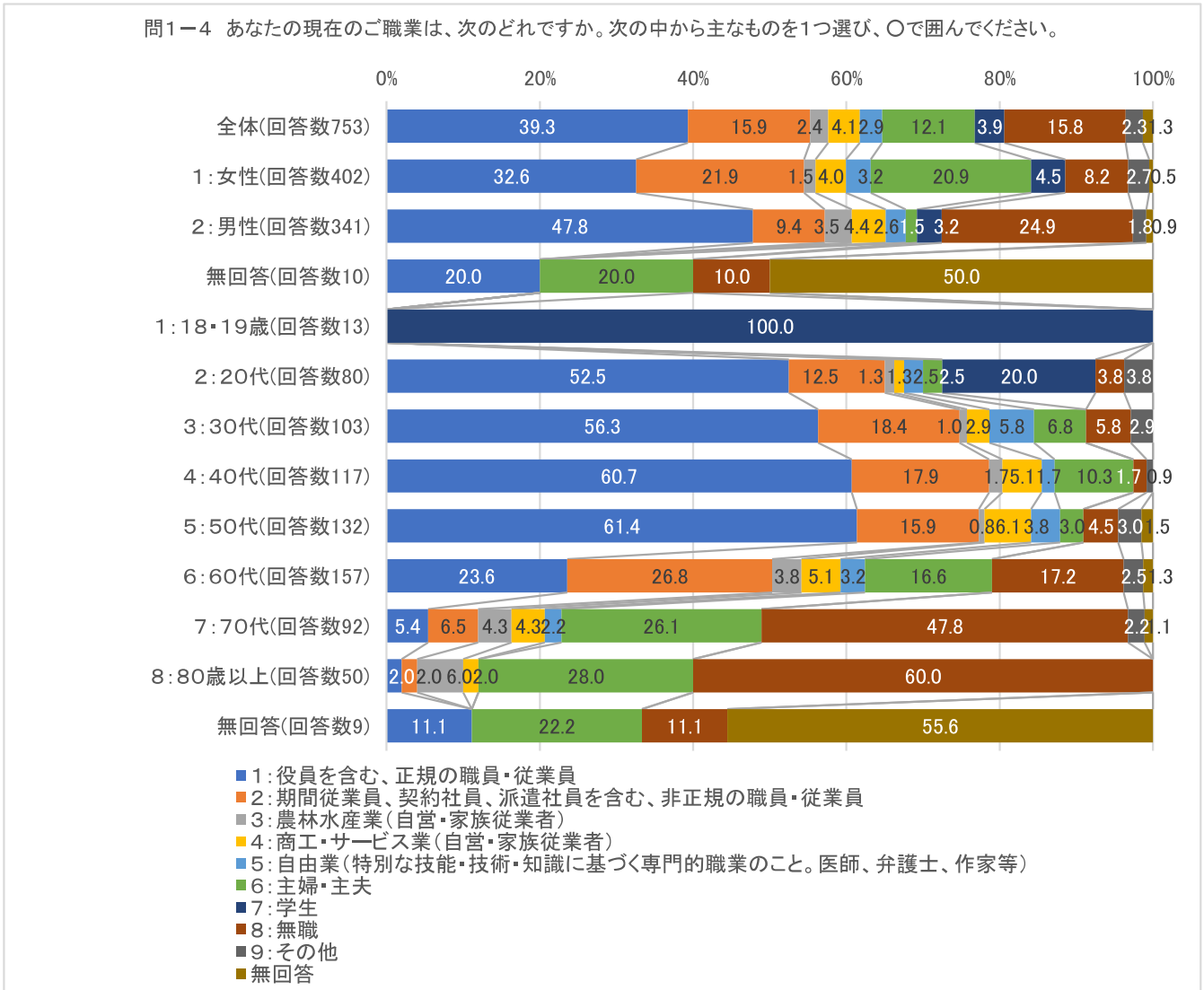
問1－4　あなたの現在のご職業は、次のどれですか。次の中から主なものを1つ選び、○で囲んでください。

	集計	割合
1:役員を含む、正規の職員・従業員	296	39.3%
2:期間従業員、契約社員、派遣社員を含む、非正規の職員・従業員	120	15.9%
3:農林水産業(自営・家族従業者)	18	2.4%
4:商工・サービス業(自営・家族従業者)	31	4.1%
5:自由業(特別な技能・技術・知識に基づく専門的職業のこと。医師、弁護士、作家等)	22	2.9%
6:主婦・主夫	91	12.1%
7:学生	29	3.9%
8:無職	119	15.8%
9:その他	17	2.3%
無回答	10	1.3%
総計	**753**	**100.0%**



問1－4　性別、年齢×本人の職業

上段:回答者数(人) 下段:割合(%)	1:役員を含む、正規の職員・従業員	2:期間従業員、契約社員、派遣社員を含む、非正規の職員・従業員	3:農林水産業(自営・家族従業者)	4:商工・サービス業(自営・家族従業者)	5:自由業	6:主婦・主夫	7:学生	8:無職	9:その他	無回答	総計
全体(回答数 753)	296	120	18	31	22	91	29	119	17	10	753
	39.3	15.9	2.4	4.1	2.9	12.1	3.9	15.8	2.3	1.3	100.0
1:女性(回答数 402)	131	88	6	16	13	84	18	33	11	2	402
	32.6	21.9	1.5	4.0	3.2	20.9	4.5	8.2	2.7	0.5	100.0
2:男性(回答数 341)	163	32	12	15	9	5	11	85	6	3	341
	47.8	9.4	3.5	4.4	2.6	1.5	3.2	24.9	1.8	0.9	100.0
無回答(回答数 10)	2					2		1		5	10
	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	10.0	0.0	50.0	100.0
1:18･19歳(回答数 13)							13				13
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
2:20代(回答数 80)	42	10	1	1	2	2	16	3	3		80
	52.5	12.5	1.3	1.3	2.5	2.5	20.0	3.8	3.8	0.0	100.0
3:30代(回答数 103)	58	19	1	3	6	7		6	3		103
	56.3	18.4	1.0	2.9	5.8	6.8	0.0	5.8	2.9	0.0	100.0
4:40代(回答数 117)	71	21	2	6	2	12		2	1		117
	60.7	17.9	1.7	5.1	1.7	10.3	0.0	1.7	0.9	0.0	100.0
5:50代(回答数 132)	81	21	1	8	5	4		6	4	2	132
	61.4	15.9	0.8	6.1	3.8	3.0	0.0	4.5	3.0	1.5	100.0
6:60代(回答数 157)	37	42	6	8	5	26		27	4	2	157
	23.6	26.8	3.8	5.1	3.2	16.6	0.0	17.2	2.5	1.3	100.0
7:70代(回答数 92)	5	6	4	4	2	24		44	2	1	92
	5.4	6.5	4.3	4.3	2.2	26.1	0.0	47.8	2.2	1.1	100.0
8:80歳以上(回答数 50)	1	1	3	1		14		30			50
	2.0	2.0	6.0	2.0	0.0	28.0	0.0	60.0	0.0	0.0	100.0
無回答(回答数 9)	1					2		1		5	9
	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0	55.6	100.0

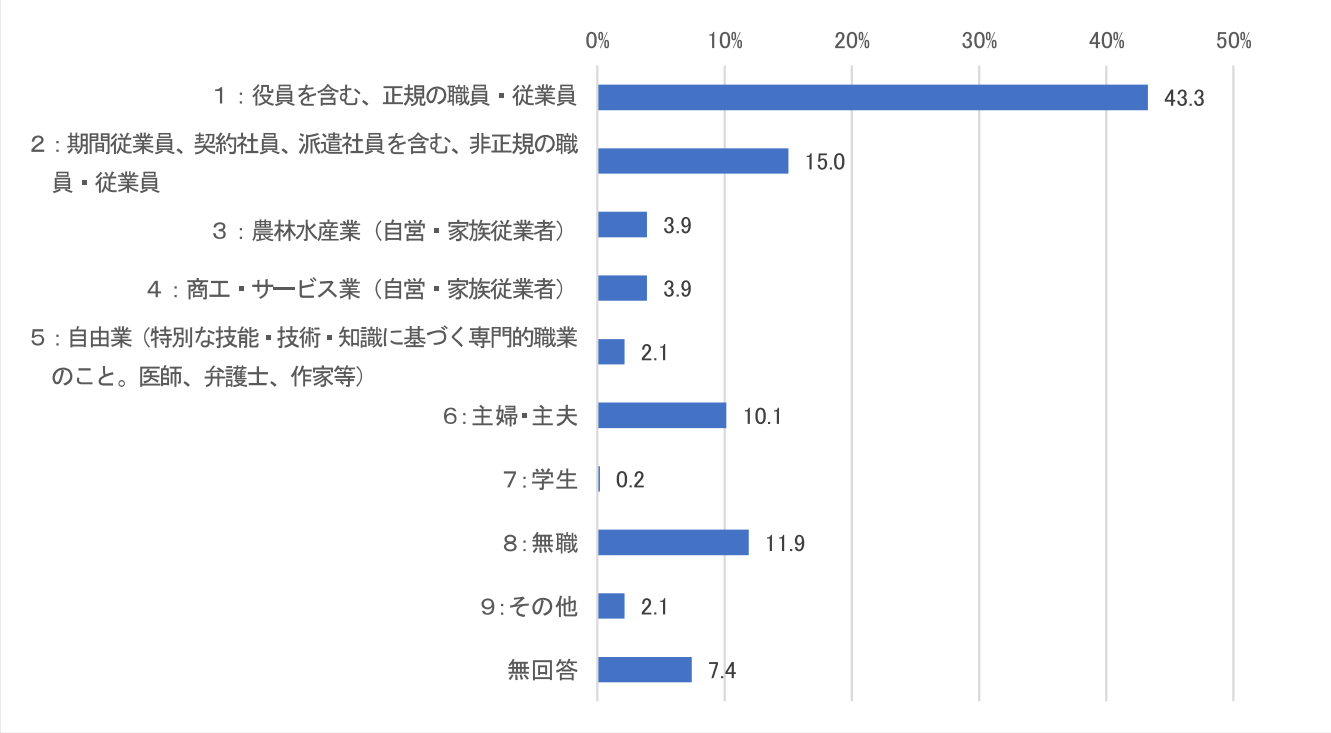


問1－4「9:その他」

	集計	割合
シルバー人材センター	1	5.9%
パート	3	17.6%
パート・バイト	1	5.9%
パート従業員	1	5.9%
パート准看護師	1	5.9%
パート職員	1	5.9%
フリーター	1	5.9%
求職中、たまに単発でバイト等しています。	1	5.9%
現在休業中ですが退職希望、介護職従事でした。	1	5.9%
個人自営業	1	5.9%
自営	1	5.9%
自営業	1	5.9%
畑のみ	1	5.9%
病気で体の自由が効かなくなり仕事をやりたくてもできなくなりました、無職です。	1	5.9%
無回答	1	5.9%
総計	**17**	**100.0%**

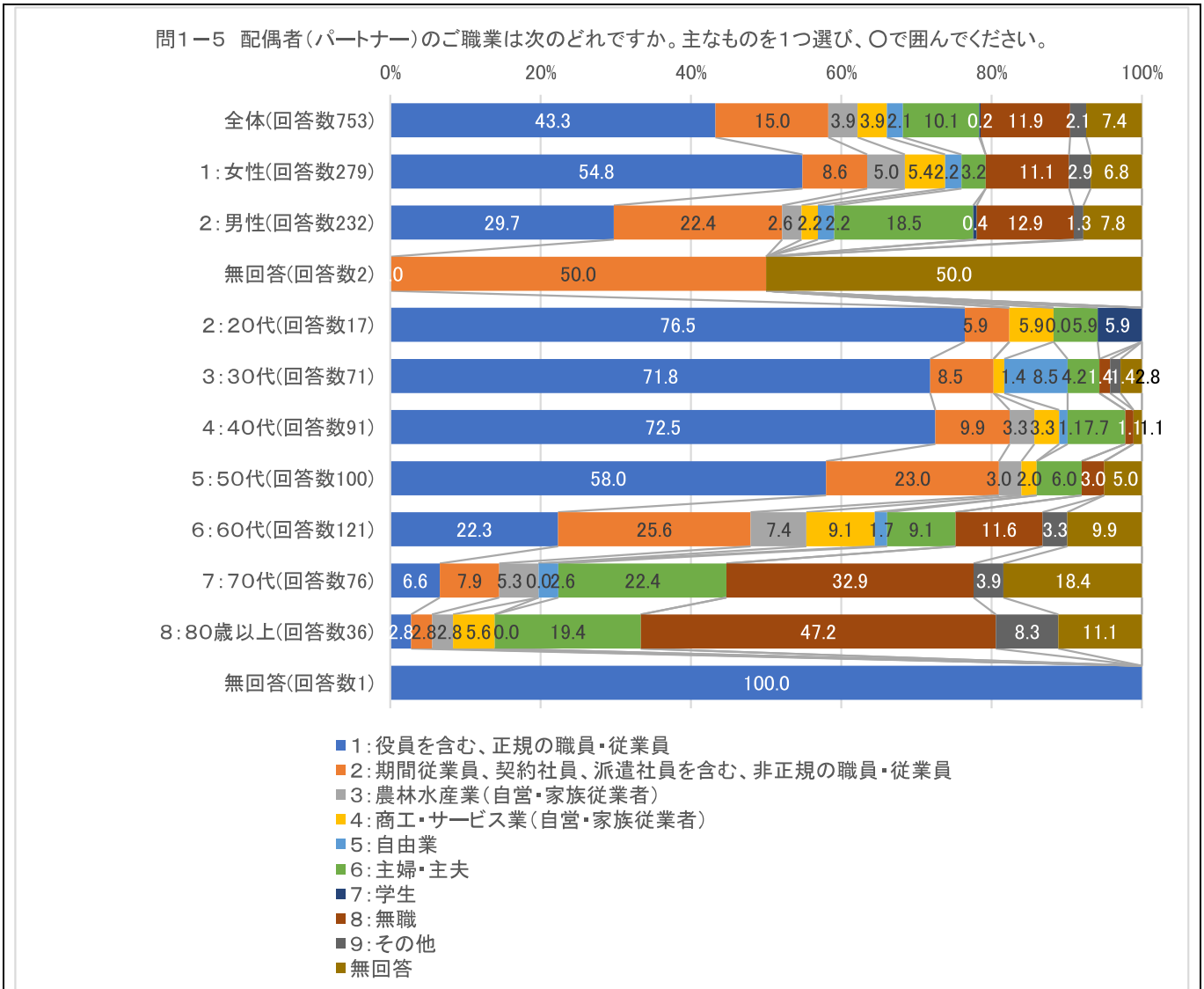
問1－5　1－3で「1」または「2」と回答した方は、こちらもお答えください。
配偶者（パートナー）のご職業は次のどれですか。主なものを1つ選び、○で囲んでください。

	集計	割合
1:役員を含む、正規の職員・従業員	222	43.3%
2:期間従業員、契約社員、派遣社員を含む、非正規の職員・従業員	77	15.0%
3:農林水産業（自営・家族従業者）	20	3.9%
4:商工・サービス業（自営・家族従業者）	20	3.9%
5:自由業（特別な技能・技術・知識に基づく専門的職業のこと。医師、弁護士、作家等）	11	2.1%
6:主婦・主夫	52	10.1%
7:学生	1	0.2%
8:無職	61	11.9%
9:その他	11	2.1%
無回答	38	7.4%
総計	**513**	**100.0%**



問1－5 性別、年齢×配偶者の職業

上段:回答者数(人) 下段:割合(%)	1:役員を含む、正規の職員・従業員	2:期間従業員、契約社員、派遣社員を含む、非正規の職員・従業員	3:農林水産業(自営・家族従業者)	4:商工・サービス業(自営・家族従業者)	5:自由業	6:主婦・主夫	7:学生	8:無職	9:その他	無回答	総計
全体(回答数 753)	222	77	20	20	11	52	1	61	11	38	513
	43.3	15.0	3.9	3.9	2.1	10.1	0.2	11.9	2.1	7.4	100.0
1:女性(回答数 279)	153	24	14	15	6	9		31	8	19	279
	54.8	8.6	5.0	5.4	2.2	3.2	0.0	11.1	2.9	6.8	100.0
2:男性(回答数 232)	69	52	6	5	5	43	1	30	3	18	232
	29.7	22.4	2.6	2.2	2.2	18.5	0.4	12.9	1.3	7.8	100.0
無回答(回答数 2)		1								1	2
	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0
2:20代(回答数 17)	13	1		1		1	1				17
	76.5	5.9	0.0	5.9	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	100.0
3:30代(回答数 71)	51	6		1	6	3		1	1	2	71
	71.8	8.5	0.0	1.4	8.5	4.2	0.0	1.4	1.4	2.8	100.0
4:40代(回答数 91)	66	9	3	3	1	7		1		1	91
	72.5	9.9	3.3	3.3	1.1	7.7	0.0	1.1	0.0	1.1	100.0
5:50代(回答数 100)	58	23	3	2		6		3		5	100
	58.0	23.0	3.0	2.0	0.0	6.0	0.0	3.0	0.0	5.0	100.0
6:60代(回答数 121)	27	31	9	11	2	11		14	4	12	121
	22.3	25.6	7.4	9.1	1.7	9.1	0.0	11.6	3.3	9.9	100.0
7:70代(回答数 76)	5	6	4		2	17		25	3	14	76
	6.6	7.9	5.3	0.0	2.6	22.4	0.0	32.9	3.9	18.4	100.0
8:80歳以上(回答数 36)	1	1	1	2		7		17	3	4	36
	2.8	2.8	2.8	5.6	0.0	19.4	0.0	47.2	8.3	11.1	100.0
無回答(回答数 1)	1										1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

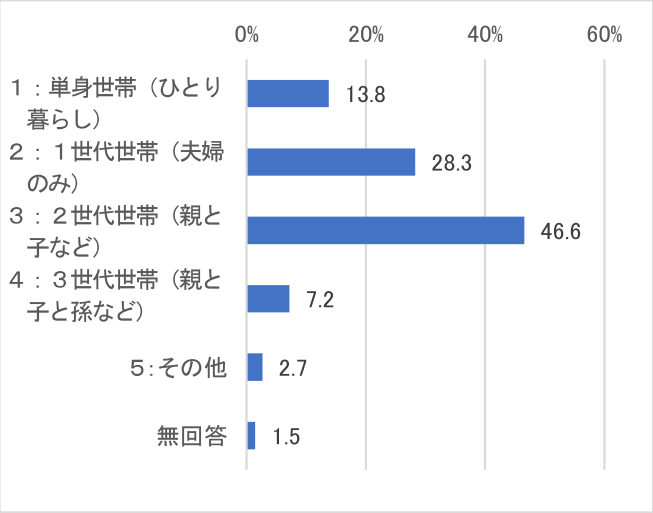


問1－5「9:その他」

	集計	割合
アルバイト	1	9.09%
アルバイト(老人送迎)	1	9.09%
建築業	1	9.09%
失業し求職中	1	9.09%
年金受給者	1	9.09%
農業	1	9.09%
老人施設に入居	1	9.09%
無回答	4	36.36%
総計	**11**	**100.0%**

問1－6　あなたが現在生活しているご家庭の家族構成を次の中から選び、〇で囲んでください。なお、「夫婦」は、「パートナーとの同居」の意味を含みます。

	集計	割合
1:単身世帯(ひとり暮らし)	104	13.8%
2:1世代世帯(夫婦のみ)	213	28.3%
3:2世代世帯(親と子など)	351	46.6%
4:3世代世帯(親と子と孫など)	54	7.2%
5:その他	20	2.7%
無回答	11	1.5%
総計	**753**	**100.0%**

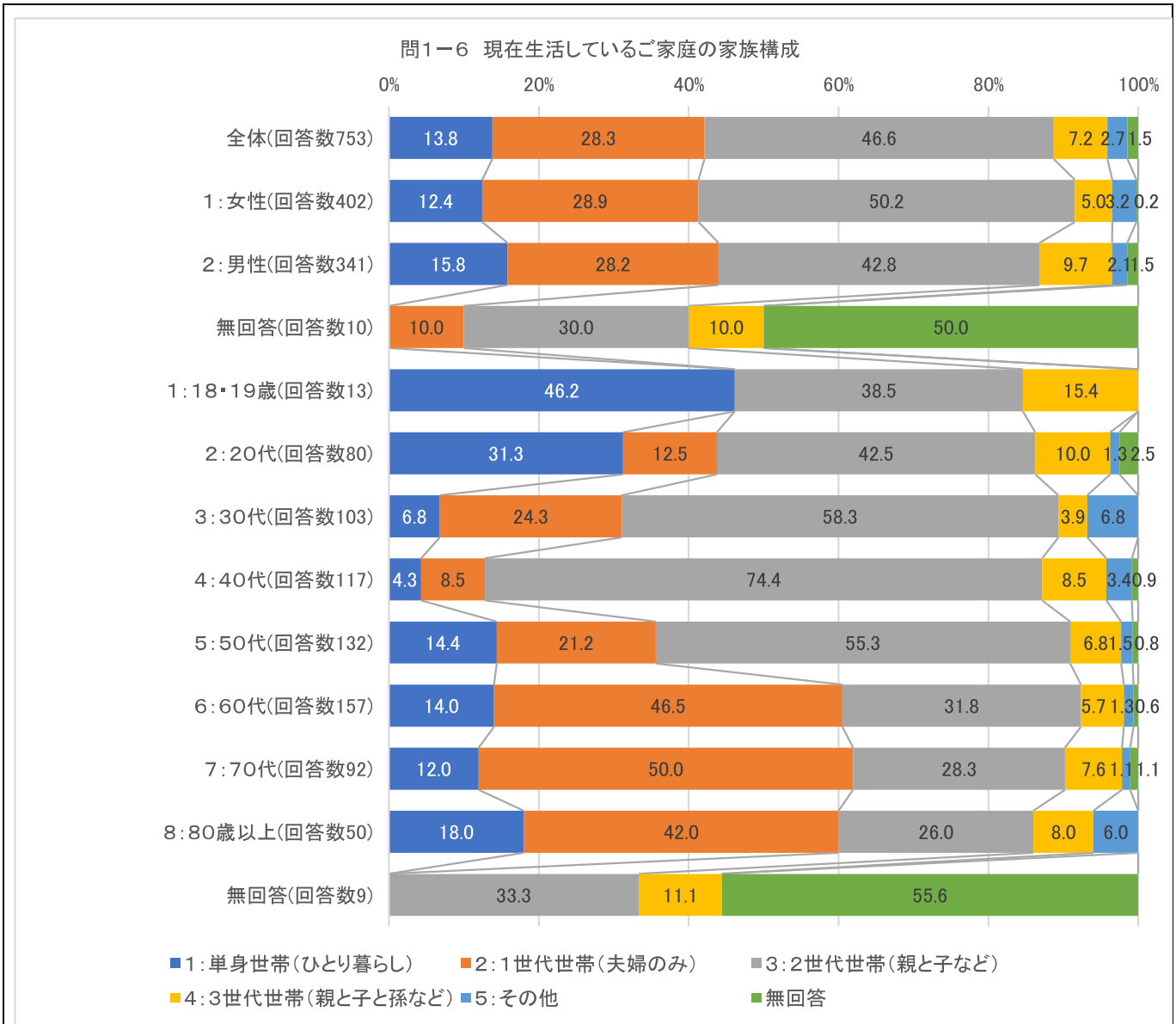


問1－6「5:その他」

	集計	割合
2 世代世帯なのですが、2 拠点生活をしています。	1	5.0%
パートナーと	1	5.0%
核家族世帯	1	5.0%
兄、親父母、自分	1	5.0%
姉妹同居	1	5.0%
自分と子	1	5.0%
実の妹と妹の子供男 1 人	1	5.0%
親と兄	1	5.0%
親と同居	1	5.0%
親と妹	1	5.0%
息子と 2 人	1	5.0%
夫、長男	1	5.0%
夫婦と義父	1	5.0%
父と自分	1	5.0%
友達とシェア	1	5.0%
両親と	1	5.0%
両親と同居。	1	5.0%
無回答	3	15.0%
総計	**20**	**100.0%**

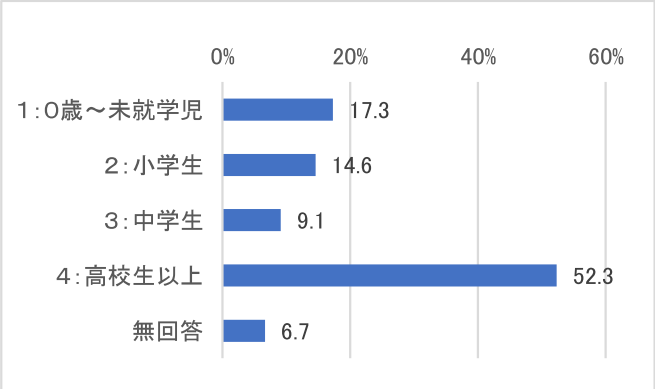
問1－6　性別、年齢×家族構成

上段:回答者数(人) 下段:割合(%)	1:単身世帯 (ひとり暮らし)	2:1世代世帯 (夫婦のみ)	3:2世代世帯 (親と子など)	4:3世代世帯(親と子と孫など)	5:その他	無回答	総計
全体(回答数 753)	104	213	351	54	20	11	753
	13.8	28.3	46.6	7.2	2.7	1.5	100.0
1:女性(回答数 402)	50	116	202	20	13	1	402
	13.8	28.3	46.6	7.2	2.7	1.5	100.0
2:男性(回答数 341)	54	96	146	33	7	5	341
	13.8	28.3	46.6	7.2	2.7	1.5	100.0
無回答(回答数 10)		1	3	1		5	10
	13.8	28.3	46.6	7.2	2.7	1.5	100.0
1:18･19歳(回答数 13)	6		5	2			13
	13.8	28.3	46.6	7.2	2.7	1.5	100.0
2:20代(回答数 80)	25	10	34	8	1	2	80
	13.8	28.3	46.6	7.2	2.7	1.5	100.0
3:30代(回答数 103)	7	25	60	4	7		103
	13.8	28.3	46.6	7.2	2.7	1.5	100.0
4:40代(回答数 117)	5	10	87	10	4	1	117
	13.8	28.3	46.6	7.2	2.7	1.5	100.0
5:50代(回答数 132)	19	28	73	9	2	1	132
	13.8	28.3	46.6	7.2	2.7	1.5	100.0
6:60代(回答数 157)	22	73	50	9	2	1	157
	13.8	28.3	46.6	7.2	2.7	1.5	100.0
7:70代(回答数 92)	11	46	26	7	1	1	92
	13.8	28.3	46.6	7.2	2.7	1.5	100.0
8:80歳以上(回答数 50)	9	21	13	4	3		50
	13.8	28.3	46.6	7.2	2.7	1.5	100.0
無回答(回答数 9)			3	1		5	9
	13.8	28.3	46.6	7.2	2.7	1.5	100.0


問1ー6　現在生活しているご家庭の家族構成
0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体(回答数753)
13.8
28.3
46.6
7.2
2.7
1.5
1:女性(回答数402)
12.4
28.9
50.2
5.0
3.2
0.2
2:男性(回答数341)
15.8
28.2
42.8
9.7
2.1
1.5
無回答(回答数10)
10.0
30.0
10.0
50.0
1:18・19歳(回答数13)
46.2
38.5
15.4
2:20代(回答数80)
31.3
12.5
42.5
10.0
1.3
2.5
3:30代(回答数103)
6.8
24.3
58.3
3.9
6.8
4:40代(回答数117)
4.3
8.5
74.4
8.5
3.4
0.9
5:50代(回答数132)
14.4
21.2
55.3
6.8
1.5
0.8
6:60代(回答数157)
14.0
46.5
31.8
5.7
1.3
0.6
7:70代(回答数92)
12.0
50.0
28.3
7.6
1.1
1.1
8:80歳以上(回答数50)
18.0
42.0
26.0
8.0
6.0
無回答(回答数9)
33.3
11.1
55.6
1:単身世帯(ひとり暮らし)
2:1世代世帯(夫婦のみ)
3:2世代世帯(親と子など)
4:3世代世帯(親と子と孫など)
5:その他
無回答

問1－7　問1－6で「3」「4」と回答した方は、こちらもお答えください。
世帯の中で最年少の方の年齢は、次のどれですか。○で囲んでください。

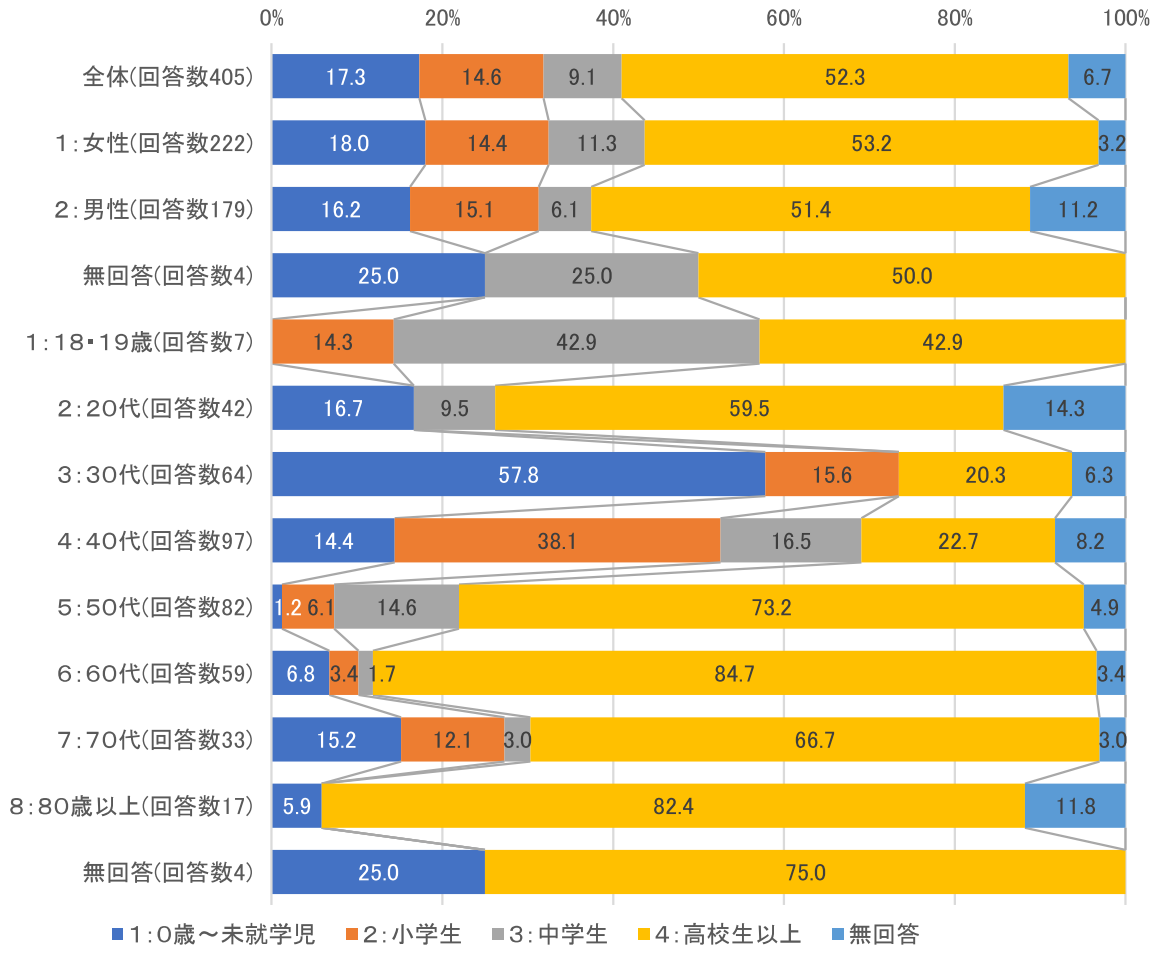
	集計	割合
1:0歳～未就学児	70	17.3%
2:小学生	59	14.6%
3:中学生	37	9.1%
4:高校生以上	212	52.3%
無回答	27	6.7%
総計	**405**	**100.0%**



問1－7　性別、年齢別×最年少家族の年齢

上段:回答者数(人) 下段:割合(%)	1:0歳～未就学児	2:小学生	3:中学生	4:高校生以上	無回答	総計
全体(回答数 405)	70	59	37	212	27	405
	17.3	14.6	9.1	52.3	6.7	100.0
1:女性(回答数 222)	40	32	25	118	7	222
	18.0	14.4	11.3	53.2	3.2	100.0
2:男性(回答数 179)	29	27	11	92	20	179
	16.2	15.1	6.1	51.4	11.2	100.0
無回答(回答数 4)	1		1	2		4
	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0	100.0
1:18･19歳(回答数 7)		1	3	3		7
	0.0	14.3	42.9	42.9	0.0	100.0
2:20代(回答数 42)	7		4	25	6	42
	16.7	0.0	9.5	59.5	14.3	100.0
3:30代(回答数 64)	37	10		13	4	64
	57.8	15.6	0.0	20.3	6.3	100.0
4:40代(回答数 97)	14	37	16	22	8	97
	14.4	38.1	16.5	22.7	8.2	100.0
5:50代(回答数 82)	1	5	12	60	4	82
	1.2	6.1	14.6	73.2	4.9	100.0
6:60代(回答数 59)	4	2	1	50	2	59
	6.8	3.4	1.7	84.7	3.4	100.0
7:70代(回答数 33)	5	4	1	22	1	33
	15.2	12.1	3.0	66.7	3.0	100.0
8:80歳以上(回答数 17)	1			14	2	17
	5.9	0.0	0.0	82.4	11.8	100.0
無回答(回答数 4)	1			3		4
	25.0	0.0	0.0	75.0	0.0	100.0

問1ー7　世帯の中で最年少の方の年齢は、次のどれですか。〇で囲んでください。



男女平等に関する意識について

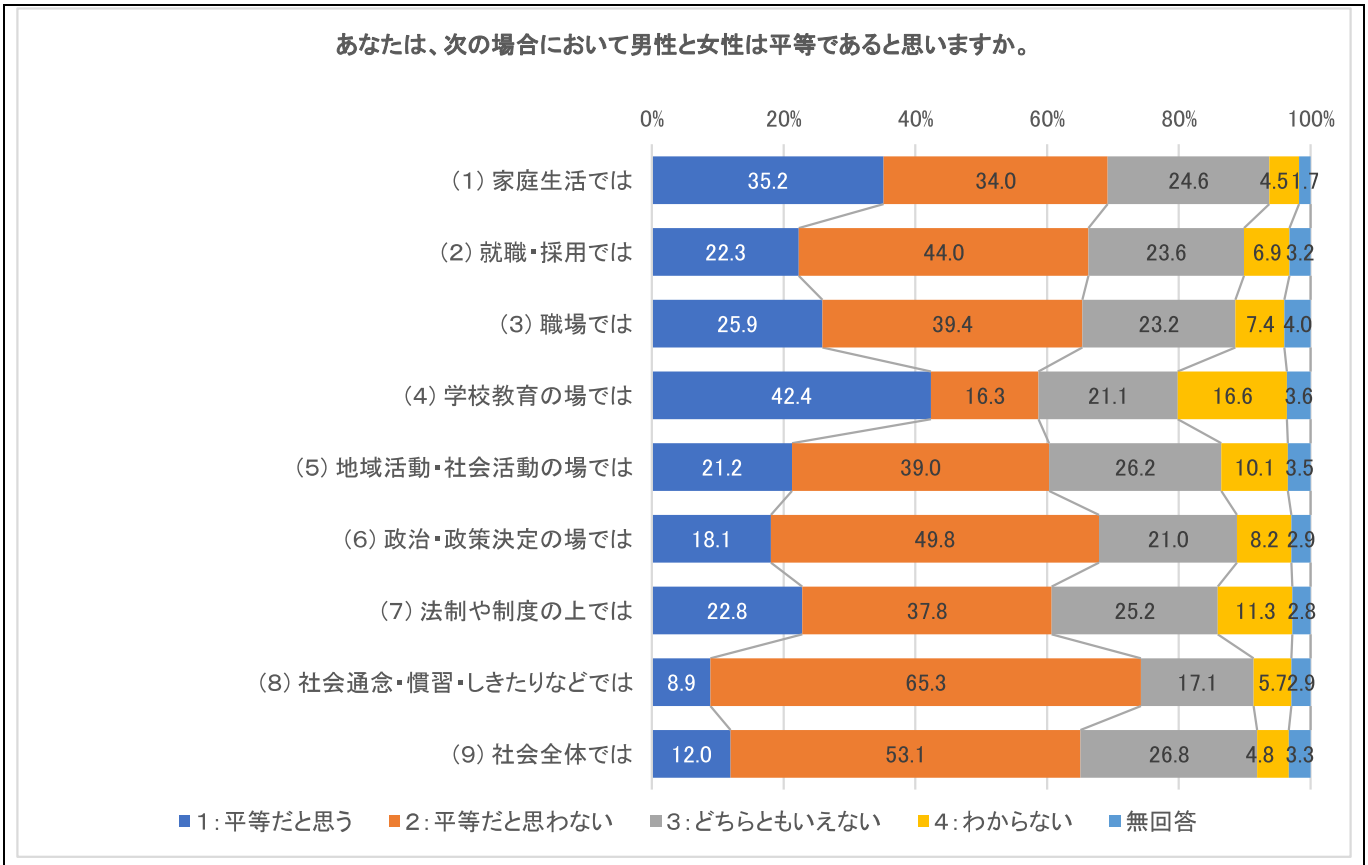
問2　あなたは、次の場合において男性と女性は平等であると思いますか。（1)～(9)について、あなたの考えに近い番号を選び、○で囲んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

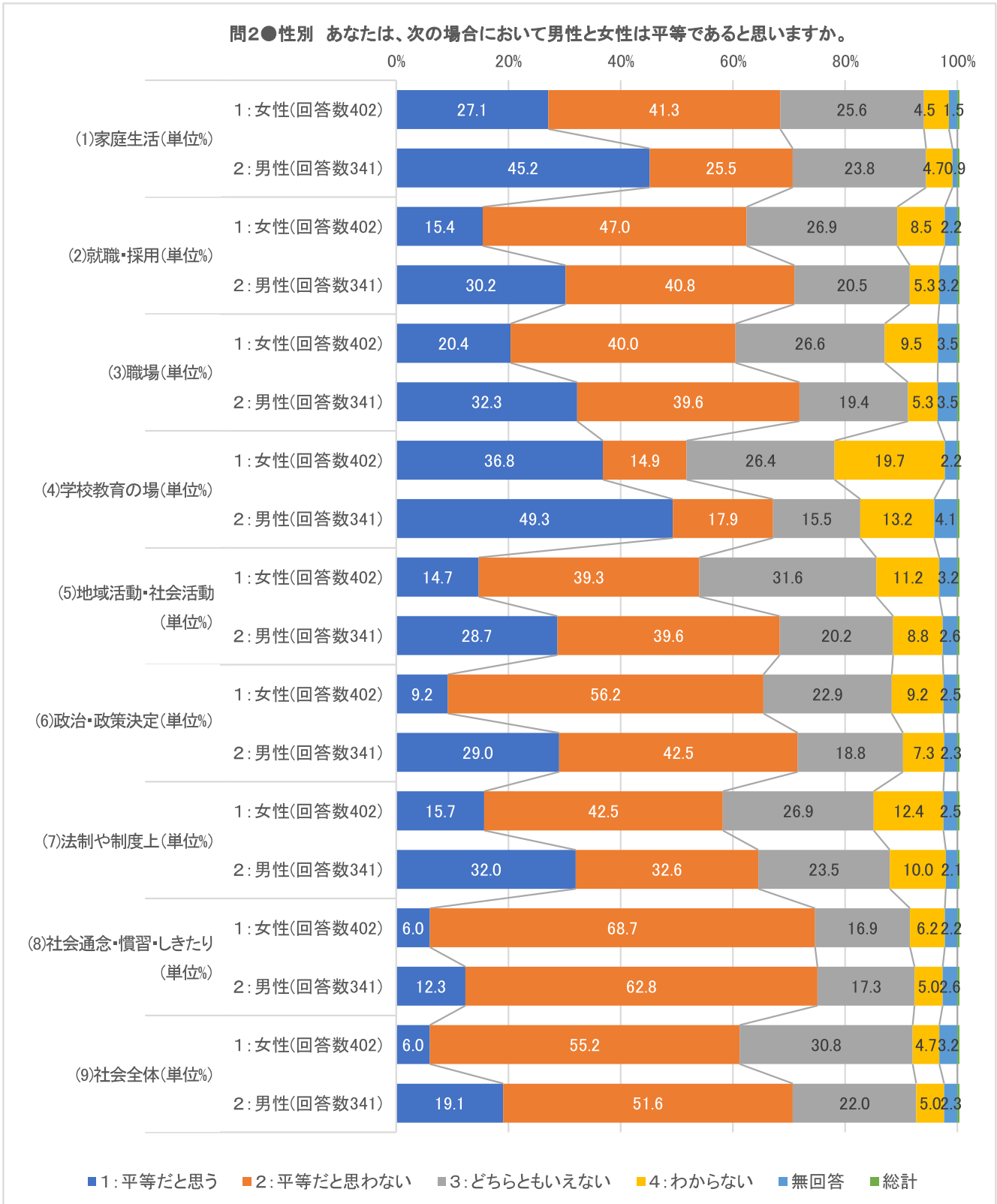
上段:回答者数(人) 下段:割合(%)	1:平等だと思う	2:平等だと思わない	3:どちらともいえない	4:わからない	無回答	総計
(1)家庭生活	265	256	185	34	13	753
	35.2	34.0	24.6	4.5	1.7	100.0
R2 年度調査	304					
	39.0					
(2)就職・採用	168	331	178	52	24	753
	22.3	44.0	23.6	6.9	3.2	100.0
R2 年度調査	209					
	26.8					
(3)職場	195	297	175	56	30	753
	25.9	39.4	23.2	7.4	4.0	100.0
R2 年度調査	229					
	29.4					
(4)学校教育の場	319	123	159	125	27	753
	42.4	16.3	21.1	16.6	3.6	100.0
R2 年度調査	473					
	60.7					
(5)地域活動・社会活動	160	294	197	76	26	753
	21.2	39.0	26.2	10.1	3.5	100.0
R2 年度調査	235					
	30.2					
(6)政治・政策決定	136	375	158	62	22	753
	18.1	49.8	21.0	8.2	2.9	100.0
R2 年度調査	89					
	11.4					
(7)法制や制度上	172	285	190	85	21	753
	22.8	37.8	25.2	11.3	2.8	100.0
R2 年度調査	254					
	32.6					
(8)社会通念・慣習・しきたり	67	492	129	43	22	753
	8.9	65.3	17.1	5.7	2.9	100.0
R2 年度調査	78					
	10.0					
(9)社会全体	90	400	202	36	25	753
	12.0	53.1	26.8	4.8	3.3	100.0
R2 年度調査	99					
	12.7					

※令和2年度調査(回答数 779)とは選択肢が異なるため「男女平等である」を今回調査の「平等だと思う」と比較

○令和2年度調査と比較して乖離が目立つ(5ポイント以上)のは、「(4)学校教育の場」42.4%(前回 60.7%)、「(5)地域活動・社会活動」21.2%(前回 30.2%)、「(6)政治・政策決定」18.1%(前回 11.4%)、「(7)法制や制度上」22.8%(前回 32.6%)となっています。

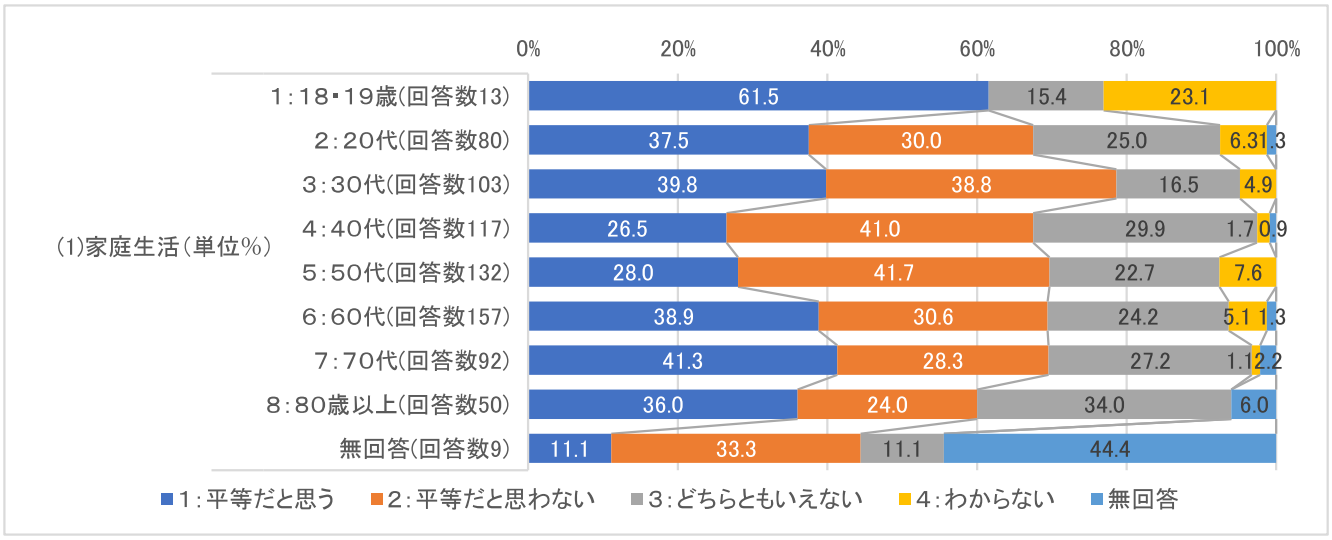
「(6)政治・政策決定」18.1%(前回 11.4%)については、前回より増えているものの、その他については前回からポイントを下げています。


あなたは、次の場合において男性と女性は平等であると思いますか。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
(1) 家庭生活では
35.2
34.0
24.6
4.5
1.7
(2) 就職・採用では
22.3
44.0
23.6
6.9
3.2
(3) 職場では
25.9
39.4
23.2
7.4
4.0
(4) 学校教育の場では
42.4
16.3
21.1
16.6
3.6
(5) 地域活動・社会活動の場では
21.2
39.0
26.2
10.1
3.5
(6) 政治・政策決定の場では
18.1
49.8
21.0
8.2
2.9
(7) 法制や制度の上では
22.8
37.8
25.2
11.3
2.8
(8) 社会通念・慣習・しきたりなどでは
8.9
65.3
17.1
5.7
2.9
(9) 社会全体では
12.0
53.1
26.8
4.8
3.3
1:平等だと思う
2:平等だと思わない
3:どちらともいえない
4:わからない
無回答

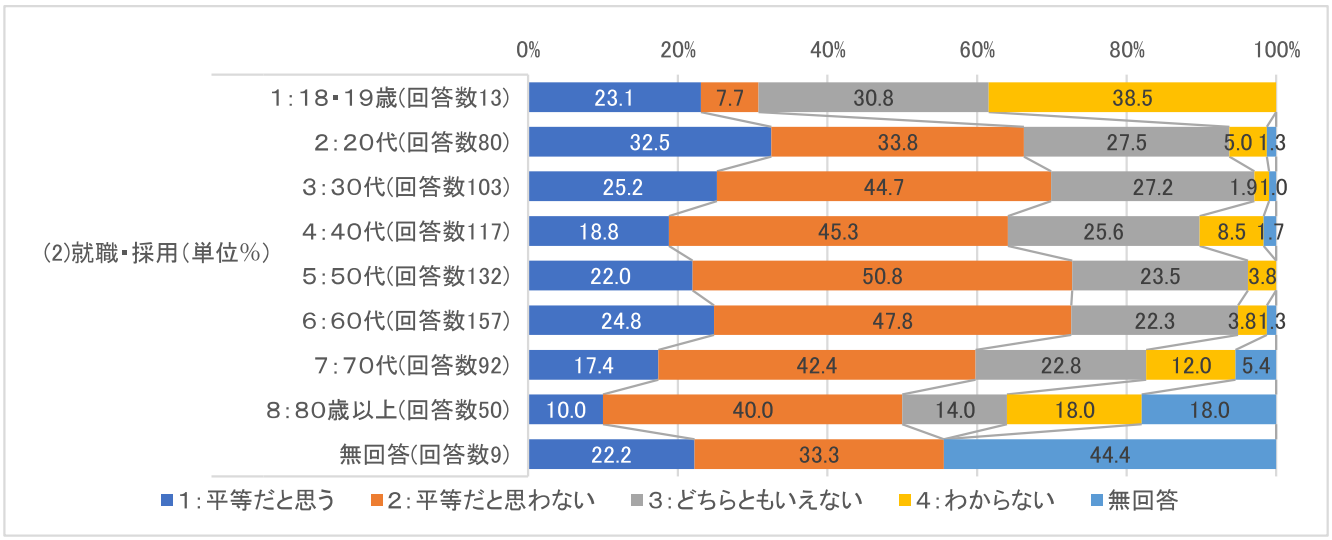


○性別で見ると、すべての設問で「平等だと思う」割合が、男性が女性を上回っています。性別による実感の違いが浮き彫りになっていることがわかります。

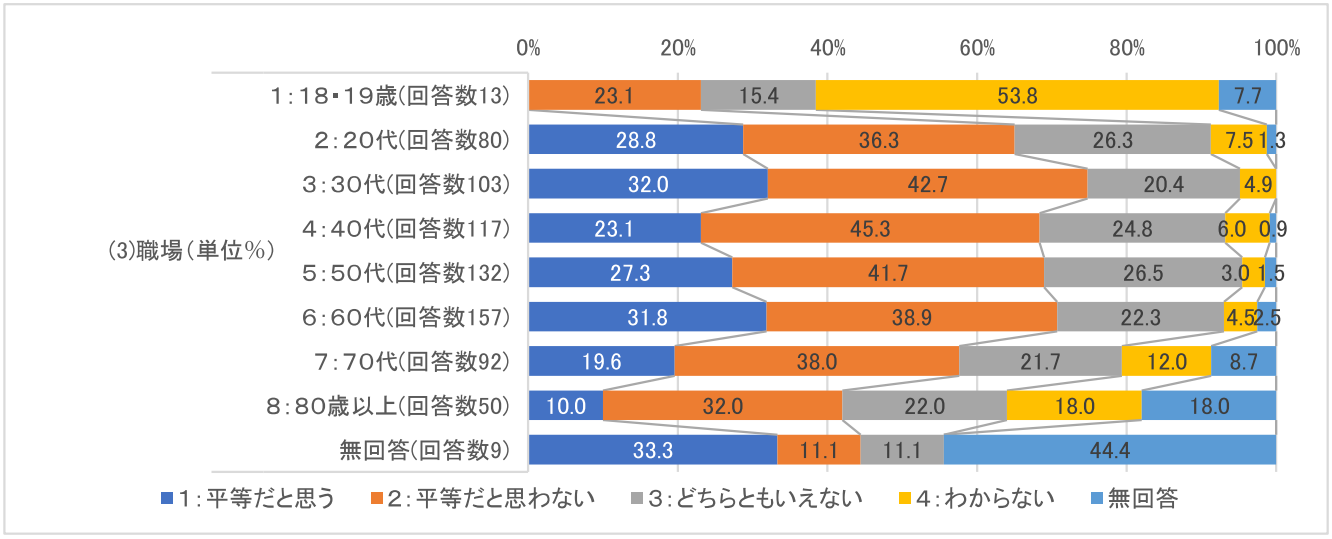
問2●年齢別



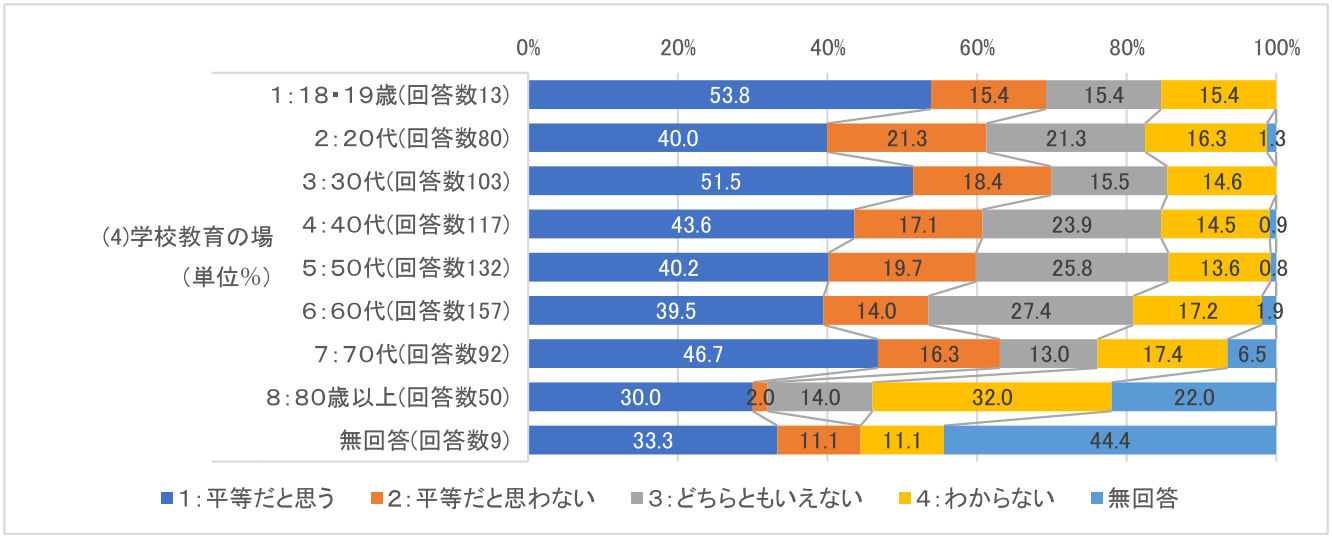
○「平等だと思う」割合は 40 代・50 代が他の年代と比べ、比較的低い傾向が見てとれます。



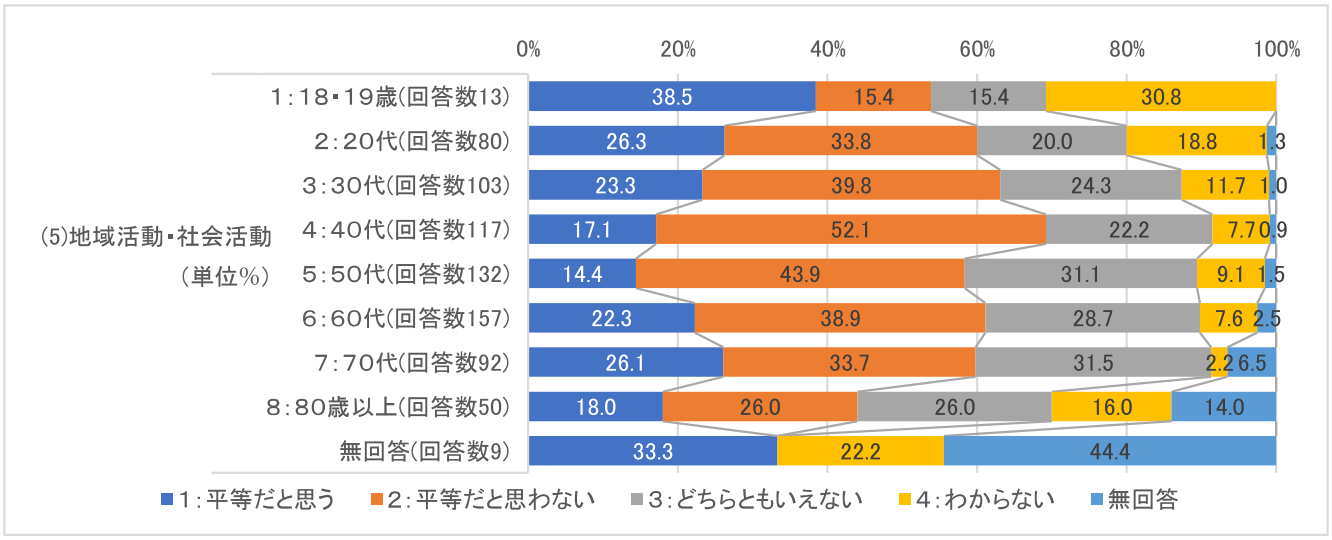
○「平等だと思わない」割合が 18・19 歳で 7.7%と他の年代と比べて極端に低くなっています。



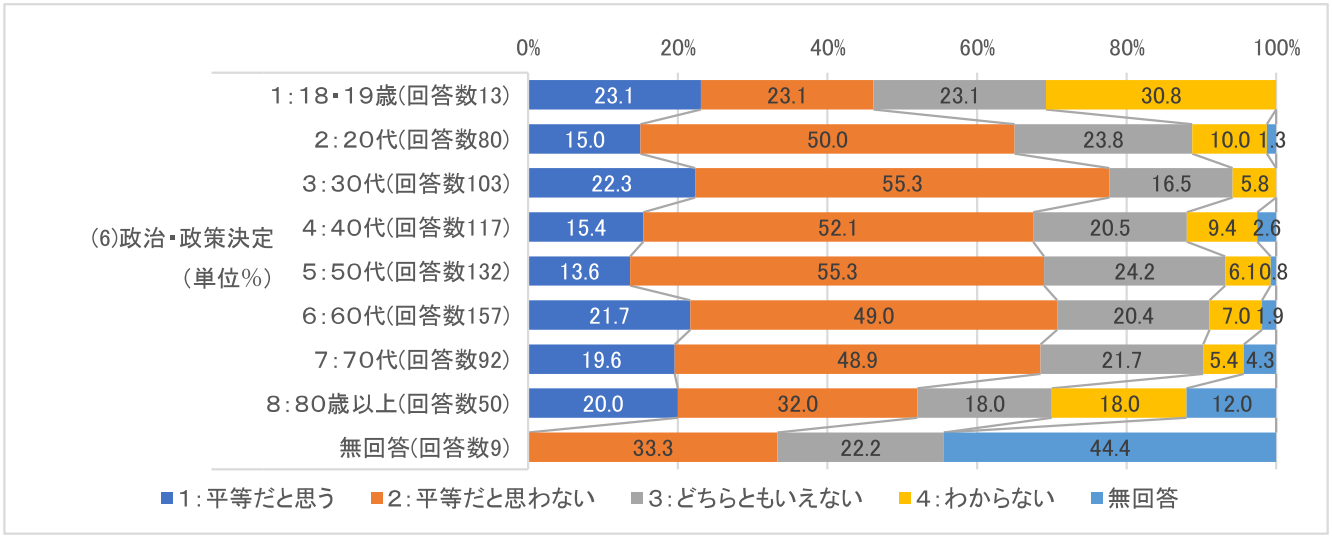
○年齢無回答を除く全年代で、「平等だと思わない」割合が高くなっています。



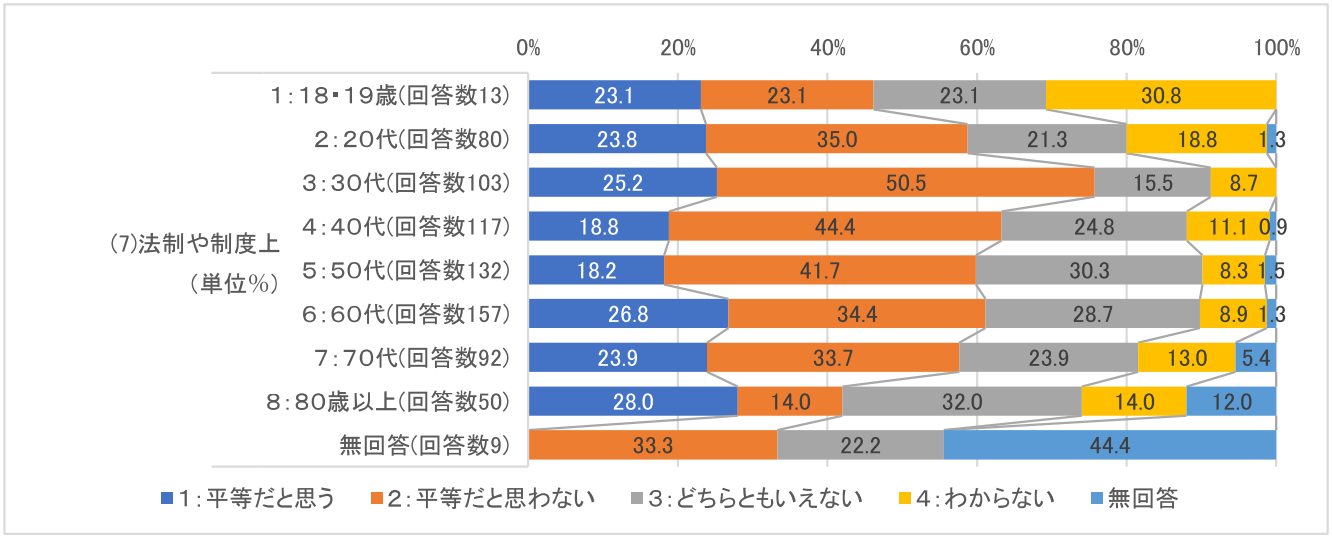
〇全年代で「平等だと思う」が「平等だと思わない」を上回っています。



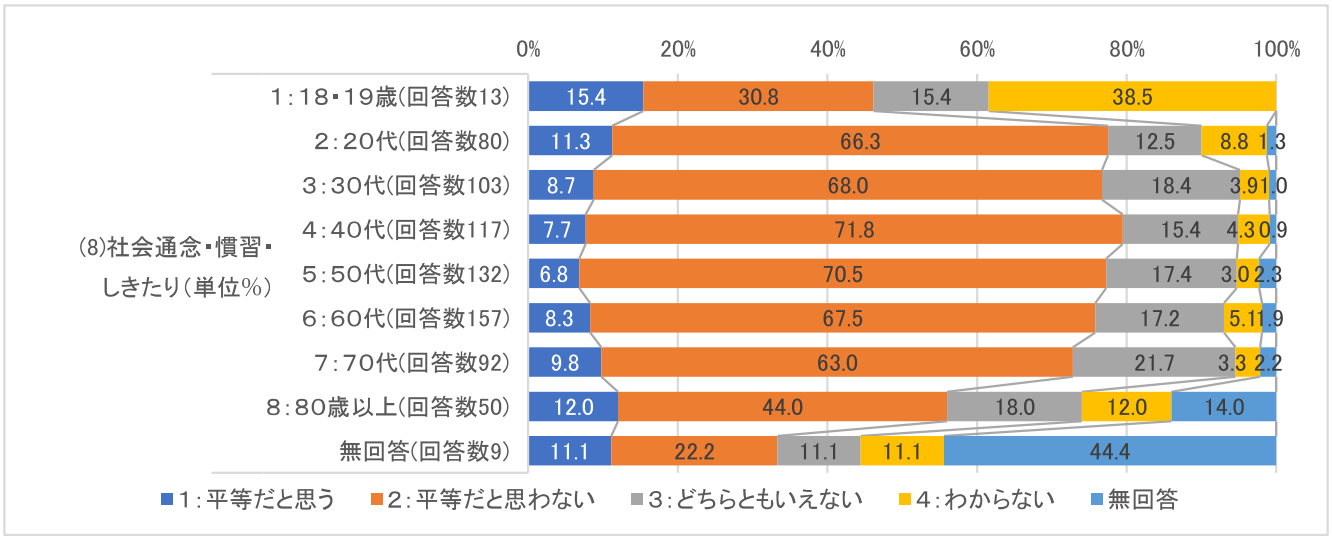
〇「平等だと思う」割合は、40 代、50 代、80 代で 20%以下となっており、なかでも 40 代では「平等だと思わない」が過半数を超えています。



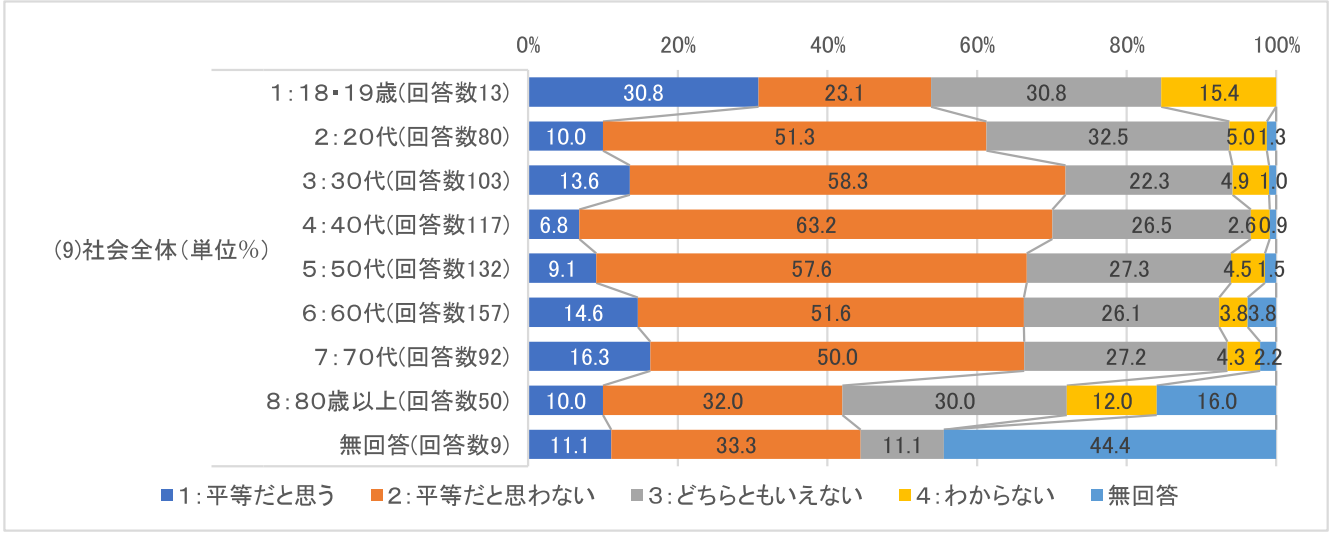
〇18・19 歳を除く全年代で「平等だと思わない」割合が高くなっています。



〇「平等だと思わない」が 30 代で過半数を超えているほか、40 代、50 代でも高い割合となっています。

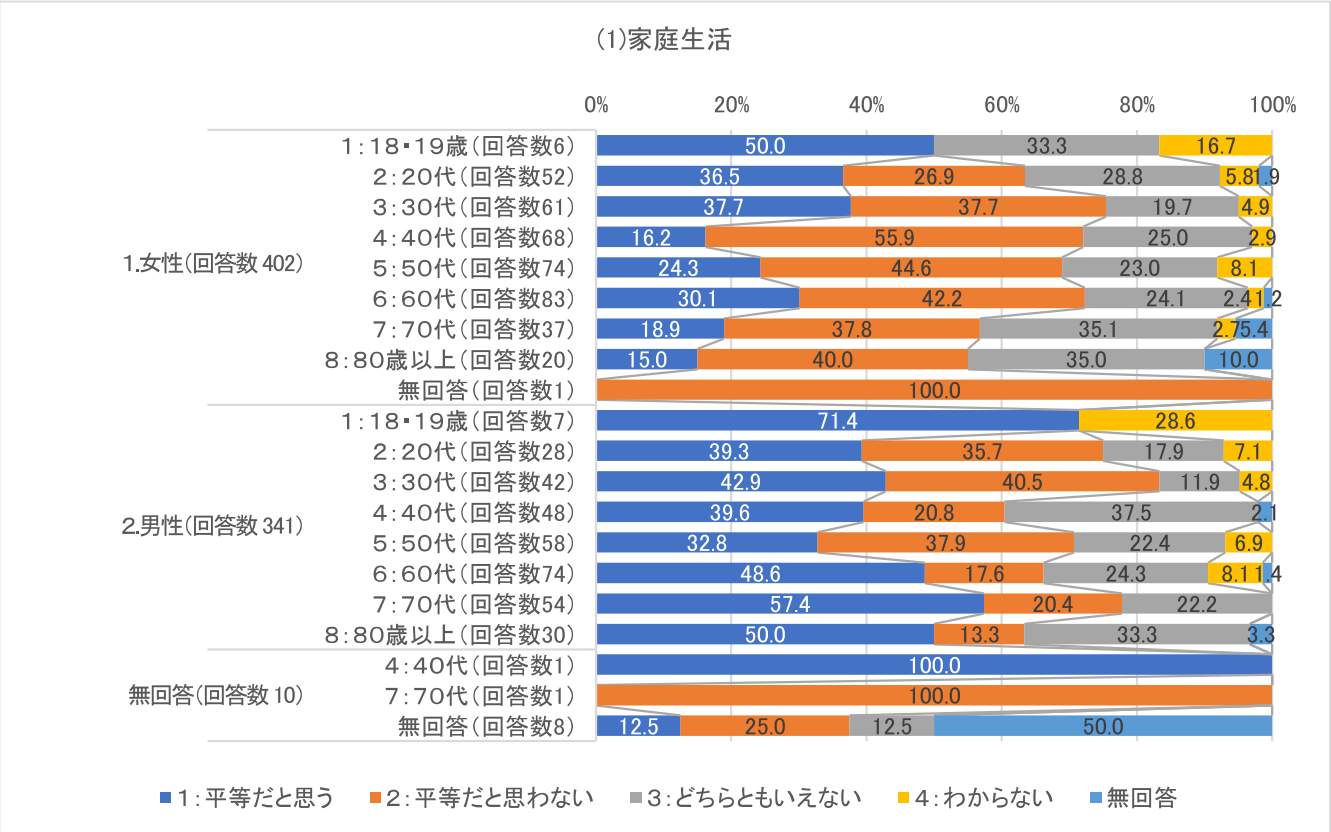


〇全年代で「平等だと思わない」が多数を占めています。

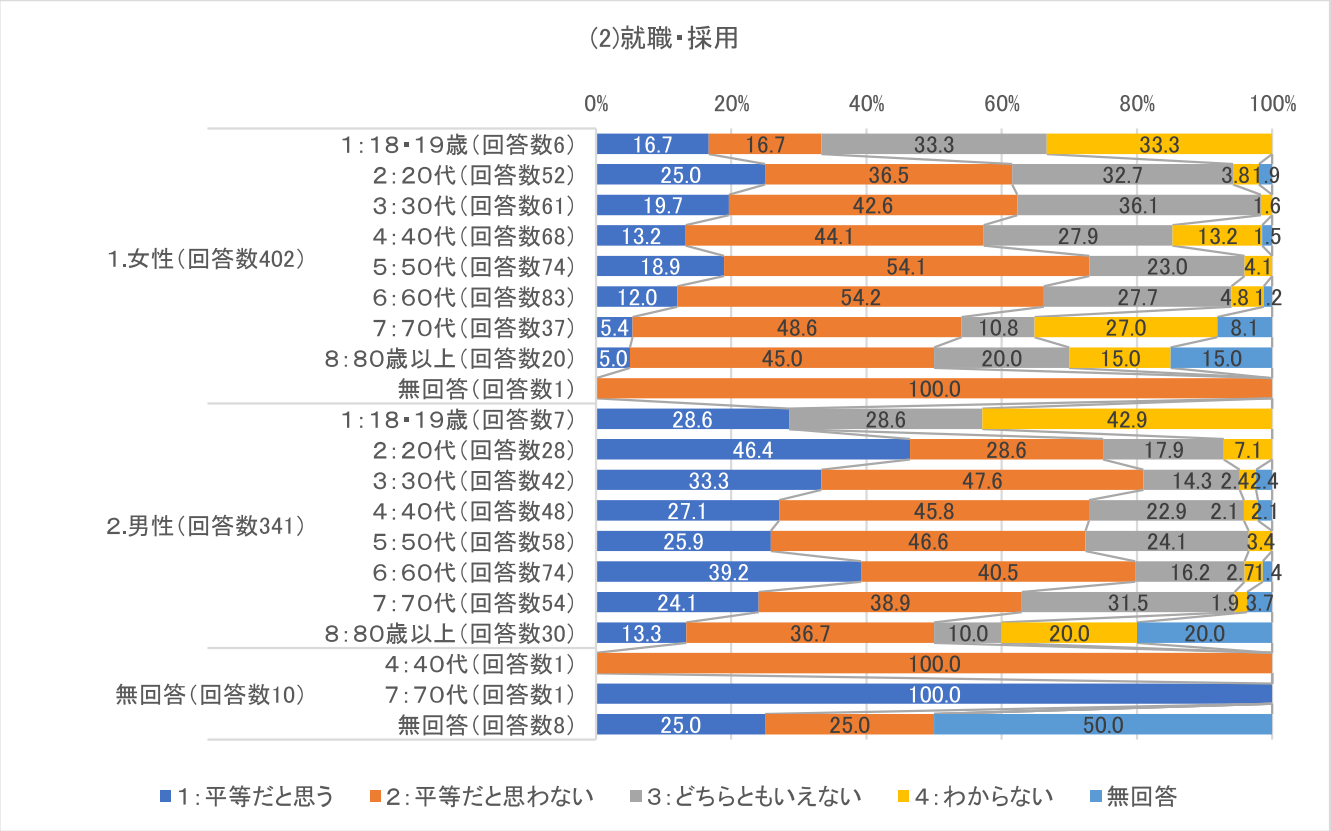


〇18・19 歳では「平等だと思う」が多いものの、他の年代では「平等だと思わない」が多数を占めています。

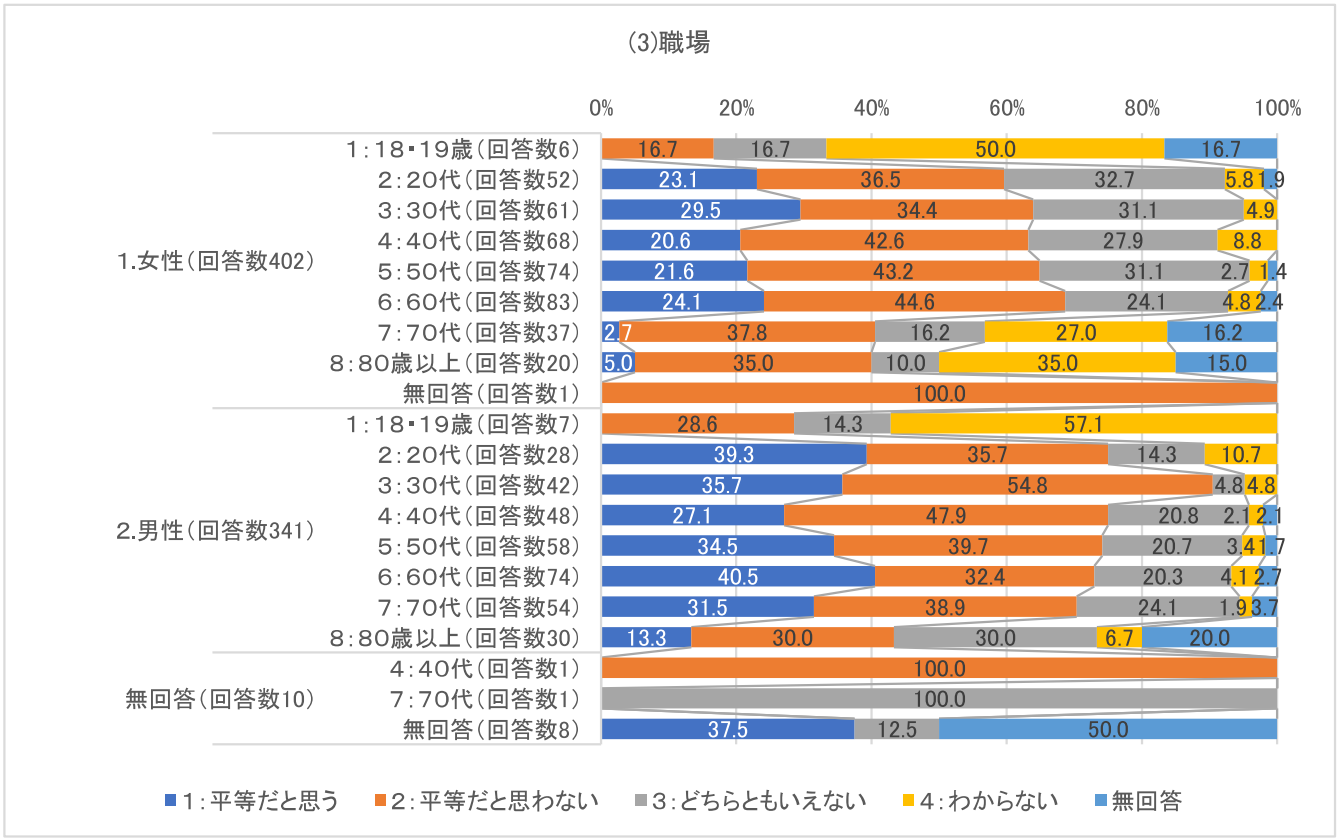
問２　性別×年齢別



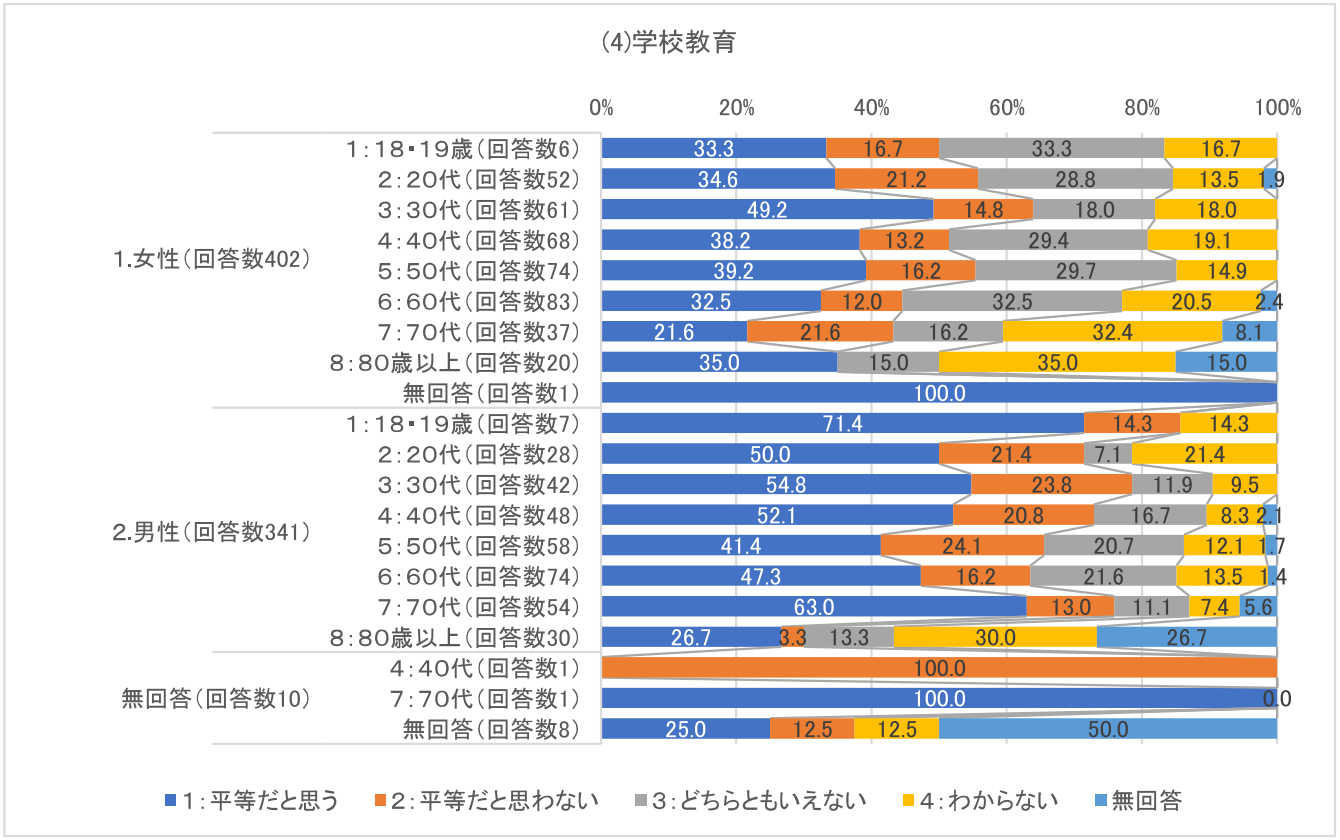
○「平等だと思う」割合は「男性:18･19 歳」が 71.4%で他の性別:年代と比べて高い割合となっています。



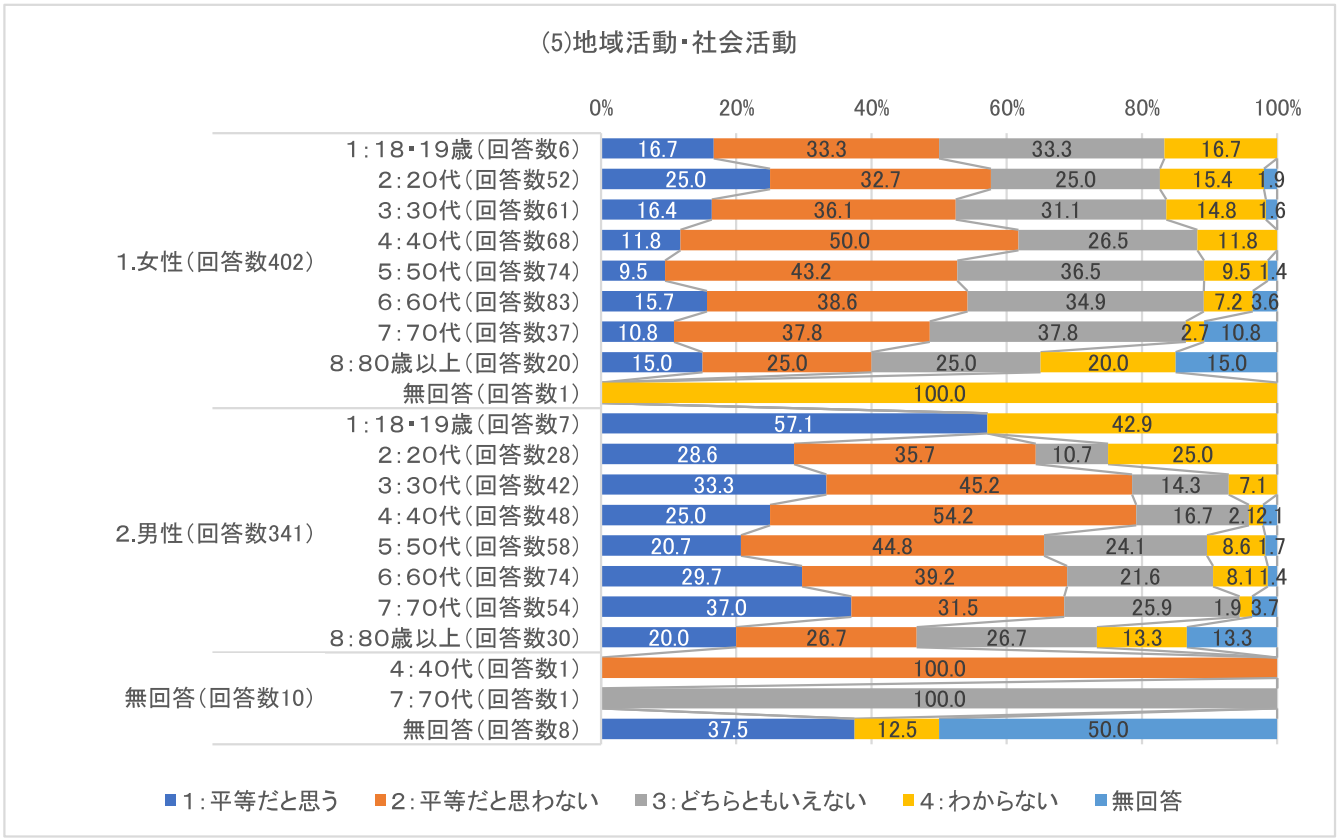
○どの性別:年代とも、「平等だと思わない」割合が高い傾向ですが、「男性:20代」では、「平等だと思う」割合が「平等だと思わない」割合を上回っています。



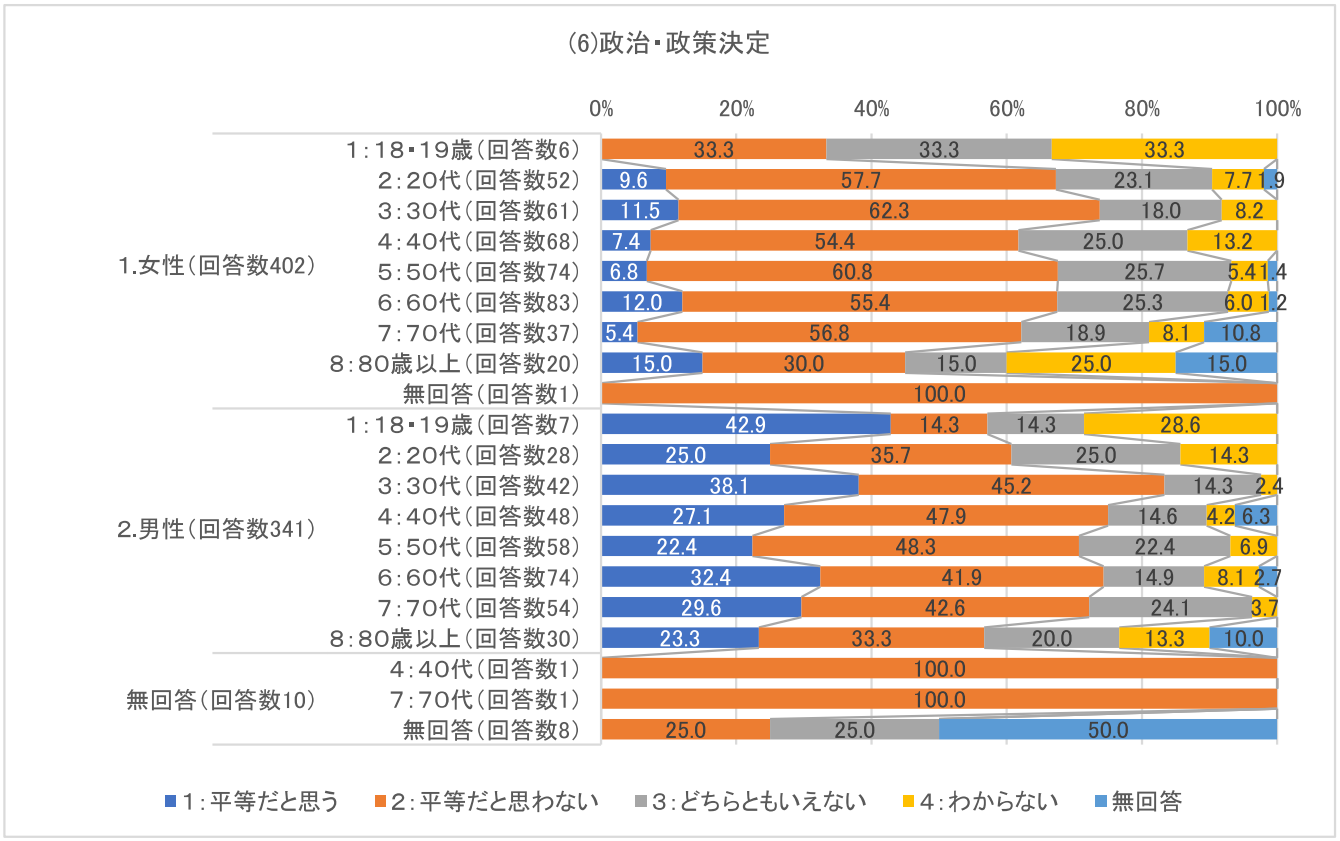
〇男女とも 18・19 歳では「平等だと思う」とする回答がありませんでした。



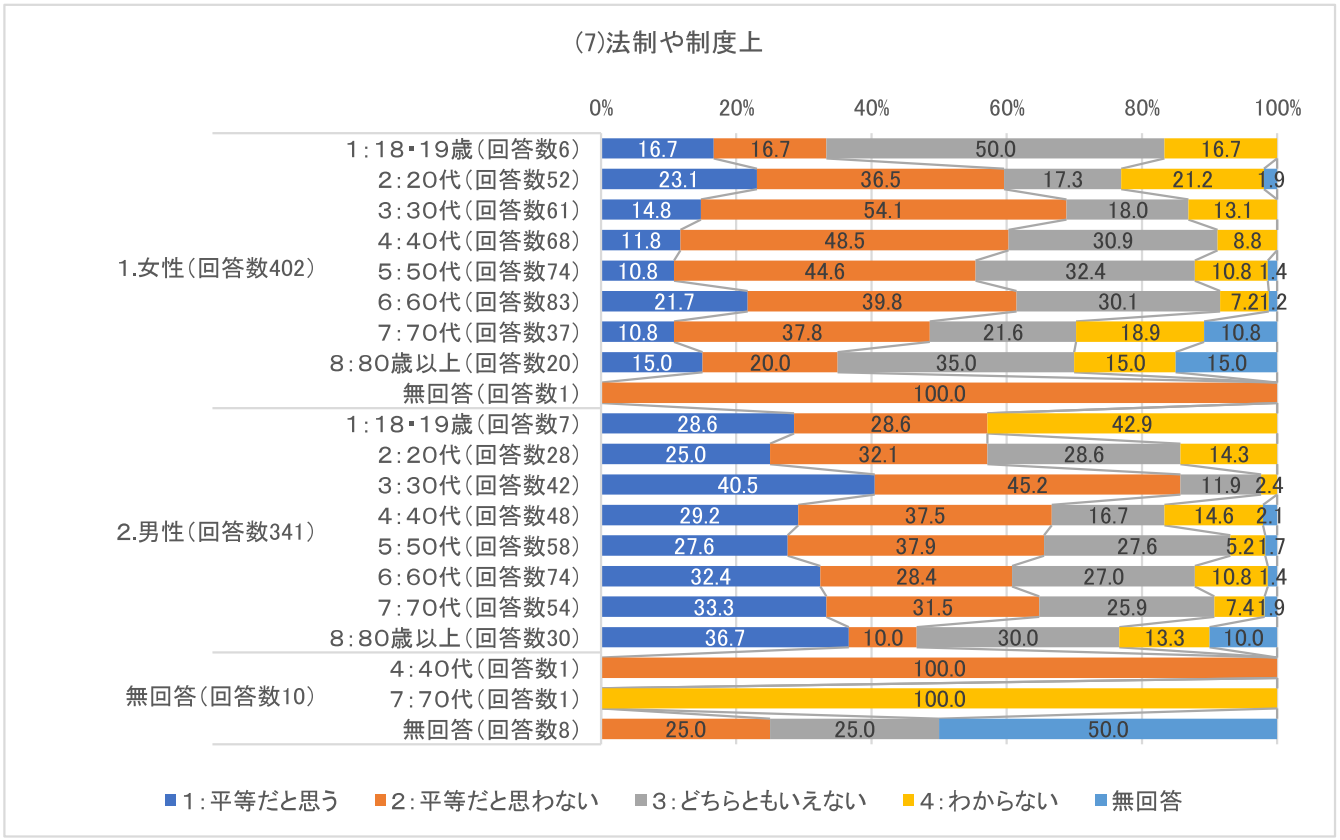
〇ほぼすべての性別：年代で「平等だと思う」割合が「平等だと思わない」割合を上回っています（「女性：70 代」のみ同率）。



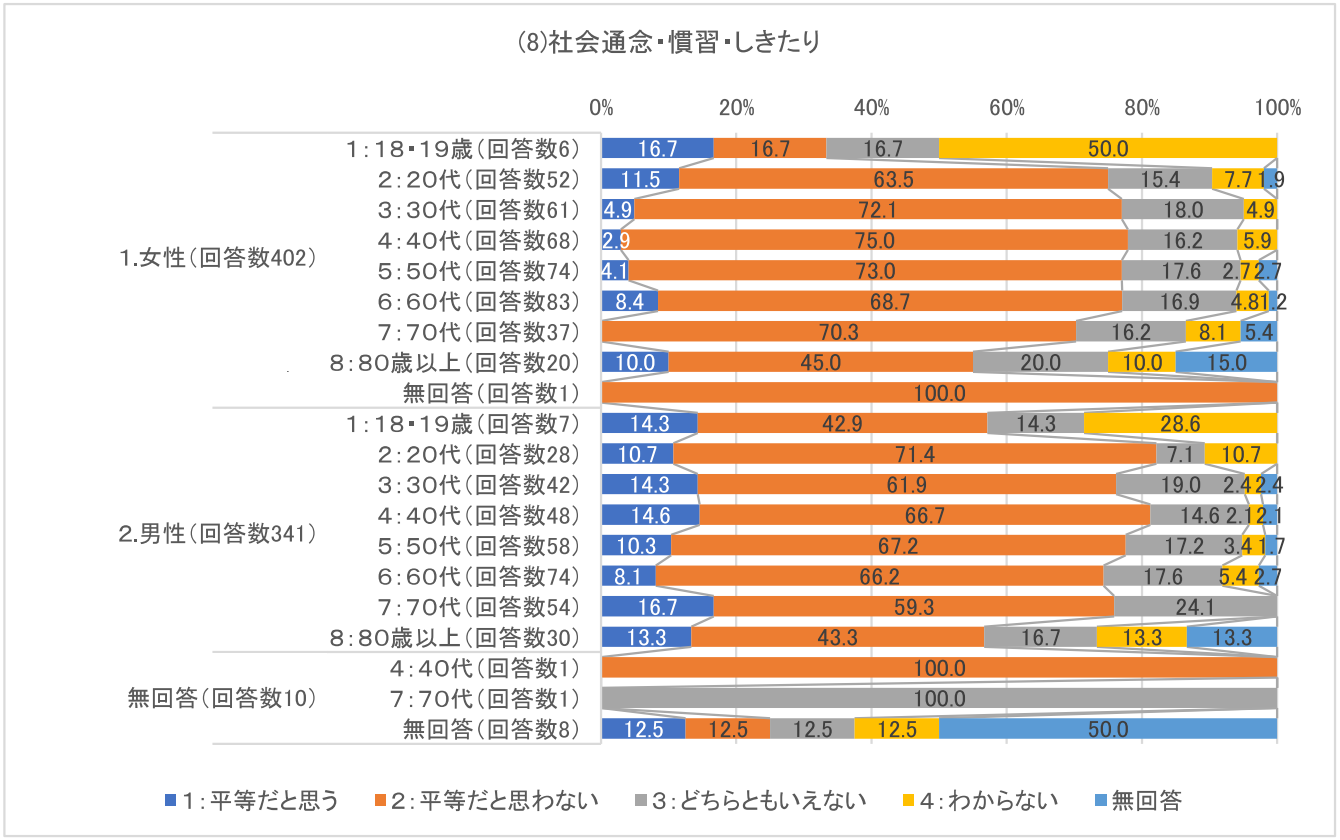
〇多くの性別：年代で「平等だと思わない」割合が高く、特に「女性：40 代」「女性：50 代」「男性：30 代」「男性：40 代」「男性：50 代」では「平等だと思わない」割合が 40%を超えています。



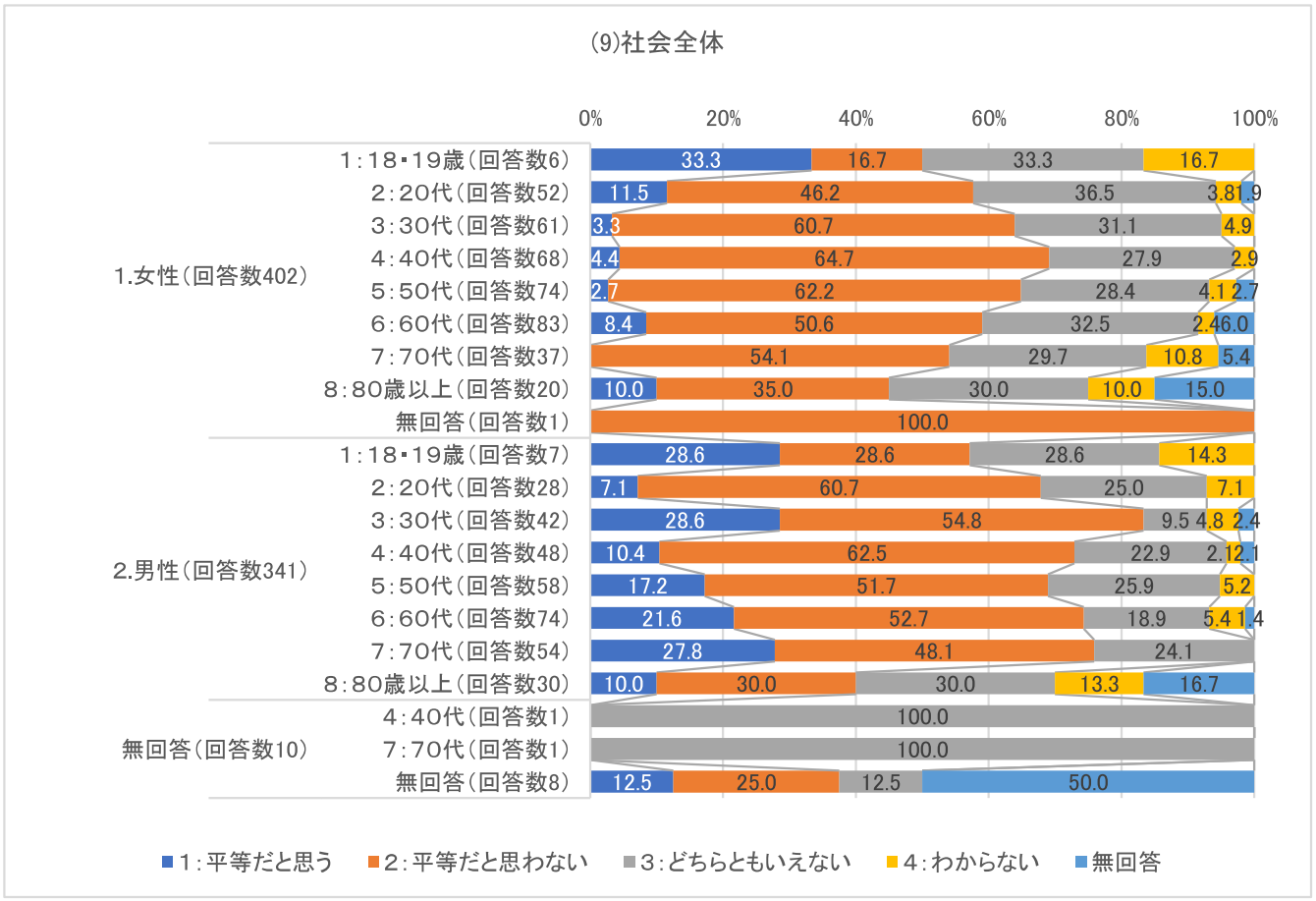
〇「男性：18・19 歳」を除くすべての性別：年代で、「平等だと思わない」割合が高くなっています。



〇すべての年代で男性の方が女性よりも「平等だと思う」割合が高くなっています。

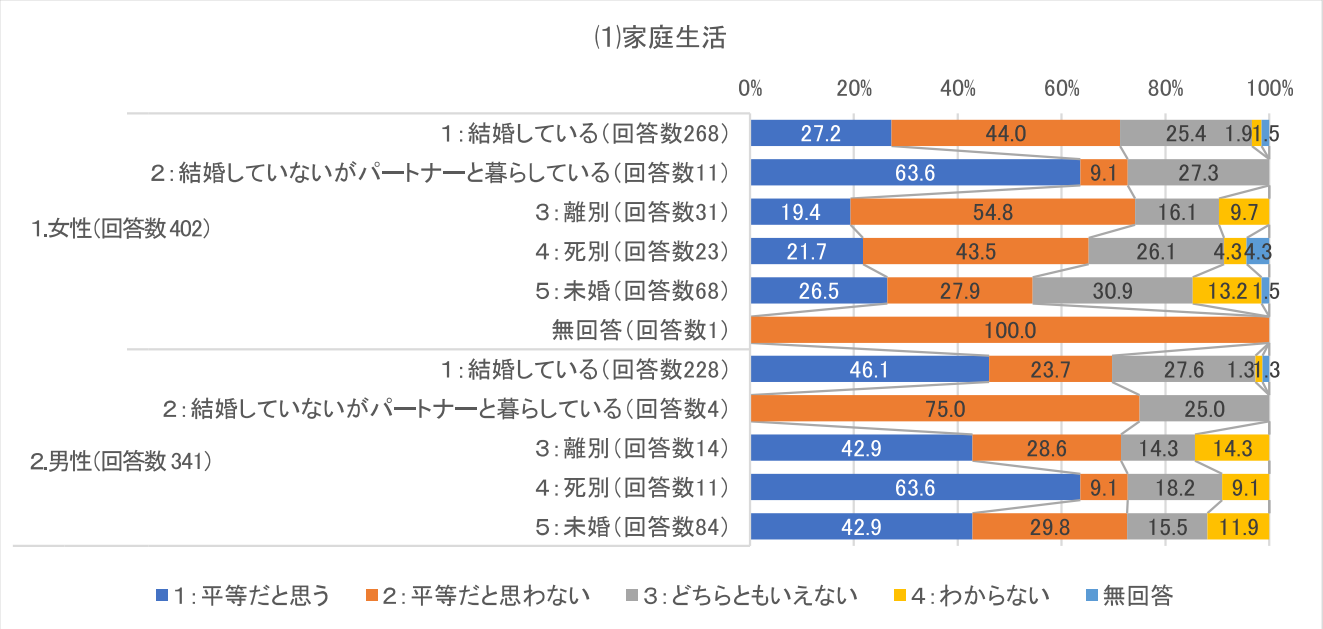


〇他の項目と比べ「平等だと思わない」割合が高くなっています。



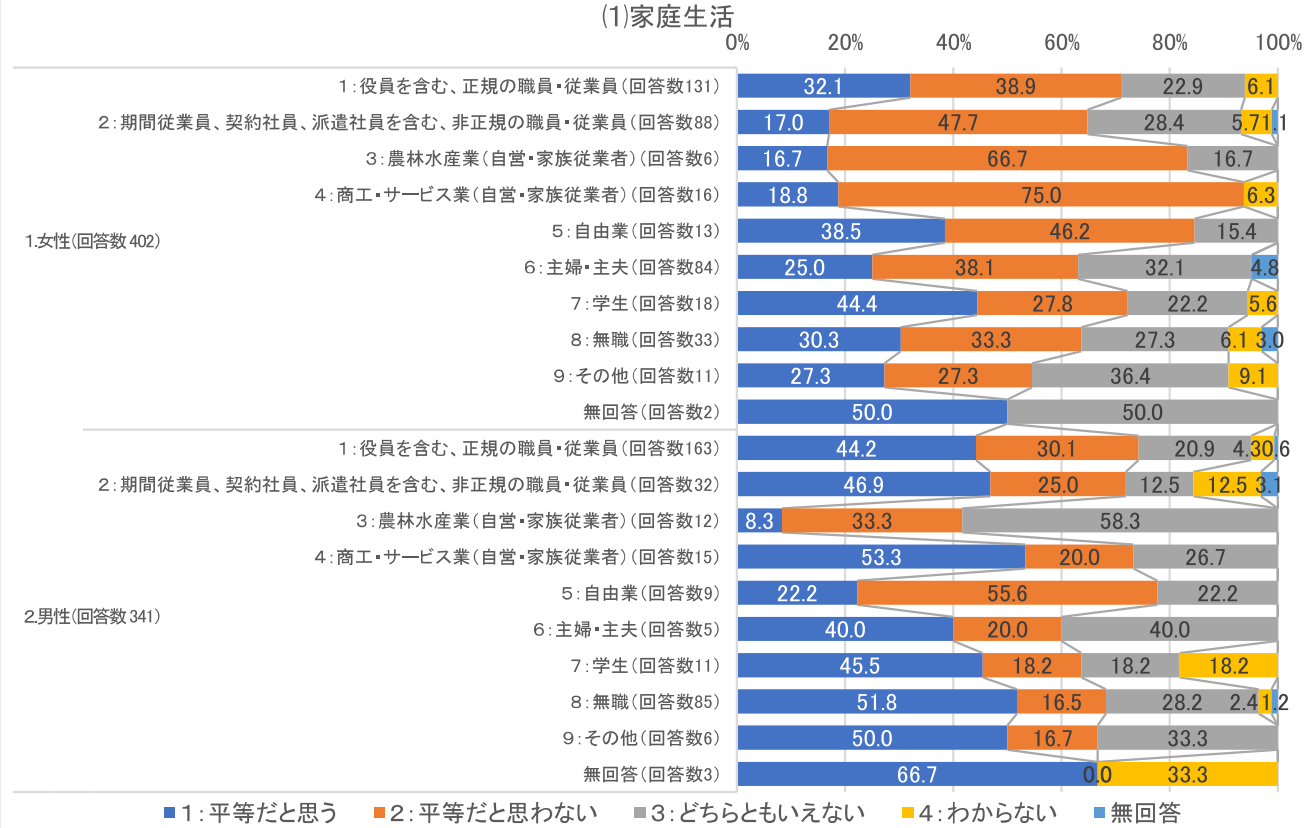
○「女性：18・19 歳」では「平等だと思う」割合が「平等だと思わない」割合を上回っていますが、それ以外では「平等だと思わない」割合が「平等だと思う」割合を上回っています（「男性：18・19 歳」は同率）。

問２　性別×婚姻歴(⑴家庭生活のみ)

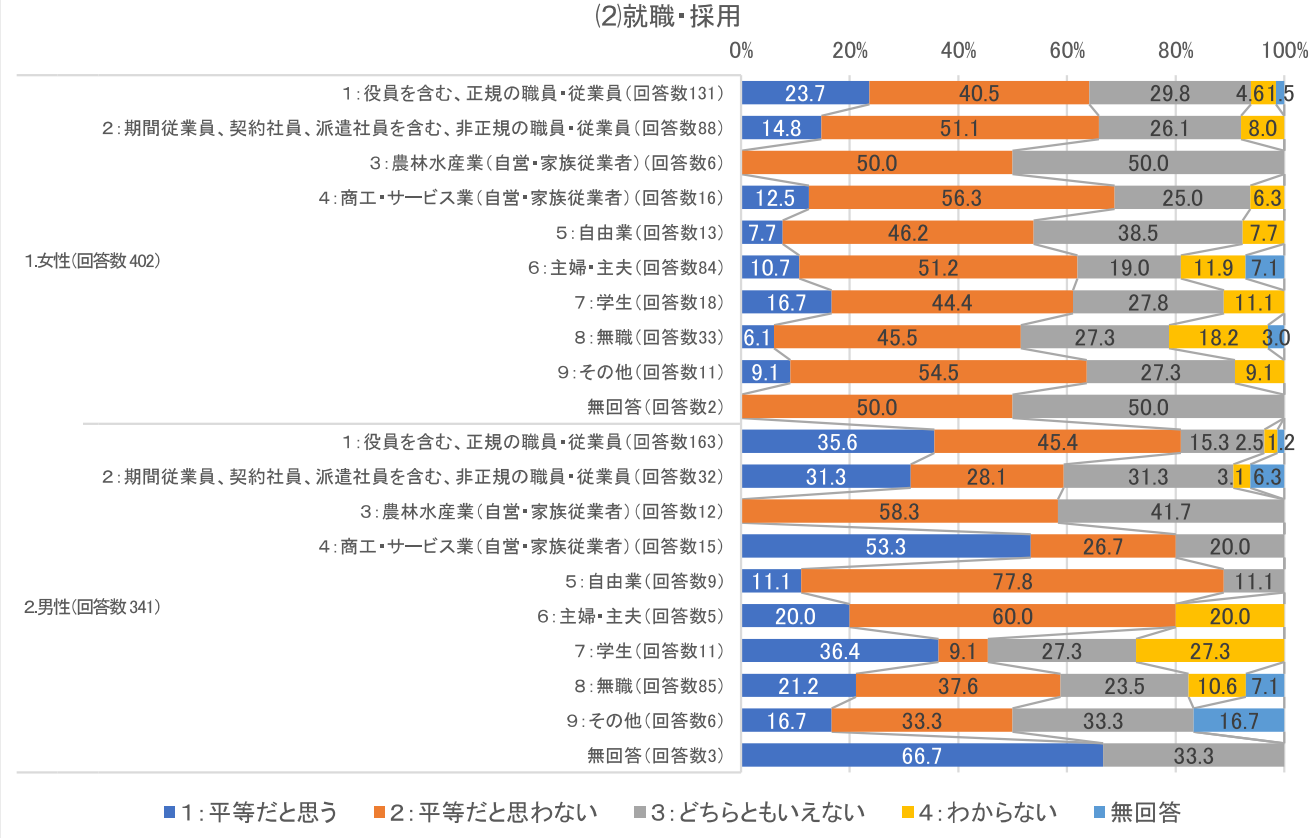


○「平等だと思う」割合は、「女性：結婚していないがパートナーと暮らしている」と「男性：死別」が 63.6%で最も高くなっています。

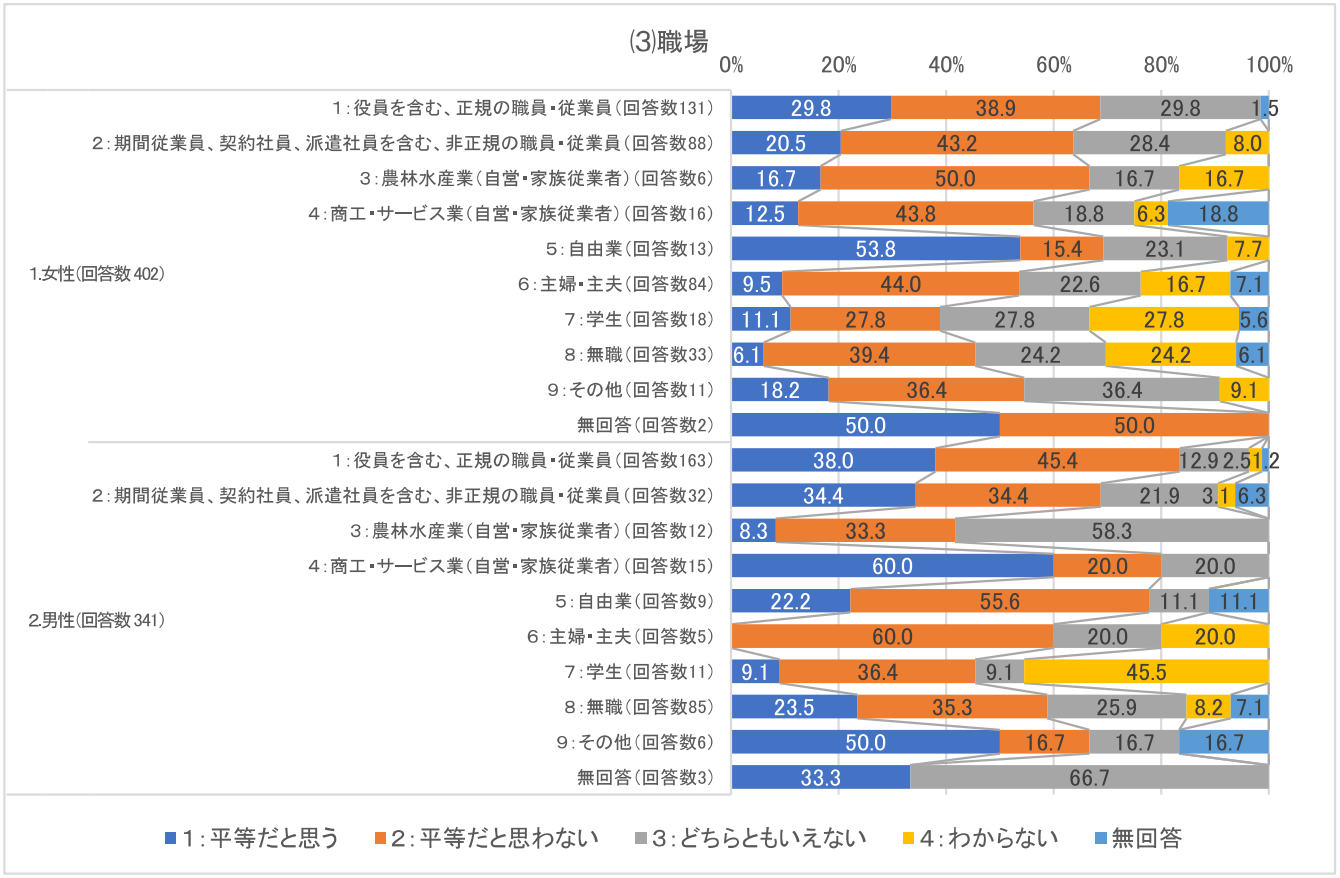
問２　性別×自身の職業別（(1)家庭生活(2)就職・採用(3)職場(7)法制・制度上(8)社会通念・慣習・しきたり）



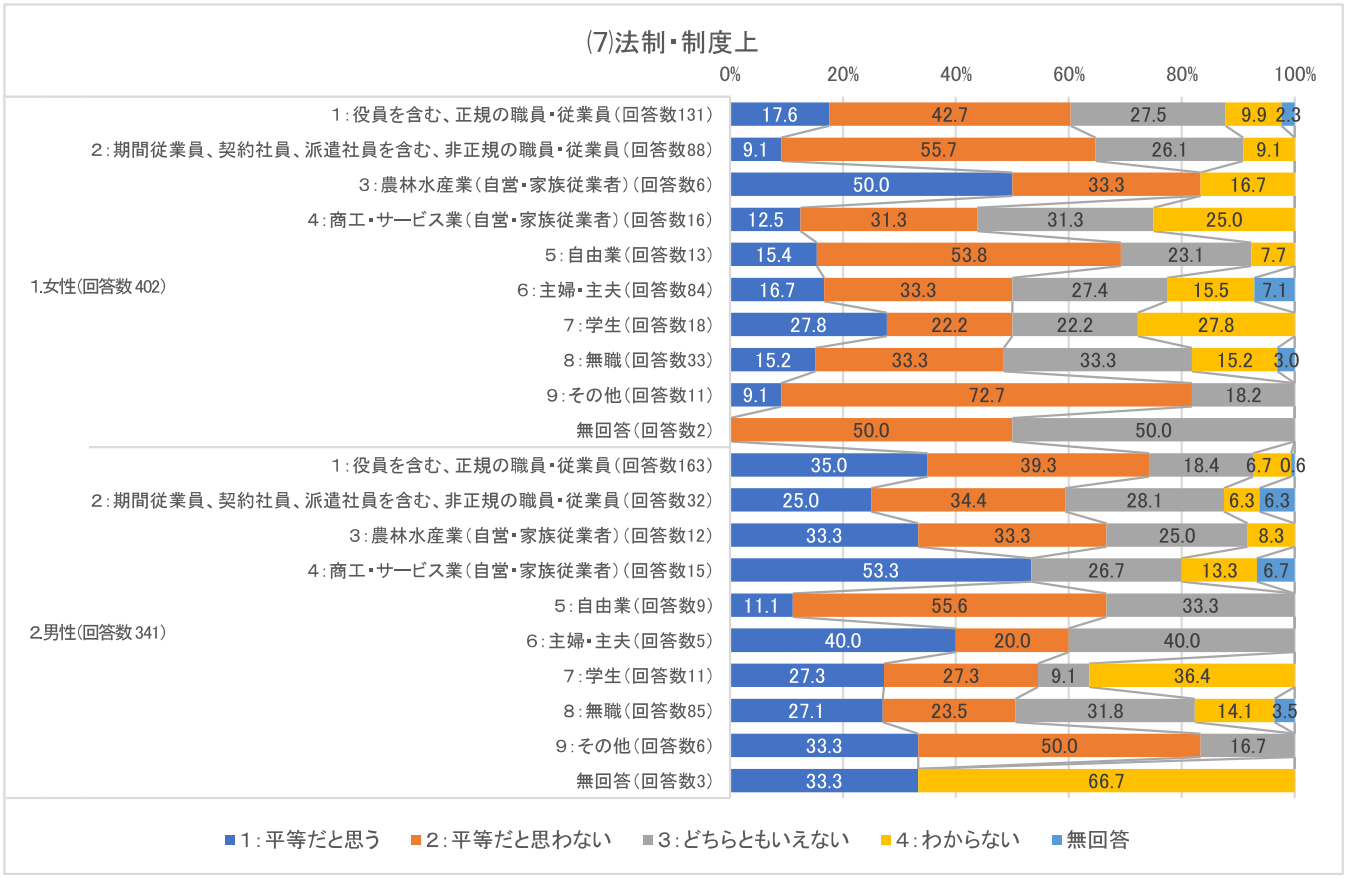
○「平等だと思う」割合は、「男性：農林水産業」の 8.3%が最も低くなっています。



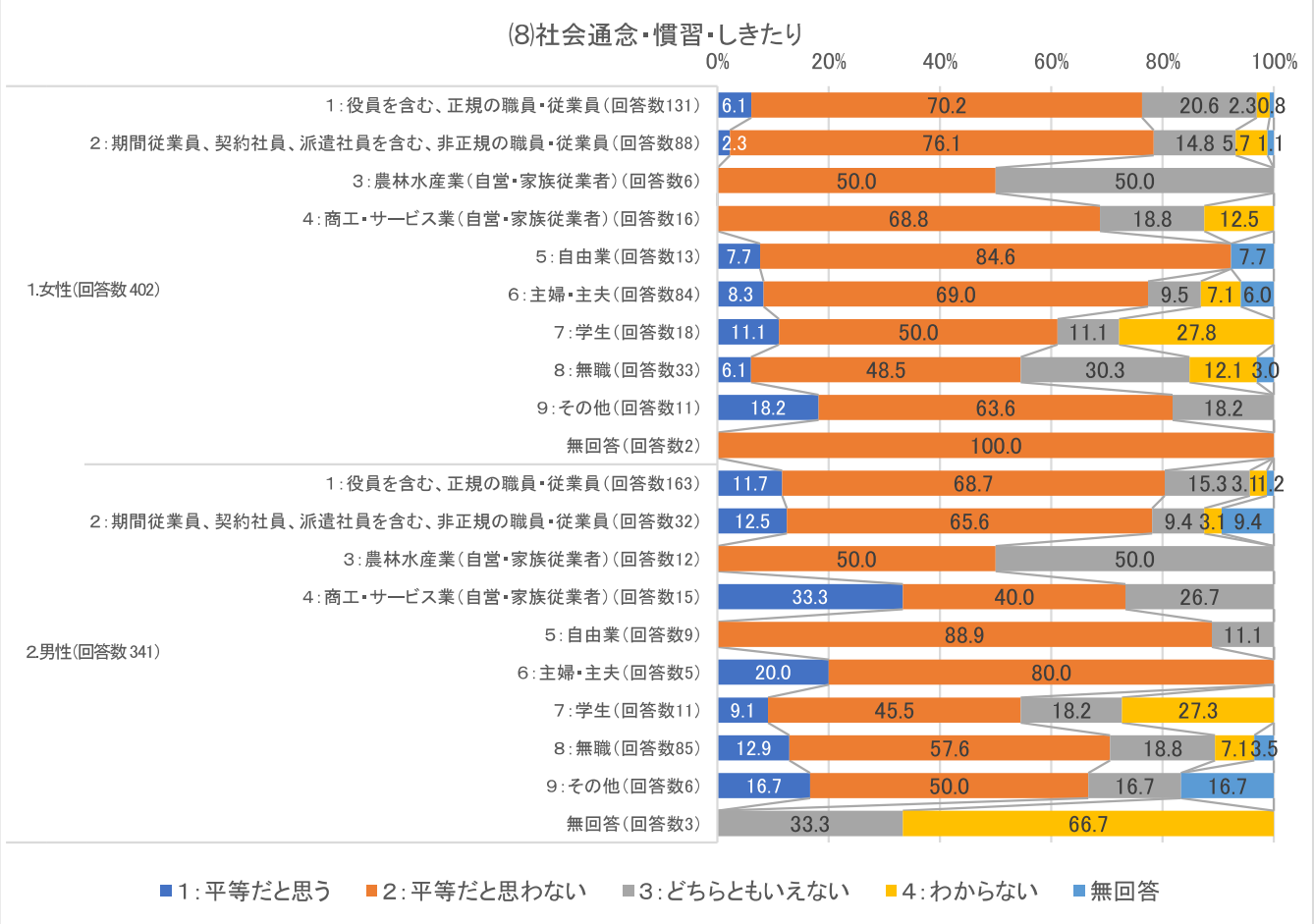
○「平等だと思う割合」は「男性：商工サービス業」の 53.3%が最も高くなっています（無回答を除く）。



○「平等だと思う」割合は「男性:商工サービス業」の 60.0%が最も高くなっています。

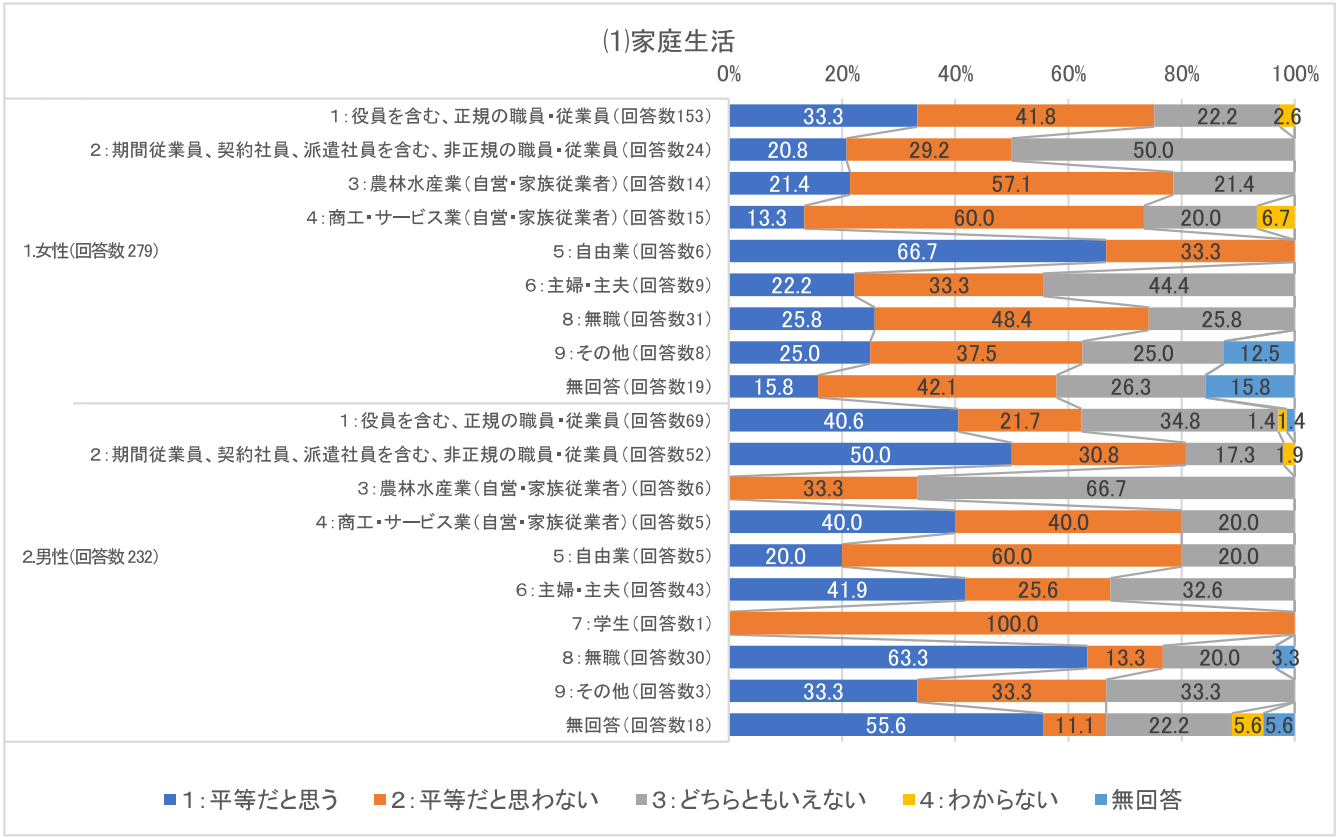


○「平等だと思う割合」は「男性:商工サービス業」の 53.3%が最も高くなっています。

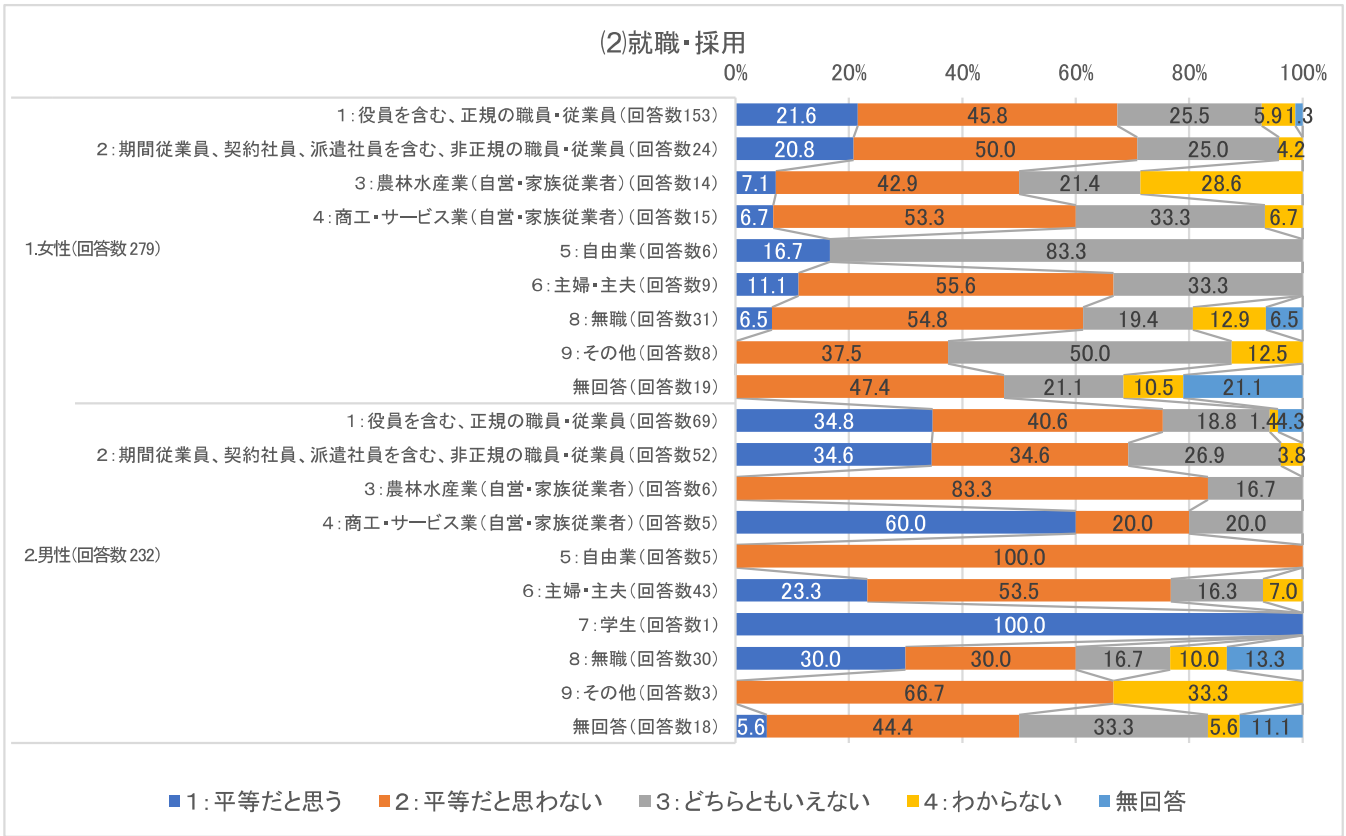


〇すべての性別・職種で、「平等だと思わない」割合が高くなっています。

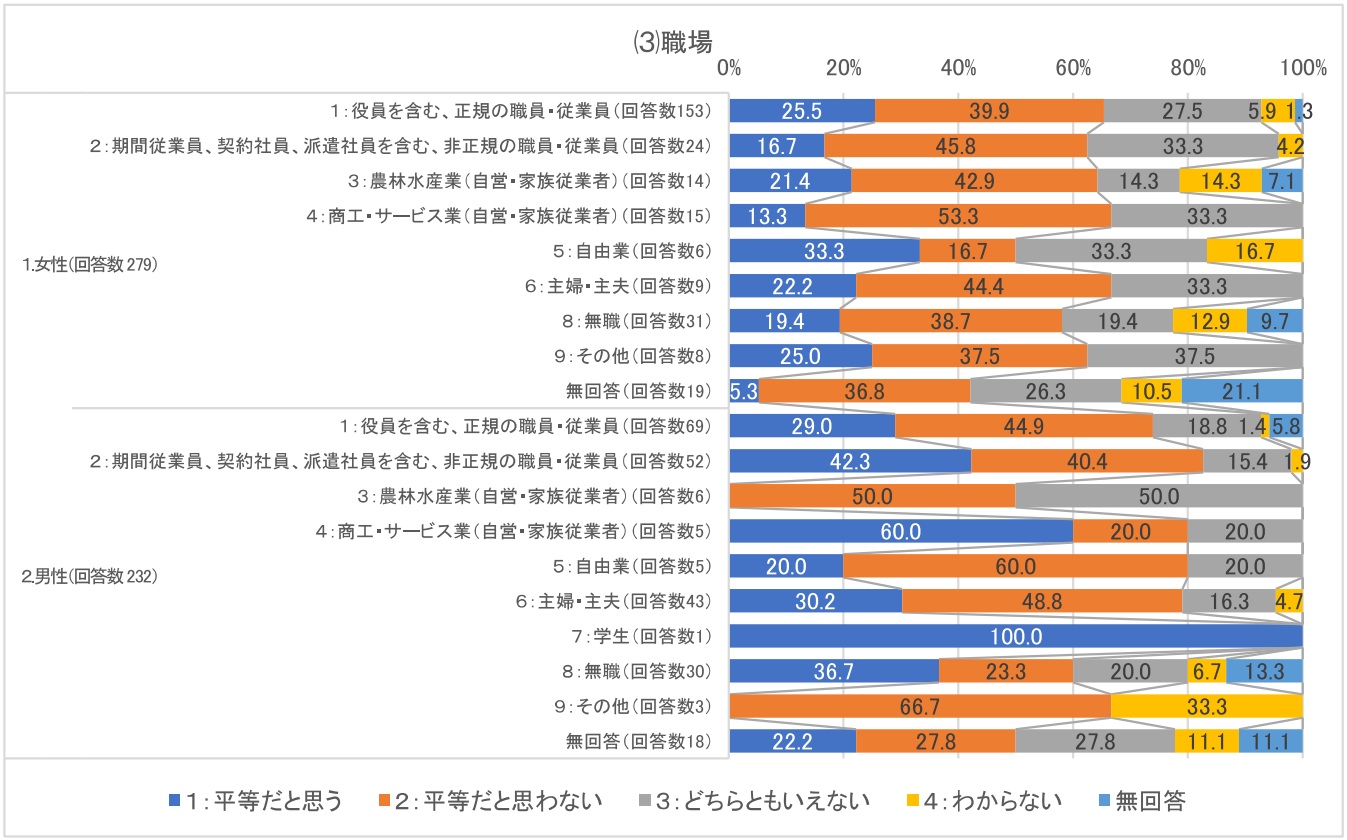
問２　性別×配偶者の職業別(⑴家庭生活⑵就職・採用⑶職場)



○「平等だと思う」割合は「女性:自由業」の 66.7%が最も高くなっています。

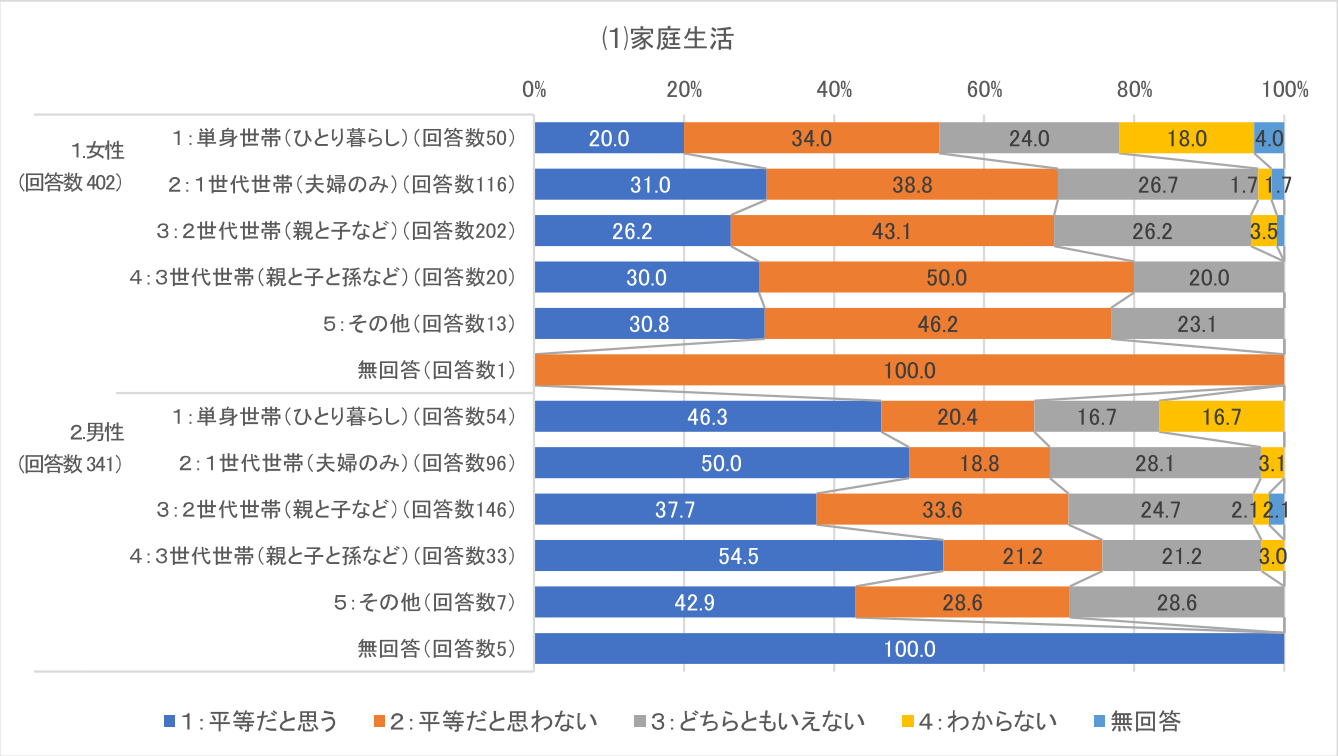


○「平等だと思う」割合は「男性:商工サービス業」の 60.0%が最も高くなっています(「男性:学生」を総数１のため除く)。



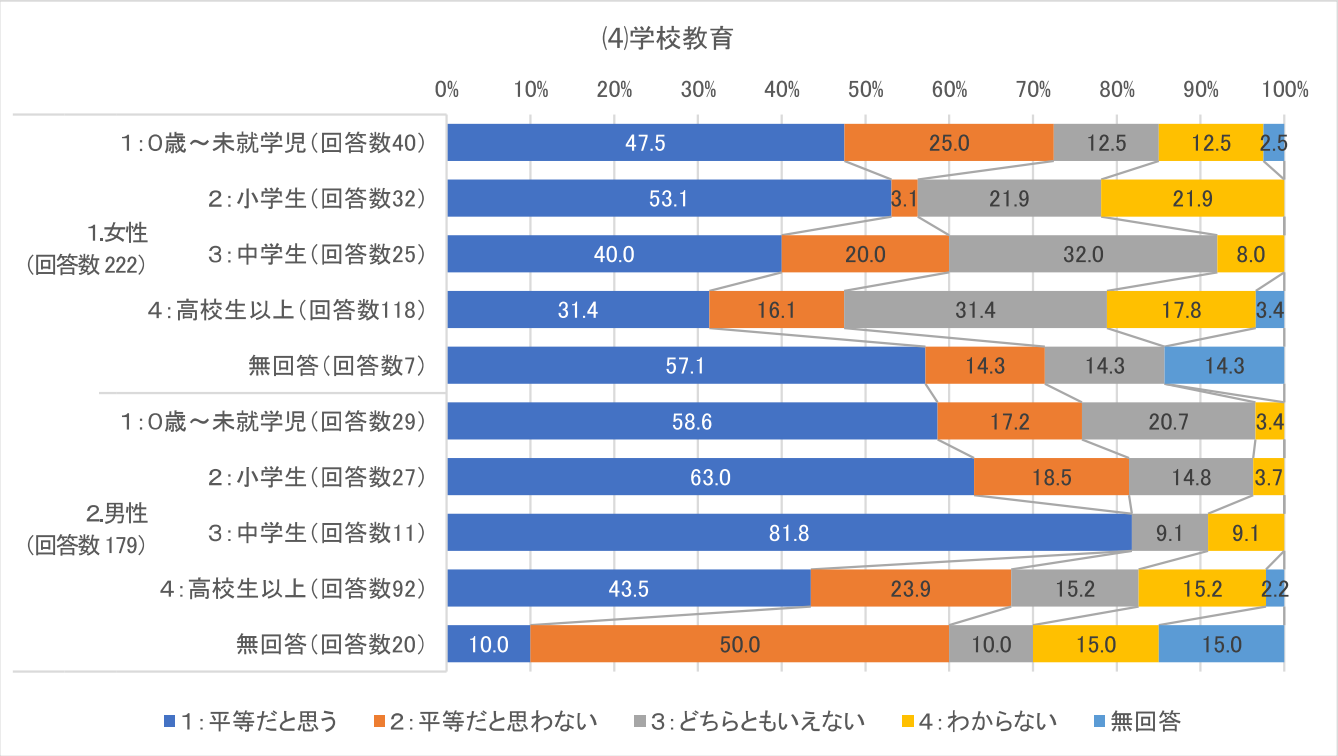
○「平等だと思う」割合は「男性:商工サービス業」の 60.0%が最も高くなっています(「男性:学生」を総数 1 のため除く)。

問２　性別×家族構成別(⑴家庭生活のみ)

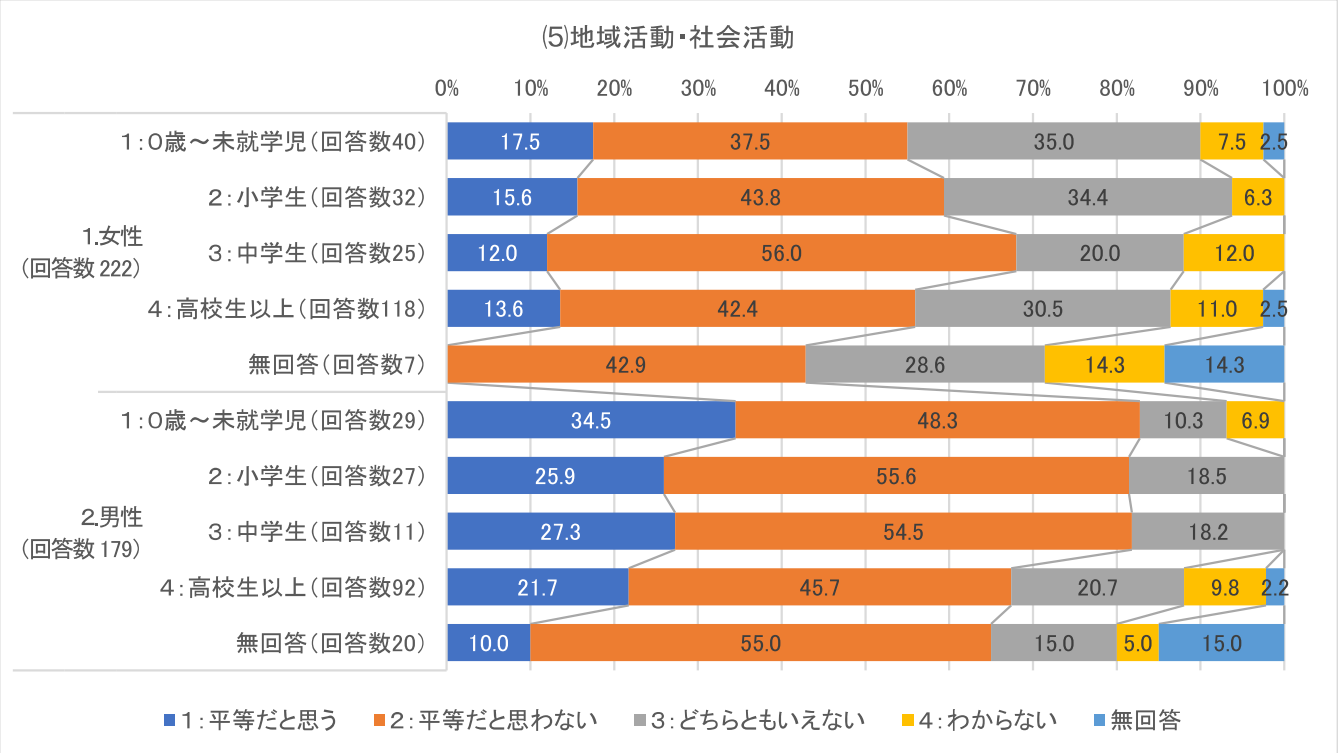


○女性は、すべての家族構成種別で「平等だと思わない」割合が高くなっています。一方、男性は、すべての家族構成種別で「平等だと思う」割合が高くなっています。

問２　性別×世帯の最年少者の年齢別((4)学校教育(5)地域活動･社会活動)



○「平等だと思う」割合は、「男性：中学生」の 81.8%が最も多く、次いで「男性：小学生」63.0%、「男性：0歳～未就学児」58.6%の順となっています。



○すべての属性で「平等だと思う」割合を「平等だと思わない」割合が上回っています。

問2－2　あなたが問2のように感じるのはなぜですか。理由や、具体的な事例、その他ご自由にお書きください。

性別	年齢	理由や具体的な事例
女性	18･19歳	昔よりかは平等になりつつあるとは思うが、昔からの偏見などがまだ残っていると考えるから。
女性	20代	⑹国会議員の女性の割合はまだまだ低いと思う。⑺夫婦別姓が認められていないのは平等だとは思えない。⑻介護(家族内)や子育てを担う人は私の周りの人々の事例はどれも女性である。
女性	20代	“男尊女卑”文化はあり続けると感じる
女性	20代	その環境によるとしか思えないのでこのような回答にしました。
女性	20代	会社での給与の違い、妊娠出産育児などで仕事をしたくても出来ない期間が女性の方が多く不平等だと感じる
女性	20代	管理職はほとんどが男性である。賃金も男性の方が高い。
女性	20代	根っこが変わっていない気がする
女性	20代	自分が見えている範囲でしか判断出来ないため。
女性	20代	自分自身でも”女”だから　”男”だからという考えを一度思ってしまう時があるから
女性	20代	女性は社会から見てまだ弱い立場だと思うことがあるから
女性	20代	職場でも社会的にも風潮は、かなり平等になりつつあると思う。そういう場では平等にされ、家や個人の考えではまだ浸透していないので女性の負担が増えてる？ 実際、女性は妊娠、出産、pms、生理等、日常に支障をきたすことがある。全て平等が良いとも限らないと思うから。
女性	20代	制度としては平等になりつつあると思うが、その制度が反映されていないように感じるため
女性	20代	昔は女性が弱い立場ではあったかと思いますが、近年は女性も男性も関係なく職場や学校で働き学べているように思う。社会全体で見ても平等に感じる事が増えた。
女性	20代	男女平等に対して改善しようという動きがあることは感じているが、実際結果となって現れているのかはわからないため
女性	20代	男女平等はかなり進んできているとは思うが、田舎など地域によってはそうともいえない現状もあると思うから。
女性	20代	男性と女性とでは、身体的に違いがあるから。
女性	20代	非正規であるが働いていてその職場でも多少は感じる「男だから重いもの持って」「女だから料理して」など
女性	20代	平等になってきている部分も増えてきたがまだ不平等を感じる部分もある。
女性	20代	褒められるような良い場面でも、そうでない悪い場面でも、「女性なのに」や「女性なんだから」と、言われたり、言っているところを聞くことがあるため
女性	30代	(1)から(3)→自身の経験に於いては差別化された環境下に居たという認識ではない。ただケースバイケースで偏りはあるのも事実。 (4)と(5)→関与が無いため、近年の事情が判らない。 (6)と(7)→政治･法制に特別関心を持ち始めたのは岸田政権から石破政権に交代する頃から。知識が浅いため男女平等か否か明確さを示せない。 (8)と(9)→世間的に男女の役割に偏った固定観念があり性別差別が拭い切れていないと思う。
女性	30代	そもそも、男性は働き続けることが多い。女性は妊娠、出産、子育てとあるので、いくら分担したとしても長期働けなくなったりする。それはそれで役割分担として良いと思う。男性と女性は違う所があって当たり前。男女関係なく同じ人間は居ない。それが当たり前。ネット検索で、平等と公平の違いと調べれば出てくるが、まず公平であるべき。だからこそ平等になる。その人々の個性の違い、平等と公平、に対する認識を皆に知ってほしいと思う。ただ単純に「平等」と表現すると、その平等自体がそれぞれにとって意味が違う。
女性	30代	まだ昔の風潮で女性は家事、男性は力仕事とかそういうのが残っている感じがする。
女性	30代	家庭生活、職場で今はほぼ男女で待遇等に差を感じることはないですが、子供ができたら全く変わると思います。昇級に影響するので産休や育休を取ることが怖いと感じています。
女性	30代	過去に出世できるのは男性のみだった会社にいたことがあるため。 現在は女性の方が多い職場にいるため、そう思うことも少なくなったが全体的に見ればまだまだ平等と感じることの方が少ない。
女性	30代	給料の格差や、役員までいく男女差
女性	30代	結婚をしてから家庭生活や仕事における男女の不平等さを強く感じるようになりました。仕事も頑張りたい、妻として、嫁としても周囲の期待に応えたい…両立できませんでした。「子を産む」のは女性です。男性よりも女性のほうが「自分の生き方を」自由に選択しづらいと思っていますが、仕方ないのかなとも思っています。
女性	30代	子育てで女性が家庭で過ごすことが多くなり、社会の中で活躍できる期間が中断されてしまうから
女性	30代	子供が風邪を引けば休むのが多いのは母親、私は看護師なので夜勤ができないことで、正規雇用になれない。夫の帰りが遅いから子どもを一人にできない。夫側の育休は一般的でなく取れない、取れなければ妻が長く取る、キャリア形成には影響する 男の人は飲み会があれば行く、女の人は、子供がいればなかなかいけない、夫や親にお願いしないと参加できない。

性別	年齢	理由や具体的な事例
女性	30代	主人の祖父が亡くなった時、お通夜お葬式全てに嫁のわたしは参加したが、わたしの祖母の時は主人は全てには参加しなかった。 それを仕事だから男性は良しとするのは平等ではない。同じ夫婦なのに女性だけ苗字を変えるのも、平等ではない。わたしは苗字への愛着はあまりなかったが、嫌な人はとても嫌だと思う。
女性	30代	出産子育てでキャリアが途切れてしまい、同じ水準での就職が難しい。子育てをする為の育休なのに、取った男性にリスキリングを勧める、子供の体調不良で早退など結局女性に皺寄せが来ている
女性	30代	女性が家事、育児をするという意識が強い。私の家は夫婦共働きで働いている時間も給与もほぼ同じ。それでも男性が家事、育児をしていると「協力的」「いいだんなさんだね」「イクメン」と言われる。反対に女性が家事、育児を夫と分担していると、「料理くらいやらないと」「病院にお母さんが連れて行かなくていいの？」「楽できていいね」と言われる。女性も仕事をフルタイムでしているのになぜそんなことを言われるのか疑問。
女性	30代	女性には出産、子育てがあり、その分職場で配慮してもらうことがあったり、キャリアアップや転職活動をしづらいと感じることがあるため。
女性	30代	女性の方が優遇されていることもあるが、安全面などで平等とはいえないとおもう
女性	30代	女性はキャリアを捨て子育てに専念しないといけない
女性	30代	女性は妊娠･出産があるため、男性と平等ではないと感じる場面もあります。
女性	30代	職場でも地域でも意見が尊重されるのは男性の方が有利だと感じる場面が多い。世の中男女平等と様々なところで言っているが、やはり男性の方が有利な場面が多いと思う。
女性	30代	性差があるので平等はないと思います。男には男の役割、女には女の役割があります。平等平等ばかりでは生きづらい世の中だと思います。
女性	30代	正規と非正規のせいもあるかもしれないけど、仕事をしている以上非正規でも責任や仕事はあるのに、子供が体調不良の時などやっぱり父親より母親の方が休みやすいイメージがまだある。父親が仕事で子供を見れない時母親は休むのに母親が仕事で子供を見れない時父親は休めず、母親が仕事を諦めるか保育園の延長時間を利用することになる。
女性	30代	昔ながらの風習や環境が固定概念として植え付けられているため
女性	30代	昔の考えが今も残っていると感じる時があるため
女性	30代	全体的に男尊女卑はまだあると感じる。
女性	30代	男は働きに出て女は家事育児 夫の会社側もそう思っている
女性	30代	男女には様々な違いがあり、平等にするのは難しい点が多くあるから。男女共に働きやすかったり、家事を分担し合ったりしている人たちが増えたのは、平等であるし、良いことだと思う。
女性	30代	男性　女性　それぞれにできること できないことがあるから。
女性	30代	男性が優遇される場合、女性が優遇される場合のどちらもあるから。
女性	30代	男性と女性の違いから差別が生じてくる。価値観の違い。対応の違い。
女性	30代	働く時間とか子育てとか
女性	30代	夫婦どちらも同じレベルで家事、育児ができているから。性別ではなく能力で仕事がふられているから。政治界はお年寄り(男性)ばかりだから。女性の話は軽視されがちだから。
女性	30代	無意識に男性優位の考え方が根強いため。
女性	40代	どう見ても男と女は平等にはならないでしょ。
女性	40代	なかなかうまく行かないなって！長野では仕事があまりない。
女性	40代	まだまだ女性が家庭、男性が仕事という社会通念が強い。
女性	40代	まだまだ男性はこうあるべき、女性はこうあるべきという考えがあると感じるから。
女性	40代	以前結婚していた時、私自身もそうであり、現在では職場の同僚も、子どもの体調不良時には母親が休むのが当たり前のような夫婦の在り方が多く見られる。また、少なくはなったが、飲み会などへの参加も、男性は「この日に飲み会だから」と事後報告、女性は子どもの預け先や夕飯の準備など、まずは「飲みに行っても良いか？」の許可を得られなければいけないことが多かった。おかしいと思う。
女性	40代	育児休業や仕事のキャリアにおいてまだ平等ではないと思う。子供が体調不良で休まなくてはいけない時などやはり男性は休みにくい。企業、上司の価値観などがまだ変わりきっていないように感じる。環境が整わないと、結局女性ばかり負担が偏ったままになる。
女性	40代	家事や育児は女性が担って当然という意識が社会にはまだ根強いと感じるので、まだまだ平等には程遠いと思う。男女の脳機能の違いもあるのか、男性は色々なことに気が付きにくく、主体的には動かず、お手伝い程度で、やった気になっていることが多い。女性は、家事育児に加えて、今は仕事もして当然という風潮があって、女性だけの負担が増えていると思う。
女性	40代	家事育児は女性が中心。若い夫婦でも同じ状況の家庭が多い。それにより仕事でも女性はパートにならざるをえない。
女性	40代	家事分担は女性の方が多い。職場の管理者が少ない。

性別	年齢	理由や具体的な事例
女性	40代	家庭は女性が家事育児当たり前と思われてる
女性	40代	完全に平等である必要はないと考える。適材適所で良いと思う。女性が不平等だと考える場面は、自分が子育てや介護で働けない時に、休むことが出来なかったり、反対に手が離れてたくさん働きたくなった時には、一度仕事を辞めてしまうと正社員に戻ることが難しい。能力がある女性はどんどん登用されればよいし、逆にセーブしたいときにそうできて、戻りたい局面ではその途中休憩がハンデにならないような制度作りだったり、価値観の共有が大切だと感じている。
女性	40代	共働きの夫婦でも、家事は女性がやることの比率が高い。女性が管理職をやるとしても、どうしても職をまっとうするには既婚で子持ちは難しいと思う。
女性	40代	共働きの方達をみて、女性の負担が大きいと感じるご家族が見受けられます。仕事、家事、子育て、学校の役員、地区の役員をすべて女性がやっているご家庭もある。そしてやはりお給料の格差がまだある。
女性	40代	現在の事は分からないですが、10 年位前に事務の仕事をしていたのですが、同じ仕事内容なのに男性の方がお給料が高かったです。上記の職場の結婚式 ご祝儀:男性の結婚式は 2 万円、女性の結婚式は 1 万円、包んで行くルールがありました。(男性の結婚式はプラス 1 万円)
女性	40代	古い考えの男性がまだ多いと思う
女性	40代	子育てに関して女性が担う事が多い為
女性	40代	子供の学校行事等は大体母親が参加している。そのため休まなければならない。
女性	40代	時と場合により違うから
女性	40代	社会通念、慣習、しきたりなど地方ならではの考え方が強いのでは…。賃金の格差があると思う。男性(夫)に頼らざるを得ない現状があると思う。
女性	40代	主に家事・育児は女性がやるのが当たり前で、男性がやるのは『手伝い』といった概念が、我が家にはあるように思う。外で働いていても、我が家では家事・育児は全て私がやって当たり前でした。極稀に掛けられる言葉は、手伝おうか？ 手伝うという言葉がすでに、自分のやるべきことでは無いと思っているからでは？
女性	40代	女性が弱い立場だと感じることが多い。制度があっても、実際運用されていなかったりカタチだけの制度が多い
女性	40代	女性だから、男性だからと強制されることが無いのでわからない
女性	40代	女性だから、男性だからと言って不利益を被ったり不当に扱われる事は無いです。良い意味で女性だからと言って配慮してもらえる事はよくあります。(力仕事を替わってもらったり)それを皆がどう感じているかは分かりません。
女性	40代	女性でなければ、とか男性でなければという仕事や役割が多いように思うこと
女性	40代	女性の方が給料が低い気がする
女性	40代	女性は仕事もして家事もやり子供の部活や塾の送迎などもこなさないとならないからです。
女性	40代	少しずつ男女平等と言えるようになってきてはいるが、それぞれの特性を考えるときっちりと平等というのは無理があるから
女性	40代	生物学的な男女の違いがある以上、すべてが平等にはなり得ないと考えるから
女性	40代	全てにおいて男女平等にするには難しいと思う。男女より個々の能力や向き不向きも影響してくると思うから。
女性	40代	男女に違いはあるため、平等にはならないと考えている
女性	40代	同じように働いても給料や賞与が平等ではない。家庭において昭和生まれの父は家事をやらない。
女性	40代	妊娠出産した後の就職はとても難しいと思うから。
女性	40代	平等であろうとしているが、実際は行われていることは(結果は)平等とは思えないことが多い(特に会社で)
女性	50代	「男性は仕事、女性は家事、育児等」お互いを思いやり時間のやり繰りをして出来る方がやればよいが、なかなか難しい。男の子は青、女の子はピンク。男性はたくましく、女性はおしとやかなどの固定観念がある。まだ男女平等ではないと感じた。
女性	50代	家庭では家事を母がほとんどやり、子育てでも母、学校関係も母ということが多い。子どもが病気になったら必ず母が仕事を休むことが、暗黙の了解となっている。
女性	50代	家庭において家事・育児がどうしても女性の担当になるため、仕事との両立に苦労をする女性が多いと思います。男性の意識の問題や慣習もあるかと思います。また年金の受取制度においても女性が先に亡くなった場合、男性側の受取には制限があるのはおかしいと思っています。
女性	50代	我々の昭和世代ではまだまだそんなもんです
女性	50代	学生までは男女同じに学んでいる。職業選択にもよるが、給与が違う。子どもの対応も平等にならない。それは家庭間の問題なのかもしれないが。
女性	50代	古い考えを更新しない人がまだ大勢いる
女性	50代	仕事ができない人、上司に気に入られている人だけが正社員になっていく。男性ユニフォームを着ていたら評価を下げられた。
女性	50代	就職をする上で男女の不公平さを感じる事がある。地域でも男性優位で進められている事が多い。

性別	年齢	理由や具体的な事例
女性	50代	女性が家事育児をするのが当たり前だと思われている。地域活動は母親が出ることがほとんど。会長は男性が多いが実際に活動するのは女性。
女性	50代	女性は家事、男性は仕事の社会通念、男尊女卑の風潮が根強い
女性	50代	女性も優遇されている面も多々あると思いますが、全体を平にしてみた場合、まだ女性が不利になる事が多いような気もする。
女性	50代	女性より男性の方が大きな責任を担うことができるし、なにより社会全体が女性より男性を責任ある立場にする傾向がある。
女性	50代	女性活躍の場が少ないと感じる
女性	50代	職場では、今でも昔ながらの考え方の、男性がいる。男尊女卑というのか。
女性	50代	職場の上司　役員は殆どが男性。女性目線の意見を求められても　結局は男性優位な会社です　会社の規模はとても大きく　福利厚生も充実していると思いますが　現状　男性優位の会社でも　今　1番下の高校3年生の子供の受験を控えて思う事は　子育てが最優先で 会社の雰囲気が男性優位だとしてもそこが　私にとって1番の主張したい事ではなくて　例えば　納得出来ない事があったとしても　今晩の夕飯の事　PTAの事習い事の送迎などなど　待ったなしで子供の事を考えないと　いけない子育て時間を過ごしてきました。 男女平等を　考えると言うよりはこれまでの経験から　意見　希望　要望を　伝えたいと思う気持ちの方が大きいと思います。
女性	50代	性別で不都合を感じたことはあまりない。
女性	50代	正社員で働きながら家事をするのがほぼ私なので 給与が平等ではない
女性	50代	昔からのしきたりや体格差など平等であるべきだという意識はあると思うがなかなかそうはいかない気がする
女性	50代	昔に比べると、平等に近づいているが、まだまだそうでない意識や慣習が立ち遅れていたり、法整備が不十分であると思うから。
女性	50代	全てが同じ(平等)はありえないから
女性	50代	男と女は身体の作り思考が違うので全てが平等にはならない 人として考える内容、事柄は平等でなければいけない
女性	50代	男子厨房に入らずの世代やその親に育てられた世代では、表面的には男女平等をいいつつも根付いた男尊女卑の考えが残っている。ちょっとした時の言動であったり態度に感ずることがある。
女性	50代	男女平等とは言え力を必要とする仕事を女性が出来るとは思えないし、向き不向きはあると思うので。ただ家庭においては出来ることは手伝う位はお互いしてもいいと思う。料理は奥さんなら掃除はだんな様でタイヤ交換をだんなさんがしたら、洗車は奥さんとかお互いにしてこそ平等。
女性	50代	男女平等については年代に差があると思います。 日本は古くから男性が上との意識が精神に根付いているので当たり前になっていると思います。これは男性のせいでは決して無く教育、しきたりです。でも今の若い世代は世界に目を向け意識も変わってきているので学ぶ事が多いです。 昔はこうだったからという考え方をもっと社会全体で変えないと変わらないと思います。 その一番はお母さんを大事にするという思いやり、感謝が大事だと思います。 偉人やオリンピック選手など素晴らしい方は皆んなお母さんを大事にする意識が大きな結果に繋がると思います。
女性	50代	男女平等のこの世の中ですがまだまだ男女の格差を感じます。教育の場では入学試験、就職においては採用に関しても男性優位では？と思います。
女性	50代	男性が決定権を持つ場面が多いと感じる
女性	50代	男性だからやるべきこと、女性だからやるべきことなどが今だに根強い。「子供がいるから休日出勤は男性がやればいい」とか「トイレは女性が掃除すればいい」とか。
女性	50代	男性と女性では、身体のつくりが違うのだから平等にやろうとするのは無理が出てくるのではないでしょうか？何に対して平等なのか、その都度考える方が良いと思いますが、その時間がどれくらいあるのか、どれくらい掛かるのかわからないのでなんとも言えません。
女性	50代	男性は外で働いて、女性は仕事をしていても家事をしなければならないという不平等さを感じる
女性	50代	独身であり職場も長く勤めているため、あまり気にしたことがない
女性	50代	謎の笑顔、甘えた仕草や話し方、意見を言わない、反論しない女性が優遇される場面を目にすることが少なくない。
女性	50代	年齢の高い方の意識は変わらないと感じるから
女性	50代	年齢層によって昔ながらをよしとする方今の少人数での活動への理解どれも主張すればいざこざになるしお互いを譲り合い良くしていこうと言う心持ちが男性方は少ないと感じる
女性	50代	夫より主婦の方が業務が多い
女性	50代	平等かそうでないかよりも、不満がなく男女が互いに助け合っていければ良いと思っています。
女性	60代	①家庭ではお金の管理をしている女性が多いから。②③力仕事は男性の方が向いている。④⑤教育は平等だと思う。⑥⑦決定する人達は男性が多いので。⑧⑨いろいろ人によって異なるから若い時から掃除、洗濯、食事の用意、農作業等ぜんぶこなす男性(今は高齢)を知

性別	年齢	理由や具体的な事例
		っています。奥さんは農作業はします。社会通念とはずれているように見えますが、誰も変だと思っていないです。昔から「それぞれみんなちがってみんないい」だったようです。
女性	60代	いままで生活してきたうえで感じた。
女性	60代	どちらか一方の立場からものを見る慣習が残っていると思うので
女性	60代	まだまだ男性は仕事、女性は家事、子育ての固定された考えが抜けない。もっと女性も外に出て活躍できる場所ができるとよいと思う。
女性	60代	暗黙の了解か、しきたりか、習慣で男性を立てる社会であるから。
女性	60代	家事は女がする事という風潮は相変わらず強いと思う
女性	60代	家事全般、女性
女性	60代	家庭内では夫婦でお互いに助け合って生活していると思う。政治他、対外的なところでは男性数が多く女性の活躍する場所が少ないと感じる。
女性	60代	家庭内では平等になってきているが会社では仕事量など同じでもお給料面で格差があると思う。
女性	60代	会社等で、男性の昇進が早く、結婚出産などで、更に女性の昇進が遅れるのが当然のような仕組みになっている印象。また、女性がそれを甘んじて受け入れている。
女性	60代	感覚、具体的な出来事があった訳ではないが空気感をそんなふうに感じる時がある。
女性	60代	給料の差で年金などのお金が男女で大きな差があります
女性	60代	結婚したら男性側の苗字に変わり、家事、育児は女性がする…などの風潮がある。
女性	60代	今だに昔ながらの風習、しきたり等あると思う。
女性	60代	今の時代と我々の「だんかい」時代とはだいぶ違う、今は家事等も男性でもやっているので平等に近いと思う。
女性	60代	今はパワハラ、セクハラ等、訴える場所がありますが私が働いていた若い頃、暴力やタバコを勝手に吸うなどそれが当たり前の時代でした。今でも見えないところに問題はあると思いますが、日本の男尊女卑はまだ続くと思います。長男だから…とか意味ないと思います。
女性	60代	今まで生きてきて職場では職種上あまり極端な男女差別は感じた事はなかったが、結婚したとたんに変わった。まだ夫もまだ義家族も結婚前は私に対して「あなたは仕事持ってるし続けていいよ。今は男女平等だから」と調子いいことを言っていたが、籍入れたとたんに逆転、モラハラ、DV、独身時代の私の貯金も「嫁に来たらオレのものだ」と取られ、今は何とか別れることを目指している…が、お金も住むところもなく難しい。人にもよるだろうが地域は全く男女平等だとは思わない。都合のいいように「男女平等」という言葉を使い、弱い立場の者に押し付けている。
女性	60代	参考資料にもある様に、市町村議会や自治会長、公立小、中学校の PTA 会長などに占める女性の割合がほとんど 50%に満たない状況であるため。
女性	60代	参考資料を頂き、その中にも市町村議員、自治会長、小中学校の PTA 会長なども女性の数は少ない。家庭の中でも家事は女性の仕事と当たり前のようにやっている。
女性	60代	子供の頃からの育てられ方、習慣の中に不平等があったと思う。
女性	60代	社会通念や慣習において、こうあらねばならないと言う考え方が深く根付いているから。でも、それは全否定できるものではない。
女性	60代	就職では「女性は結婚・出産で辞めるから」という認識が強いと思います。地域社会活動では男性が大変な仕事を担う事が多いと思います。
女性	60代	女ではやれる事が限られてくる。家事等に時間がとられ社会への参加時間が少なくなる。
女性	60代	女性だからとか、女性がやるべき(逆も)という風潮はなかなかなくならない
女性	60代	女性だから会社などお茶入れ、おそうじは女性の仕事。お給料も女性の設定。
女性	60代	女性はこうあるべき、男性はこうあるべきと昔からの考えがまだ継続されているように思う
女性	60代	人によりえこひいきが多い。(同じ失敗をしても気に入られている人はそれが大きな失敗だったとしてもチャンスがもらえる)
女性	60代	人事面、職務内容、給料、昇格の格差がある
女性	60代	政治的に女性を社会的上位と頭打ちの人数に出しているが、裏では男性主義の影がちらついている。
女性	60代	昔からの習慣であったり、現在とは違う教育、教えがありその考え方などを変更すること、馴染んでいくことが難しいと思います。
女性	60代	昔に比べて平等に近づいていると思いますが、国別の統計では、日本の順位は後ろの方だから。
女性	60代	体力、能力の違い、物の考え方の違いなど
女性	60代	退職しましたが看護師をしていました。業務内容や委員会活動などでは、男女差はありませんでした。現在の地域活動などでは、まだまだ古い風習も残っている場面もみられます。それでも色々な役員に女性がなっていることを考えると、平等の意識は高まっていると思います。
女性	60代	大学生の就活時、東京の民間企業を受けると、自宅通勤でないと、それだけではじかれる。定年まで働きたいと言うと、あなた結婚しないのですか、と言われて不採用。女性は 3、4 年勤めて、寿退社があたりまえの時代だった。教員採用試験も、女子は A が多くないとダメと言われた。広告代理店就職後も、その業務のほぼ全部を私が担うことになるのに、クライアントにはアシスタントと紹介される。実際の業務内容は男性と全く同じで、日本全国出張する。家庭では、調理、買い物、片付け、掃除など全般を、フルタイム働いていても担う。夫は家事は

性別	年齢	理由や具体的な事例
		手伝うという感覚。子供の習い事への送迎はだいたいやってもらった。長野県内での仕事は教員なので、業務内容は男性と同じ。子供のPTA も同様で、参観日に見にくるのは母親が大半。クラス単位の役員や、地域の長は女性が担うなど。社会通念上、女性自身も、結婚して子供を産むことが良しとされていて、特に田舎では、その概念に縛られている人が多い。
女性	60代	男女平等であればいいのですがやはり体力面で男の人には勝てないことが多いので、すごいなと思っています。
女性	60代	男性の協力が得られるようになったとはいえ、まだまだ出産、育児、家事に対して女性の負担が大きい。男性は女性を手伝っているという感覚が拭えない。
女性	60代	男性女性よりも個人で分けるべきと思う
女性	60代	長い歴史の中での家父長制度や男尊女卑があっての現在なので中々難しいと思います。こどもが生まれたらそういった考えを植え付けない様に家庭や学校で教育していくことを心がけていったらいいと思います。
女性	60代	不平等だと思う事が不平等につながるから
女性	60代	夫婦の年代にもよりますが、昭和30年前後の男性は皆がそうだとは言いかねますが、家事をしない、手伝わない、40代の子供世代の夫婦の男性は平等にしてますよね。仕事面も経験にともない、同じことしてる毎日だったのにお給料、ボーナスは全然女性の方が少なかった。今はわかりません。
女性	60代	平等だから良いとは思いますが、環境や場面によって　その都度感じ方が変わります。 女性の意見を反映させて頂く事は大切ですが　女性　男性に関わらず　役職を適切に遂行出来るかが課題かと思います。
女性	60代	法的には改善されつつあるけれど、社会においては、男性優位の意識がまだまだ残っている。
女性	70代	まだまだ男女の格差が大きい 特に地域社会、社会通念しきたり政治等、女性が活躍できる状況でない。仕事の面でも女性の育児や家事の負担も大きいので大変。女性が活躍できる条件を整備しないと難しい。
女性	70代	やはり女性はまだ低く見られていると思う。テレビなどの歴史物が女性が低く見られている様子が映し出されているので、高齢になると思いが頭の隅に残っているので自分も女性として思っています。
女性	70代	家庭では、家事等を分担しているし、子育ても協力して行ってきた。また、家計もお互いに収入に応じて担ってきたが、決定権だったり威圧を感じたりする。制度的には賃金格差や役職などの性差があると思う。地方に転居して思うことは、自治会等は女性の参加も少なく思う。自治会の催しでのスーツにネクタイ姿等に圧力を感じる。
女性	70代	私には理解することが難しいです
女性	70代	私は移住者です。このあたりの地域性は男性中心です。
女性	70代	女なんだから、とか女のくせにと言う発言をよく聞く
女性	70代	女性は全ての面においてたいへんなので
女性	70代	昭和生まれなので当たり前の世の中で生きてきました。仕方ないかな…、でもこれで良いと思っています。ある程度男性をたてることで男性も頑張ろうと思う人もいるのではないでしょうか。頼りになる男性、素敵と思います。女性も出来ること出来ないこと、頼れる人が良いのではないでしょうか。
女性	70代	生活面で平等ではない
女性	70代	昔に比べ男女の差は少なくなってきているが、まだまだ家庭の事は女性がやるものだ、という風習は根強く残っている
女性	70代	男尊女卑の思想が残っているから
女性	70代	地域活動でも女性自治会長等これまでで一度も女性の名前等出てきた事もなく祭りの際も男性が出席するのがあたり前となっており行きたくても行きづらい。
女性	70代	日本社会ではまだまだ男性の方が尊ばれているような気がいたします。女性ももっと積極的に参加していくべき（ある程度余裕ができたら）
女性	70代	夫が昔の考え方だから家事について協力的でない
女性	80歳以上	やはり男性、女性は体、考え方、性格等すべてちがいます。日常の生活の中でも男性ではできない事、女性でなければできないことがあるようにすべて同じにはできないのでは。例として子供を育てるにも男性と女性では同じではないようにお互いにマイナス点プラス点があるように。個性がそれぞれある以上は平等にはならないと思います。
女性	80歳以上	嫁としては女中の様に使われ、母としては子育て、料理、食事の用意、妻としては家計は任せてもらえない。夫の給料、退職金、畑の売り金額知らず。妻には今介護（夫、舅、姑）の仕事。（すでに介護は終了）最後まで只働いてきた。主婦には定年がない?
女性	80歳以上	家事や育児の負担の割合が女性が多いと思う
女性	80歳以上	現在の社会がよくわからない
女性	80歳以上	今年初めて女性の総理大臣が誕生した。
女性	80歳以上	男・女の給料の格差。市会議員の女性人数が少なく女性の意見も少ない。自治会においても同じです。
女性	80歳以上	同じ仕事をしても女性のほうが給料が安い。女のくせに…と言われる。
男性	18・19歳	データ統計やテレビの情報を見てまだ平等でないと感じた。しかし現在は少しずつ改善されてきている事も実際感じている。

性別	年齢	理由や具体的な事例
男性	18･19歳	近年では男女平等ということはほとんどの場面で感じています。それは近年の普通と言えるものであり、平等でないことがおかしいとなってきているからです。一方で昔の慣習などといった項目では未だに平等ではないと感じる部分が少しあるのかなと思います。
男性	18･19歳	近年のニュースから不平等とは感じられないから
男性	18･19歳	就職、採用、職場に関しては働いていないのでわからない。また学校教育の場についても少し私には分からないが、政治に於いて議員数に関しては戦後から増加の傾向にあるので平等というものには近づいているのかもしれないが、比率が世界に於いて 186 ヶ国の内 164 位と世界的に見て低いということは明確なので平等ということは難しいといえる。しかし、昨今の女性優遇の試験制度であったり、重要な物事を決定することの上で能力が伴っていないのにも関わらず、それを採用し無理やり女性を増やしても形だけの男女平等があると考えられ、賛成は難しい。制度を決定するうえで重視するべきは男女平等ではなく成果、能力主義であると私は考えるから。
男性	18･19歳	女性は痴漢などの事例で法的優遇を受けていると思うので平等ではないと思う。が公平であると思う。
男性	20代	どちらかを優先する考えが多いと思うから
男性	20代	就職、採用、職場においては私自身「男だから…、女だから…」というのはそこまでは感じませんが、私が経験していない部分で不公平、不平等を感じている方はいらっしゃると思います。政治や法制などはスマホなどで情報をチェックしていますが、「女性だからこう…」みたいなものがまだある感じがして「何か古いなぁ」ってたまに思います。
男性	20代	女性の方が損しているなとかんじる
男性	20代	性別により差異が生じるのは仕方ないことだと思う。その差異が平等かどうかについての判断は個々の状況によって異なるように思う。そのため、客観的に見ると社会的には男女平等は浸透しているように感じている。
男性	20代	生物としての身体能力、考え方の違いが存在するから
男性	20代	大相撲で優勝した力士に内閣総理大臣賞を渡す時(職務があったが)高市首相が土俵にあがれない。いつまでそのような慣習をするのか。
男性	20代	男女平等は人によって感じ方が違いすぎて「正解」がないと思う。ニュース等では「男女平等！」と叫ばれる一方、SNS では「男が〇〇〇」「女が〇〇〇」と押し付け合う投稿が溢れている。正直「平等」を大声で押す人ほど自分の都合のいいルールしか求めてないんじゃないかと疑ってしまう。自分は男女関係なく接するように心がけているが最近の「男はこう」って空気が女性とかかわること自体に抵抗を感じさせる。もし娘がいたらセクハラなどの被害なく安全に暮らしやすい人生を送ってほしい。それが一番の願いだ。でも結局これは終わりが見えない問題で「そういう時代」なだけなのかもしれない。男女平等より、人が人にどう思いやりを持つかそっちが本質だと感じるのですべてわからないと回答した。
男性	20代	平等をどう定義するかにもよるが、妊娠出産によりどこまでも見方が変わると思う。
男性	30代	風習、しきたりなどは、まだ平等とは言えないが、仕方のない面もあると思う
男性	30代	まだ女性管理職が少ない実態を見ると平等とは言えない。
男性	30代	機会さえ平等であれば、男女の不平等は問題では無いと思う。男に有利なこともあれば女に有利なこともあり、体力も違えば能力も違うので性差はあってしかるべきだと思う。
男性	30代	現状、⑻について、平等だと感じていない。社会全体では平等になりつつある。
男性	30代	女性、男性で体の機能が違う為役割が異なるのは必然と思う。一方で仕事等で性差によらない部分では、性による区別でなく能力による区別をつけるべき。よって女性割合を決めるのではなく、能力があれば男であれ女であれ LGBTQ であれ、そのポジションにつけるべき。結果の平等でなく機会の平等が必要。
男性	30代	女性が家事をするのが当たり前と思う人が多い
男性	30代	女性は子どもが産まれたら子育て優先になると思う
男性	30代	女性方が育児をするのが当たり前の社会が構築されてる。その為女性のキャリア不足が懸念されていると考えます。
男性	30代	性別の違いによる、能力の差はそれぞれあるのだからそもそも平等にはなれないと思うから。ただし職場では同じ仕事ができたり機会も同じため平等。
男性	30代	生活していてそのように感じるからです
男性	30代	男女の区別無く生活できる社会こそ自然であると思います。また男性の立場から発言するのであれば、危険な仕事などは引き受けたいと思っています。
男性	30代	男女平等は大切ですが、収入面、身体の構造の違いや働き方など多方面で違いがあるので一概には平等とは言えないと思います。 以前結婚する前の話ですが複数人で話しをした際に女性と外食をした際、お食事代はどちらが出す？何割の比率で出すか、男性が率先して出すべきか議論になりました。 マッチングアプリの料金の男女での金額の違いを見ても平等で無いところなど男性が損をする事が多いと思います。
男性	30代	男性と女性の区別がある以上平等であることはないと考えるから
男性	30代	男性の方が昇格しやすい風潮はまだある

性別	年齢	理由や具体的な事例
男性	30代	法律の整備などによって、学校教育やその出口段階の就職時にはかなり平等が達成されているように感じる。しかし、特に結婚し子どもがいる場合など、家庭での母親の役割が大きいように感じている。その結果、女性は労働に集中することができなくなり、給与差などが生まれているのではないか。
男性	40代	どちらかにとっての不平等は状況や思想によりどちらにも起こり得るものと思います。
男性	40代	一律に論じられるものではないから
男性	40代	私が子どもの世話を主に担当していますが、保育園の送り迎えや保育参観、PTA 活動への参加を通じて、母親の参加が中心であり、男性は私一人という場面が多く、男女の壁を感じることがあります。
男性	40代	女系天皇容認してないあたり皇室典範からして社会は平等ではない。
男性	40代	女性が働きやすい環境が整っている企業がまだ少ないと感じる
男性	40代	職種によって男性と女性の数の比率が違う為
男性	40代	職場では違いを是正しようとしていて効果も感じられるが、地域活動、政治、慣習は不平等と感じられる点が多く、是正措置も活動自体が弱い。
男性	40代	職場では仕事内容は違えど、営業(男性)と事務(女性)で互いに専門的な仕事だと思うが給料が、あからさまに違う。(事務の方が低い)
男性	40代	職場においては、男性ほど昇進するが女性は昇進しにくく、所得が少ないイメージがある。また産休が取れる企業は未だ少なく、出産時に女性は仕事を辞職しなければならないなど子育てしにくい社会であるイメージがある。
男性	40代	世の中においてレディースデーはあるが男の人で割引等ないから
男性	40代	世界的にも男女平等に拘りすぎていると思う。男にしか出来ない事、女にしか出来ない事があるのにそういう事を考えられていないような気がする。
男性	40代	昔から男性の方が優位な立場にある感じがするから
男性	40代	男だから、女だからの様な発言を良く聞くから。
男性	40代	男は男なりの、女は女しかできないことをそれぞれの役割と思っているため。 政治や法制に関しては、表面上のことしか知らないため。
男性	40代	男女それぞれでしかできない事もある
男性	40代	男女間では明らかに出来ること、得手不得手が違うから
男性	40代	男性ですが、場面によっては女性優位な場面もあるため重労働は男性がやるべきという風潮がある
男性	40代	男性と女性で根本的に違いがあるから
男性	40代	男性目線では平等と思っていても、女性目線ではそう思えない部分もあるのではないかと思ったから。
男性	40代	日本全体がいまだに古い封建的な制度や思想の中で暮らす市民(国民)が余りにも多いこと。メディアや行政、政治、企業全体過去から続く封建的な思想がまだまだ色濃く残っているので。
男性	40代	平等だと思うから感じるからです。むしろ男女共同参画という名の一方的な不平等の押し付けを感じます。
男性	40代	平等の定義は何なのか？ある人が平等と思うものが自分にとって平等だとは思えない。
男性	50代	2-1 同僚の女性達は家事全般をほぼやっている。 2-2 現在勤めている会社でも男性が欲しいところと女性が欲しいところとある。 2-3 職場では女性でも仕事ができる人を正社員にしたり昇格させている。 2-4 学校の教師で女性の教頭や校長がまだまだ少ない。校長教頭含めて教員全体の働き方を変えないといけないかも知れないが。 2-6 知事や市町村長また市議会など女性の立候補が少なすぎる。 2-7 女性に有利な法制や政策はあるが男性にはない。 2-8 日赤奉仕団などがまさにしきたりで無意味では。男性も参画できるようにした方が良い。 2-9 先に挙げたように全体的に平等とは思えない。
男性	50代	だいぶ女性は家事育児の考えが少なくなってきていると思うがまだ残っていると感じる。
男性	50代	てきとうだと思う
男性	50代	やはり昔かたぎ的な考えの人が多い気がします。家庭の料理などは女性が作るとか。
男性	50代	以前より平等になってきているがまだ男性だからとか女性だからという雰囲気を感じる時がある。
男性	50代	介護や養育に置いて、女性の負担が大きいと思うから
男性	50代	学生を観ると感じないが社会や会社を観ると平等に思えない、レディースデーは平等と思えない。
男性	50代	管理職は男性のイメージが強い。面倒な事は好まない女性が多い。
男性	50代	基本平等でいいと思うが男性のいい所、女性のいい所でそれぞれ違うのでお互いに尊重しあうのがベストだと思う。平等といいながらも男は親権をとれない。男が女を助けていく、女が男を支えていく何千年もそうしてきた今、男のあり方、女のあり方を勘違いしてると思う。

性別	年齢	理由や具体的な事例
男性	50代	共働き家庭の場合お互い尊重し合い協力し合うことが大事。専業主婦家庭であっても家庭内の事は重労働だと感じます。今の時代に事務員に昼食を作らせる会社がありますね。当人たちは嫌がっているのに職権乱用ですかね。女性の発想、意見を多く取り入れていけば社会全体が変化していくと思いますよ。
男性	50代	近年は女性参画を意識しすぎて、逆に女性偏重な状態にあると感じる。 女性自身の意思によって参画は成り立つものであり、意思を持つ女性が少ない現実を感じる。 また、各自治会等の小規模団体においては女性を立てたくても断られ、男性は断ることさえ許されない状況もある。 また、議会等においては多少偏りがある意見でも女性なら通り、男性なら通らない等、ある種の「見た目」がものを言う状態が罷り通る状況も看過できない。
男性	50代	結婚に際しての姓の選択、仕事での休暇の取りやすさ、送付された資料から女性の社会参加が遅れていることが分かったから
男性	50代	現実として、男性に有利な社会になっている。女性は家庭の仕事を受け持ち、外の仕事は男性という雰囲気がまだある
男性	50代	公平と平等は違う。世の中は公平になろうとしている
男性	50代	今は高市総理ですが、女性初などという言葉をニュースなどで何度も聞きましたが、なんとなく平等でないのかなと思わせられました。警察官であれ、教師であれ、家庭の中であれ、性暴力という言葉も最近は毎日のように耳や目にします。やはり女性は男性から見ると弱い立場であるのかなと感じると同時に、非常に悲しくなりますね。 自分の家庭の中でいうと、自分は力仕事は率先してやりますし妻は料理が得意なのでそれぞれ得意だったり苦手だったりすることを補いながら生活していますので、平等であるかと問われれば必ずしもそうではないのかなぁとも思いました。平等って表現は難しいですよね。
男性	50代	今は女性も自己主張が強くなっているし、社会進出、権利主張も多くなってきた。男性も女性も同じ職場で働くケースも増えてきている。ただ子供を産み育てるところにおいては根本的に男と女の性質は異なるものであると認識している。
男性	50代	子を産むことができるのは身体的に女性のみであり、男性と平等の環境下では社会継続性の観点で真の平等を考えること自体ナンセンス。
男性	50代	社会が女性を活躍させる仕組みになってないし、させようとしてない
男性	50代	社会においては男性が決定権を持つことが多いと感じる
男性	50代	性別による有利不利は生じ得るという前提と、平等の定義づけがされていないこととが相まって、議論の本質にたどり着けない
男性	50代	生物学的に身体が違うので、全く平等にするのは難しい。また、男女というだけではなく多種多様な人が理解し助け合う社会にしなければならない。
男性	50代	男女双方ともに、社会の根底にある意識が、どのような場面においても、女性よりも男性を上に立てなければならないことを前提としているように思われる
男性	50代	男女平等であり差別のない社会になればいいと思います。
男性	50代	男性と女性はどうすれば平等であるかを大きく定義することに違和感があるから
男性	50代	男尊女卑、行き過ぎた女性優遇
男性	50代	賃金、待遇の格差
男性	50代	日本の歴史的な背景から現代においても根強く男女の役割や違いの考え方が残っていると感じるため
男性	50代	法制度が整ったことにより政治、経済界全般に男女平等が進んだと感じる。一方で高齢者が多い地域活動、高齢者の影響が強い慣習の分野では未だ男の威張りを感じる事がある。
男性	50代	本来持ちうる男性と女性の役割によって、社会全体が動いている感覚がある為
男性	60代	これが正解って言えることではないと思うから。
男性	60代	そう思うから
男性	60代	その場所々々によって、男性が優遇されたり、女性が優遇されたりしている所がまだまだ存在していると思うから
男性	60代	まだまだ、昔からの慣習として夫は生活費を稼ぎ妻は家庭を守るという風土が少し残っているから。今の若い人が引退する、つまり世代交代する時期にはかなり改善されると思う。
男性	60代	以前から男女の区別がある風習、習慣、しきたりがあると思う。
男性	60代	一部に男性優先の場面が見受けられる
男性	60代	家庭では女性が主に家事を行っている。しかも働きながらの方もいらっしゃる。私もこの年齢にて兼業を行って1年経過しましたが、とても両立できない。女性はすごいと思います。疲れます心身共に。男女共に役割分担できる、自然とできる社会になっていただきたい。
男性	60代	家庭生活、学校教育の面では、体力面の絶対的な違いから生ずる区別以外に、差別は減少傾向にあると思う。 この他においては、男性優位の傾向が数値的にも如実に現れている。 女性差別を撤廃する活動を、男性側も理解し応援する傾向も強さを増しているが、殊に地域活動・社会活動の場では、女性側が男性側に押し付けている傾向も感じられる。
男性	60代	家庭内では家事は女性がやることと決まっていることとか。

性別	年齢	理由や具体的な事例
男性	60代	会社にて働いていた時には感じなかったのですが、年をかさねて現在思うと平等ではないと思います。参考資料を見てもはっきりと数字に表れています。
男性	60代	各々の置かれている状況によってまだまだ違いが生ずるので。
男性	60代	各自それぞれの意識の違い
男性	60代	基本的に男性と女性は違う生物であります。平等を無理に押し付けるには無理があります。不可能です。
男性	60代	古い考え方、男のエゴ
男性	60代	自治会活動等において、女性が積極的に関わっていないなど、まだまだ男性優先の社会構造になっていると思います。
男性	60代	社会が男女共同参画社会の実現を目指しているから。
男性	60代	社会の慣習が残っている。女性も一部の人は、それを良しとして、積極的に関わろうとしない。
男性	60代	社会の中に男性だから、女性だからと言う慣例があり仕方ない
男性	60代	社会や企業では制度として男女の平等は保証されていると思うが，文化，慣習，身体能力の無意識な制約によって引き受ける役割に違いがあるように見える．選択の機会が平等であり，その機会を生かすか否かはそれぞれの個人の自由選択に任され，その結果として不平等に見える状況があるのならば，その状況は受容されるべきだと思う．
男性	60代	社会生活においては農家などは男性優位と思われる
男性	60代	社会通念などでは、昔ながらの考えを持った方がまだいるため
男性	60代	社会通念やしきたり、慣習などの思い込みがまだ多く存在していると思うので。 教育の場においては、対象者が存在してないので現時点では、分かりません。
男性	60代	周りを見れば、女性も同じ様な活躍をしているので。
男性	60代	就職や仕事等の機会は男女の差が無くなってきていると思われるが、社会通念や慣習等においては、男女平等の浸透が不十分と思われる。
男性	60代	女性＝弱者の観点から男性には無いサービスがある
男性	60代	女性が何事にも頑張ってきている。男性も積極的に家事をしている。
男性	60代	職種、賃金等において、平等とは言えない。
男性	60代	身近で感じたことがない
男性	60代	人はみんな違って当たり前、おたがいに尊重し合う事が大切と思う
男性	60代	制度をどのように変えても、男女の身体的特徴というものの違いはどうしようもなく、突き詰めて考えると、やはり平等とは感じられない部分が出てしまうと思われるためです。
男性	60代	政界や企業を見ても、男性が多い。平等とはいえ、発言力や体力等において、女性の方がリスクが多いのかな。それをフォローできる時代には、まだ難しいのか？
男性	60代	昔ながらの日本人の考えかたやしきたりがまだ少なからず残っているので。年配者の考え方が変わっていない。
男性	60代	責任という役職において男性のほうがけじめがつけられるが、女性は感情が豊かなうえに感情に流れやすいように思われます。
男性	60代	体力上の問題や身体の保安上の問題。（夜間一人で無防備にはさせられないとか）平等な扱いが危険に結びつくことが女性の場合あり得る。体面上も女性のほうが保つためのコストがいろいろな意味でかかる。
男性	60代	男は許されるのに女は許されないことがある 女性管理職が少ない、など
男性	60代	男女の性別による役割分担的な制度が必ず存在するから。
男性	60代	男性、女性で性別により役割が違う部分がある。力仕事、危険な仕事等社会全般では区別がある。平等と言うのであれば区別する必要は無いとなるが、それは違うと思うが、いいとこ取りの考えをする人もいる。 基本はお互い尊重し合い出来ることはするものと思う。
男性	60代	男性だけ、女性だけ、と分ける事がなくなったと思います
男性	60代	男性と女性は身体的および体力的に違いがあるため。作業的、特に力仕事などでは、当然だとおもう。
男性	60代	男性の体力がないと就けない仕事はある。
男性	60代	男性中心の社会が長かったから
男性	60代	地域の役員決め等でも平等でもない。採用でも実際には片寄りある。
男性	60代	非正規雇用における女性の比率が高い
男性	60代	平等と感じているから
男性	60代	法はある程度整っているが人々の考がそうなっていない。
男性	70代	しきたり、慣習、社会通念等で不平等が有ると思う
男性	70代	一部で男性優位になっていると思う

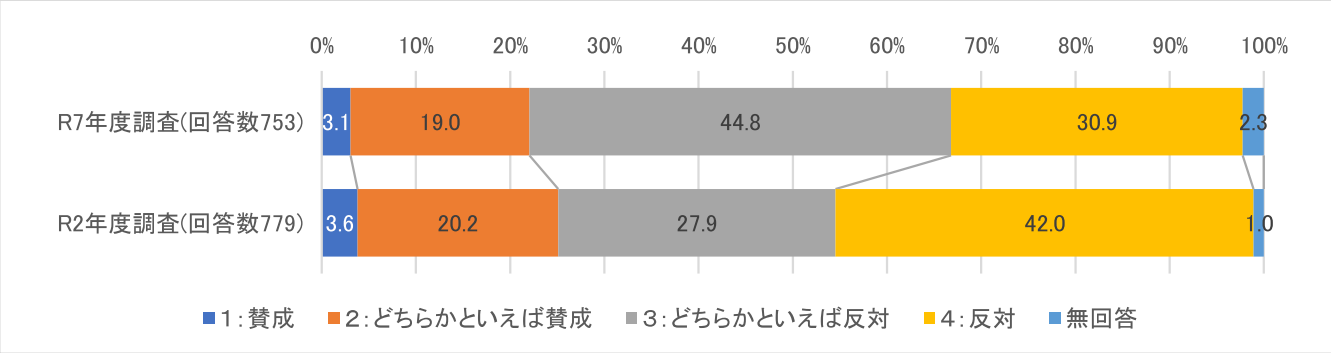
性別	年齢	理由や具体的な事例
男性	70代	現在は昔と違い男女の給与の格差がなくなってきている。職種によっては平等ではないと思う。
男性	70代	言葉では平等と言われているが、言葉どおりとは言えないように思う。
男性	70代	古くからの男尊女卑の風潮が続いている。
男性	70代	戸籍上世帯主は多くの場合男性になっている。家の代表者としてふるまい、女性が出てきて意見を表明する場が限られている。
男性	70代	高市政権が誕生して、女性初の首相が誕生したことが大きい。教育面でも最高学府へ進む女性が増えている。一方、地域での自治会役員で、役員は男性という意識が強い。また、職場での管理職で女性の登用があまり進んでいない側面もある。
男性	70代	仕事の内容、地域活動、しきたり等
男性	70代	子育てにおける様々な取り組みへの女性への支援が不足
男性	70代	子供の頃から母親からの教育で男女は平等であり嫁においても「嫁は夫の所有物でない」との教育で育ってきた。
男性	70代	資格社会を推進することで平等に近づくのではないか
男性	70代	社会の中では、女性はまだまだ活躍の場が少ないから。
男性	70代	社会的にやはり男女の関係は不平等と感じます
男性	70代	社会的常識として男の役割、女の役割が子供の頃から刷り込まれている。
男性	70代	女性は子供を産み育てていくうえで男性より色々な制限があるのは仕方がない 本来は一人の人間としてすべてが平等であるべきだとは思うが、多様化があまりにも叫ばれすぎていて正直やりづらい
男性	70代	職種によるのでは？採用の側にない
男性	70代	昔に比べれば制度面等で格差は解消されつつあるが、深層心理の部分では、これは男の領域、これは女の領域という意識はまだまだ拭えない感があるため。
男性	70代	男はこうあるべきだ、女性はこうあるべきだとの昔からの考えが続いていることが男女の平等を妨げているので、それをなくすことを続けることが必要。ただ、子供が小6ぐらいまでは家にだれか（両親、祖父母等）がいることが必要だと思う。
男性	70代	男女平等の意識の欠如
男性	70代	男女平等の下、差別的な言動や待遇を受けた事がありません。
男性	70代	男性優位な慣習が強いから
男性	70代	平等の比較はできない。
男性	70代	法律で平等であるから
男性	80歳以上	80歳過ぎの夫婦なのでよくわからない。
男性	80歳以上	テレビ、新聞などで見て聞いて感じている。
男性	80歳以上	現在基本的には社会活動、仕事、職場の中で男女同権であり女性に対して平等の機会を広く与えていると思いますが、若い女性は（20～30才台）はその考えが広く意識づいてきていますが、中年以上はまだあまり定着してないよう。女だから…とかそれは男性がやるべきとか…しり込みすることが多い。
男性	80歳以上	社会生活において、男女の差別的扱いは歴然と存在し、克服しなければならない課題はなお多くある。
男性	80歳以上	社会生活を通して
男性	80歳以上	従来の男性優位の考え方が高齢者中心にまだまだ残っている。
男性	80歳以上	女性の管理職等が少ない。男性優位の社会はよくない。
無回答	70代	何事にもまだまだ男性主導の（もの）が多くある社会であると思う

性別役割分担に関する意識について

問3 「男性は仕事、女性は家事・子育て・介護等」といった性別によって役割を固定する考え方について、あなたはどう思いますか。あなたの考えに近い番号を選び、○で囲んでください。(○は1つ)

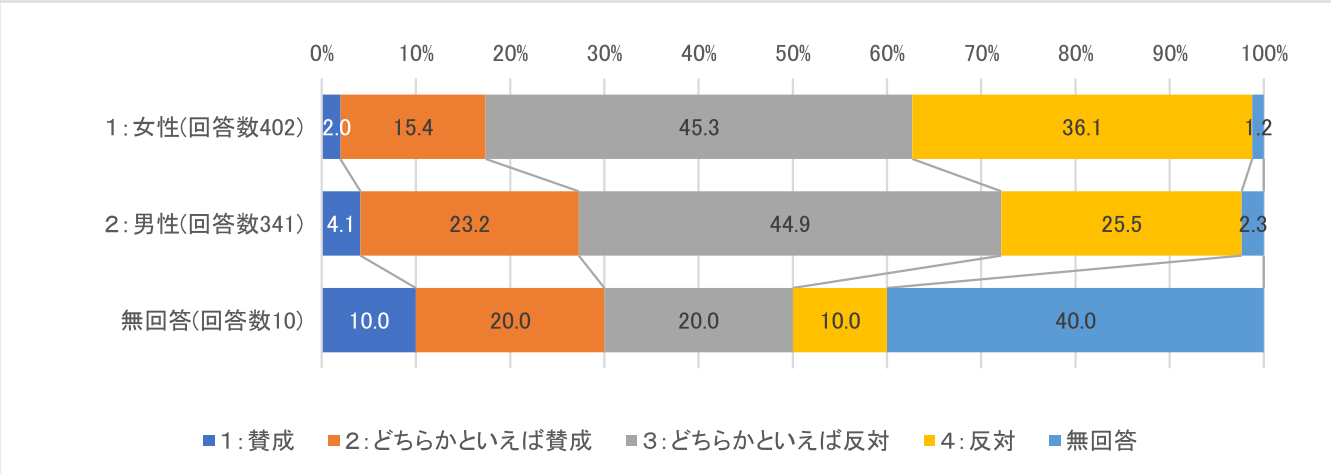
	集計	割合
1:賛成	23	3.1%
2:どちらかといえば賛成	143	19.0%
3:どちらかといえば反対	337	44.8%
4:反対	233	30.9%
無回答	17	2.3%
総計	**753**	**100.0%**

問3 令和2年調査との比較



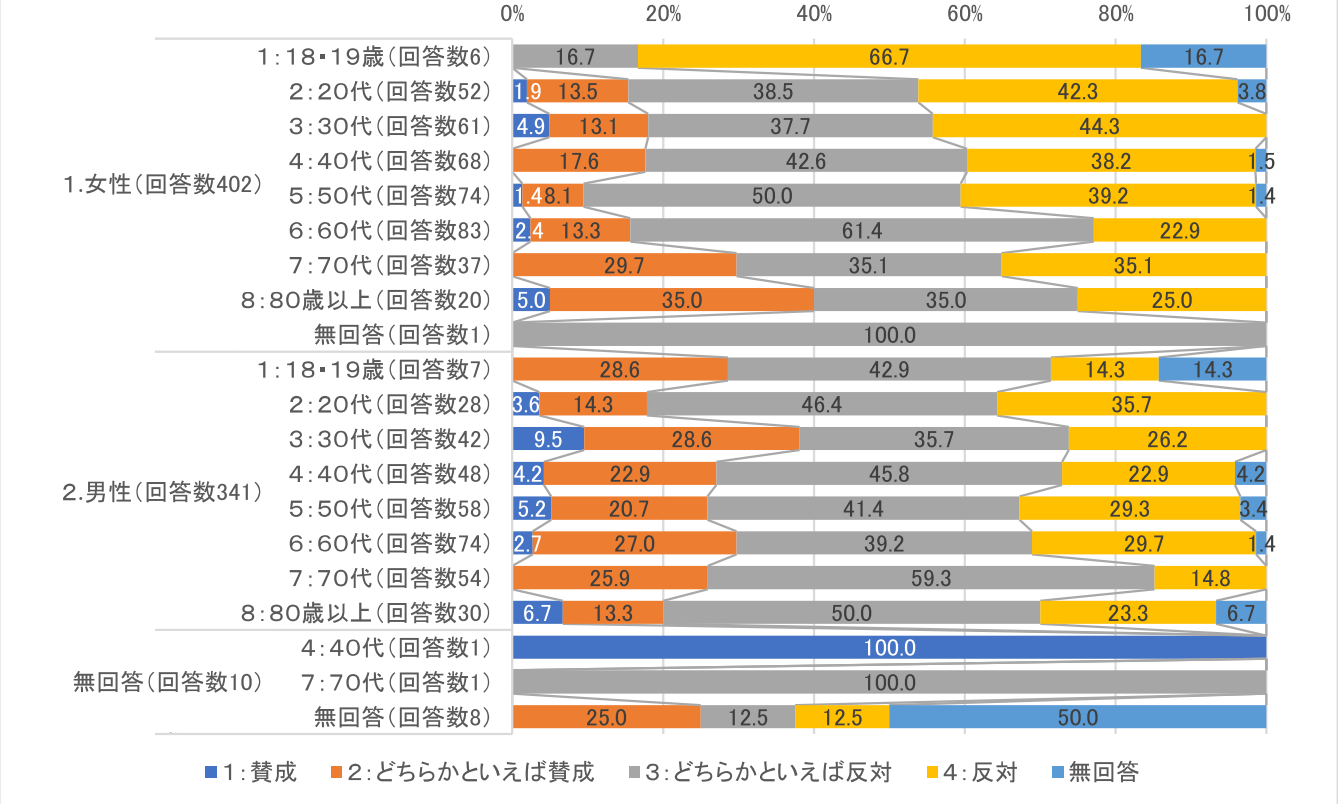
○「どちらかといえば反対」「反対」を合わせて 75.7%が否定的回答となっており、前回調査と同様の結果となっています。

問3 性別

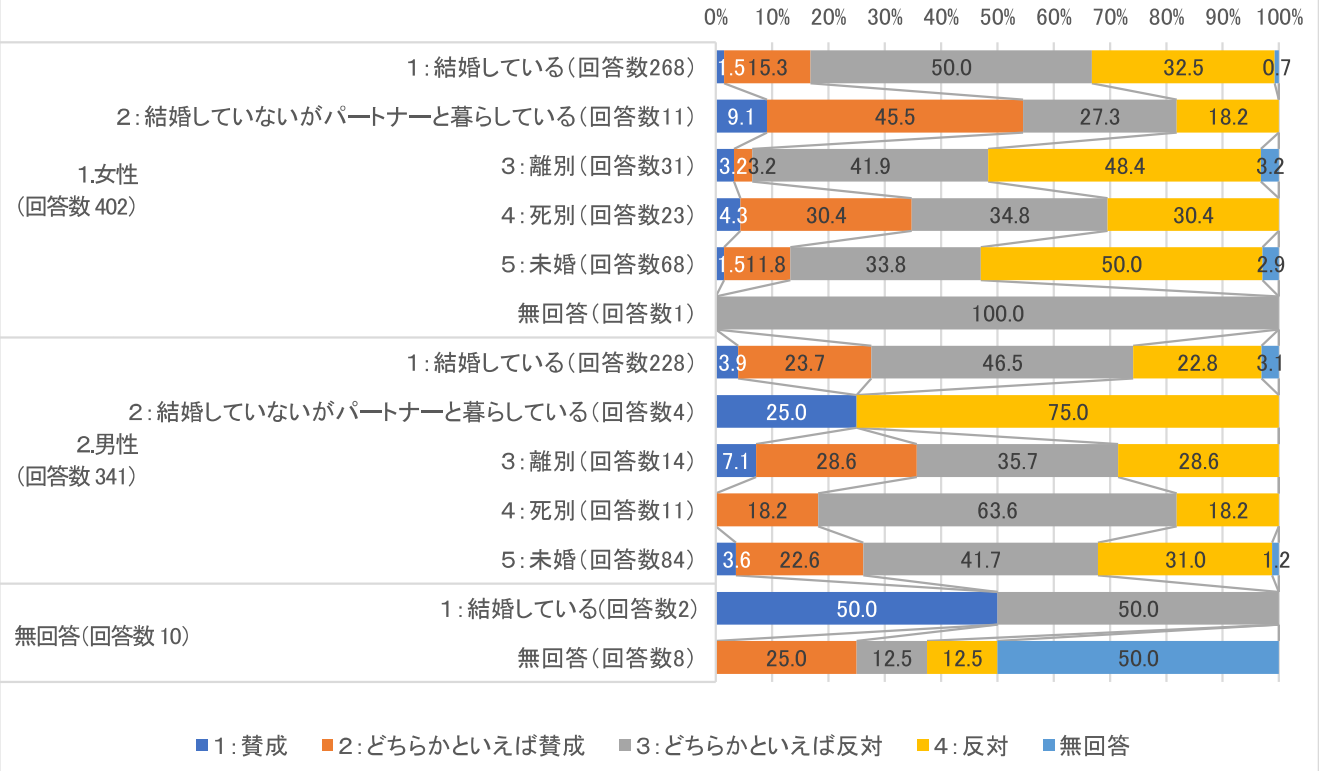


○否定的回答(「どちらかといえば反対」「反対」の合計)は女性 81.4%、男性 70.4%と女性が男性を 11.0 ポイント上回っています

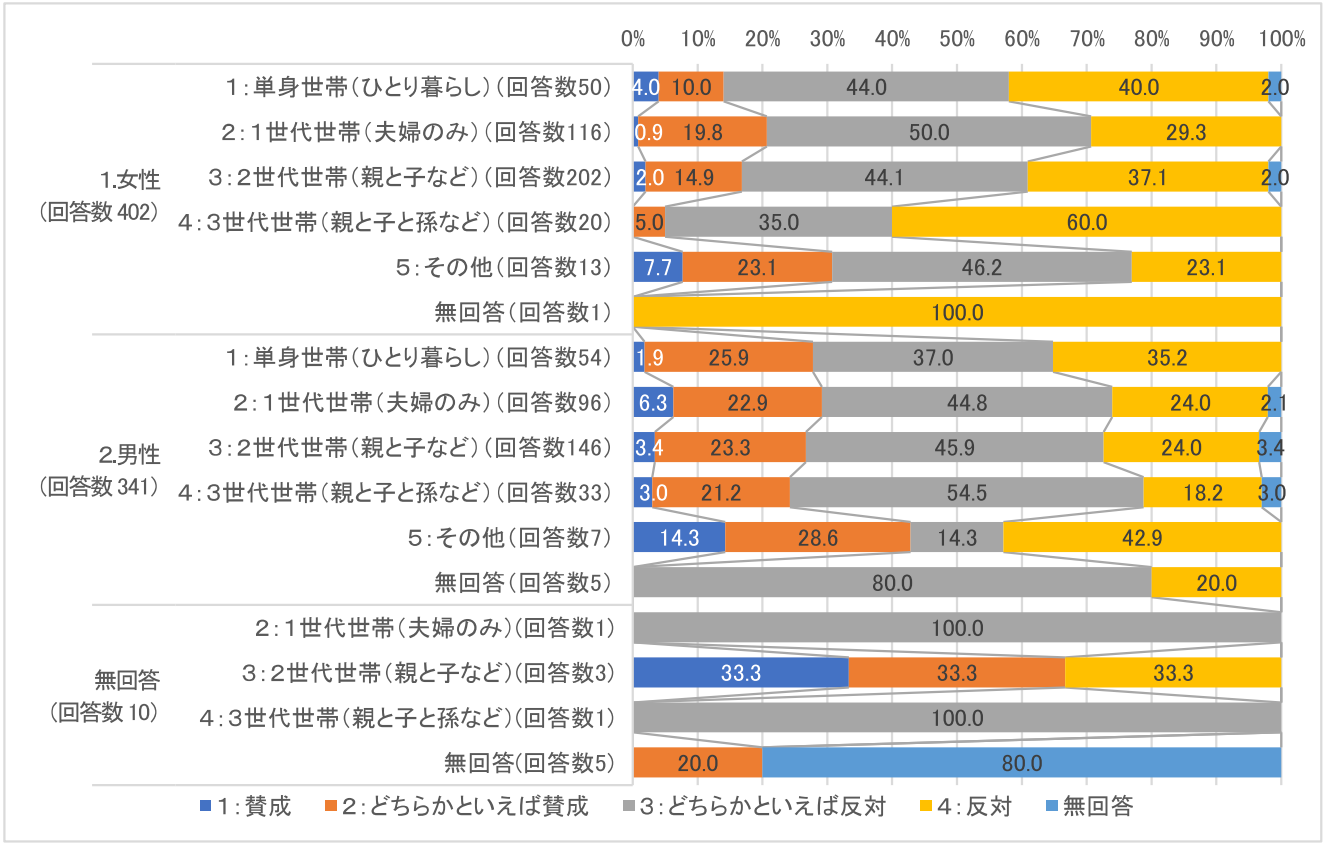
問3　性別×年齢別



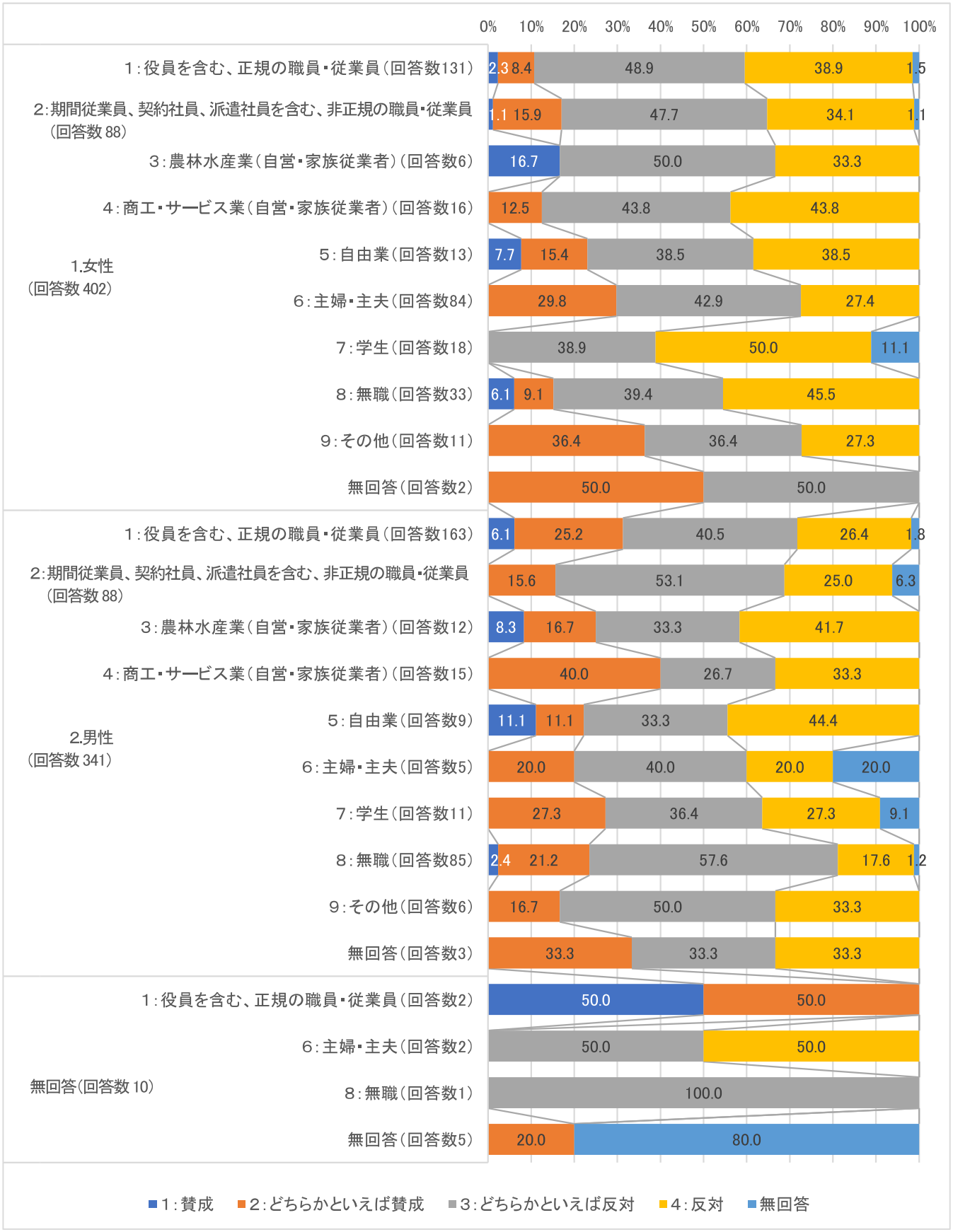
問3　性別×婚姻歴別



問3　性別×家族構成別

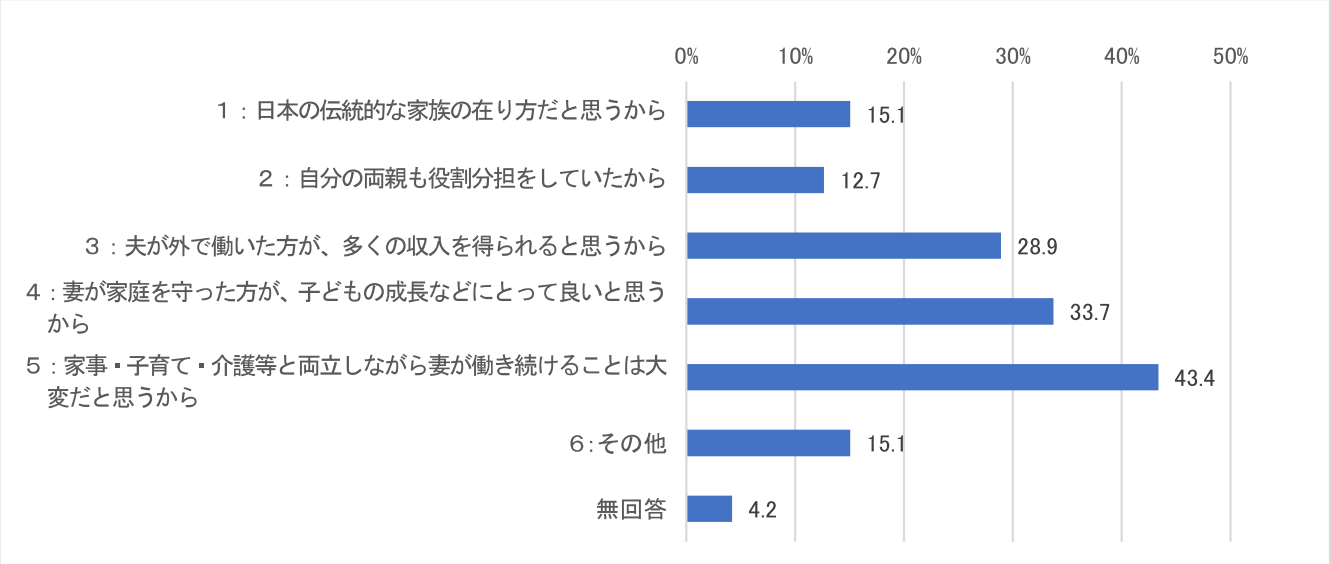

0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
1.女性（回答数 402）
1：単身世帯（ひとり暮らし）（回答数50）
4.0
10.0
44.0
40.0
2.0
2：1世代世帯（夫婦のみ）（回答数116）
0.9
19.8
50.0
29.3
3：2世代世帯（親と子など）（回答数202）
2.0
14.9
44.1
37.1
2.0
4：3世代世帯（親と子と孫など）（回答数20）
5.0
35.0
60.0
5：その他（回答数13）
7.7
23.1
46.2
23.1
無回答（回答数1）
100.0
2.男性（回答数 341）
1：単身世帯（ひとり暮らし）（回答数54）
1.9
25.9
37.0
35.2
2：1世代世帯（夫婦のみ）（回答数96）
6.3
22.9
44.8
24.0
2.1
3：2世代世帯（親と子など）（回答数146）
3.4
23.3
45.9
24.0
3.4
4：3世代世帯（親と子と孫など）（回答数33）
3.0
21.2
54.5
18.2
3.0
5：その他（回答数7）
14.3
28.6
14.3
42.9
無回答（回答数5）
80.0
20.0
無回答（回答数 10）
2：1世代世帯（夫婦のみ）（回答数1）
100.0
3：2世代世帯（親と子など）（回答数3）
33.3
33.3
33.3
4：3世代世帯（親と子と孫など）（回答数1）
100.0
無回答（回答数5）
20.0
80.0
1：賛成
2：どちらかといえば賛成
3：どちらかといえば反対
4：反対
無回答

問3　性別×自身の職業別


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
1.女性（回答数 402）
1：役員を含む、正規の職員・従業員（回答数131）
2.3
8.4
48.9
38.9
1.5
2：期間従業員、契約社員、派遣社員を含む、非正規の職員・従業員（回答数 88）
1.1
15.9
47.7
34.1
1.1
3：農林水産業（自営・家族従業者）（回答数6）
16.7
50.0
33.3
4：商工・サービス業（自営・家族従業者）（回答数16）
12.5
43.8
43.8
5：自由業（回答数13）
7.7
15.4
38.5
38.5
6：主婦・主夫（回答数84）
29.8
42.9
27.4
7：学生（回答数18）
38.9
50.0
11.1
8：無職（回答数33）
6.1
9.1
39.4
45.5
9：その他（回答数11）
36.4
36.4
27.3
無回答（回答数2）
50.0
50.0
2.男性（回答数 341）
1：役員を含む、正規の職員・従業員（回答数163）
6.1
25.2
40.5
26.4
1.8
2：期間従業員、契約社員、派遣社員を含む、非正規の職員・従業員（回答数 88）
15.6
53.1
25.0
6.3
3：農林水産業（自営・家族従業者）（回答数12）
8.3
16.7
33.3
41.7
4：商工・サービス業（自営・家族従業者）（回答数15）
40.0
26.7
33.3
5：自由業（回答数9）
11.1
11.1
33.3
44.4
6：主婦・主夫（回答数5）
20.0
40.0
20.0
20.0
7：学生（回答数11）
27.3
36.4
27.3
9.1
8：無職（回答数85）
2.4
21.2
57.6
17.6
1.2
9：その他（回答数6）
16.7
50.0
33.3
無回答（回答数3）
33.3
33.3
33.3
無回答（回答数 10）
1：役員を含む、正規の職員・従業員（回答数2）
50.0
50.0
6：主婦・主夫（回答数2）
50.0
50.0
8：無職（回答数1）
100.0
無回答（回答数5）
20.0
80.0
1：賛成
2：どちらかといえば賛成
3：どちらかといえば反対
4：反対
無回答

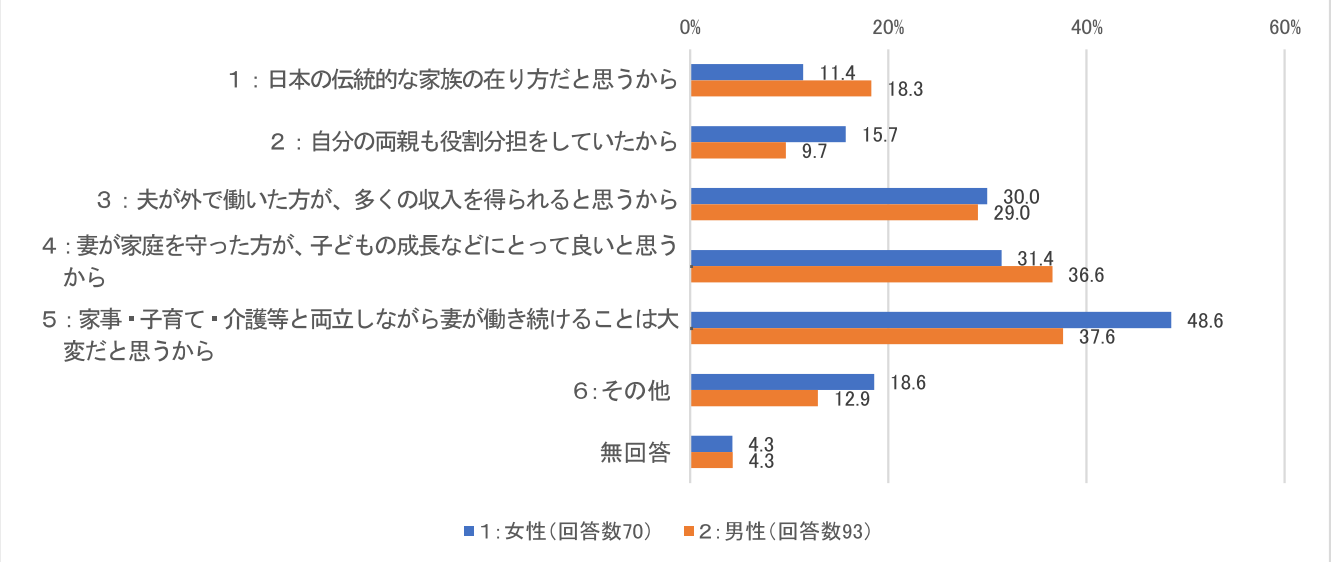
問3－2　問3で「賛成」、「どちらかといえば賛成」と答えた方におたずねします。それはなぜですか。あなたの考えに近い番号を選び、○で囲んでください。（○はいくつでも可）

	集計	割合
1：日本の伝統的な家族の在り方だと思うから	25	15.1%
2：自分の両親も役割分担をしていたから	21	12.7%
3：夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから	48	28.9%
4：妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから	56	33.7%
5：家事・子育て・介護等と両立しながら妻が働き続けることは大変だと思うから	72	43.4%
6：その他	25	15.1%
無回答	7	4.2%
総計	**166**	**100.0%**



○「5：家事・子育て・介護等と両立しながら妻が働き続けることは大変だと思うから」が 43.4%と最も多く、次いで「4：妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから」33.7%、「3：夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから」28.9%の順となっています。

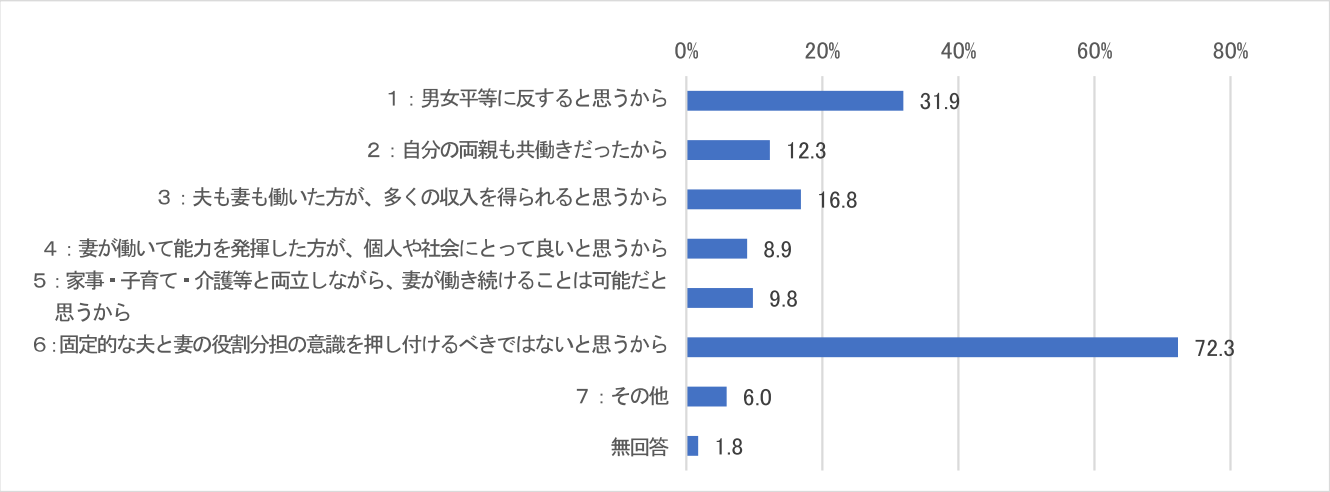
問3―2　性別



○性別では「5：家事・子育て・介護等と両立しながら妻が働き続けることは大変だと思うから」女性 48.6%、男性 37.6%と 11.0 ポイントの乖離が見られるほか、「2：自分の両親も役割分担をしていたから」も女性が 6.0 ポイント多くなっています。一方、「1：日本の伝統的な家族の在り方だと思うから」女性 11.4%、男性 18.3%、「4：妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから」女性 31.4%、男性 36.6%では男性が女性を 5 ポイント以上上回っています。

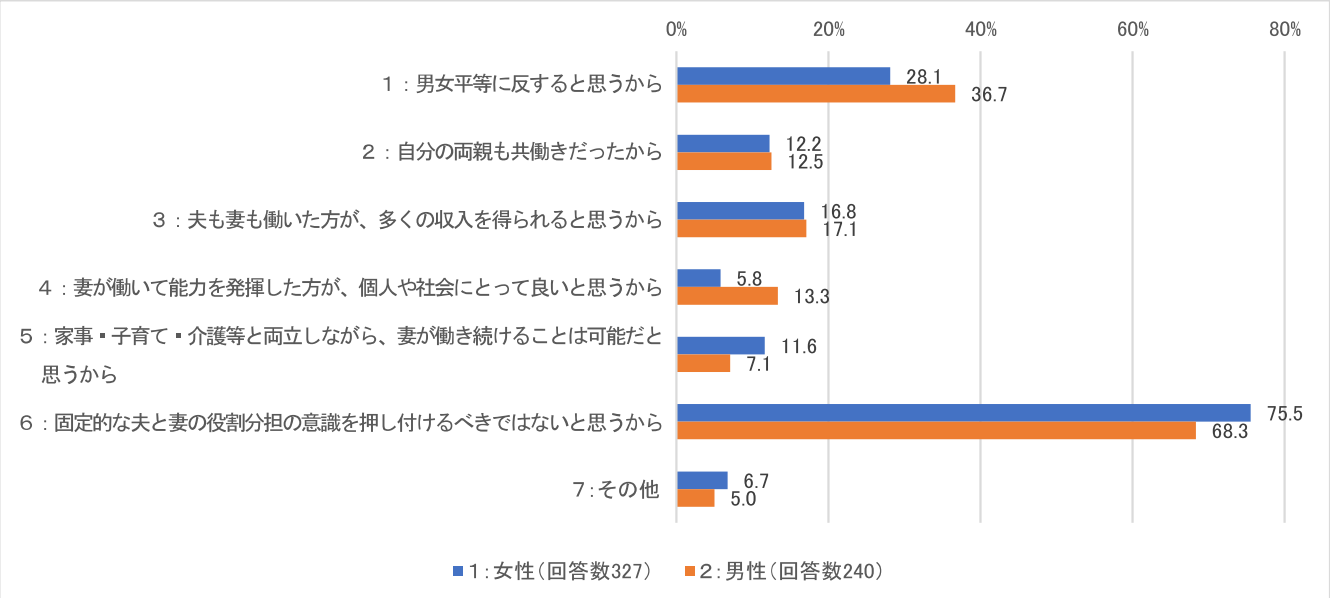
問3－3　問3で「どちらかといえば反対」、「反対」と答えた方におたずねします。それはなぜですか。あなたの考えに近い番号を選び、○で囲んでください。（○はいくつでも可）

	集計	割合
1:男女平等に反すると思うから	182	31.9%
2:自分の両親も共働きだったから	70	12.3%
3:夫も妻も働いた方が、多くの収入を得られると思うから	96	16.8%
4:妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから	51	8.9%
5:家事・子育て・介護等と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから	56	9.8%
6:固定的な夫と妻の役割分担の意識を押し付けるべきではないと思うから	412	72.3%
7:その他	34	6.0%
無回答	10	1.8%
総計	**570**	**100.0%**



○「6:固定的な夫と妻の役割分担の意識を押し付けるべきではないと思うから」が 72.3%で最も多く、次いで「1:男女平等に反すると思うから」31.9%、「3:夫も妻も働いた方が、多くの収入を得られると思うから」16.8%の順となっています。

問3―3　性別

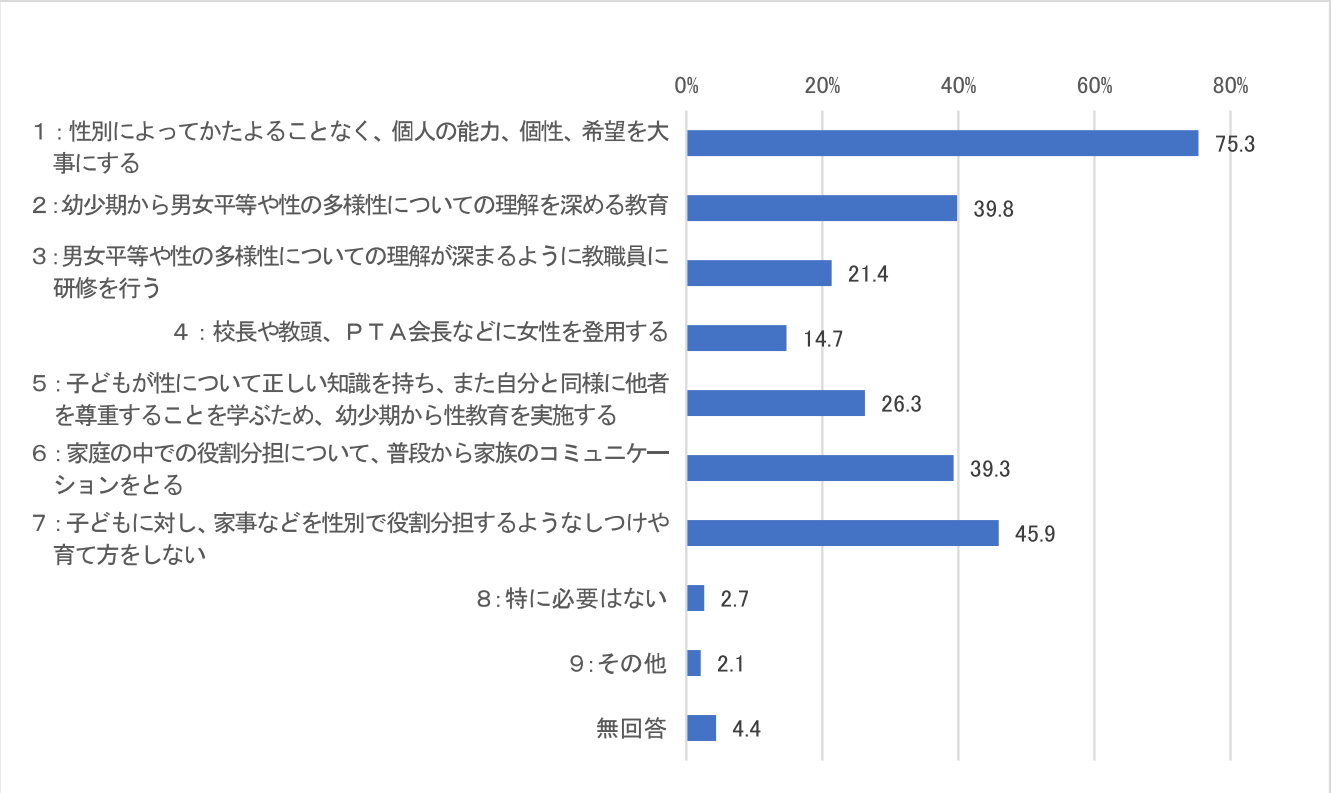


○性別でも単純集計と同様の結果です。ただし「6:固定的な夫と妻の役割分担の意識を押し付けるべきではないと思うから」では女性 75.5%が男性 68.3%を 7.2 ポイント上回っており、一方、「1:男女平等に反すると思うから」は女性 28.1%、男性 36.7%で男性が女性を 8.6 ポイント上回っています。

家庭や学校での男女共同参画に必要なこと

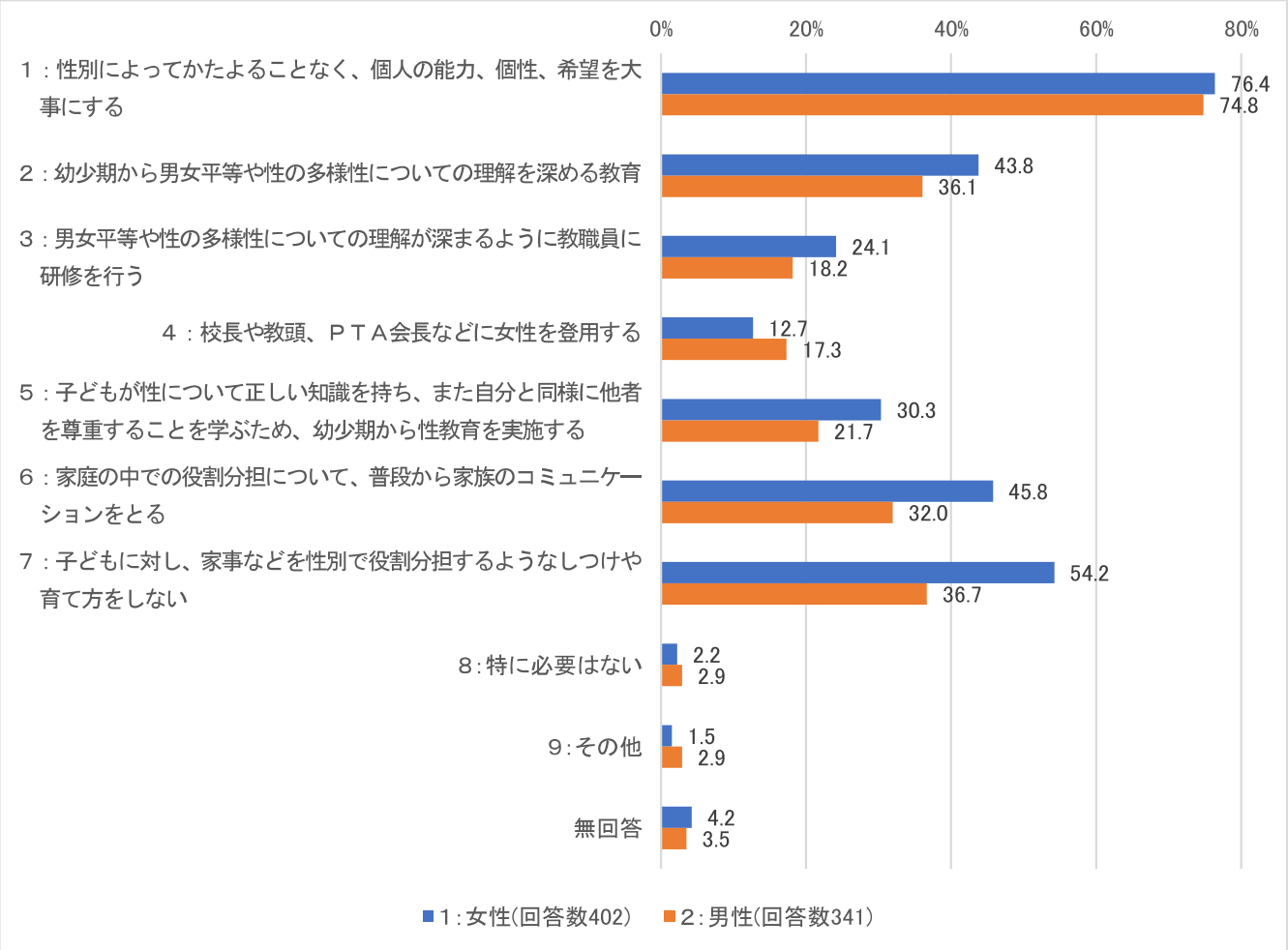
問4　家庭や学校教育の中で男女が平等な社会をつくるために、どのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えに近い番号を選び、○で囲んでください。（○はいくつでも可）

	集計	割合
1:性別によってかたよることなく、個人の能力、個性、希望を大事にする	567	75.3%
2:幼少期から男女平等や性の多様性についての理解を深める教育	300	39.8%
3:男女平等や性の多様性についての理解が深まるように教職員に研修を行う	161	21.4%
4:校長や教頭、PTA会長などに女性を登用する	111	14.7%
5:子どもが性について正しい知識を持ち、また自分と同様に他者を尊重することを学ぶため、幼少期から性教育を実施する	198	26.3%
6:家庭の中での役割分担について、普段から家族のコミュニケーションをとる	296	39.3%
7:子どもに対し、家事などを性別で役割分担するようなしつけや育て方をしない	346	45.9%
8:特に必要はない	20	2.7%
9:その他	16	2.1%
無回答	33	4.4%
総計	**753**	**100.0%**



○「1:性別によってかたよることなく、個人の能力、個性、希望を大事にする」が 75.3%で最も多く、次いで「7:子どもに対し、家事などを性別で役割分担するようなしつけや育て方をしない」45.9%、「2:幼少期から男女平等や性の多様性についての理解を深める教育」39.8%の順となっています。

問4　性別

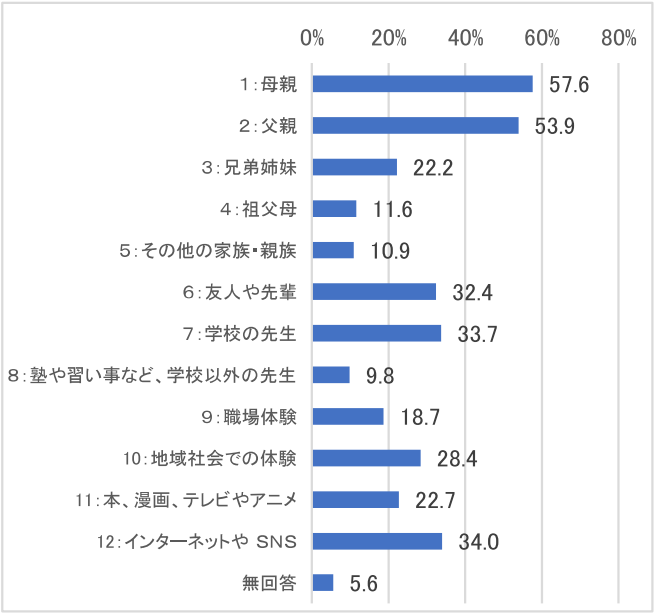


○男女の乖離が 10 ポイント以上ある項目は、「7:子どもに対し、家事などを性別で役割分担するようなしつけや育て方をしない」が女性 54.2%、男性 36.7%で女性が男性を 17.5 ポイント上回っているほか、「6:家庭の中での役割分担について、普段から家族のコミュニケーションをとる」も女性が男性を 13.8 ポイント上回っています

進路選択のジェンダー格差

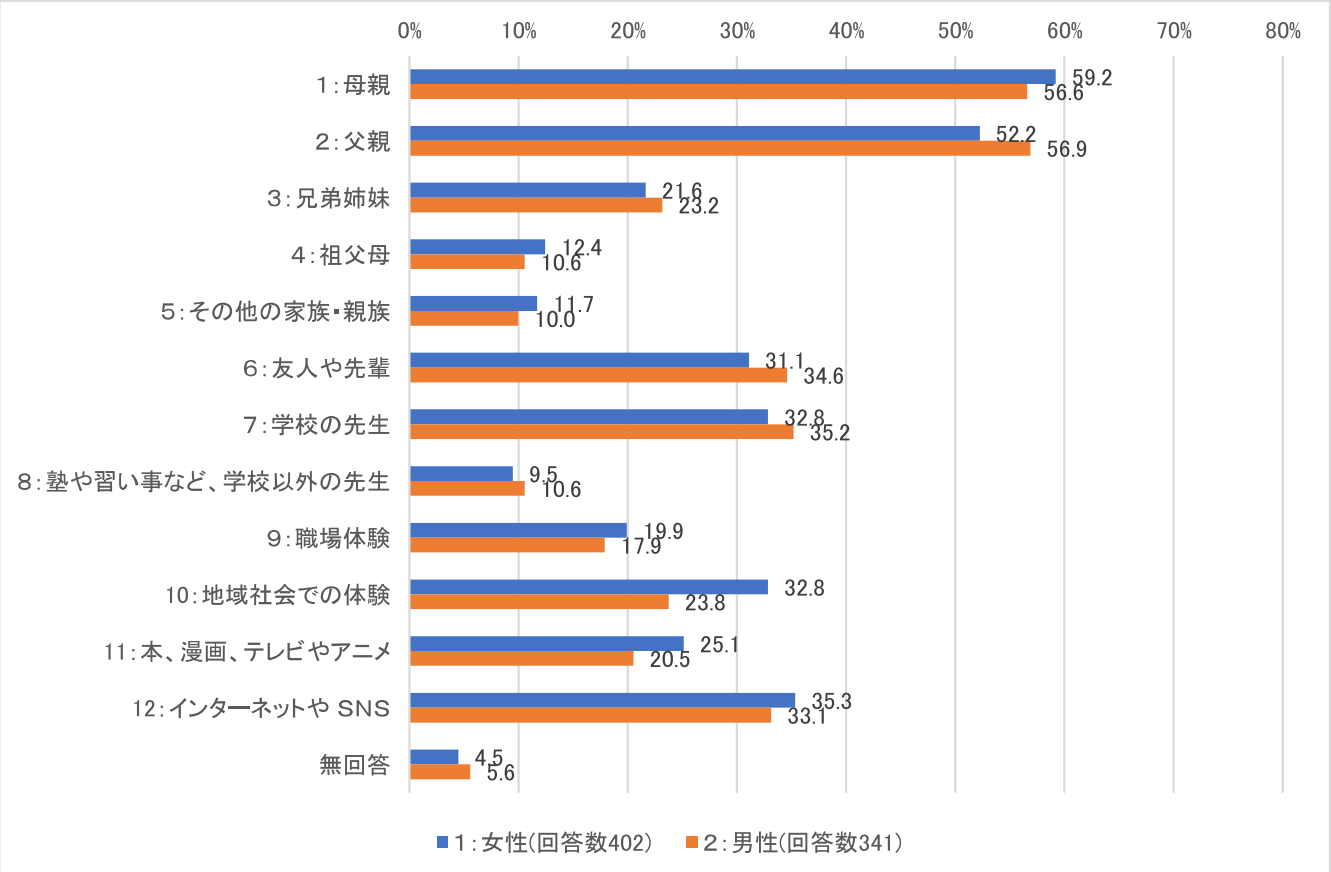
問5　文部科学省の「令和5年度学校基本統計」によると、例えば、大学の理学部・工学部に進学する女性は男性より少ない、薬学部・看護学部に進学する男性は女性より少ないという現状であることが分かっています。進路選択の一例としてこのような状況がありますが、あなたは、一般的に進路選択に影響を与えるのは次のうちどれだと思いますか。（〇はいくつでも可）

	集計	割合
1:母親	434	57.6%
2:父親	406	53.9%
3:兄弟姉妹	167	22.2%
4:祖父母	87	11.6%
5:その他の家族・親族	82	10.9%
6:友人や先輩	244	32.4%
7:学校の先生	254	33.7%
8:塾や習い事など、学校以外の先生	74	9.8%
9:職場体験	141	18.7%
10:地域社会での体験	214	28.4%
11:本、漫画、テレビやアニメ	171	22.7%
12:インターネットやSNS	256	34.0%
無回答	42	5.6%
総計	**753**	**100.0%**



〇「1:母親」57.6%、「2:父親」53.9%と身近な親族が多い一方、「12:インターネットやSNS」が 34.0%と3番目に多くなっています。

問5　性別

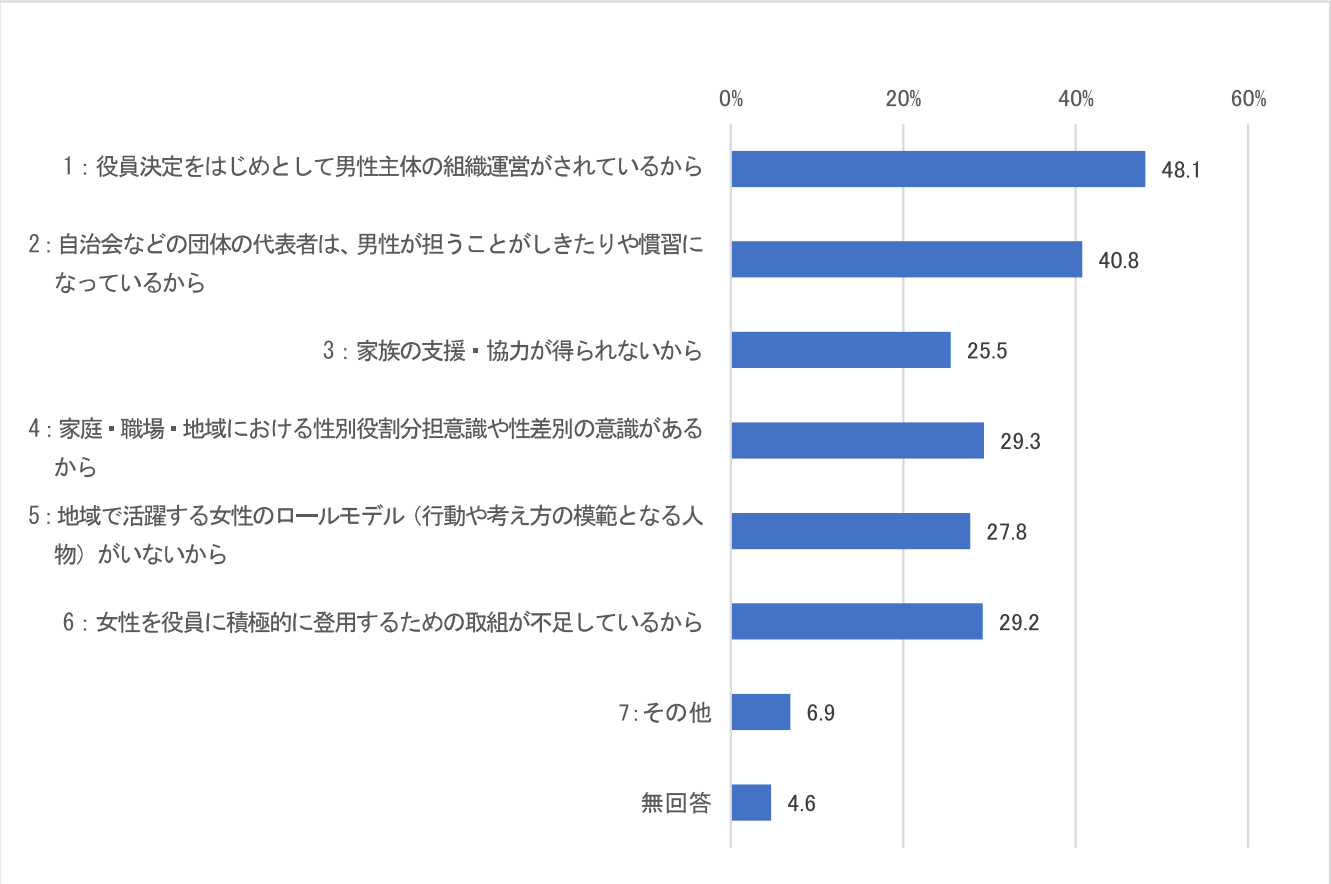


〇概ね単純集計と同様の結果ですが、「10:地域社会での体験」では女性 32.8%、男性 23.8%と女性が男性を 9.0 ポイント上回っており、特定の条件というよりも、役割への期待、ロールモデルの差、地域での参加機会など複合的な要因があるように考えられます。

意思決定の場への女性の参画が少ない理由

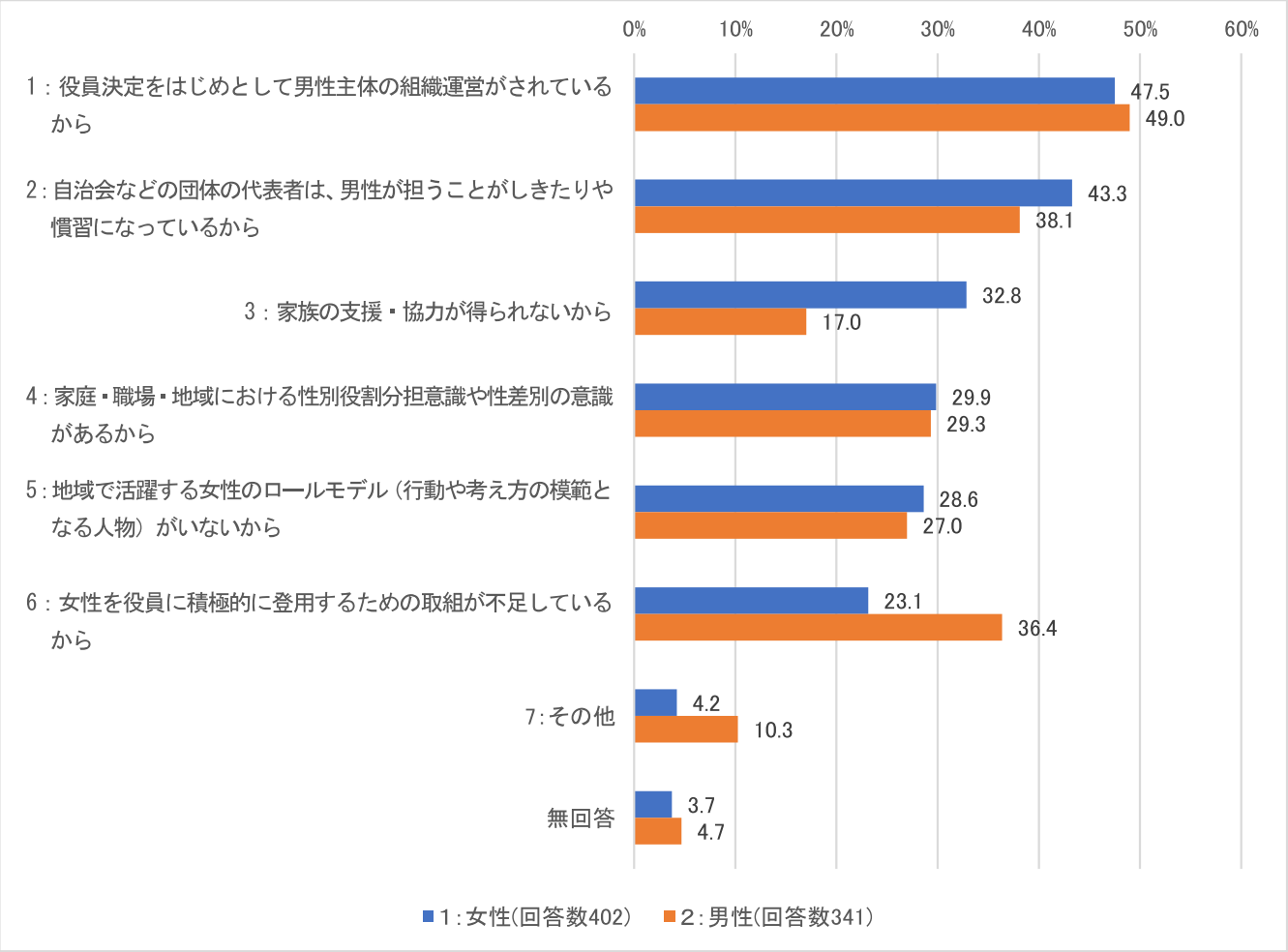
問6　女性の社会参画が進みつつありますが、自治会長やPTA会長、政治・行政などの企画立案・決定の場には、まだ、女性が少ないのが現実です。このような方針決定の過程に、女性の参画が少ない理由は何だと思いますか。次の中から、あなたの考えに近い番号を選び、○で囲んでください。（○はいくつでも可）

	集計	割合
1:役員決定をはじめとして男性主体の組織運営がされているから	362	48.1%
2:自治会などの団体の代表者は、男性が担うことがしきたりや慣習になっているから	307	40.8%
3:家族の支援・協力が得られないから	192	25.5%
4:家庭・職場・地域における性別役割分担意識や性差別の意識があるから	221	29.3%
5:地域で活躍する女性のロールモデル（行動や考え方の模範となる人物）がいないから	209	27.8%
6:女性を役員に積極的に登用するための取組が不足しているから	220	29.2%
7:その他	52	6.9%
無回答	35	4.6%
総計	**753**	**100.0%**



○「1:役員決定をはじめとして男性主体の組織運営がされているから」の 48.1%が最も多く、次いで、「2:自治会などの団体の代表者は、男性が担うことがしきたりや慣習になっているから」40.8%、「4:家庭・職場・地域における性別役割分担意識や性差別の意識があるから」29.3%の順となっていますが、そのほかの選択肢も 25%以上の回答がありました。

問6　性別

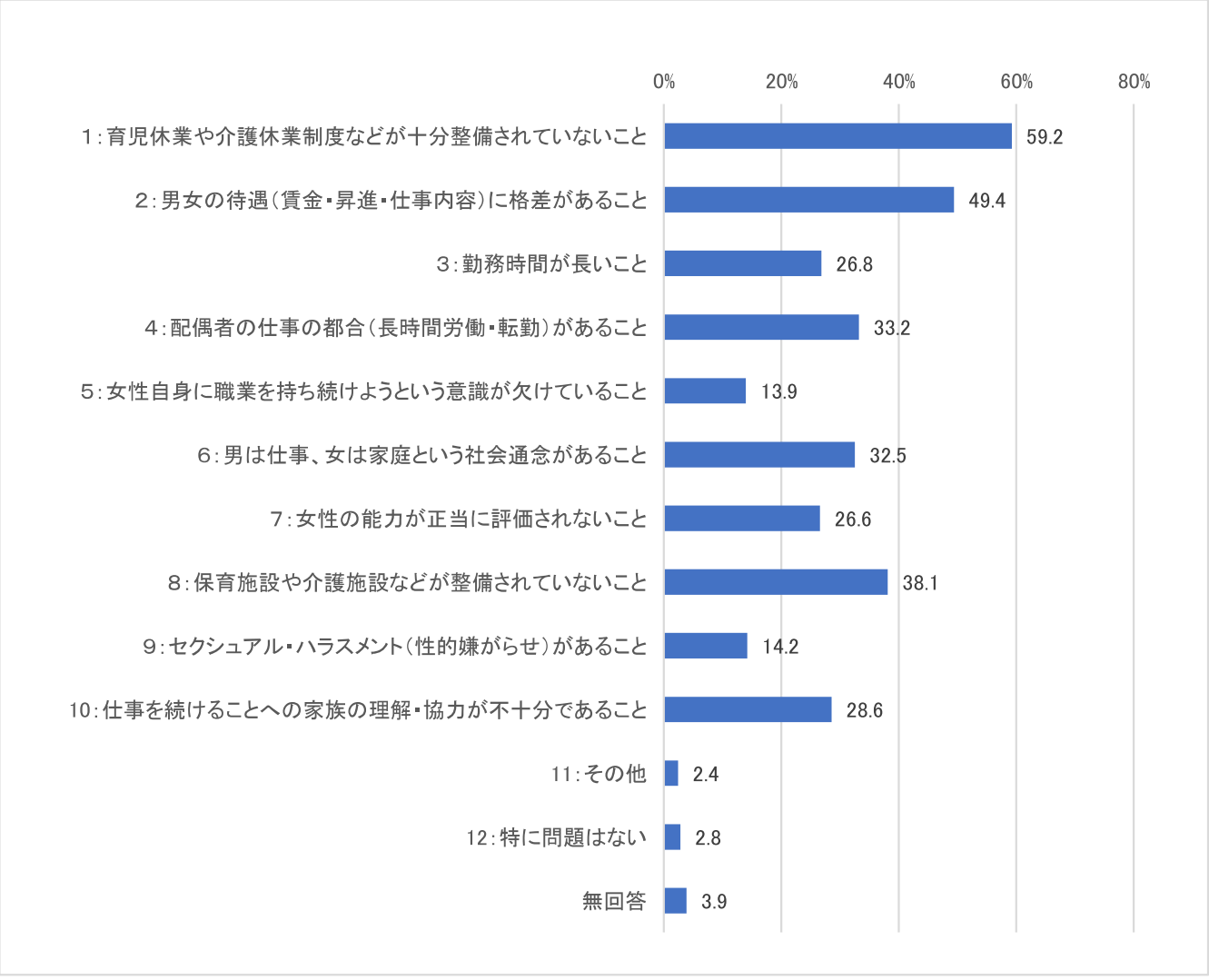


○男女の乖離が 10 ポイント以上ある項目は、「3：家族の支援・協力が得られないから」が女性 32.8%、男性 17.0%で女性が男性を 15.8%上回っており、「6：女性を役員に積極的に登用するための取組が不足しているから」では女性 231%、男性 36.4%と男性が女性を 13.3 ポイント上回っています。

女性の就業上の課題

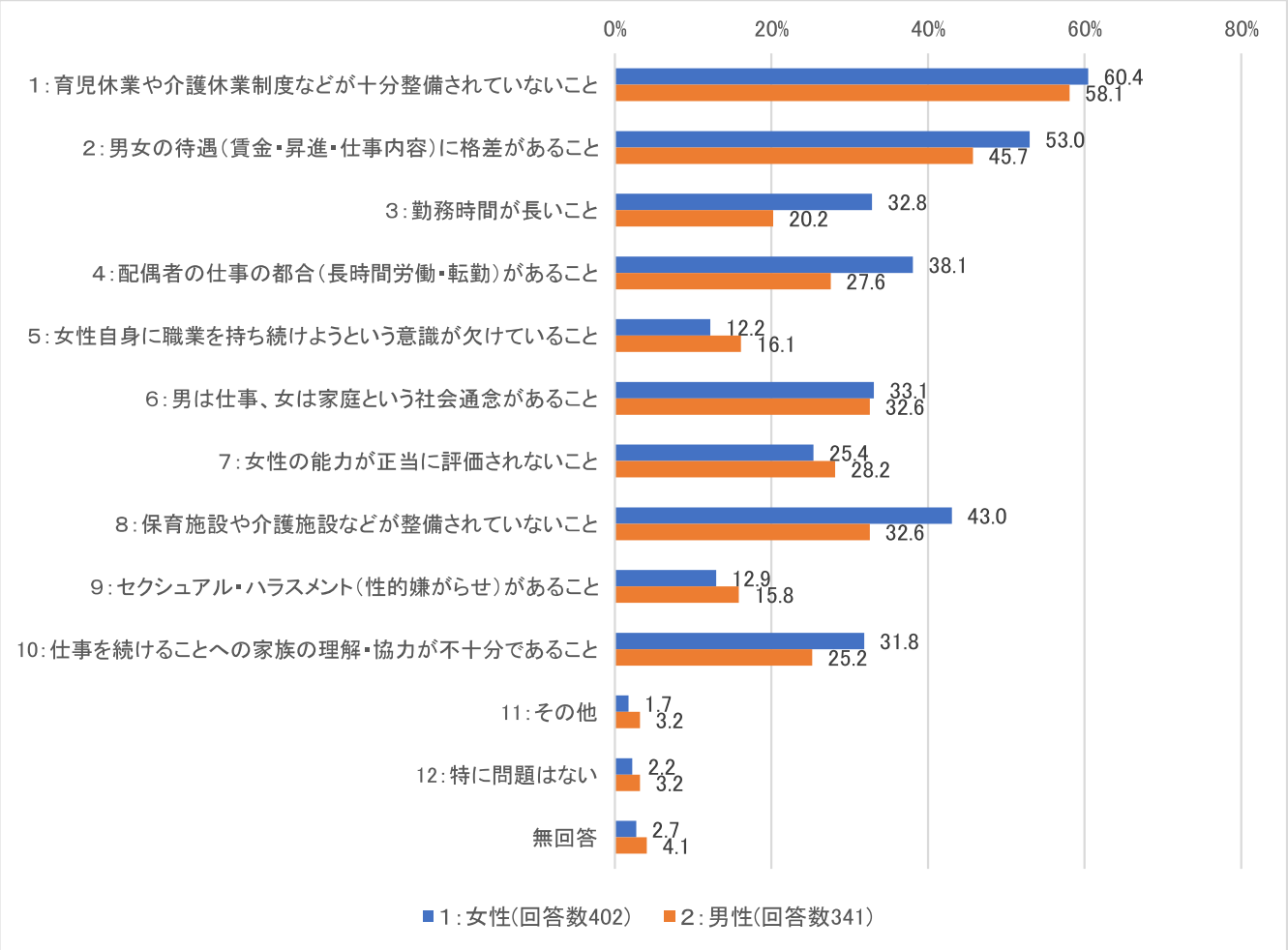
問7　女性が働き続けるうえでの問題はどのような事だと思いますか。あなたの考えに近い番号を○で囲んでください。（○はいくつでも可）

	集計	割合
1：育児休業や介護休業制度などが十分整備されていないこと	446	59.2%
2：男女の待遇（賃金・昇進・仕事内容）に格差があること	372	49.4%
3：勤務時間が長いこと	202	26.8%
4：配偶者の仕事の都合（長時間労働・転勤）があること	250	33.2%
5：女性自身に職業を持ち続けようという意識が欠けていること	105	13.9%
6：男は仕事、女は家庭という社会通念があること	245	32.5%
7：女性の能力が正当に評価されないこと	200	26.6%
8：保育施設や介護施設などが整備されていないこと	287	38.1%
9：セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）があること	107	14.2%
10：仕事を続けることへの家族の理解・協力が不十分であること	215	28.6%
11：その他	18	2.4%
12：特に問題はない	21	2.8%
無回答	29	3.9%
総計	**753**	**100.0%**



○「1：育児休業や介護休業制度などが十分整備されていないこと」の 59.2%が最も多く、次いで、「2：男女の待遇（賃金・昇進・仕事内容）に格差があること」49.4%、「8：保育施設や介護施設などが整備されていないこと」38.1%の順となっていますが、そのほかの選択肢でも回答が多く、複数の問題があることがわかります。

問7　性別

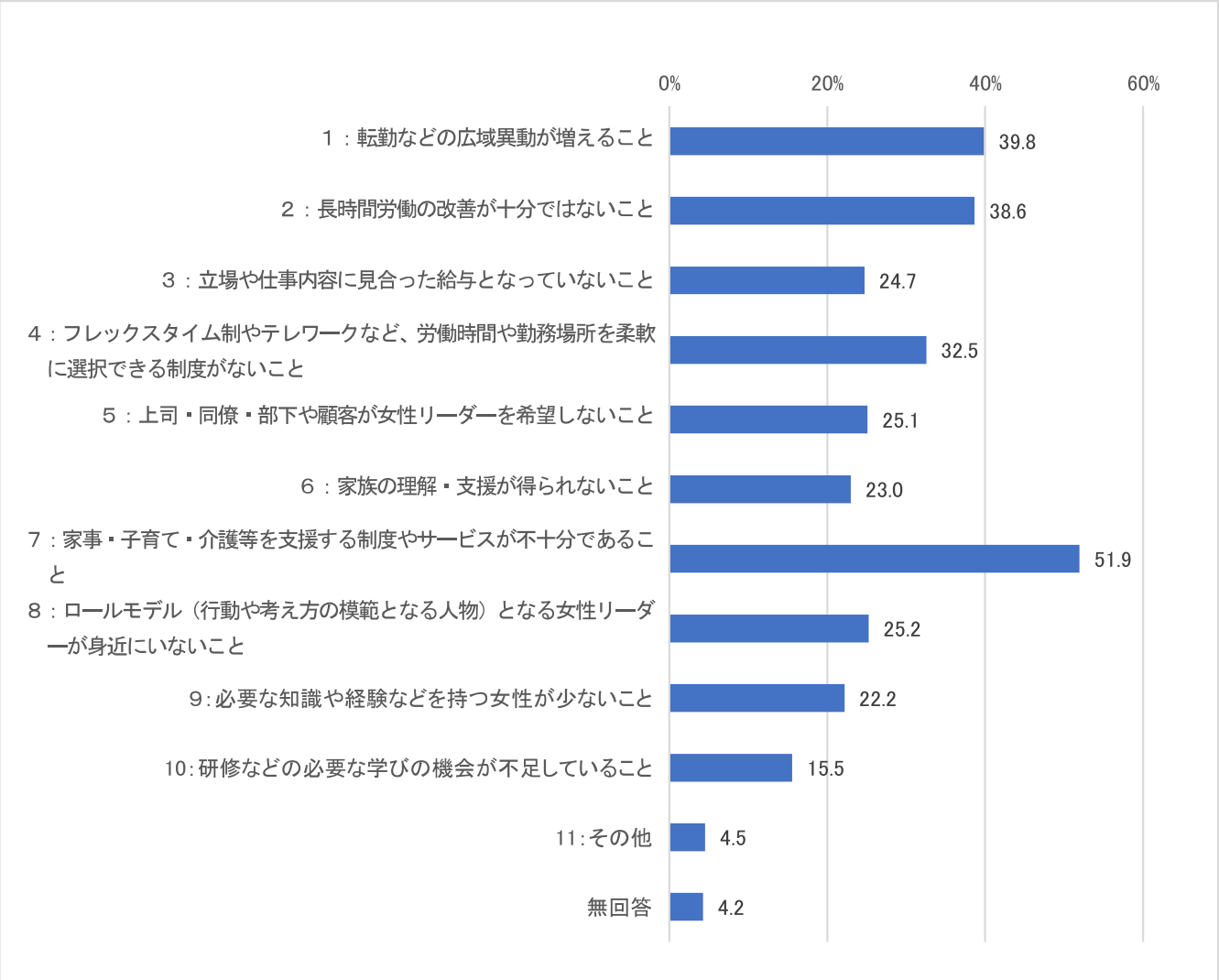


○男女の乖離が 10 ポイント以上ある項目は、「3：勤務時間が長いこと」が女性 32.8%、男性 20.2%で、女性が男性を 12.6 ポイント上回っているほか、「4：配偶者の仕事の都合（長時間労働・転勤）があること」では女性が男性を 10.5 ポイント上回り、「8：保育施設や介護施設などが整備されていないこと」でも女性が男性を 10.4 ポイント上回っています。

女性管理職を増やすにあたっての障害

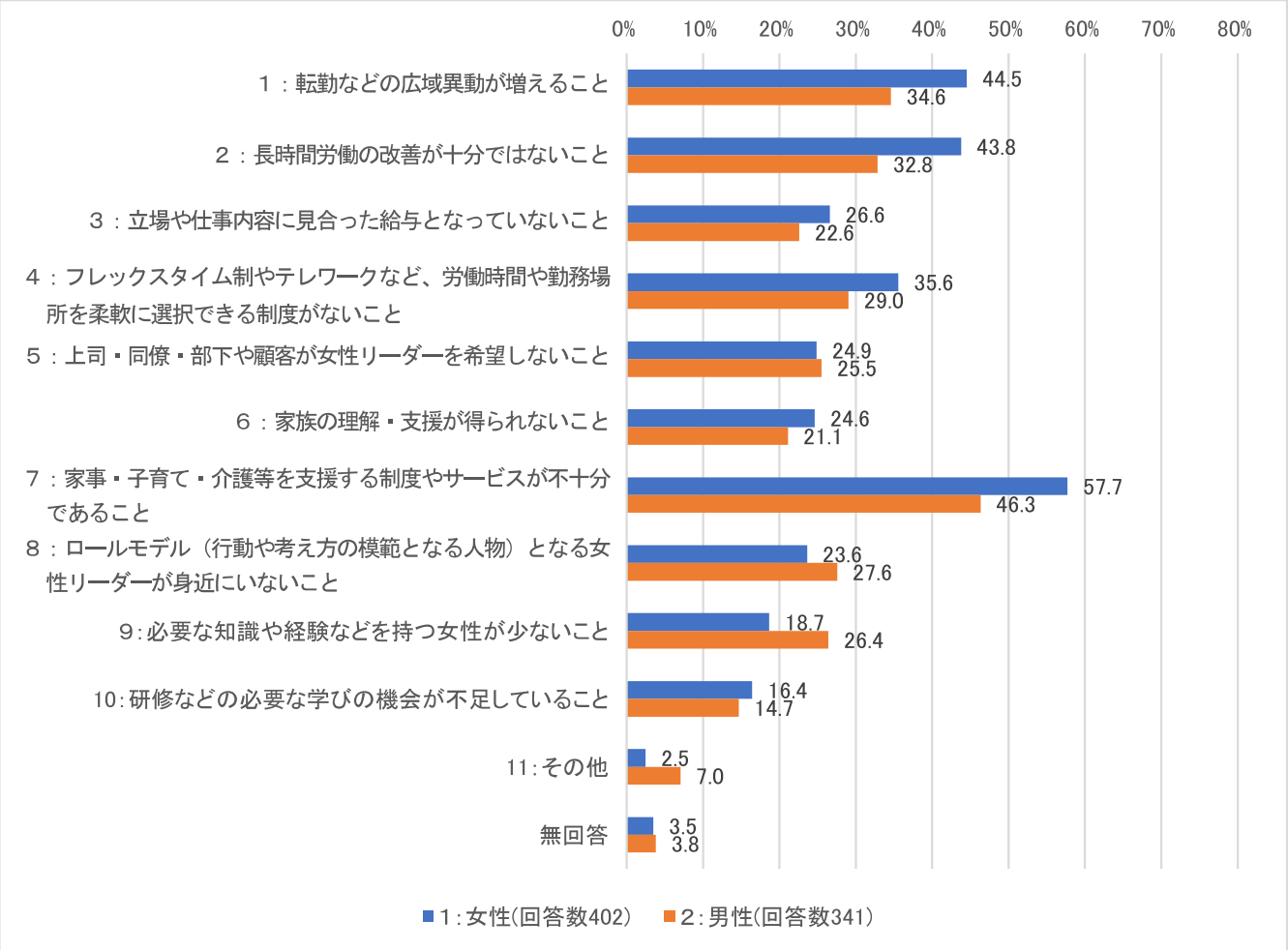
問8　令和4年の国の調査では、長野県における女性管理職の割合は16.1%と、まだまだ少ないのが現状です。あなたは、職場で女性のリーダー（管理職）を増やすときに障害となるものは何だと思いますか。あなたの考えに近い番号を選び、○で囲んでください。（○はいくつでも可）

	集計	割合
1:転勤などの広域異動が増えること	300	39.8%
2:長時間労働の改善が十分ではないこと	291	38.6%
3:立場や仕事内容に見合った給与となっていないこと	186	24.7%
4:フレックスタイム制やテレワークなど、労働時間や勤務場所を柔軟に選択できる制度がないこと	245	32.5%
5:上司・同僚・部下や顧客が女性リーダーを希望しないこと	189	25.1%
6:家族の理解・支援が得られないこと	173	23.0%
7:家事・子育て・介護等を支援する制度やサービスが不十分であること	391	51.9%
8:ロールモデル（行動や考え方の模範となる人物）となる女性リーダーが身近にいないこと	190	25.2%
9:必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと	167	22.2%
10:研修などの必要な学びの機会が不足していること	117	15.5%
11:その他	34	4.5%
無回答	32	4.2%
総計	**753**	**100.0%**



○「7:家事・子育て・介護等を支援する制度やサービスが不十分であること」が 51.9%と唯一過半数を超えており、次いで「1:転勤などの広域異動が増えること」39.8%、「2:長時間労働の改善が十分ではないこと」38.6%の順となっています。

問8　性別



○男女の乖離が 10 ポイント以上ある項目は、「2:長時間労働の改善が十分ではないこと」が女性 43.8%、男性 32.8%で、女性が男性を 11.0 ポイント上回っているほか、「7:家事・子育て・介護等を支援する制度やサービスが不十分であること」で女性が男性を 11.4 ポイント上回っています。

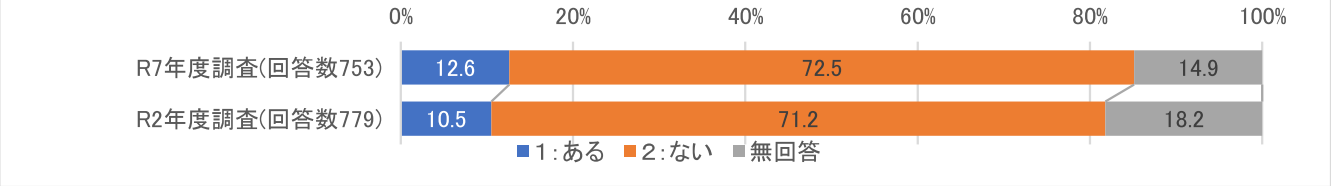
育児休業、介護休業の取得状況

問9　誰もが働きやすい職場をつくるため、「育児休業」や「介護休業」という制度があります。
あなたは、育児休業や介護休業を取得したことがありますか。あてはまる番号を選び、○で囲んでください。

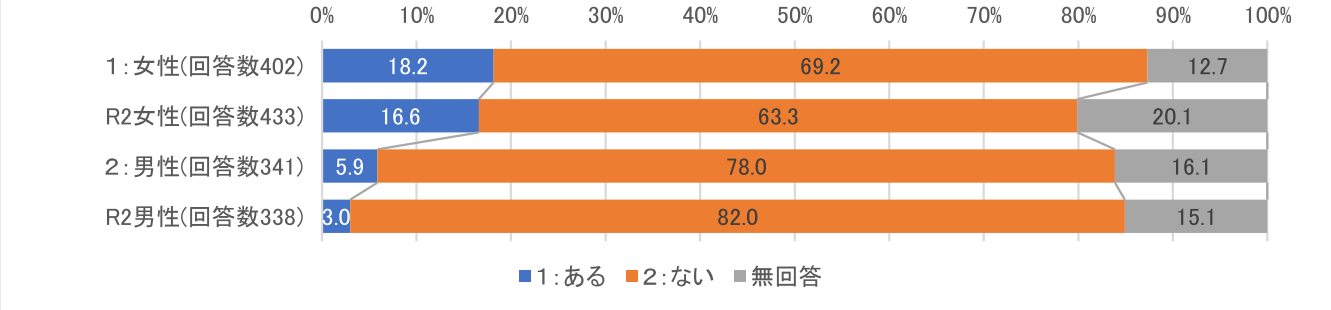
	集計	割合
1:ある	95	12.6%
2:ない	546	72.5%
無回答	112	14.9%
総計	**753**	**100.0%**

○令和2年度調査と比較すると休業を取得した割合が増加しています。性別でも同様の傾向となっています。

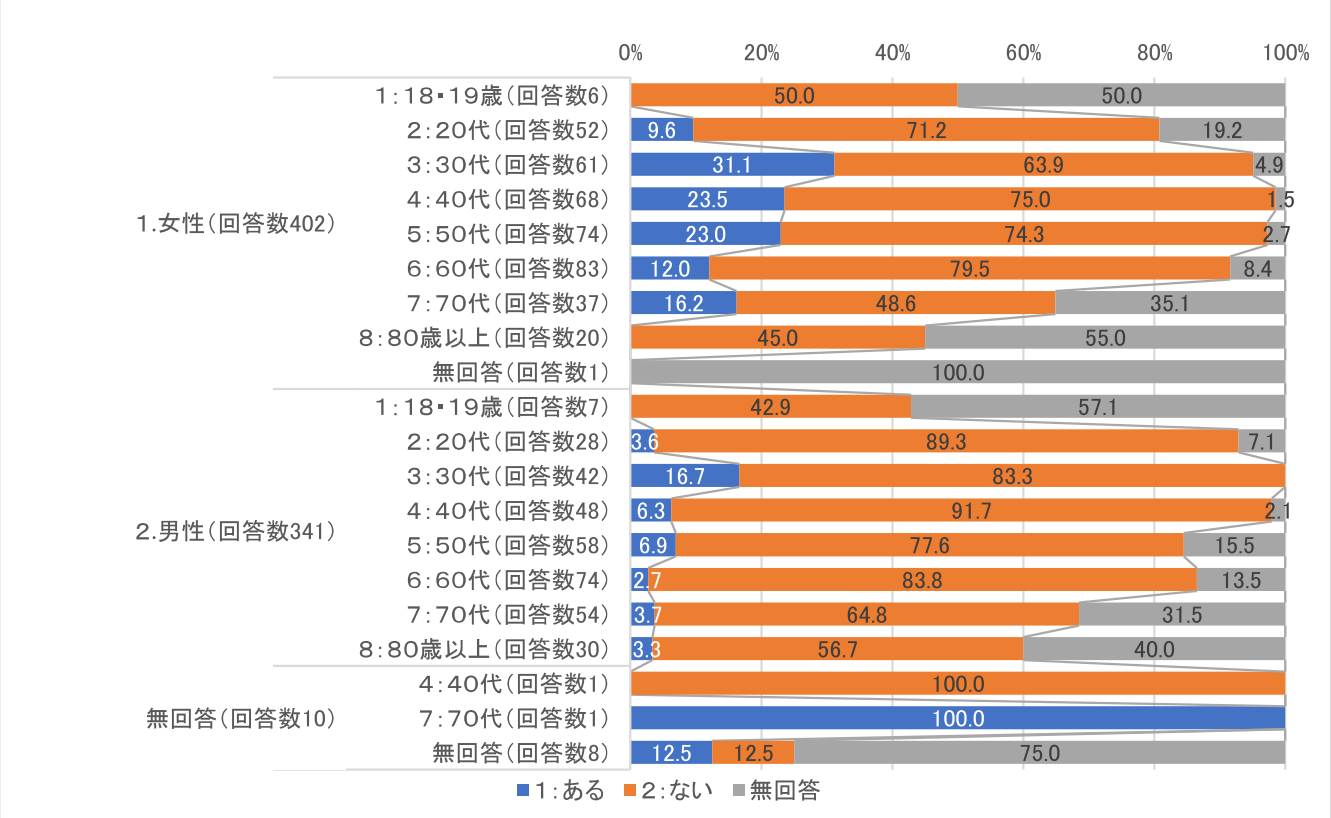
問9　令和2年調査との比較



問9　性別(令和2年調査との比較)



問9　性別×年齢別

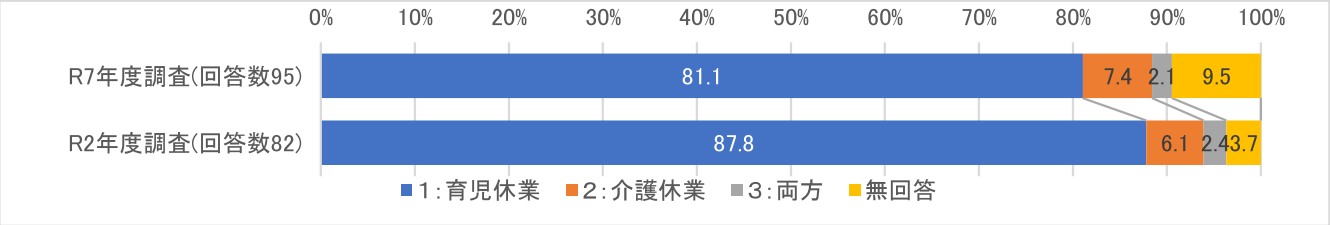


問9－2　問9で「1　ある」と答えた方におたずねします。
どの休業を取得しましたか。あてはまる番号を選び、○で囲んでください。

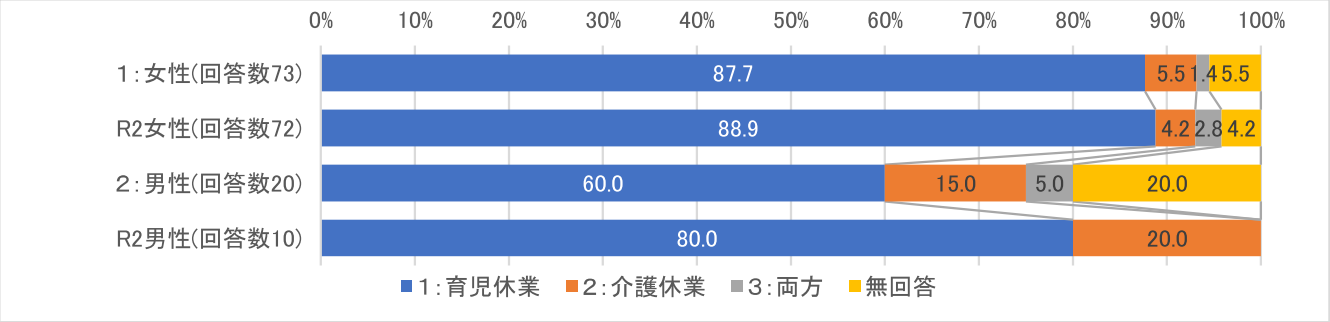
	集計	割合
1:育児休業	77	81.1%
2:介護休業	7	7.4%
3:両方	2	2.1%
無回答	9	9.5%
総計	**95**	**100.0%**

○令和2年度調査と比較すると育児休業を取得した割合が減少し、介護休業を取得した割合がわずかに増加しています。

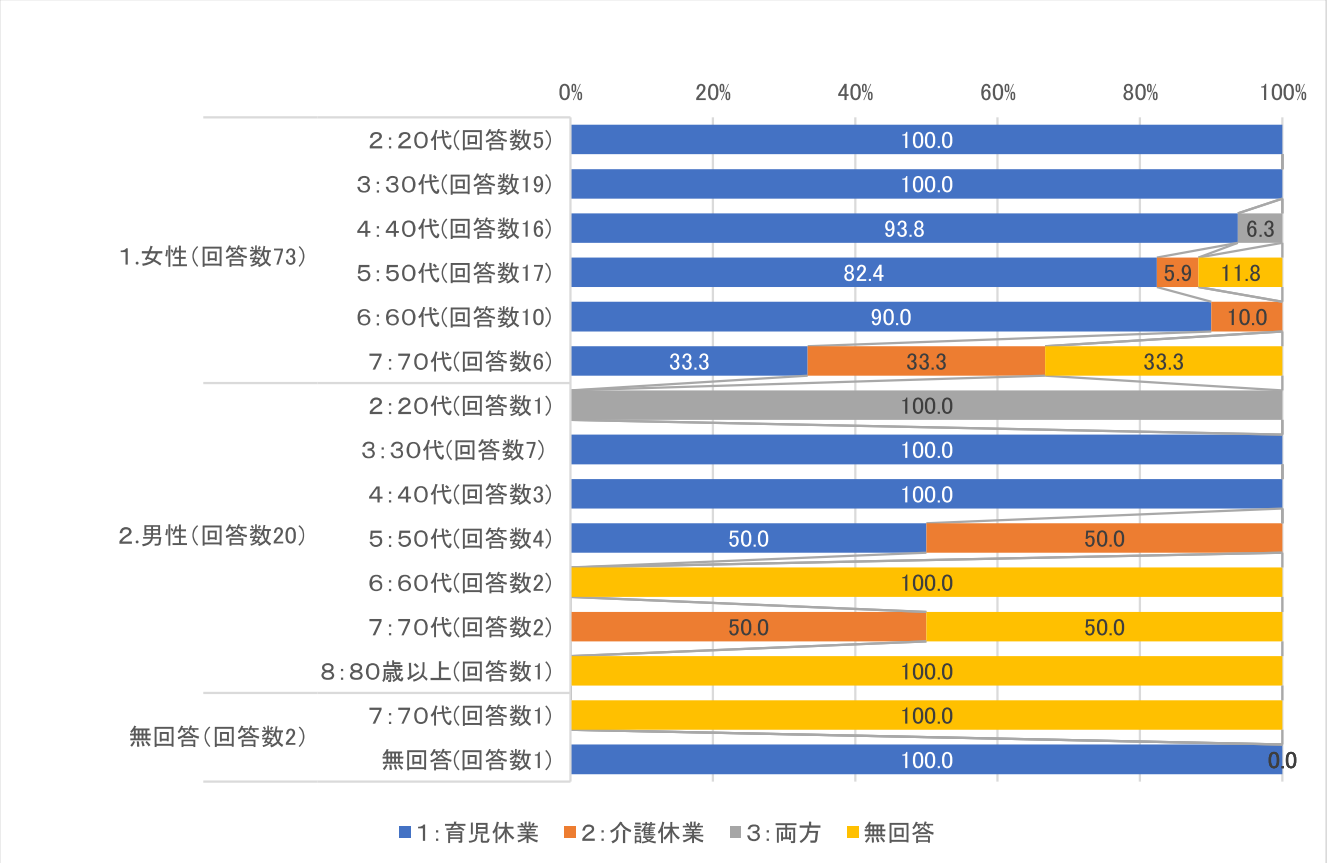
問9－2　令和2年調査との比較



問9－2　性別（令和2年調査との比較）



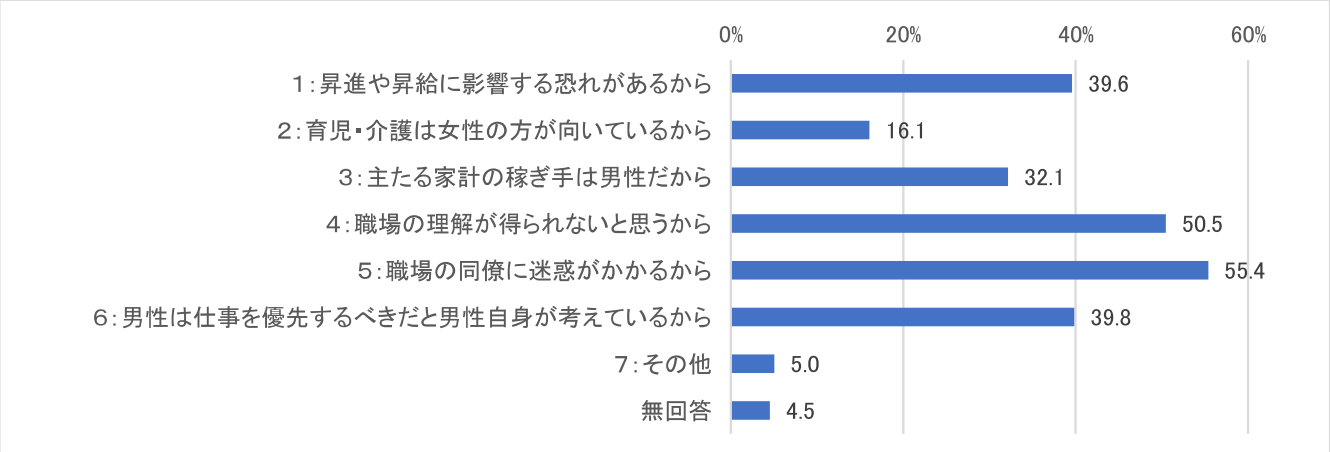
問9－2　性別×年齢別



男性の育児休業、介護休業の取得が進まない理由

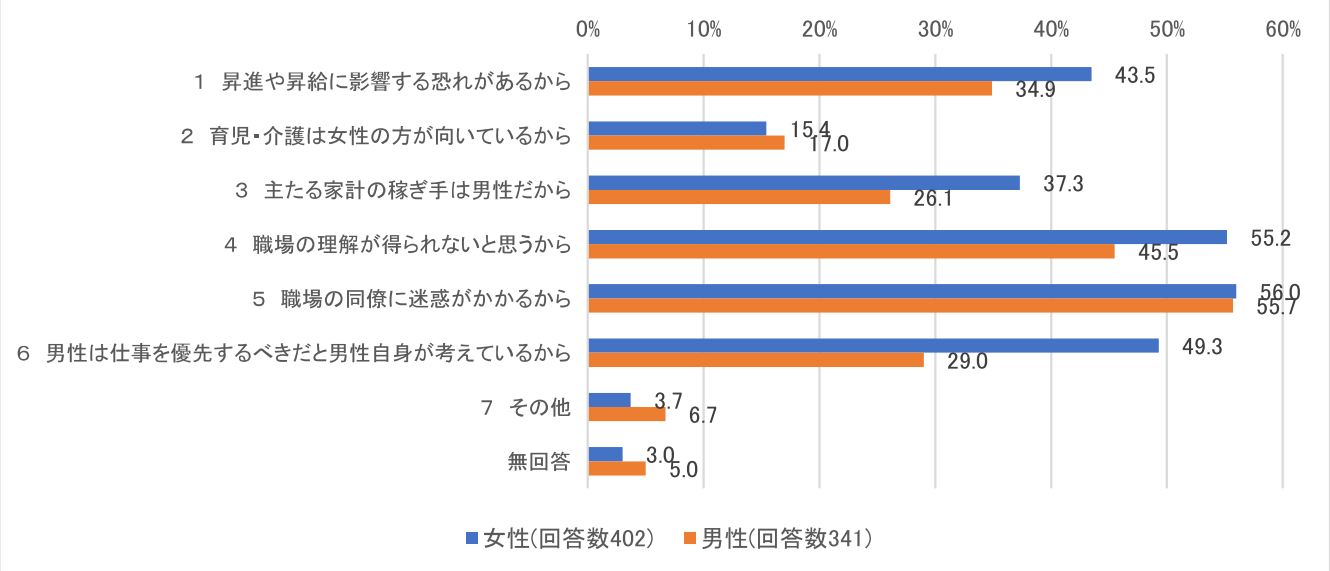
問 10　令和6年の県の調査では、育児休業取得期間は女性では1年以上が69．4%、男性では3か月未満が80%(うち5日未満が30%)、介護休業を今の職場で取得した人の割合は女性が1．7%、男性は0．0%でした。
男性が育児休業や介護休業の制度を利用することが進まないのは、どうしてだと思いますか。あなたの考えに近い番号を選び、○で囲んでください。(○はいくつでも可)

	集計	割合
1:昇進や昇給に影響する恐れがあるから	298	39.6%
2:育児・介護は女性の方が向いているから	121	16.1%
3:主たる家計の稼ぎ手は男性だから	242	32.1%
4:職場の理解が得られないと思うから	380	50.5%
5:職場の同僚に迷惑がかかるから	417	55.4%
6:男性は仕事を優先するべきだと男性自身が考えているから	300	39.8%
7:その他	38	5.0%
無回答	34	4.5%
総計	**753**	**100.0%**



○「5:職場の同僚に迷惑がかかるから」の 55.4%が最も多く、次いで、「4:職場の理解が得られないと思うから」50.5%、「6:男性は仕事を優先するべきだと男性自身が考えているから」39.8%の順となっています。

問 10　性別

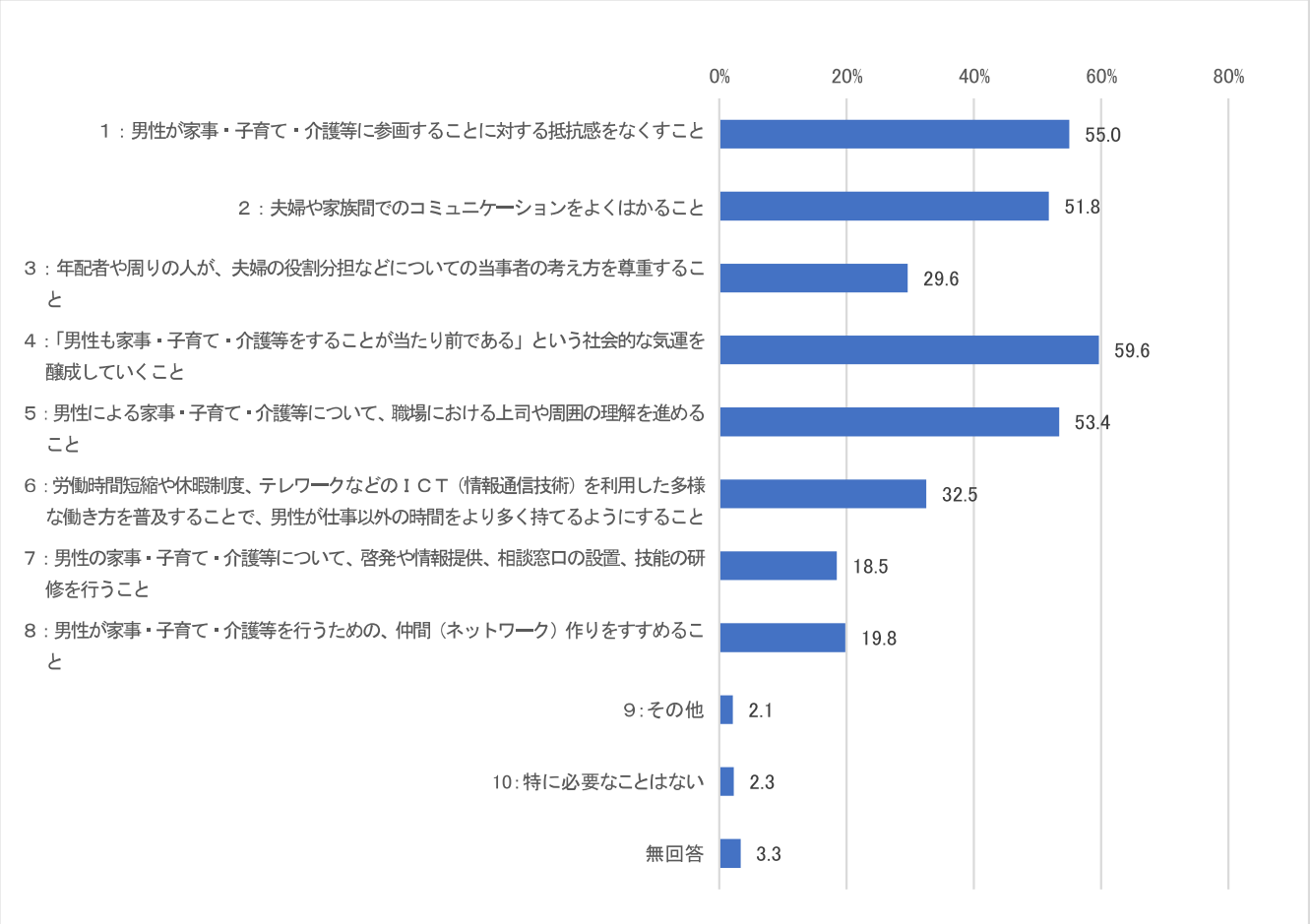


○性別では「6:男性は仕事を優先するべきだと男性自身が考えているから」が女性 49.3%、男性 29.0%と女性が男性を 20.3 ポイント上回っています。

男性が家事・子育て・介護等へより参画するために重要なこと

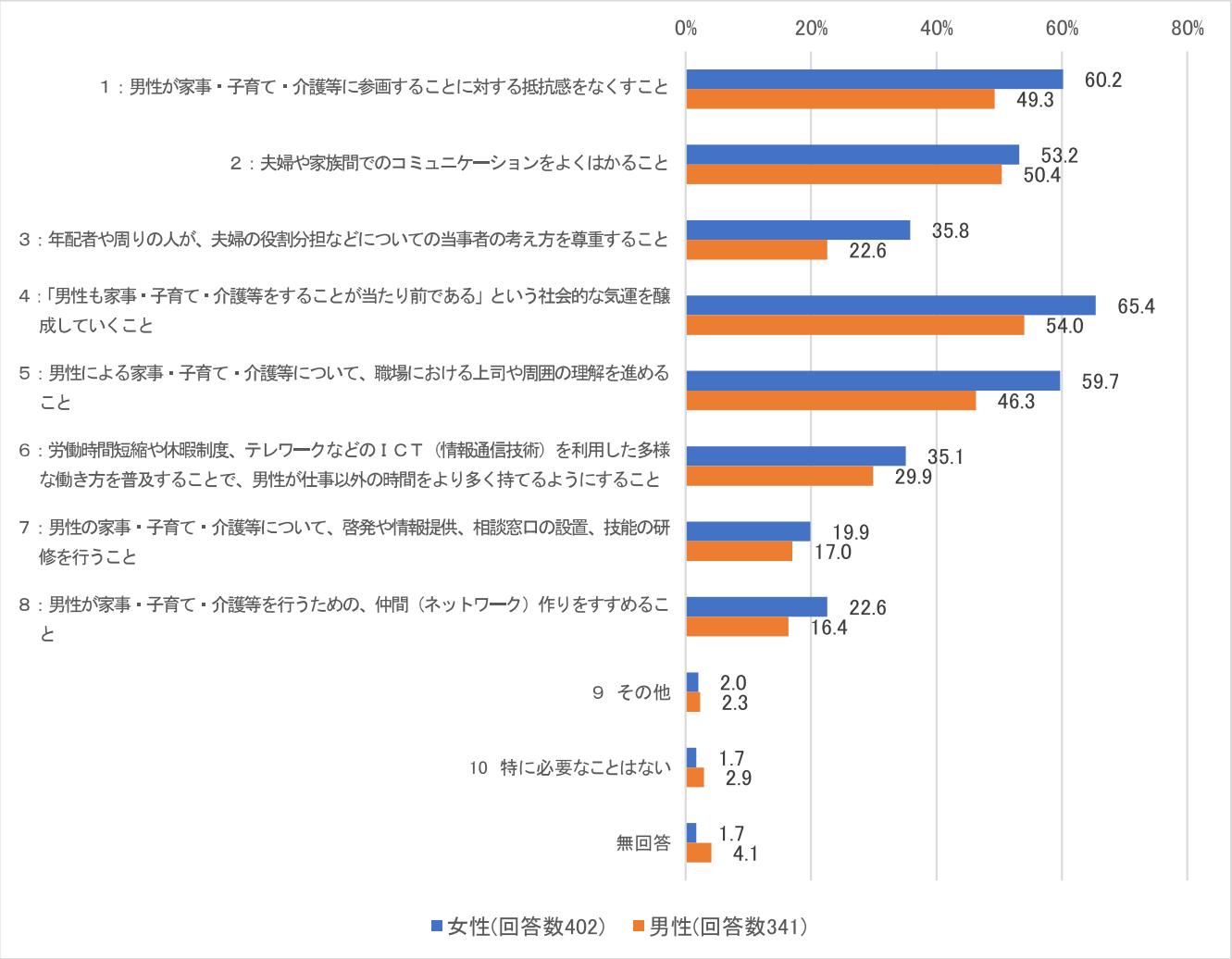
問 11　あなたは、現在、女性が分担する機会が多い家事・子育て・介護等に男性が積極的に参画していくためには、どのようなことが重要だと思いますか。あなたの考えに近いものを選んでください。（○はいくつでも可）

	集計	割合
1:男性が家事・子育て・介護等に参画することに対する抵抗感をなくすこと	414	55.0%
2:夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	390	51.8%
3:年配者や周りの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること	223	29.6%
4:「男性も家事・子育て・介護等をすることが当たり前である」という社会的な気運を醸成していくこと	449	59.6%
5:男性による家事・子育て・介護等について、職場における上司や周囲の理解を進めること	402	53.4%
6:労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどのICT(情報通信技術)を利用した多様な働き方を普及することで、男性が仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	245	32.5%
7:男性の家事・子育て・介護等について、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと	139	18.5%
8:男性が家事・子育て・介護等を行うための、仲間(ネットワーク)作りをすすめること	149	19.8%
9:その他	16	2.1%
10:特に必要なことはない	17	2.3%
無回答	25	3.3%
総計	**753**	**100.0%**



○過半数を超えたのは「1:男性が家事・子育て・介護 等に参画することに対する抵抗感をなくすこと」、「2:夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」、「4:「男性も家事・子育て・介護等をすることが当たり前である」という社会的な気運を醸成していくこと」、「5:男性による家事・子育て・介護等について、職場における上司や周囲の理解を進めること」の4項目となっています。男性本人の意識だけでなく、周囲の理解も大切だとする結果となっていることがわかります。

問 11　性別



○選択肢１から８までのいずれの項目も女性が男性を上回っており、性別による意識の違いが表れています。

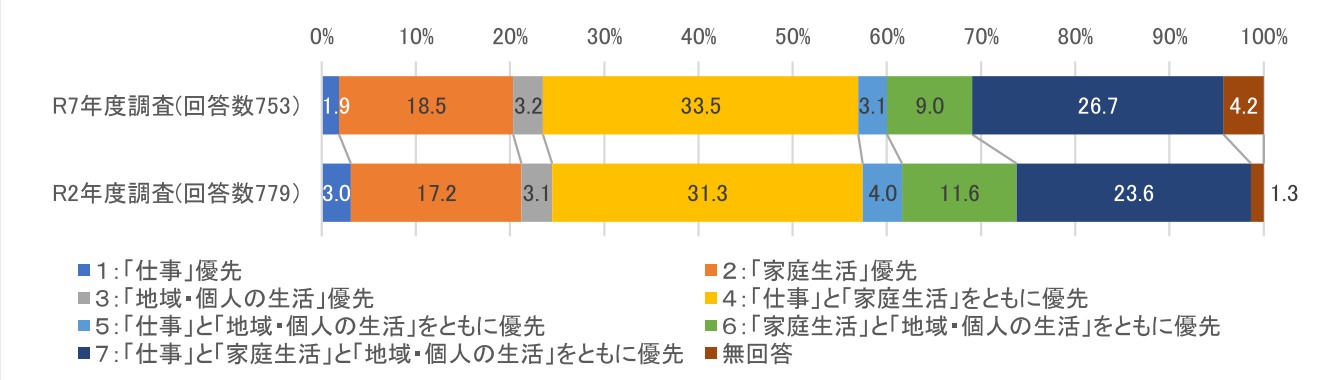
ワーク･ライフ･バランス

問 12 「仕事」、「家庭生活」、「地域･個人の生活」(地域活動･学習･趣味･付きあいなど)、この3つの優先度について、お尋ねします。
A･Bそれぞれにつき、該当する番号を下の1～7の中から1つずつ選び、○で囲んでください。

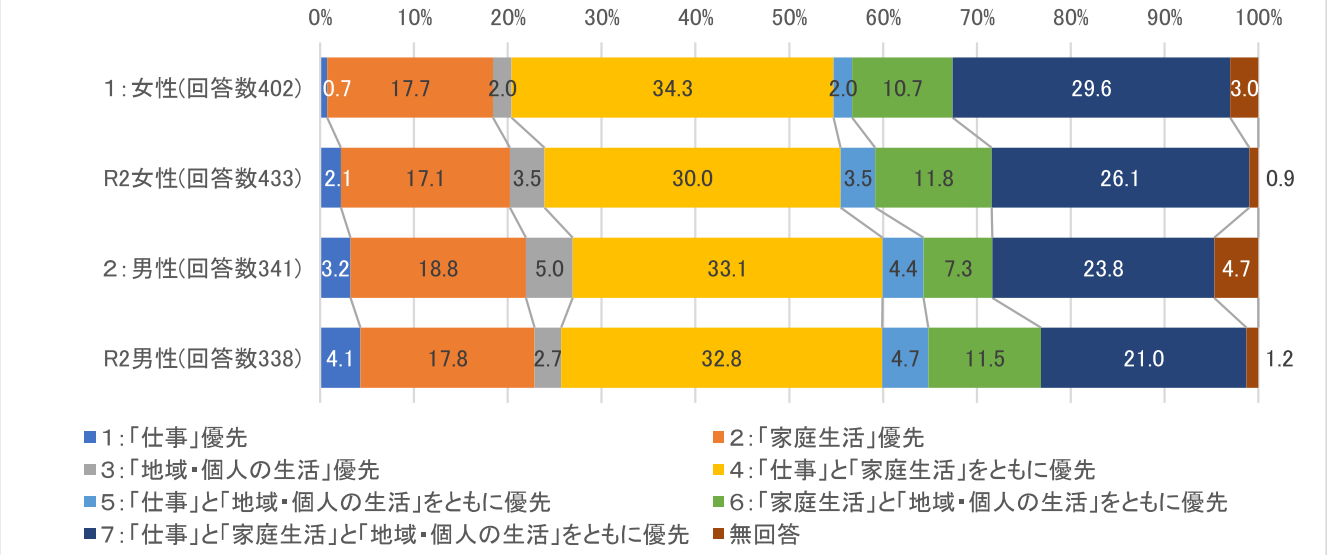
問 12－A 理想(希望)とする生活

	集計	割合
1:「仕事」優先	14	1.9%
2:「家庭生活」優先	139	18.5%
3:「地域･個人の生活」優先	24	3.2%
4:「仕事」と「家庭生活」をともに優先	252	33.5%
5:「仕事」と「地域･個人の生活」をともに優先	23	3.1%
6:「家庭生活」と「地域･個人の生活」をともに優先	68	9.0%
7:「仕事」と「家庭生活」と「地域･個人の生活」をともに優先	201	26.7%
無回答	32	4.2%
総計	**753**	**100.0%**

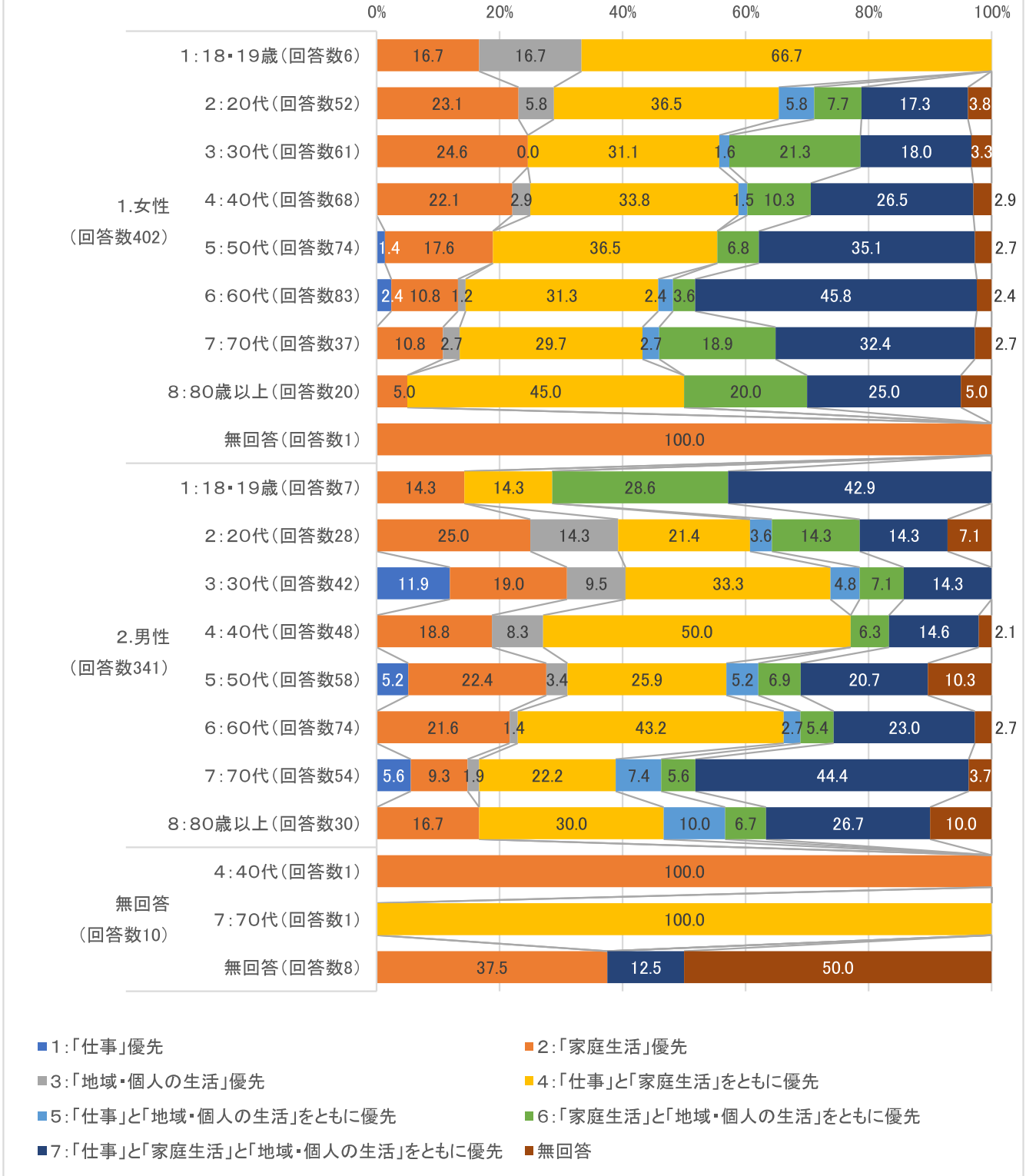
問 12－A 理想(希望)とする生活 令和2年調査との比較



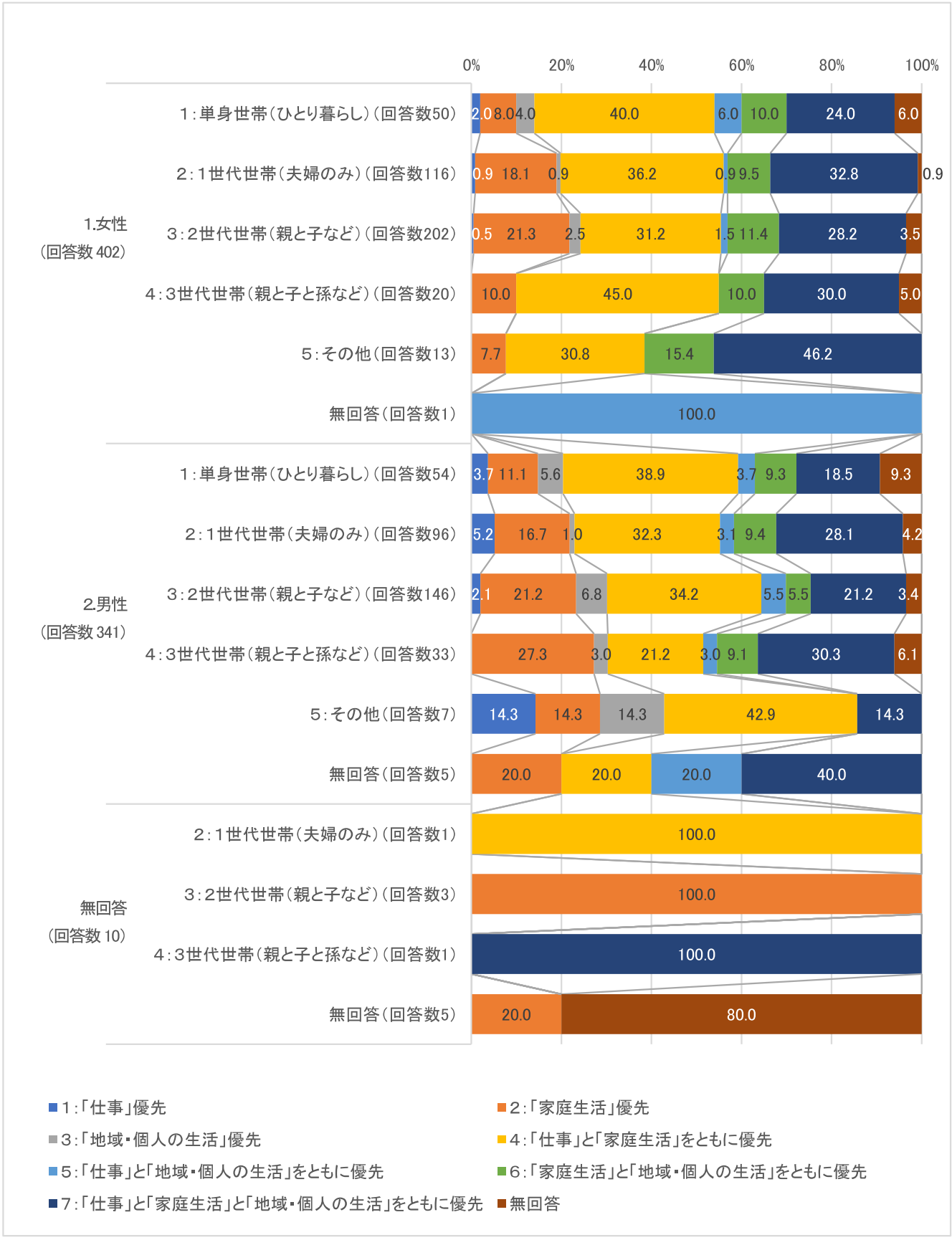
問 12―A●理想(希望) 性別／令和2年調査との比較



問 12―A●理想（希望） 性別×年齢



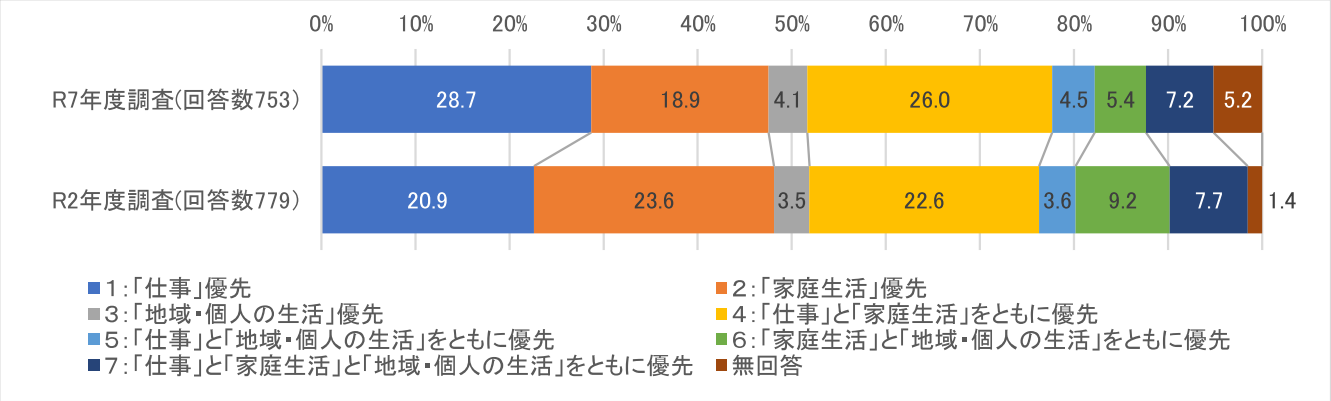
問 12―A●理想（希望） 性別×家族構成



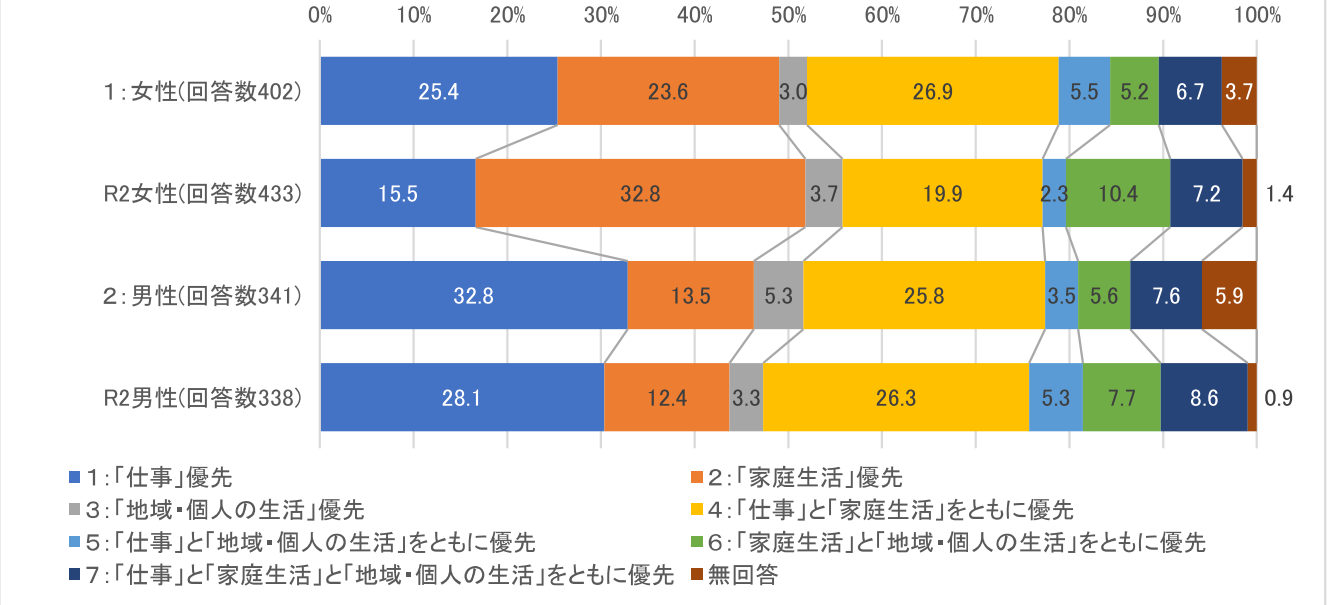
問 12－B　現実(現状)の生活

	集計	割合
1:「仕事」優先	216	28.7%
2:「家庭生活」優先	142	18.9%
3:「地域・個人の生活」優先	31	4.1%
4:「仕事」と「家庭生活」をともに優先	196	26.0%
5:「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	34	4.5%
6:「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	41	5.4%
7:「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	54	7.2%
無回答	39	5.2%
総計	**753**	**100.0%**

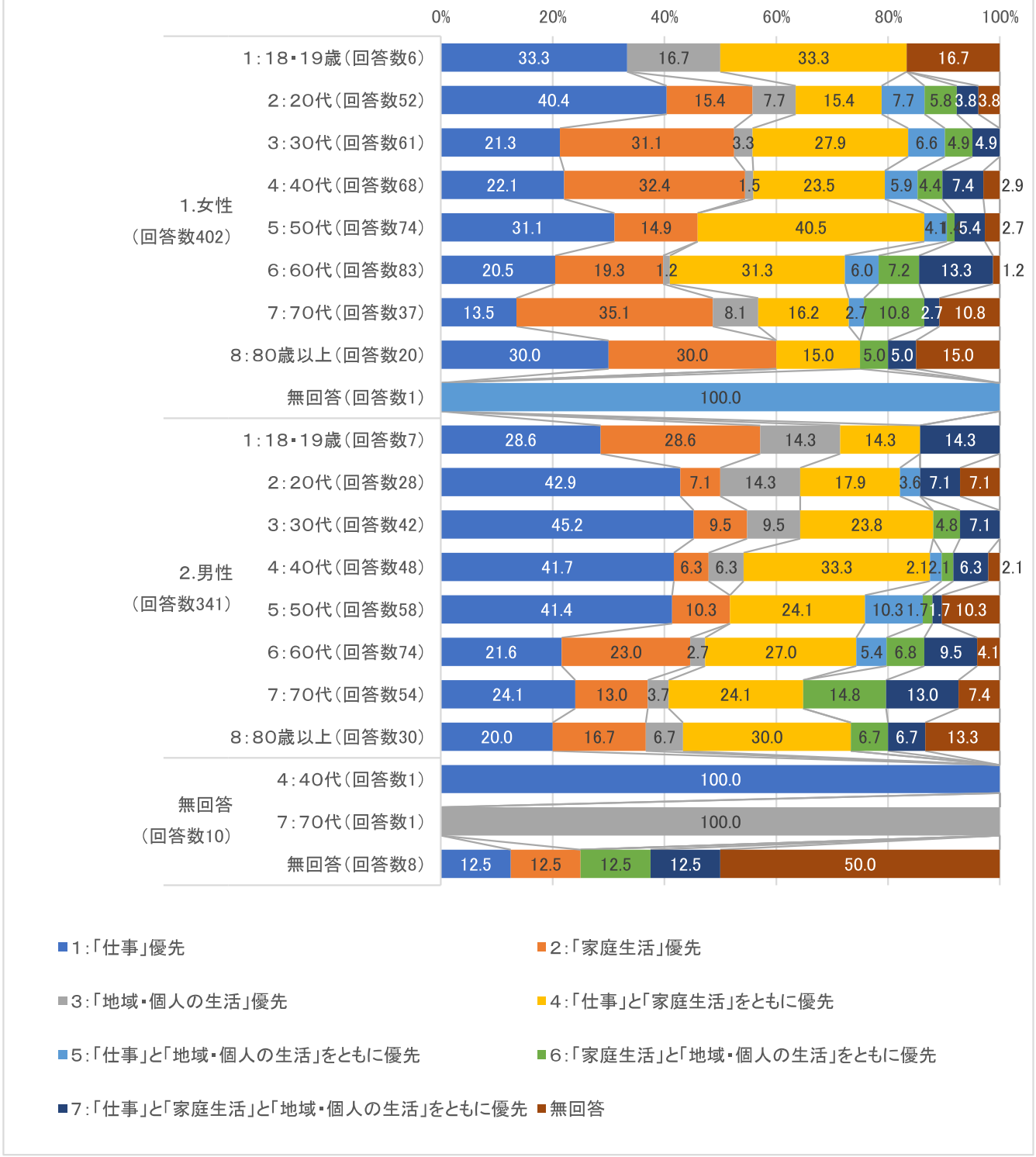
問 12―B●現実(現状)　令和2年調査との比較



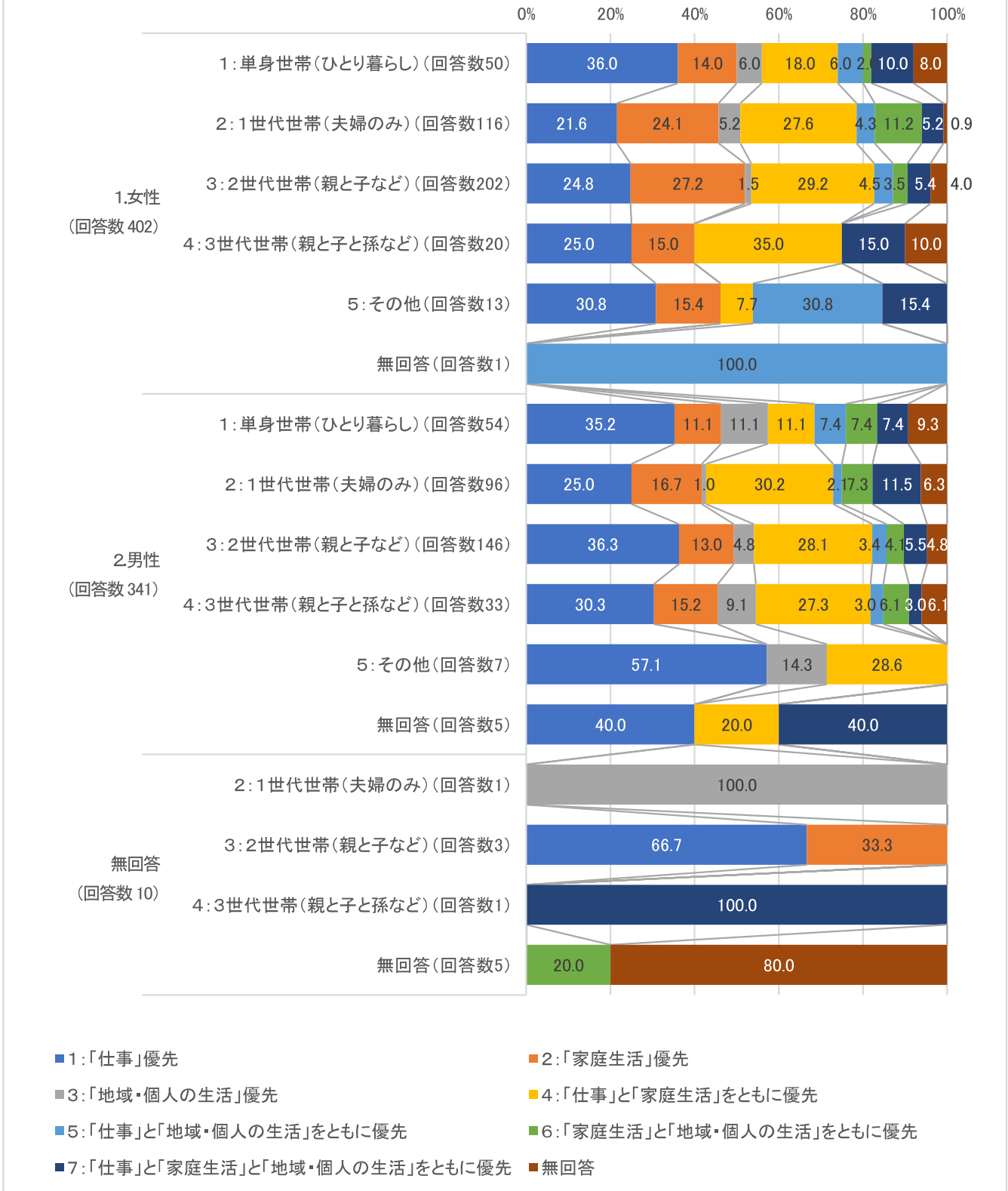
問 12―B●現実(現状)　性別／令和2年調査との比較



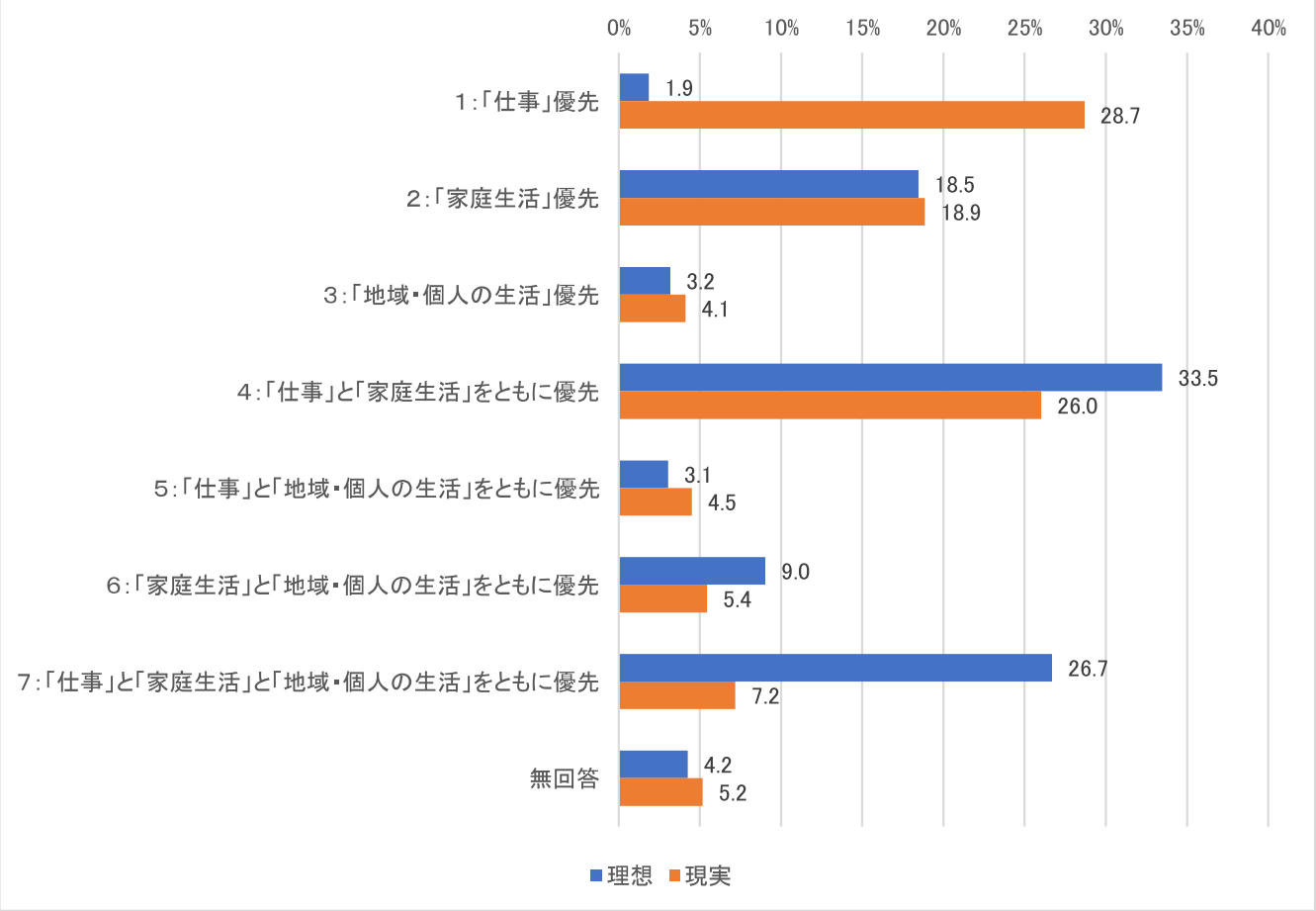
問 12―B●現実(現状) 性別×年齢



問 12―B●現実(現状) 性別×家族構成

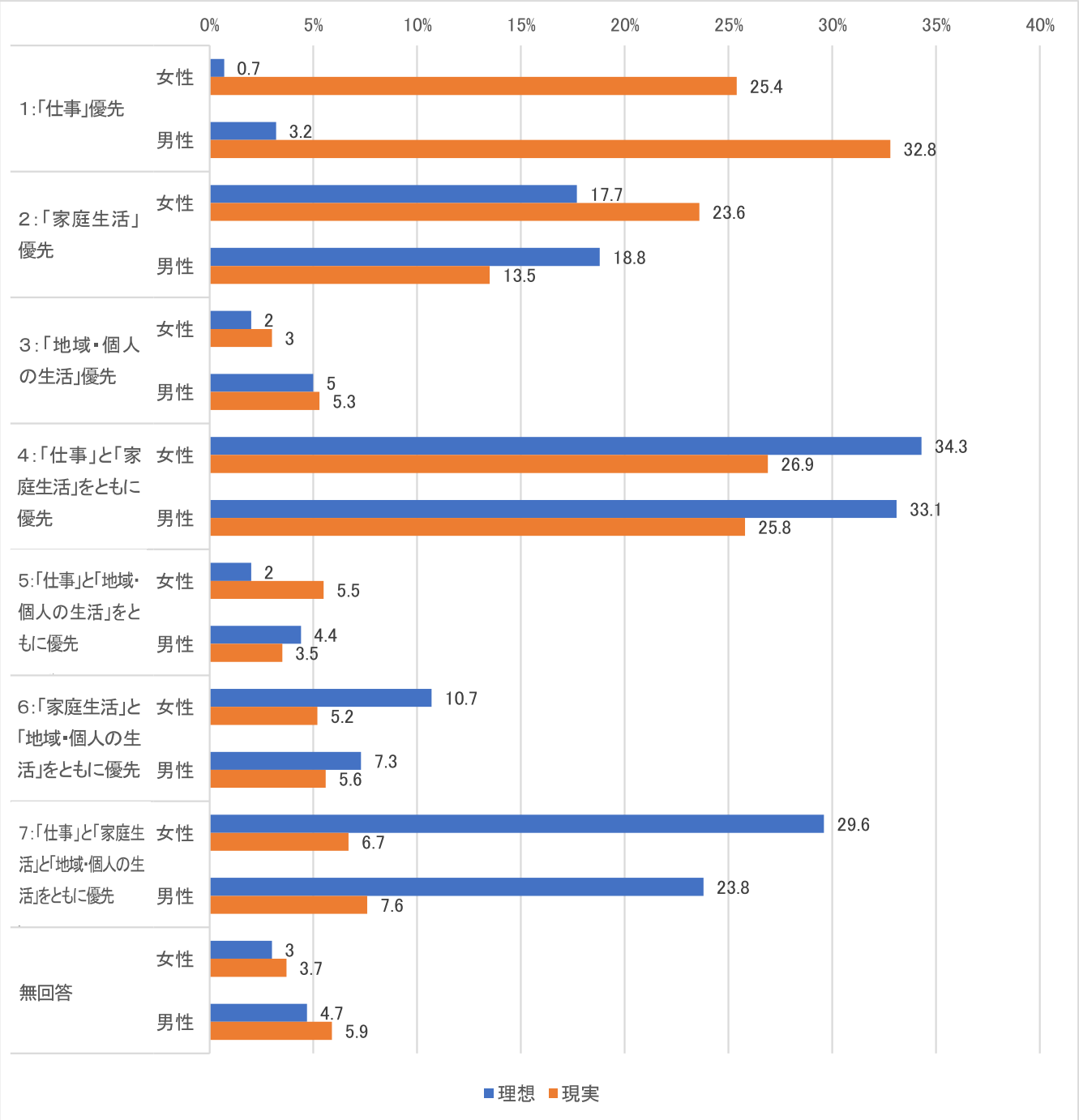


問 12　理想（希望）とする生活と現実（現状）の生活との相関



○理想と現実の生活を比較すると、「1：「仕事」優先」では現実が理想を大きく上回り、「7：「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先」では理想が現実を大きく上回っています。

問 12　理想（希望）とする生活と現実（現状）の生活との相関　性別

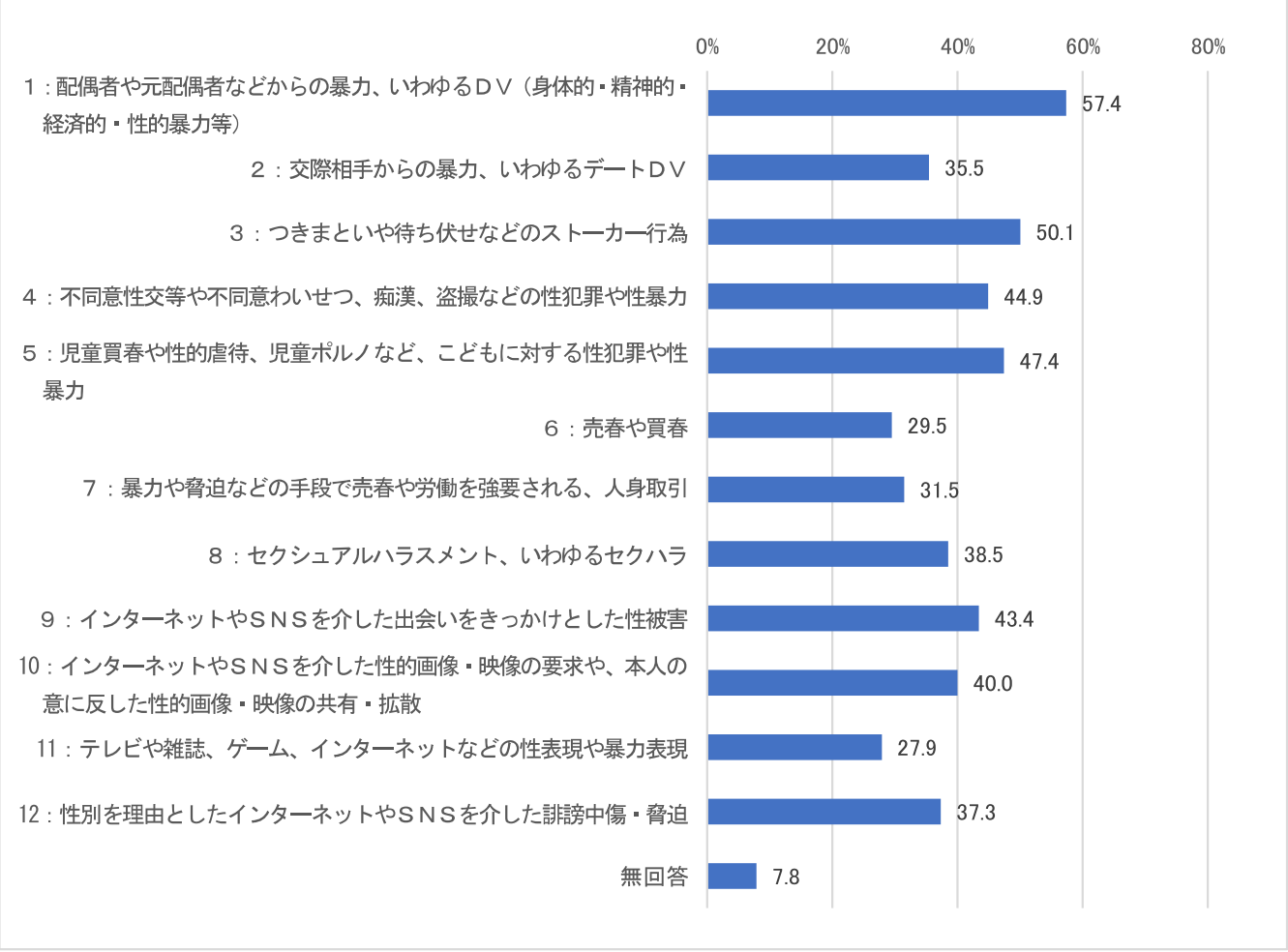


○性別で比較すると、「2:「家庭生活」優先」では理想が同程度なのに対し、現実では女性が 23.6%、男性が 13.5%と女性が 11.1 ポイント上回っています。

性暴力根絶に向けた対策

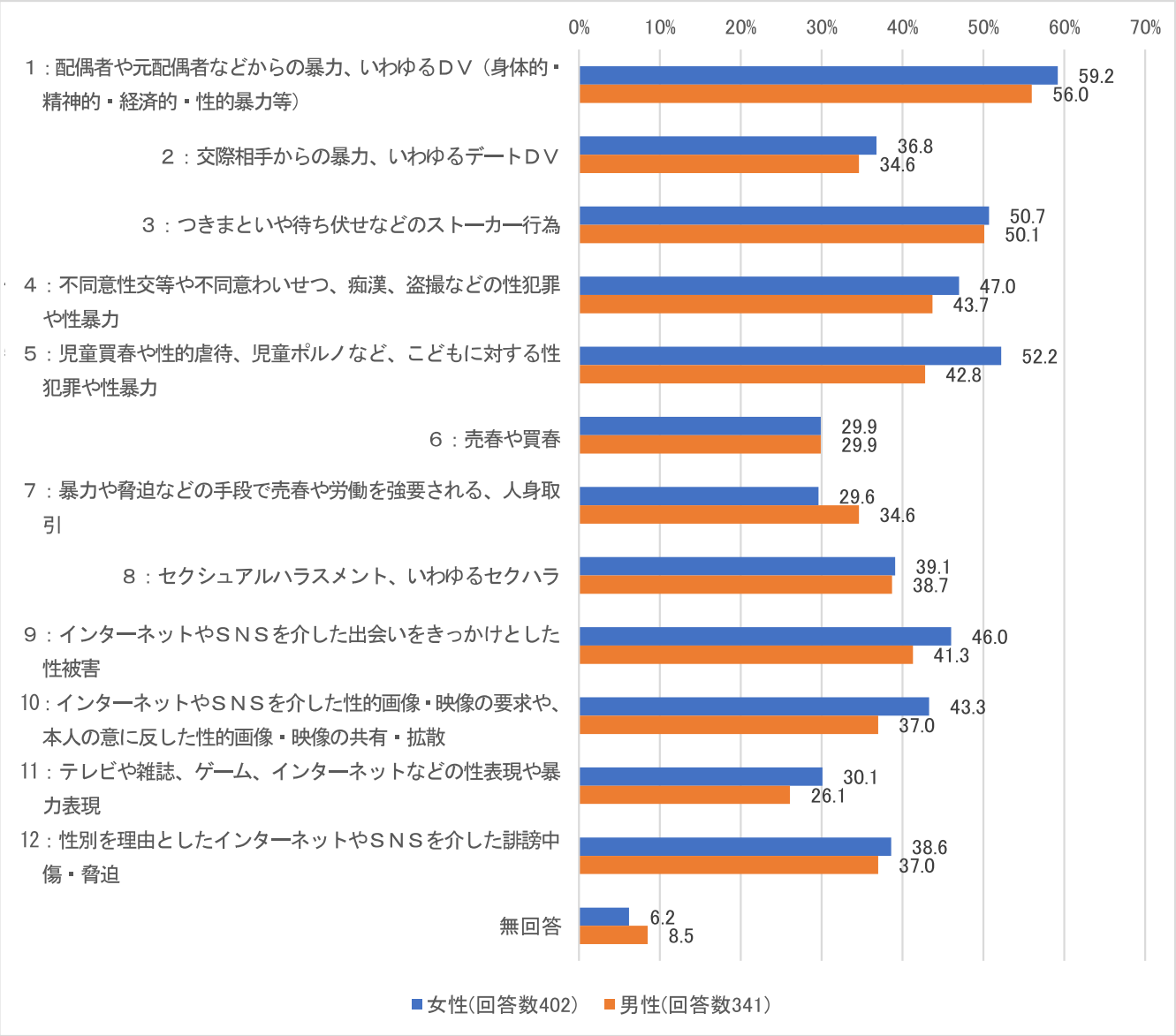
問 13　上田市では、男女共同参画社会を実現する上での重要な課題として、DVや性暴力など個人としての尊厳を害する暴力の根絶に取り組んでいます。あなたが、対策が必要だと考えるのは次のうちどれですか。（○はいくつでも可）

	集計	割合
1:配偶者や元配偶者などからの暴力、いわゆるDV(身体的・精神的・経済的・性的暴力等)	432	57.4%
2:交際相手からの暴力、いわゆるデートDV	267	35.5%
3:つきまといや待ち伏せなどのストーカー行為	377	50.1%
4:不同意性交等や不同意わいせつ、痴漢、盗撮などの性犯罪や性暴力	338	44.9%
5:児童買春や性的虐待、児童ポルノなど、こどもに対する性犯罪や性暴力	357	47.4%
6:売春や買春	222	29.5%
7:暴力や脅迫などの手段で売春や労働を強要される、人身取引	237	31.5%
8:セクシュアルハラスメント、いわゆるセクハラ	290	38.5%
9:インターネットやSNSを介した出会いをきっかけとした性被害	327	43.4%
10:インターネットやSNSを介した性的画像・映像の要求や、本人の意に反した性的画像・映像の共有・拡散	301	40.0%
11:テレビや雑誌、ゲーム、インターネットなどの性表現や暴力表現	210	27.9%
12:性別を理由としたインターネットやSNSを介した誹謗中傷・脅迫	281	37.3%
無回答	59	7.8%
総計	**753**	**100.0%**



○「1:配偶者や元配偶者などからの暴力、いわゆるDV(身体的・精神的・経済的・性的暴力等)」が 57.4%と最も多くなっていますが、全ての選択肢に回答が分散しており、多様な対策が求められています。

問 13　性別

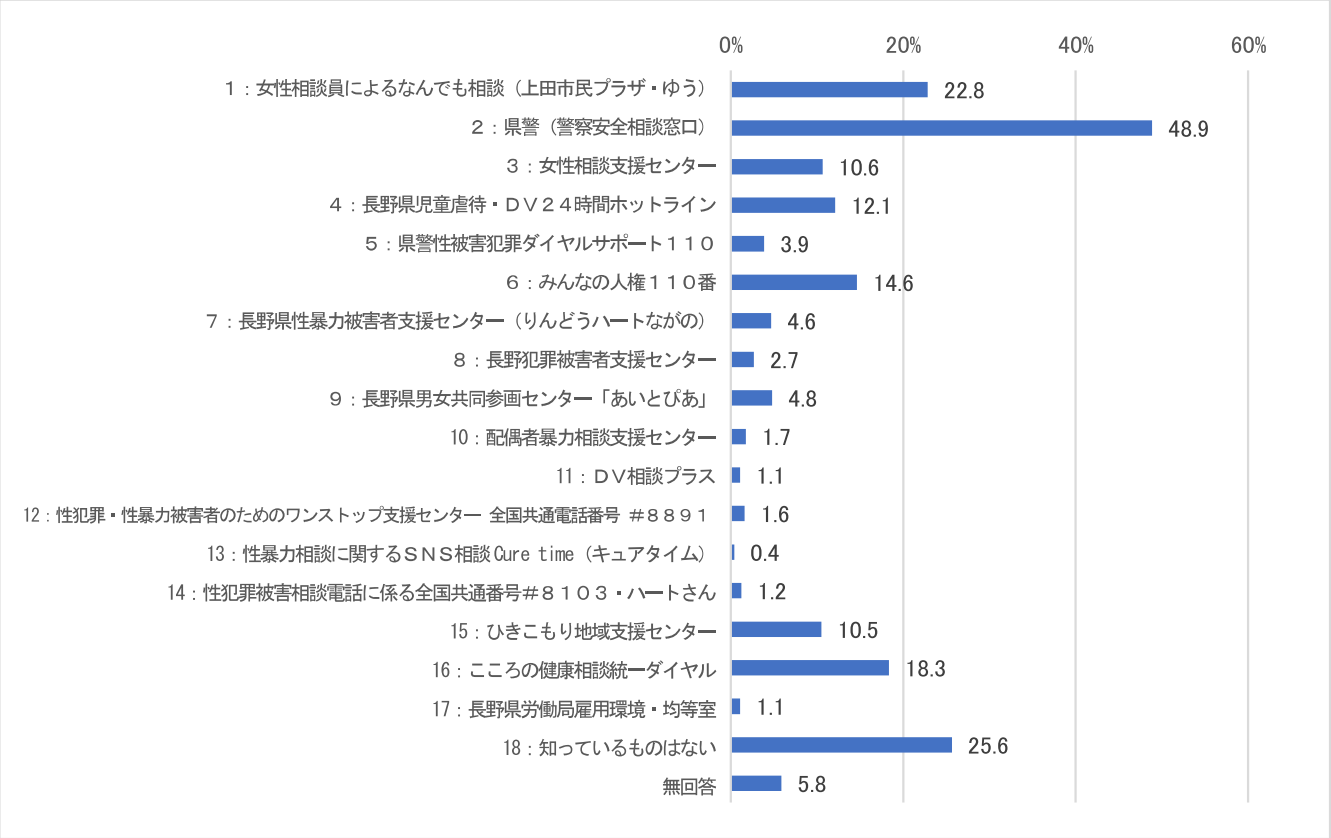


○「7:暴力や脅迫などの手段で売春や労働を強要される、人身取引」を除く全ての選択肢で、女性が男性を上回っています。
　特に、「5:児童買春や性的虐待、児童ポルノなど、こどもに対する性犯罪や性暴力」で、女性が男性を 9.4 ポイント上回っています。

性暴力相談窓口の認知度

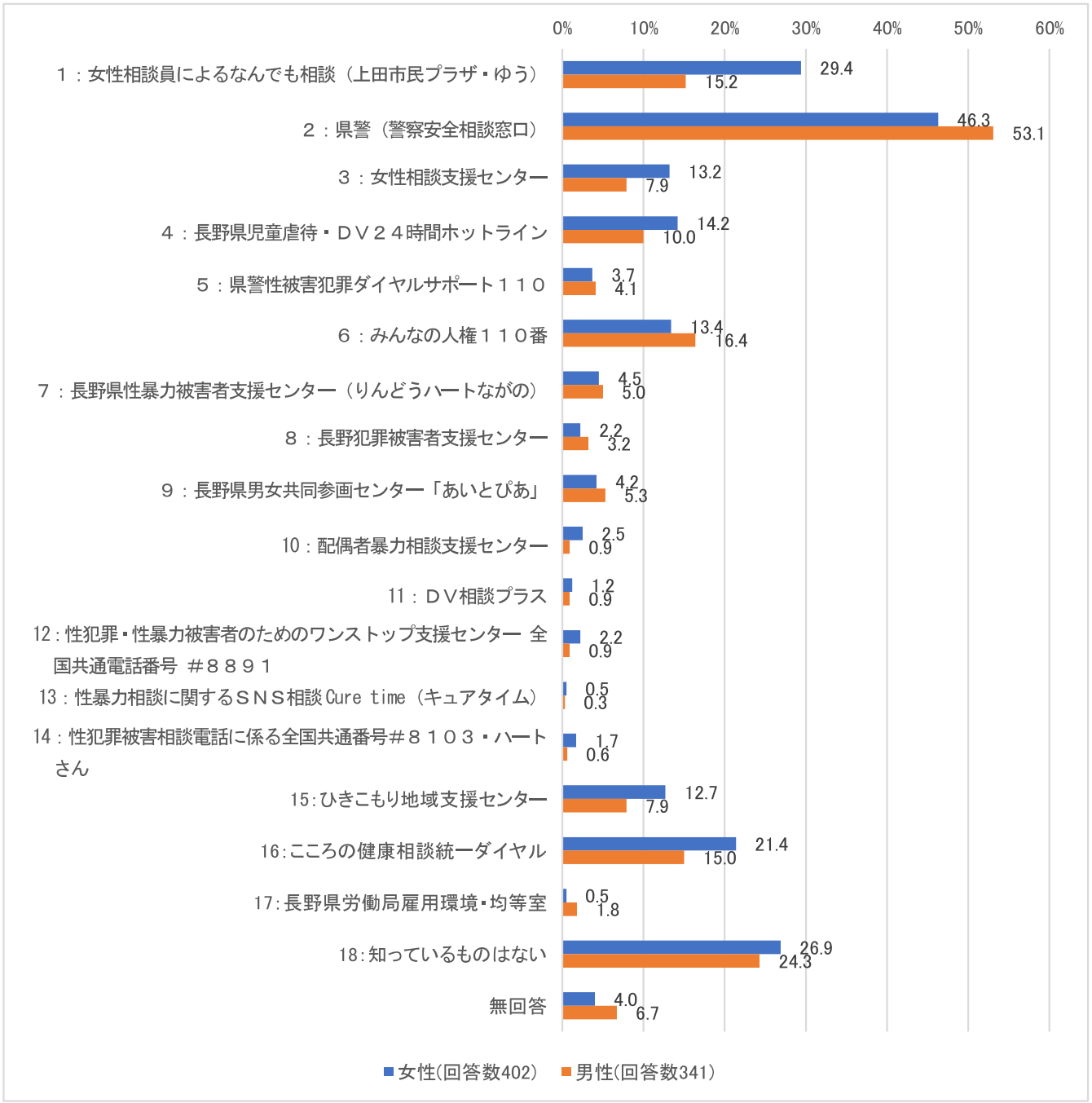
問 14　DVや性暴力の被害やそれに関する悩みを相談できる窓口などについて、あなたが知っているものをすべて選び、○で囲んでください。（○はいくつでも可）

	集計	割合
1:女性相談員によるなんでも相談(上田市民プラザ・ゆう)	172	22.8%
2:県警(警察安全相談窓口)	368	48.9%
3:女性相談支援センター	80	10.6%
4:長野県児童虐待・DV24時間ホットライン	91	12.1%
5:県警性被害犯罪ダイヤルサポート110	29	3.9%
6:みんなの人権110番	110	14.6%
7:長野県性暴力被害者支援センター(りんどうハートながの)	35	4.6%
8:長野犯罪被害者支援センター	20	2.7%
9:長野県男女共同参画センター「あいとぴあ」	36	4.8%
10:配偶者暴力相談支援センター	13	1.7%
11:DV相談プラス	8	1.1%
12:性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター 全国共通電話番号 #8891	12	1.6%
13:性暴力相談に関するSNS相談 Cure time(キュアタイム)	3	0.4%
14:性犯罪被害相談電話に係る全国共通番号#8103・ハートさん	9	1.2%
15:ひきこもり地域支援センター	79	10.5%
16:こころの健康相談統一ダイヤル	138	18.3%
17:長野県労働局雇用環境・均等室	8	1.1%
18:知っているものはない	193	25.6%
無回答	44	5.8%
総計	**753**	**100.0%**



○「2:県警(警察安全相談窓口)」の 48.9%が最も多くなっています。一方、「18:知っているものはない」とする回答が 25.6%で2番目に多くなっており、相談窓口の認知度向上が必要です。

問 14　性別

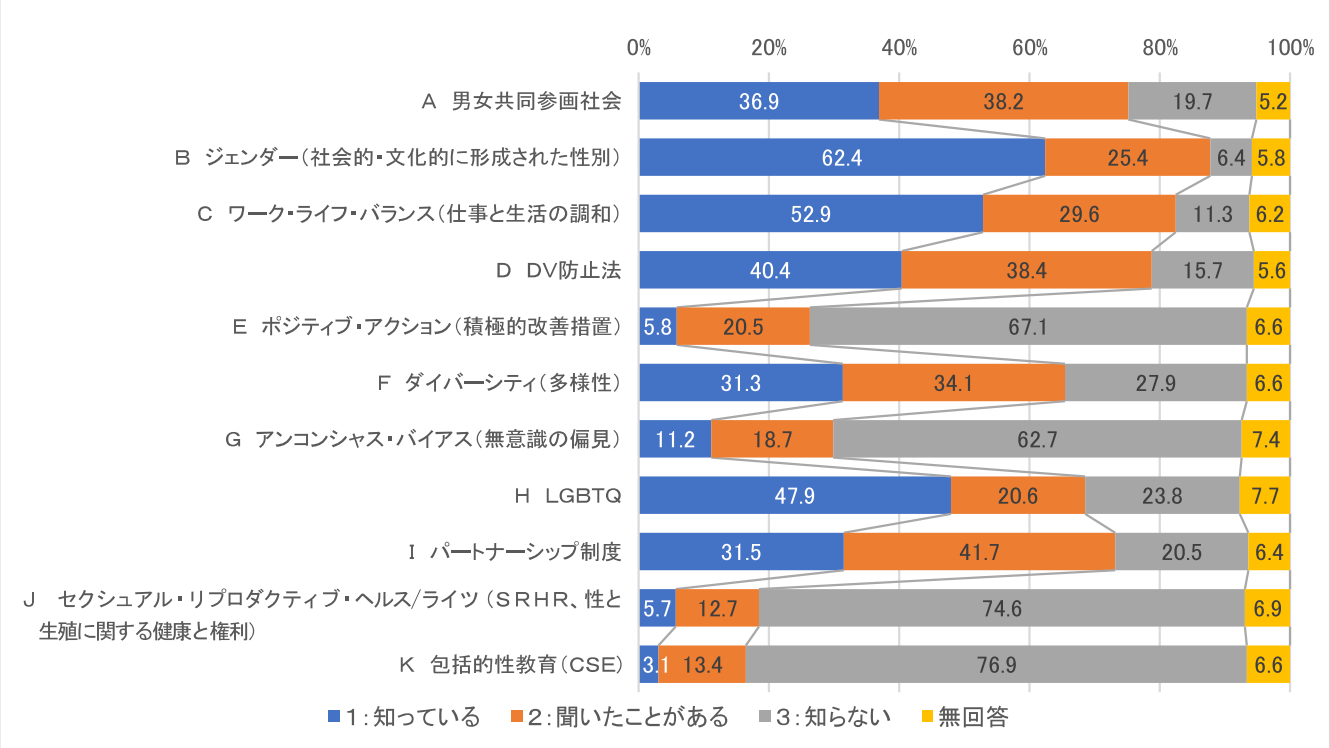


○「1:女性相談員によるなんでも相談(上田市民プラザ・ゆう)」は女性 29.4%に対し、男性 15.2%と認知度に大きな差が見られます。

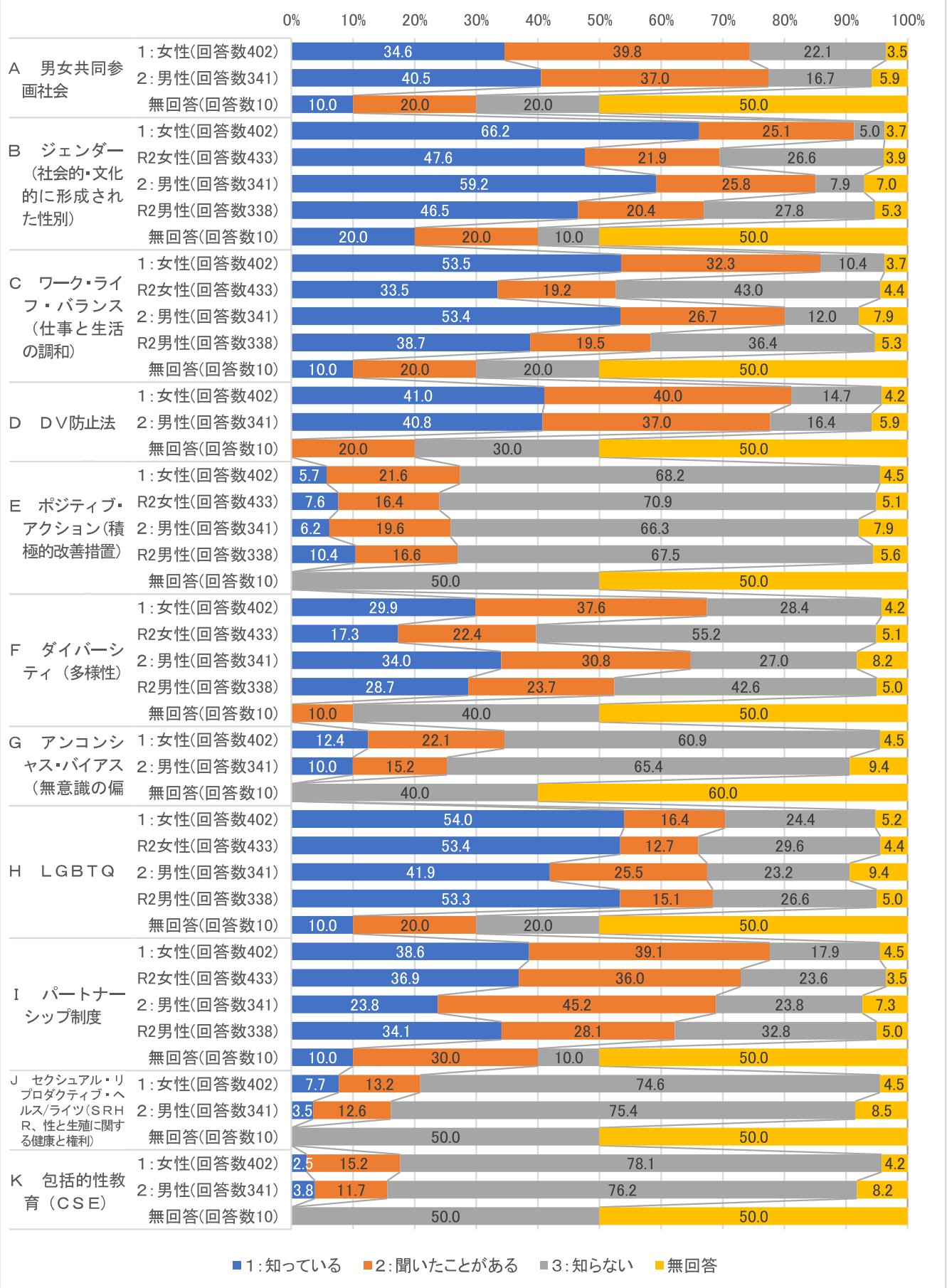
語句の認知度

問 15　あなたは、次の言葉やことがらについて、ご存知ですか。あるいは、聞いたことがありますか。A～Kそれぞれにつき、あてはまる番号を○で囲んでください。（○はそれぞれ1つずつ）

上段:回答者数(人) 下段:割合(%)	1:知っている	2:聞いたことがある	3:知らない	無回答	総計
A　男女共同参画社会	278	288	148	39	753
	36.9	38.2	19.7	5.2	100.0
B　ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）	470	191	48	44	753
	62.4	25.4	6.4	5.8	100.0
C　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	398	223	85	47	753
	52.9	29.6	11.3	6.2	100.0
D　DV防止法	304	289	118	42	753
	40.4	38.4	15.7	5.6	100.0
E　ポジティブ・アクション（積極的改善措置）	44	154	505	50	753
	5.8	20.5	67.1	6.6	100.0
F　ダイバーシティ（多様性）	236	257	210	50	753
	31.3	34.1	27.9	6.6	100.0
G　アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）	84	141	472	56	753
	11.2	18.7	62.7	7.4	100.0
H　LGBTQ	361	155	179	58	753
	47.9	20.6	23.8	7.7	100.0
I　パートナーシップ制度	237	314	154	48	753
	31.5	41.7	20.5	6.4	100.0
J　セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（SRHR、性と生殖に関する健康と権利）	43	96	562	52	753
	5.7	12.7	74.6	6.9	100.0
K　包括的性教育（CSE）	23	101	579	50	753
	3.1	13.4	76.9	6.6	100.0

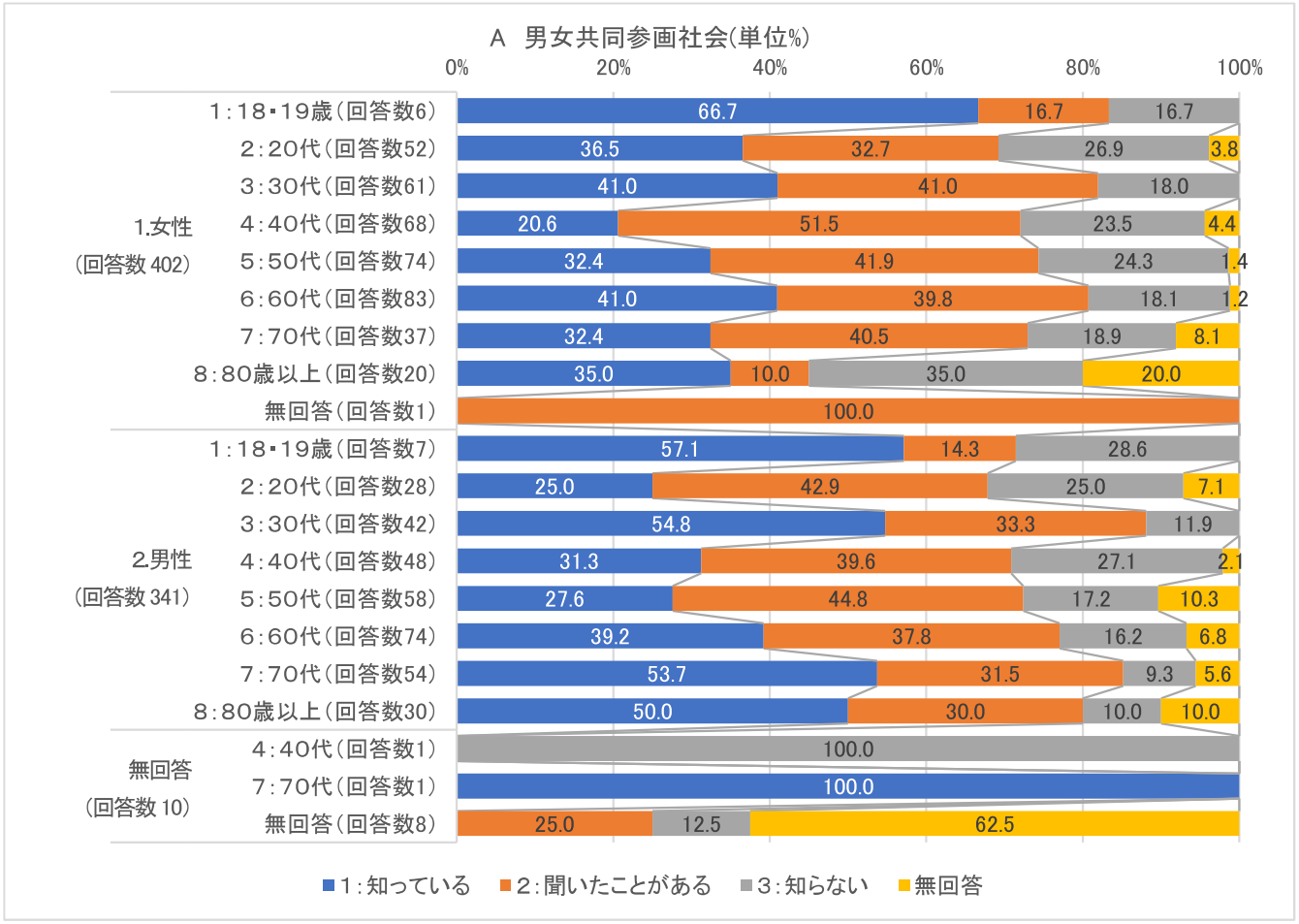


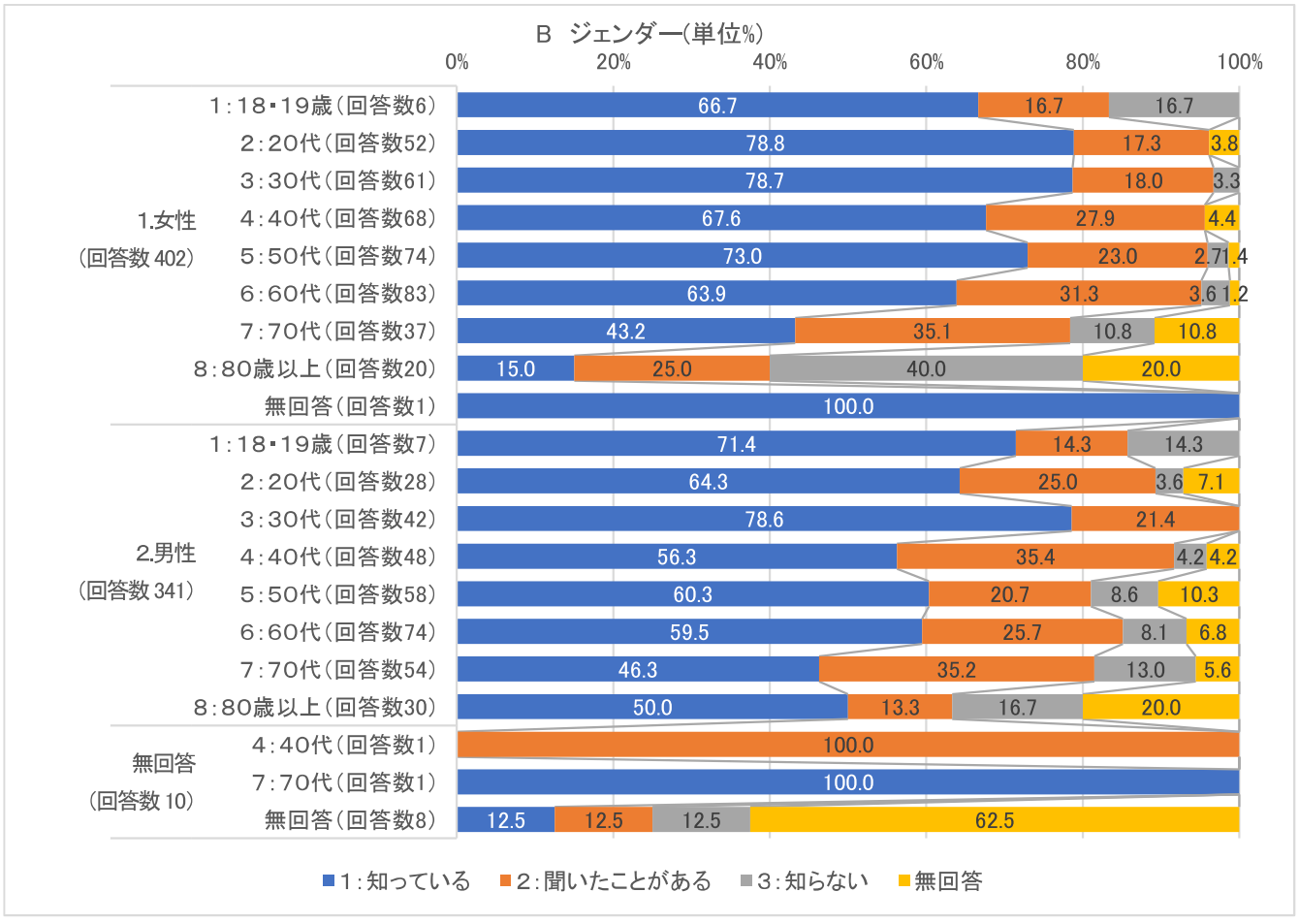
問 15　性別／令和2年調査との比較

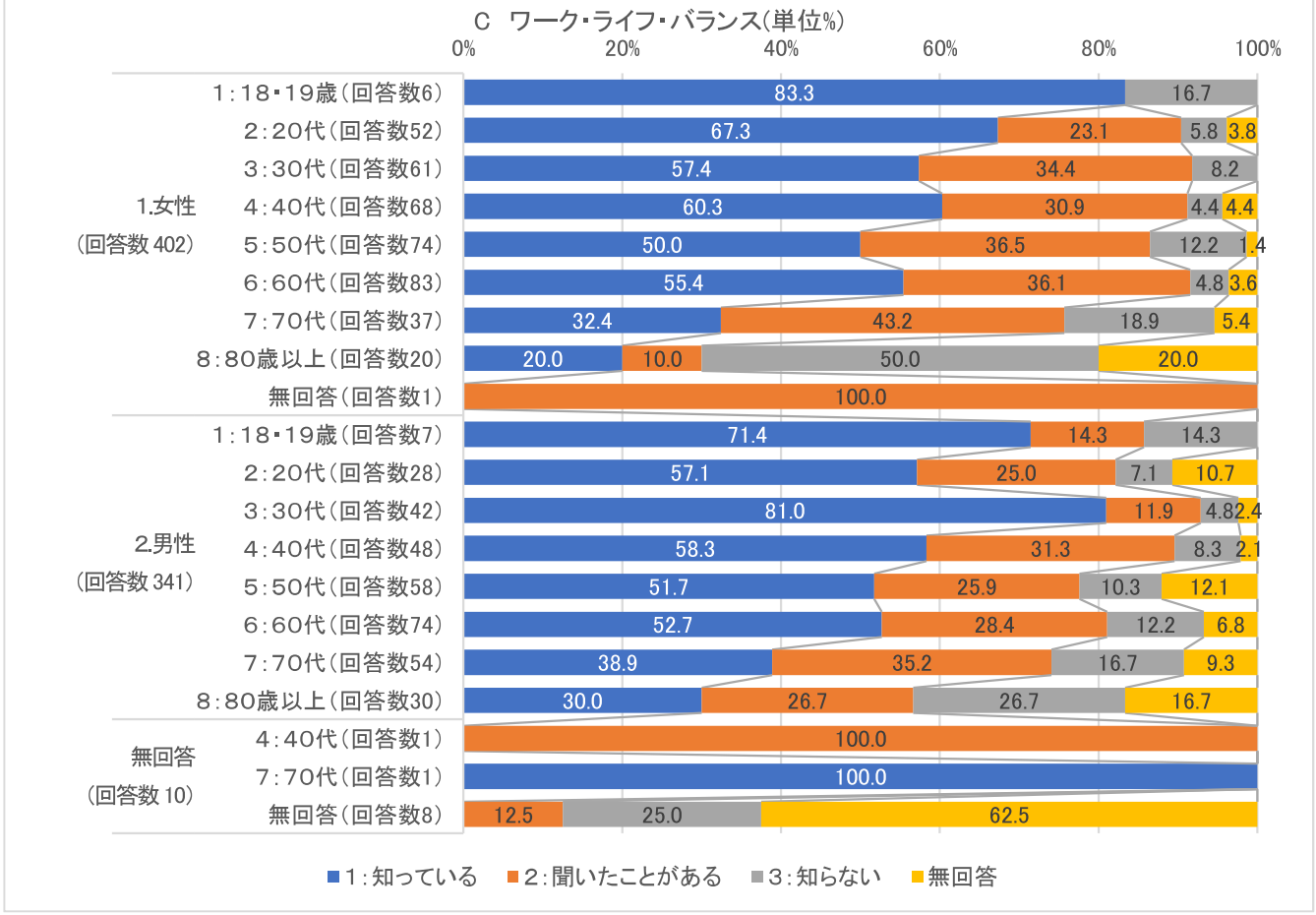


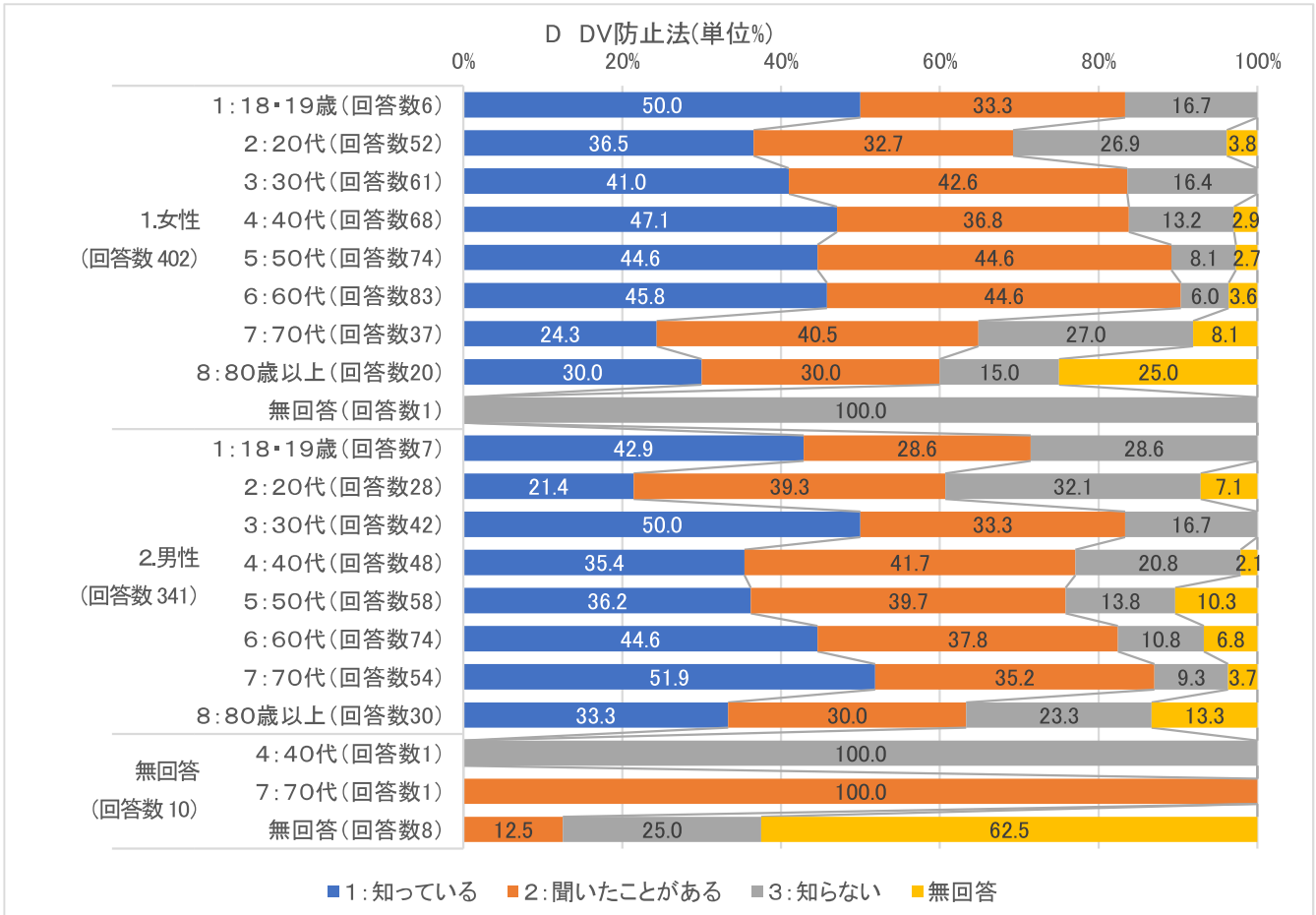
○令和2年度調査と比較すると、男女ともに「B ジェンダー」、「C ワーク・ライフ・バランス」、「F ダイバーシティ」の認知度は向上しています。一方、「Eポジティブ・アクション」、「H LGBTQ」はほぼ横ばいとなっています。

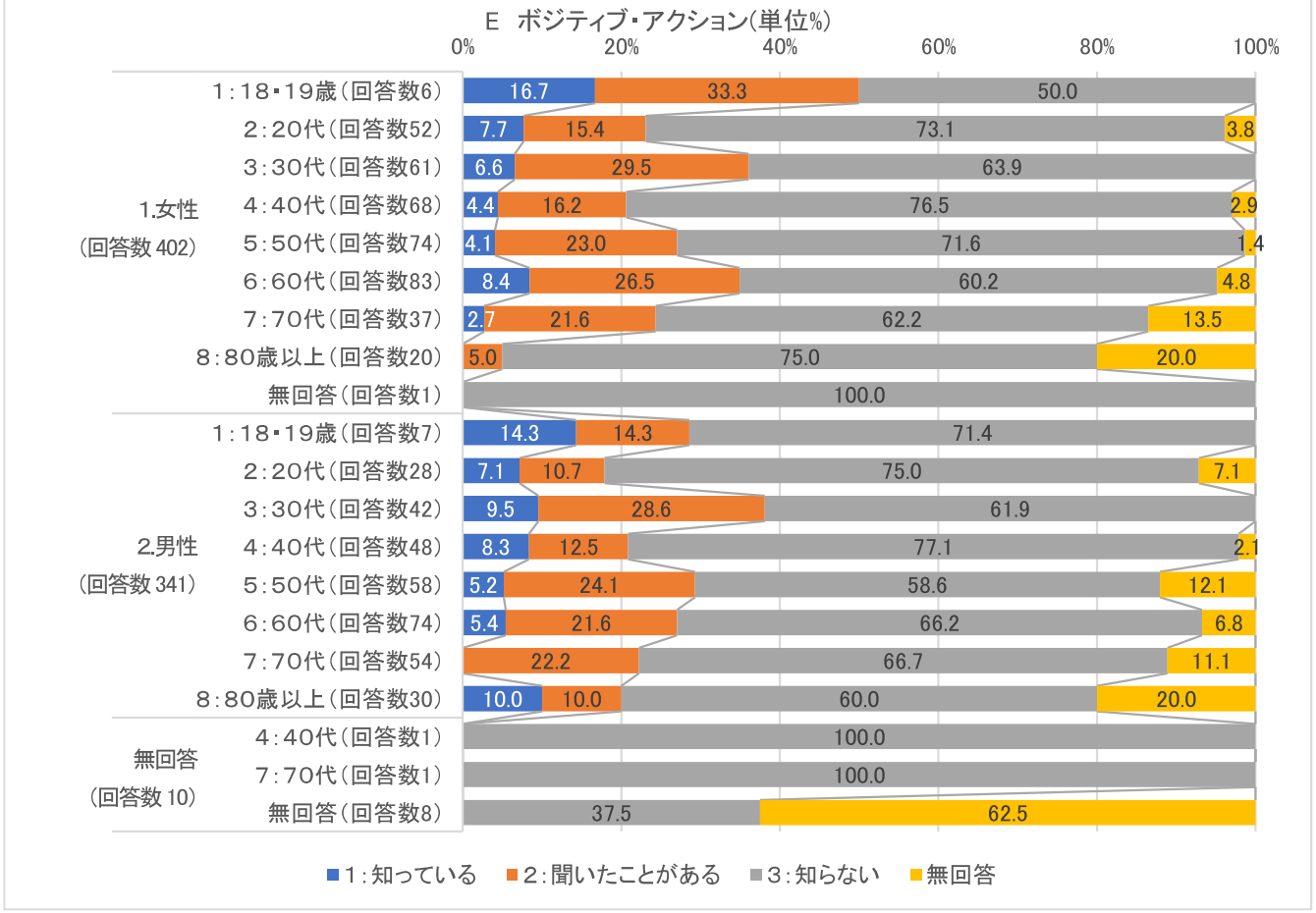
問 15　性別×年齢別

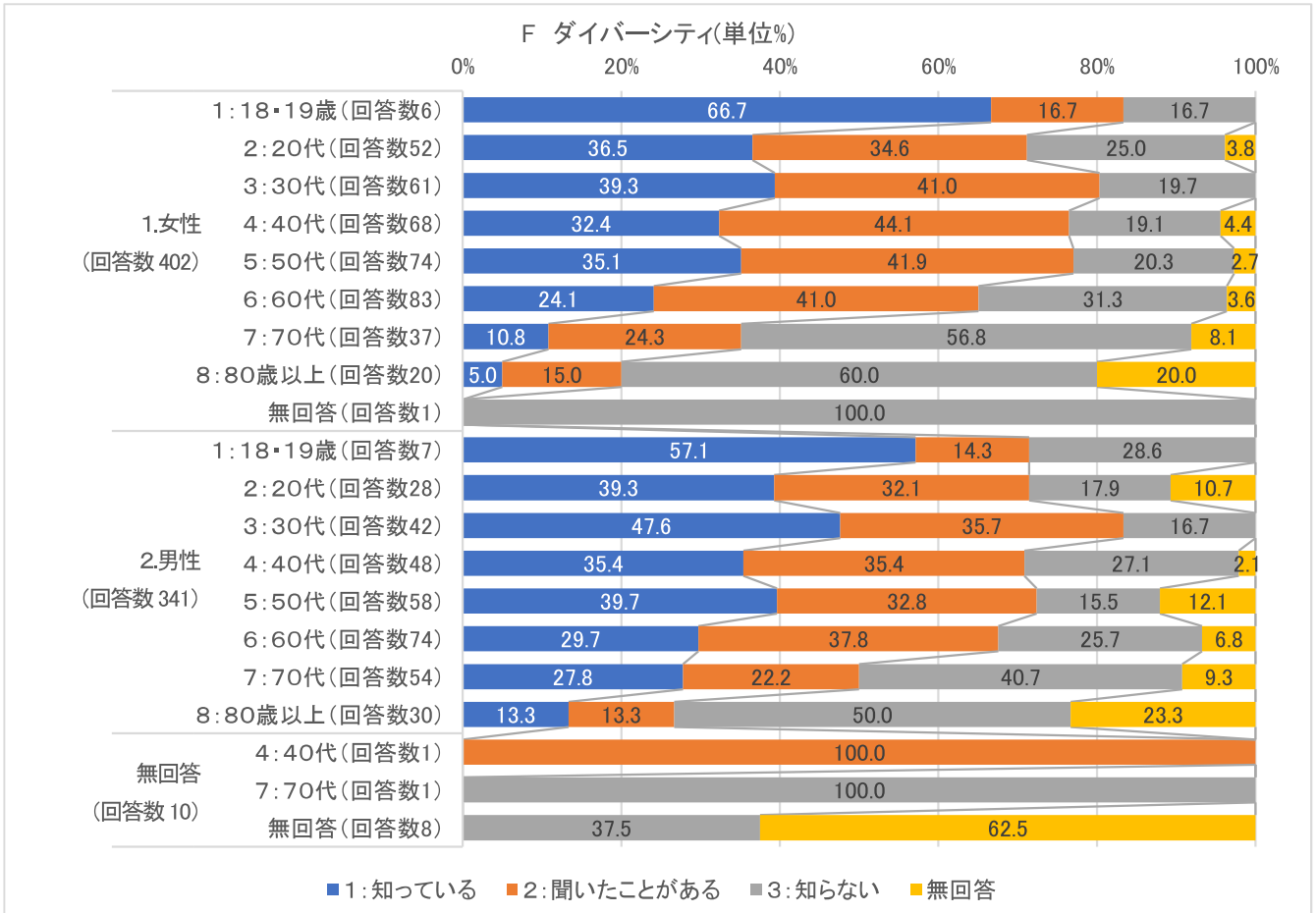

A　男女共同参画社会(単位%)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1.女性（回答数 402）
1：18・19歳（回答数6）
66.7
16.7
16.7
2：20代（回答数52）
36.5
32.7
26.9
3.8
3：30代（回答数61）
41.0
41.0
18.0
4：40代（回答数68）
20.6
51.5
23.5
4.4
5：50代（回答数74）
32.4
41.9
24.3
1.4
6：60代（回答数83）
41.0
39.8
18.1
1.2
7：70代（回答数37）
32.4
40.5
18.9
8.1
8：80歳以上（回答数20）
35.0
10.0
35.0
20.0
無回答（回答数1）
100.0
2.男性（回答数 341）
1：18・19歳（回答数7）
57.1
14.3
28.6
2：20代（回答数28）
25.0
42.9
25.0
7.1
3：30代（回答数42）
54.8
33.3
11.9
4：40代（回答数48）
31.3
39.6
27.1
2.1
5：50代（回答数58）
27.6
44.8
17.2
10.3
6：60代（回答数74）
39.2
37.8
16.2
6.8
7：70代（回答数54）
53.7
31.5
9.3
5.6
8：80歳以上（回答数30）
50.0
30.0
10.0
10.0
無回答（回答数 10）
4：40代（回答数1）
100.0
7：70代（回答数1）
100.0
無回答（回答数8）
25.0
12.5
62.5
1：知っている
2：聞いたことがある
3：知らない
無回答

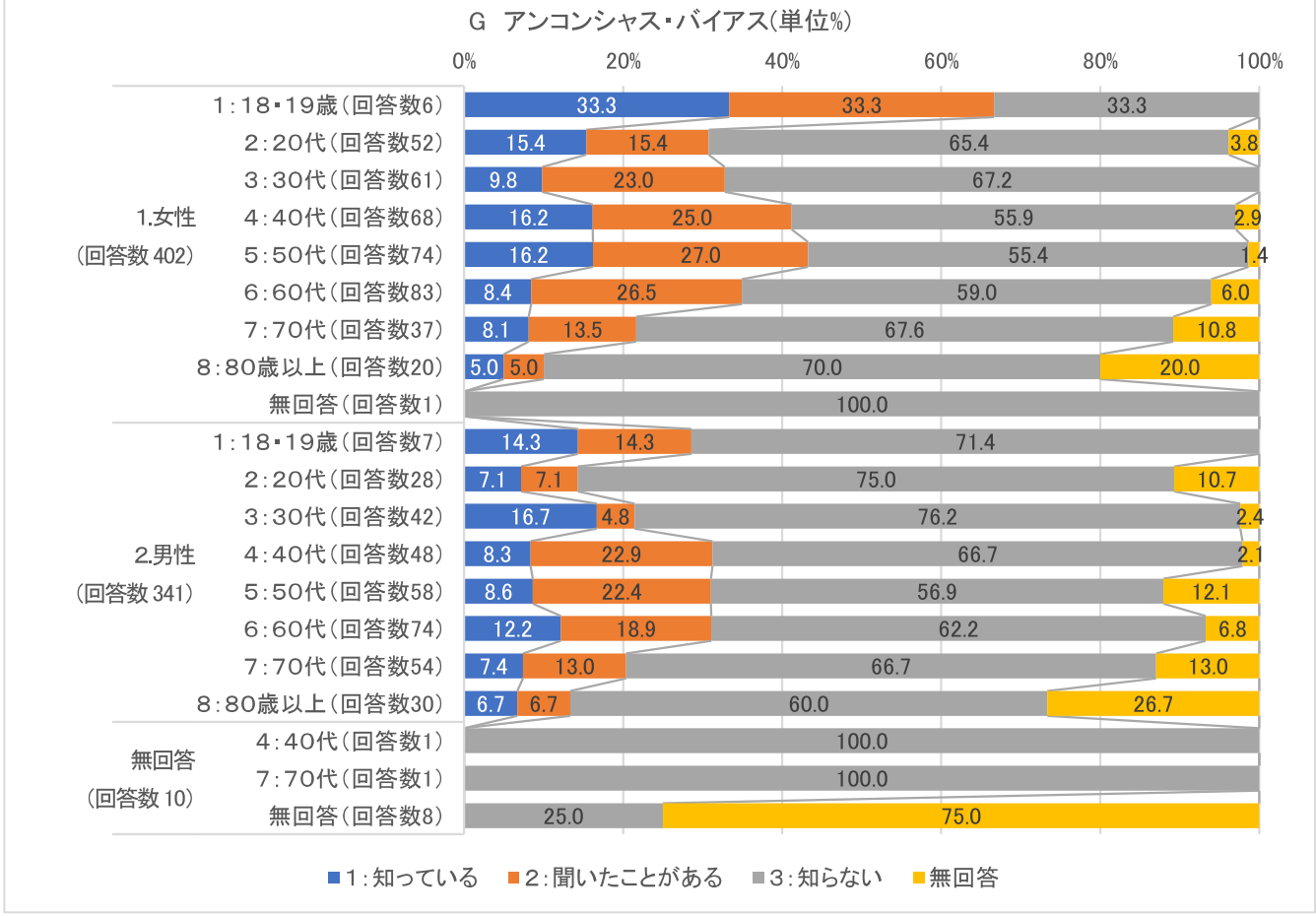

B　ジェンダー(単位%)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1.女性（回答数 402）
1：18・19歳（回答数6）
66.7
16.7
16.7
2：20代（回答数52）
78.8
17.3
3.8
3：30代（回答数61）
78.7
18.0
3.3
4：40代（回答数68）
67.6
27.9
4.4
5：50代（回答数74）
73.0
23.0
2.7
1.4
6：60代（回答数83）
63.9
31.3
3.6
1.2
7：70代（回答数37）
43.2
35.1
10.8
10.8
8：80歳以上（回答数20）
15.0
25.0
40.0
20.0
無回答（回答数1）
100.0
2.男性（回答数 341）
1：18・19歳（回答数7）
71.4
14.3
14.3
2：20代（回答数28）
64.3
25.0
3.6
7.1
3：30代（回答数42）
78.6
21.4
4：40代（回答数48）
56.3
35.4
4.2
4.2
5：50代（回答数58）
60.3
20.7
8.6
10.3
6：60代（回答数74）
59.5
25.7
8.1
6.8
7：70代（回答数54）
46.3
35.2
13.0
5.6
8：80歳以上（回答数30）
50.0
13.3
16.7
20.0
無回答（回答数 10）
4：40代（回答数1）
100.0
7：70代（回答数1）
100.0
無回答（回答数8）
12.5
12.5
12.5
62.5
1：知っている
2：聞いたことがある
3：知らない
無回答

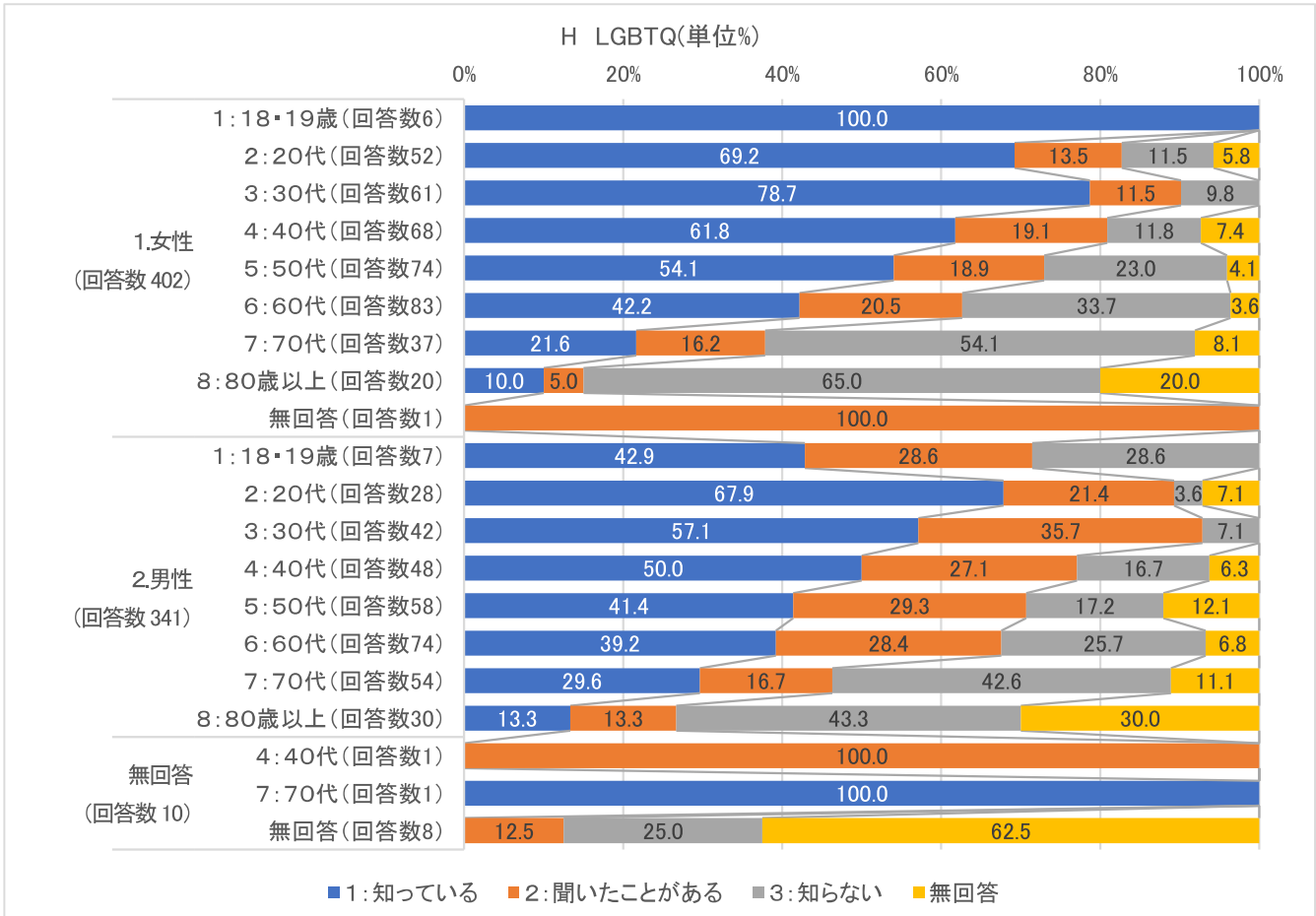

C ワーク・ライフ・バランス(単位%)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1.女性 (回答数 402)
1:18・19歳(回答数6) 83.3 16.7
2:20代(回答数52) 67.3 23.1 5.8 3.8
3:30代(回答数61) 57.4 34.4 8.2
4:40代(回答数68) 60.3 30.9 4.4 4.4
5:50代(回答数74) 50.0 36.5 12.2 1.4
6:60代(回答数83) 55.4 36.1 4.8 3.6
7:70代(回答数37) 32.4 43.2 18.9 5.4
8:80歳以上(回答数20) 20.0 10.0 50.0 20.0
無回答(回答数1) 100.0
2.男性 (回答数 341)
1:18・19歳(回答数7) 71.4 14.3 14.3
2:20代(回答数28) 57.1 25.0 7.1 10.7
3:30代(回答数42) 81.0 11.9 4.8 2.4
4:40代(回答数48) 58.3 31.3 8.3 2.1
5:50代(回答数58) 51.7 25.9 10.3 12.1
6:60代(回答数74) 52.7 28.4 12.2 6.8
7:70代(回答数54) 38.9 35.2 16.7 9.3
8:80歳以上(回答数30) 30.0 26.7 26.7 16.7
無回答 (回答数 10)
4:40代(回答数1) 100.0
7:70代(回答数1) 100.0
無回答(回答数8) 12.5 25.0 62.5
1:知っている
2:聞いたことがある
3:知らない
無回答

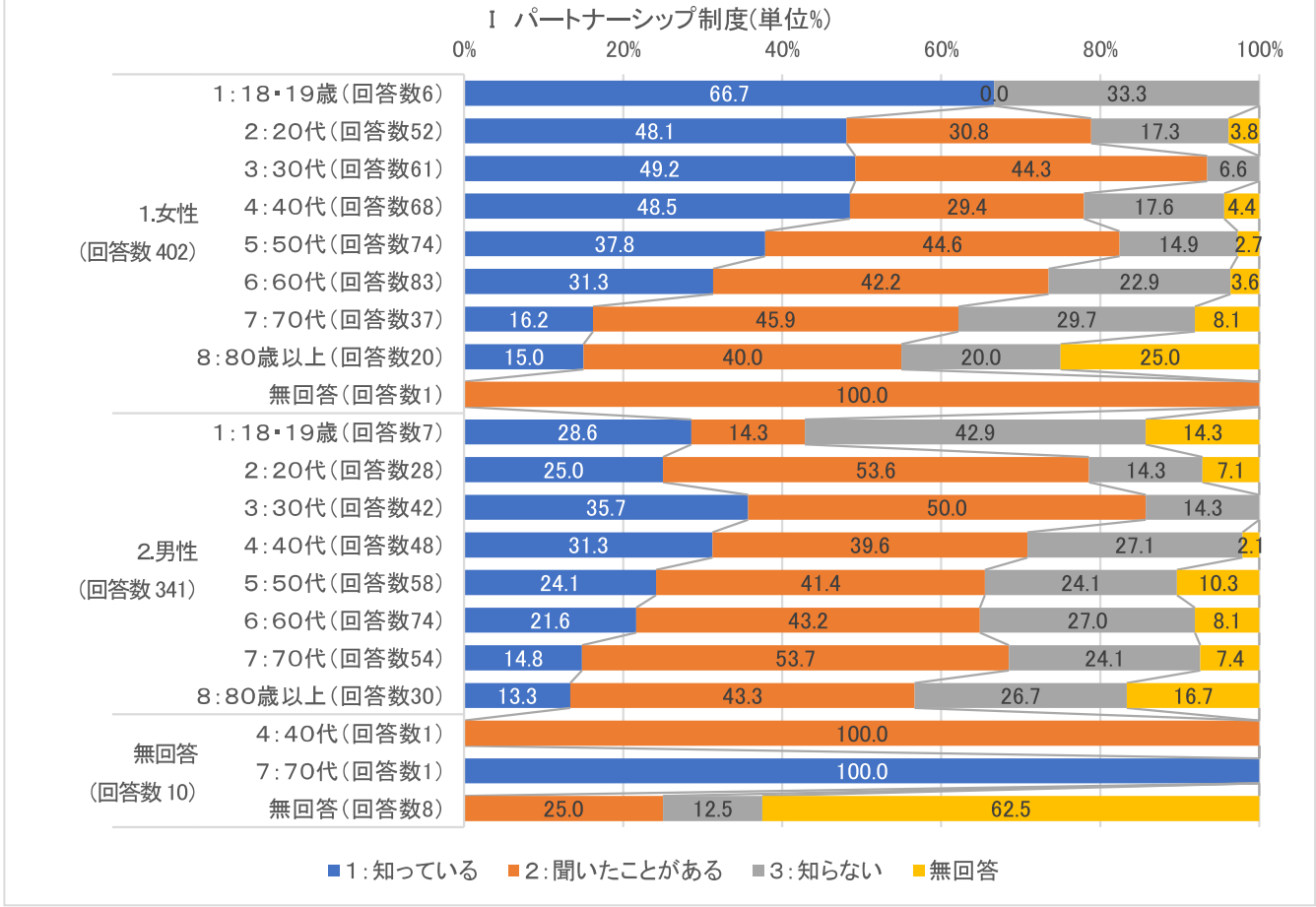

D DV防止法(単位%)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1.女性 (回答数 402)
1:18・19歳(回答数6) 50.0 33.3 16.7
2:20代(回答数52) 36.5 32.7 26.9 3.8
3:30代(回答数61) 41.0 42.6 16.4
4:40代(回答数68) 47.1 36.8 13.2 2.9
5:50代(回答数74) 44.6 44.6 8.1 2.7
6:60代(回答数83) 45.8 44.6 6.0 3.6
7:70代(回答数37) 24.3 40.5 27.0 8.1
8:80歳以上(回答数20) 30.0 30.0 15.0 25.0
無回答(回答数1) 100.0
2.男性 (回答数 341)
1:18・19歳(回答数7) 42.9 28.6 28.6
2:20代(回答数28) 21.4 39.3 32.1 7.1
3:30代(回答数42) 50.0 33.3 16.7
4:40代(回答数48) 35.4 41.7 20.8 2.1
5:50代(回答数58) 36.2 39.7 13.8 10.3
6:60代(回答数74) 44.6 37.8 10.8 6.8
7:70代(回答数54) 51.9 35.2 9.3 3.7
8:80歳以上(回答数30) 33.3 30.0 23.3 13.3
無回答 (回答数 10)
4:40代(回答数1) 100.0
7:70代(回答数1) 100.0
無回答(回答数8) 12.5 25.0 62.5
1:知っている
2:聞いたことがある
3:知らない
無回答

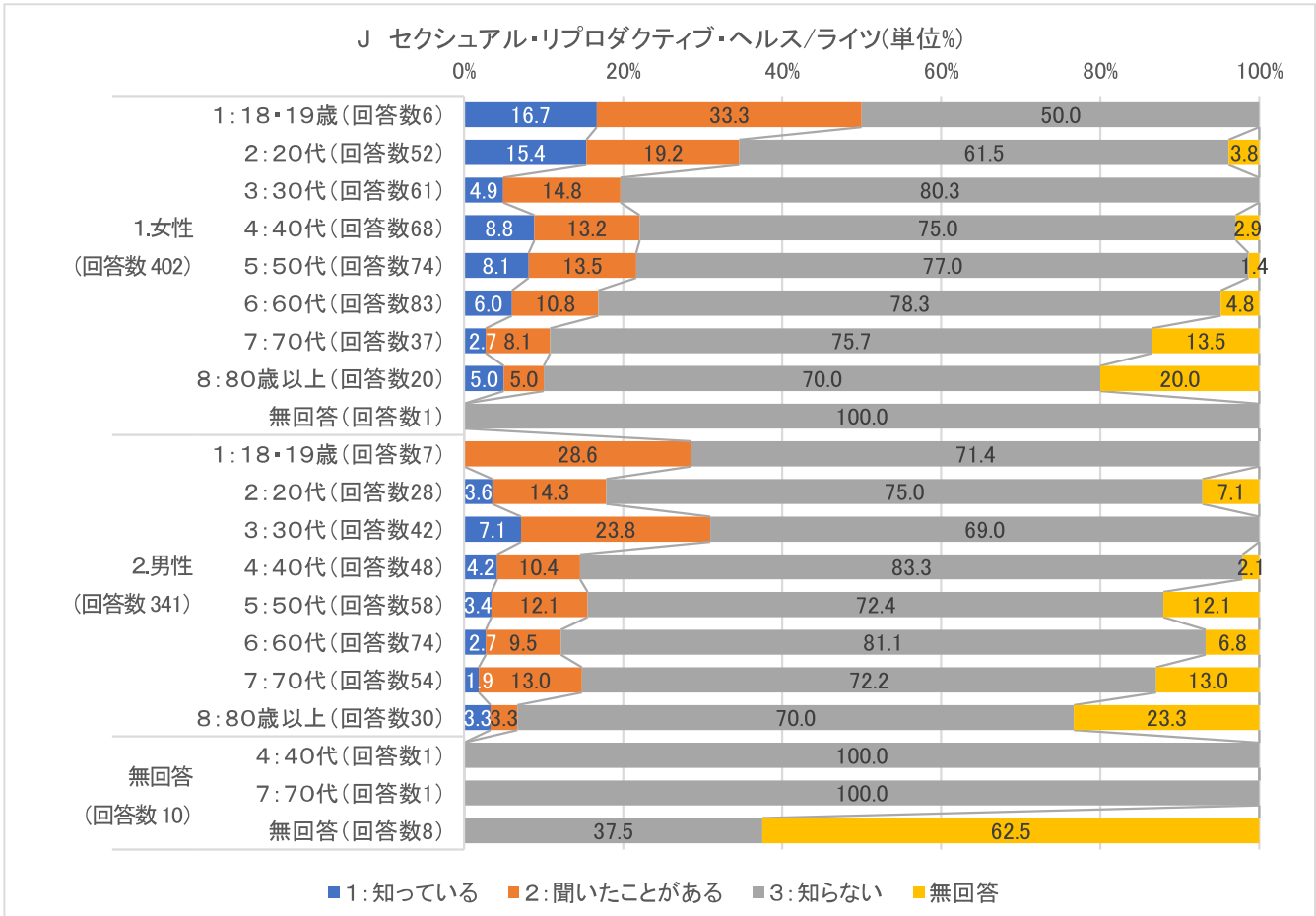

E ボジティブ・アクション(単位%)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1:18・19歳(回答数6)
2:20代(回答数52)
3:30代(回答数61)
4:40代(回答数68)
5:50代(回答数74)
6:60代(回答数83)
7:70代(回答数37)
8:80歳以上(回答数20)
無回答(回答数1)
1.女性
(回答数 402)
1:18・19歳(回答数7)
2:20代(回答数28)
3:30代(回答数42)
4:40代(回答数48)
5:50代(回答数58)
6:60代(回答数74)
7:70代(回答数54)
8:80歳以上(回答数30)
2.男性
(回答数 341)
4:40代(回答数1)
7:70代(回答数1)
無回答(回答数8)
無回答
(回答数 10)
16.7 33.3 50.0
7.7 15.4 73.1 3.8
6.6 29.5 63.9
4.4 16.2 76.5 2.9
4.1 23.0 71.6 1.4
8.4 26.5 60.2 4.8
2.7 21.6 62.2 13.5
5.0 75.0 20.0
100.0
14.3 14.3 71.4
7.1 10.7 75.0 7.1
9.5 28.6 61.9
8.3 12.5 77.1 2.1
5.2 24.1 58.6 12.1
5.4 21.6 66.2 6.8
22.2 66.7 11.1
10.0 10.0 60.0 20.0
100.0
100.0
37.5 62.5
1:知っている
2:聞いたことがある
3:知らない
無回答

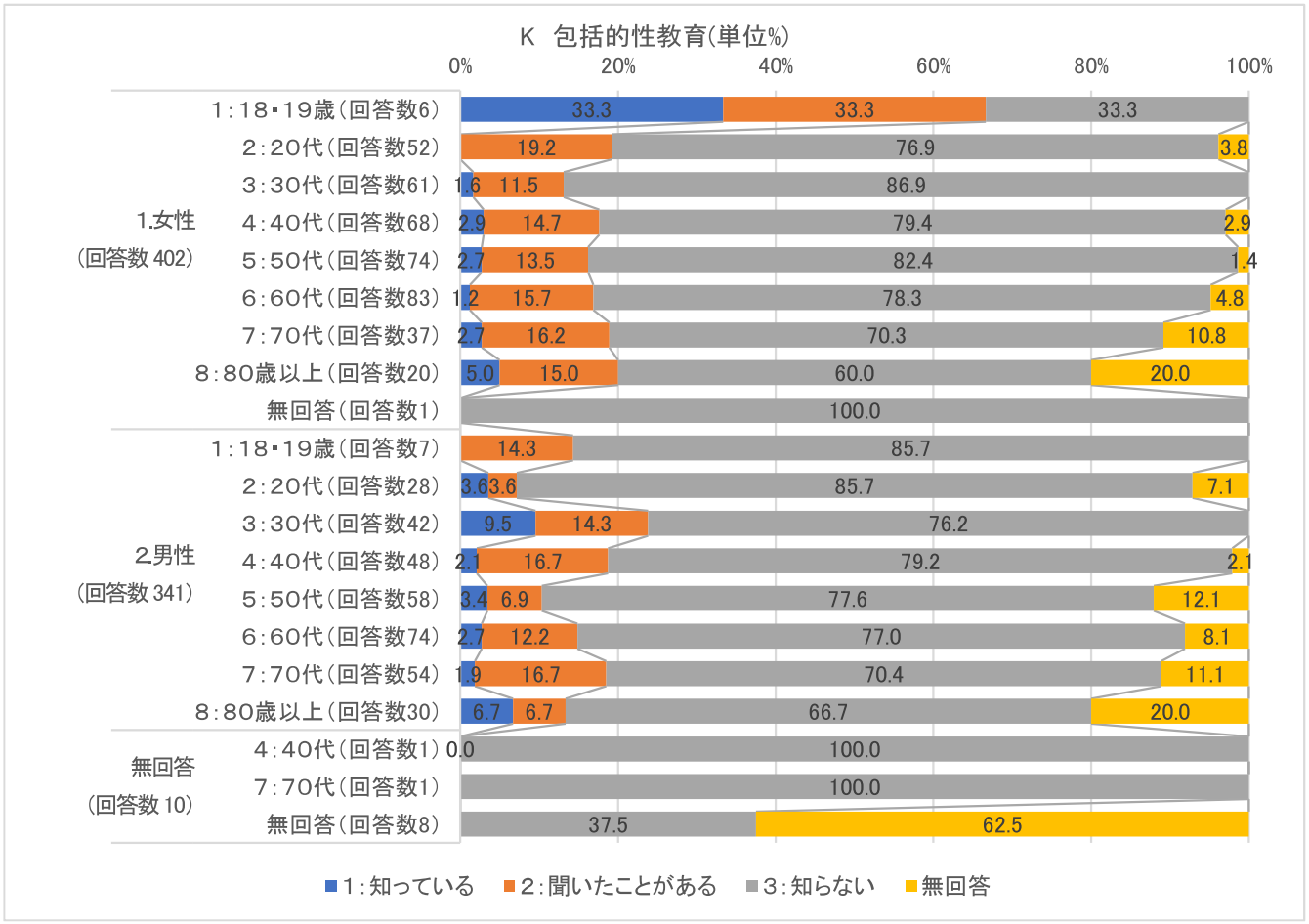

F ダイバーシティ(単位%)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1:18・19歳(回答数6)
2:20代(回答数52)
3:30代(回答数61)
4:40代(回答数68)
5:50代(回答数74)
6:60代(回答数83)
7:70代(回答数37)
8:80歳以上(回答数20)
無回答(回答数1)
1.女性
(回答数 402)
1:18・19歳(回答数7)
2:20代(回答数28)
3:30代(回答数42)
4:40代(回答数48)
5:50代(回答数58)
6:60代(回答数74)
7:70代(回答数54)
8:80歳以上(回答数30)
2.男性
(回答数 341)
4:40代(回答数1)
7:70代(回答数1)
無回答(回答数8)
無回答
(回答数 10)
66.7 16.7 16.7
36.5 34.6 25.0 3.8
39.3 41.0 19.7
32.4 44.1 19.1 4.4
35.1 41.9 20.3 2.7
24.1 41.0 31.3 3.6
10.8 24.3 56.8 8.1
5.0 15.0 60.0 20.0
100.0
57.1 14.3 28.6
39.3 32.1 17.9 10.7
47.6 35.7 16.7
35.4 35.4 27.1 2.1
39.7 32.8 15.5 12.1
29.7 37.8 25.7 6.8
27.8 22.2 40.7 9.3
13.3 13.3 50.0 23.3
100.0
100.0
37.5 62.5
1:知っている
2:聞いたことがある
3:知らない
無回答


G アンコンシャス・バイアス(単位%)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1.女性（回答数 402）
1：18・19歳（回答数6） 33.3 33.3 33.3
2：20代（回答数52） 15.4 15.4 65.4 3.8
3：30代（回答数61） 9.8 23.0 67.2
4：40代（回答数68） 16.2 25.0 55.9 2.9
5：50代（回答数74） 16.2 27.0 55.4 1.4
6：60代（回答数83） 8.4 26.5 59.0 6.0
7：70代（回答数37） 8.1 13.5 67.6 10.8
8：80歳以上（回答数20） 5.0 5.0 70.0 20.0
無回答（回答数1） 100.0
2.男性（回答数 341）
1：18・19歳（回答数7） 14.3 14.3 71.4
2：20代（回答数28） 7.1 7.1 75.0 10.7
3：30代（回答数42） 16.7 4.8 76.2 2.4
4：40代（回答数48） 8.3 22.9 66.7 2.1
5：50代（回答数58） 8.6 22.4 56.9 12.1
6：60代（回答数74） 12.2 18.9 62.2 6.8
7：70代（回答数54） 7.4 13.0 66.7 13.0
8：80歳以上（回答数30） 6.7 6.7 60.0 26.7
無回答（回答数 10）
4：40代（回答数1） 100.0
7：70代（回答数1） 100.0
無回答（回答数8） 25.0 75.0
1：知っている
2：聞いたことがある
3：知らない
無回答


H LGBTQ(単位%)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1.女性（回答数 402）
1：18・19歳（回答数6） 100.0
2：20代（回答数52） 69.2 13.5 11.5 5.8
3：30代（回答数61） 78.7 11.5 9.8
4：40代（回答数68） 61.8 19.1 11.8 7.4
5：50代（回答数74） 54.1 18.9 23.0 4.1
6：60代（回答数83） 42.2 20.5 33.7 3.6
7：70代（回答数37） 21.6 16.2 54.1 8.1
8：80歳以上（回答数20） 10.0 5.0 65.0 20.0
無回答（回答数1） 100.0
2.男性（回答数 341）
1：18・19歳（回答数7） 42.9 28.6 28.6
2：20代（回答数28） 67.9 21.4 3.6 7.1
3：30代（回答数42） 57.1 35.7 7.1
4：40代（回答数48） 50.0 27.1 16.7 6.3
5：50代（回答数58） 41.4 29.3 17.2 12.1
6：60代（回答数74） 39.2 28.4 25.7 6.8
7：70代（回答数54） 29.6 16.7 42.6 11.1
8：80歳以上（回答数30） 13.3 13.3 43.3 30.0
無回答（回答数 10）
4：40代（回答数1） 100.0
7：70代（回答数1） 100.0
無回答（回答数8） 12.5 25.0 62.5
1：知っている
2：聞いたことがある
3：知らない
無回答


Ⅰ パートナーシップ制度(単位%)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1.女性
(回答数 402)
1:18・19歳(回答数6) 66.7 0.0 33.3
2:20代(回答数52) 48.1 30.8 17.3 3.8
3:30代(回答数61) 49.2 44.3 6.6
4:40代(回答数68) 48.5 29.4 17.6 4.4
5:50代(回答数74) 37.8 44.6 14.9 2.7
6:60代(回答数83) 31.3 42.2 22.9 3.6
7:70代(回答数37) 16.2 45.9 29.7 8.1
8:80歳以上(回答数20) 15.0 40.0 20.0 25.0
無回答(回答数1) 100.0
2.男性
(回答数 341)
1:18・19歳(回答数7) 28.6 14.3 42.9 14.3
2:20代(回答数28) 25.0 53.6 14.3 7.1
3:30代(回答数42) 35.7 50.0 14.3
4:40代(回答数48) 31.3 39.6 27.1 2.1
5:50代(回答数58) 24.1 41.4 24.1 10.3
6:60代(回答数74) 21.6 43.2 27.0 8.1
7:70代(回答数54) 14.8 53.7 24.1 7.4
8:80歳以上(回答数30) 13.3 43.3 26.7 16.7
無回答
(回答数 10)
4:40代(回答数1) 100.0
7:70代(回答数1) 100.0
無回答(回答数8) 25.0 12.5 62.5
1:知っている
2:聞いたことがある
3:知らない
無回答

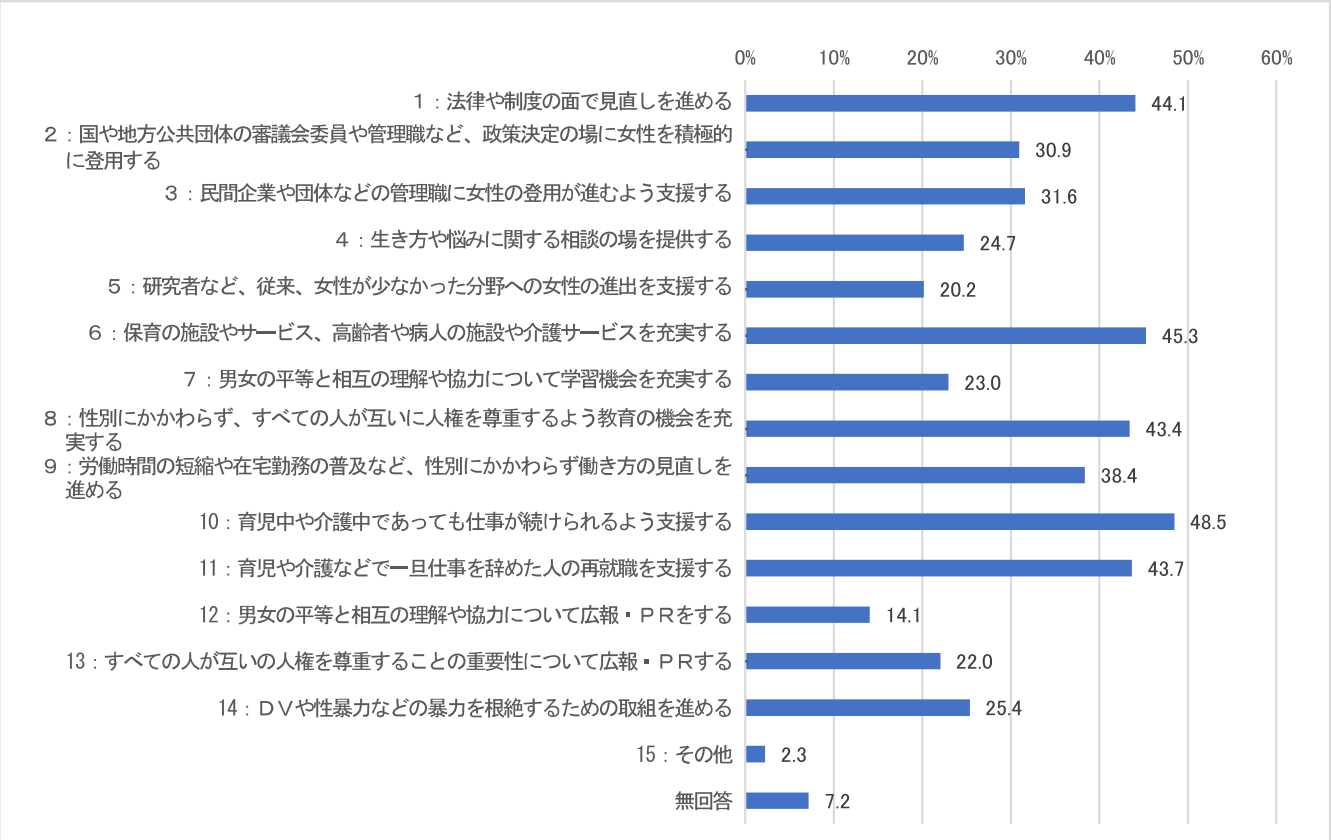

J セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(単位%)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1.女性
(回答数 402)
1:18・19歳(回答数6) 16.7 33.3 50.0
2:20代(回答数52) 15.4 19.2 61.5 3.8
3:30代(回答数61) 4.9 14.8 80.3
4:40代(回答数68) 8.8 13.2 75.0 2.9
5:50代(回答数74) 8.1 13.5 77.0 1.4
6:60代(回答数83) 6.0 10.8 78.3 4.8
7:70代(回答数37) 2.7 8.1 75.7 13.5
8:80歳以上(回答数20) 5.0 5.0 70.0 20.0
無回答(回答数1) 100.0
2.男性
(回答数 341)
1:18・19歳(回答数7) 28.6 71.4
2:20代(回答数28) 3.6 14.3 75.0 7.1
3:30代(回答数42) 7.1 23.8 69.0
4:40代(回答数48) 4.2 10.4 83.3 2.1
5:50代(回答数58) 3.4 12.1 72.4 12.1
6:60代(回答数74) 2.7 9.5 81.1 6.8
7:70代(回答数54) 1.9 13.0 72.2 13.0
8:80歳以上(回答数30) 3.3 3.3 70.0 23.3
無回答
(回答数 10)
4:40代(回答数1) 100.0
7:70代(回答数1) 100.0
無回答(回答数8) 37.5 62.5
1:知っている
2:聞いたことがある
3:知らない
無回答


K 包括的性教育(単位%)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
1.女性
(回答数 402)
1:18・19歳(回答数6) 33.3 33.3 33.3
2:20代(回答数52) 19.2 76.9 3.8
3:30代(回答数61) 1.6 11.5 86.9
4:40代(回答数68) 2.9 14.7 79.4 2.9
5:50代(回答数74) 2.7 13.5 82.4 1.4
6:60代(回答数83) 1.2 15.7 78.3 4.8
7:70代(回答数37) 2.7 16.2 70.3 10.8
8:80歳以上(回答数20) 5.0 15.0 60.0 20.0
無回答(回答数1) 100.0
2.男性
(回答数 341)
1:18・19歳(回答数7) 14.3 85.7
2:20代(回答数28) 3.6 3.6 85.7 7.1
3:30代(回答数42) 9.5 14.3 76.2
4:40代(回答数48) 2.1 16.7 79.2 2.1
5:50代(回答数58) 3.4 6.9 77.6 12.1
6:60代(回答数74) 2.7 12.2 77.0 8.1
7:70代(回答数54) 1.9 16.7 70.4 11.1
8:80歳以上(回答数30) 6.7 6.7 66.7 20.0
無回答
(回答数 10)
4:40代(回答数1) 0.0 100.0
7:70代(回答数1) 100.0
無回答(回答数8) 37.5 62.5
1:知っている
2:聞いたことがある
3:知らない
無回答

男女共同参画社会の実現に向け、行政がすべきこと

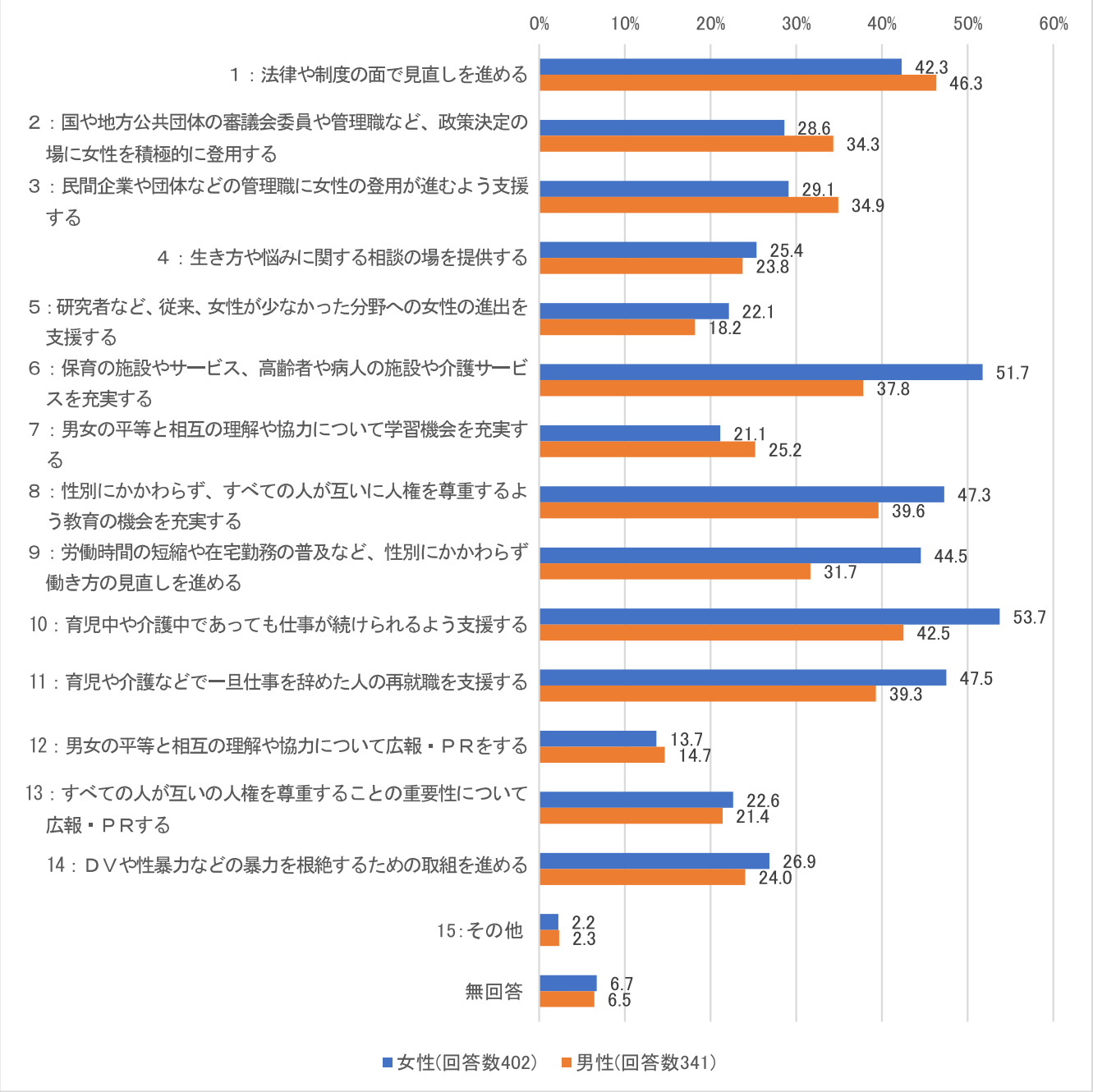
問16 「男女共同参画社会」とは、「男女が、互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる社会」です。あなたは、この社会を実現するために、行政が今後どのようなことに力を入れて行くべきだと思いますか。（○はいくつでも可）

	集計	割合
1:法律や制度の面で見直しを進める	332	44.1%
2:国や地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する	233	30.9%
3:民間企業や団体などの管理職に女性の登用が進むよう支援する	238	31.6%
4:生き方や悩みに関する相談の場を提供する	186	24.7%
5:研究者など、従来、女性が少なかった分野への女性の進出を支援する	152	20.2%
6:保育の施設やサービス、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する	341	45.3%
7:男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実する	173	23.0%
8:性別にかかわらず、すべての人が互いに人権を尊重するよう教育の機会を充実する	327	43.4%
9:労働時間の短縮や在宅勤務の普及など、性別にかかわらず働き方の見直しを進める	289	38.4%
10:育児中や介護中であっても仕事が続けられるよう支援する	365	48.5%
11:育児や介護などで一旦仕事を辞めた人の再就職を支援する	329	43.7%
12:男女の平等と相互の理解や協力について広報･PRをする	106	14.1%
13:すべての人が互いの人権を尊重することの重要性について広報･PRする	166	22.0%
14:DVや性暴力などの暴力を根絶するための取組を進める	191	25.4%
15:その他	17	2.3%
無回答	54	7.2%
総計	**753**	**100.0%**



○「10:育児中や介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」が 48.5%と最も多くなっていますが、全ての選択肢に回答が分散しており、多様な対策が求められています。

問 16　性別



○単純集計同様、全ての選択肢に回答が分散しており、多様な対策が求められています。

また、「6:保育の施設やサービス、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」、「9:労働時間の短縮や在宅勤務の普及など、性別にかかわらず働き方の見直しを進める」、「10:育児中や介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」は男女の乖離が 10 ポイント以上あり、特に女性から強く求められている施策と言えます。

自由意見

男女共同参画社会づくりに関する市の事業について、ご意見やご要望がありましたらご自由にご記入ください。

性別	年齢	ご意見
女性	18･19歳	まだ高校生なのでむずかしくてよくわからない。
女性	20代	海外だと最先端の技術などは学校で試験的に取り入れるそうです。小さい頃の体験や知識はそのまま大人になって自分の考えにつながってくるので試してみてもいいと思います。大人になってからいろいろと試そうと思っていても考え(プライド)や優先順位が出てきてしまうので柔軟に考えられる子供のうちに考えるのがいいと思う。ただ国民性というものもあると思うので、未来で実現できるように(つながるように)頑張ってください。
女性	20代	仕事をしながら子どもを育てやすい環境を作ることにお金を使って欲しい。保育園と保育士の数を増やし、保育士への待遇ももっと良くするべき。学校でも教員への負担を減らし、家庭と学校と連携しながら子育てをできるようになるよう対策してほしい。どうでも良い防衛費とかにお金を使わないでほしい。
女性	20代	男女関係なく、仕事や家庭に参加できる法制度を整える
女性	30代	(問 3-3 の番号 4、5　問 7 の番号 5　問 8 の番号 9　問 10 の番号 2)このような項目があること自体がとても不快。女性を馬鹿にしている。選択肢を考えているのは男性なのでしょうか？このような考えの人がいる限り男女平等になる事は無いと思う。男性よりも女性の方が育児、介護が向いているのではなくやらないといけない状況だからするのが当たり前。むしろ妊娠、出産をしている女性をもっと労るべき。男だから、女だからという意義がなくなり男女平等になるような取り組みをお願いします。
女性	30代	◎保育所の増築･働きやすさ、時間が制限されてしまうため。 ◎障がい児支援･障がい児を育てている女性のための支援･職場の理解を求めるサポート･障害児支援･福祉サービスの充実化。
女性	30代	このようなアンケートを通じてあらためて男女平等について考えるきっかけとなりました。個人としては完全なる男女平等は不可能だと考えておりますが女性の立場から少しでも多くの女性が不利益を被ることのない生活を送ることができるよう、行政としてできることを一生懸命行って欲しいと願っております。
女性	30代	育児休暇中です。育児休暇中であっても必要なとき(産前産後など)は保育の場を使えるようにしてほしい。制度はあるものの、定員オーバーで未満児は受け入れてもらえないことがほとんど。
女性	30代	今のところ、特になし
女性	30代	今は育児休暇中のものです。3 人目子育て中です。仕事復帰を望んでいますが 3 人目となると保育園に預けても発熱などで呼ばれることも多く、職場に迷惑をかけているのが現実です。それに仕事内容が早番、遅番などがあり土、日、祝日も仕事などで預けられる場所も限られており、勤務体制が難しく転職を考えており、職場からも復帰するのは難しいといわれております。主人も職場の従業員が一人なので育休などが取れません。消防団にも入っており、夜の 7 時～9 時頃に「会議、定期会」など言って出てしまうので子供の世話、家事などが大変です。消防団の活動も大事ですが、活動期間などももう少し配慮してもらいたいです。例えば 21～22 時かひと段落した時などが助かります。
女性	30代	市の事業なのかはわかりませんが、小学校の教育に性別ではなく個を大切にするようにといった内容の授業があるとよいと思います。家で、女性･男性の話をしたことがないのに小学校の子どもは男だから、女だから、と話すようになりました。いろいろ意識しているのかもしれませんが、性でくくるのではなくお友達自身を知って欲しいなぁと思います。
女性	30代	私は女性なので男尊女卑のものばかり気になります。逆に女尊男卑のものはどんな事柄があるのか知り理解したいです。
女性	30代	上田市でもテレワークの導入を進め、導入している企業に対し支援や広報でとりあげて認知度が上がるようにして欲しいです。テレワークや時短正社員での雇用を上田市でも多くして欲しいです。女性だけでなく男性の視点からも支援を考えて欲しいです。中学校の部活が民間に委託されることによって、送迎など親の負担が増えフルタイムで働くことが難しくなる。またパートなどで働いているお母さんに他のお子さんの送迎もするなど負担が増えているため、教育現場も改善をして欲しいです。PTA の会長に女性を増やすという項目がありましたが、そもそも PTA は必要なのか(昔の習慣のままではないのか)と思っています。
女性	30代	男女共同参画自体いらないと思います。(選挙権だけ守ってもらえば)
女性	30代	男女平等になれば良いと思うが、『女性が！女性を！女性に！』となりすぎて、少しのことがセクハラやパワハラと捉えられてしまい、男性が不利になるのもどうなのかと感じます。老若男女問わず、全ての地域住民が住みやすい社会を作っていってください。
女性	40代	まず市が市民にお手本となるようなものを見せてほしい。たとえば女性市長が選ばれた際に市議会やそれぞれの部所が協力できるのか

性別	年齢	ご意見
女性	40代	やはり時間や生活にゆとりがないと良い人間関係は築けず、健康的な社会にはならないと思います。 また、子育て、家事に専念したい方もいるし、健康的なお料理、綺麗な住環境を整えるには共働きでは難しい場合もあります。 色々な生き方がある、選択は自由であるという大きな受け皿を持った社会であって欲しいです。
女性	40代	官民、公民連携が必要だと思う
女性	40代	思いつかない
女性	40代	女性の積極登用はいきすぎたジェンダー保護を招く可能性もあると思います。
女性	40代	中学生、高校生に子育て体験をさせる。台湾の高校で実施されたらしいけれど、夜泣きもする赤ちゃん人形を数日お世話すれば、乳幼児期の子育ての大変さが男性にも分かるはず。体験して理解できれば、その後の意識も変わってくるかと思う。
女性	50代	50 代位から娘の出産や親の介護等仕事をしていると休まなければならず、有給もすぐに無くなり働きづらくなって来ました。子育て中の参観日等に比べると長期間になるので職場に迷惑をかける事になるので、退職される方もいます。だいたい女性の方が仕事をやめる事になります。給料が安い方がやめなければならない…生活するためには当然なのかもしれません。介護施設等色々あるのかも知れませんが金銭面で難しかったりでみんなが利用できるわけではありません。男女平等も大切なのかもしれませんが、今の自分には自分が高齢者になった時のことを考えるととても怖いです。
女性	50代	こういった取り組みをしている事を知らなかったのでアンケートに答えさせていただく中で考えるきっかけになったと思います。
女性	50代	このアンケートで、自分には知らないことがたくさんあったのだとわかりました。今すでに行われている取り組みを知ることができたので、今後も意識を向けていきます。
女性	50代	テレビのニュースや新聞等ではよく耳にしますがなんとなく他人事として考えていた。また上田市ではどんなことをしているのかも興味を持つこともありませんでした。アンケートに解答したことで上田市の取り組みに目を向けられそうです。男性、女性という性を受けたことは大切にし、お互いを尊重し、ひとりひとりが得意な部分で力が発揮でき支え合えると良いと思います。
女性	50代	結婚しない人が増え、家庭子孫を持たない人、それも人生ですが、増やすには結婚、子育てしたくなる上田市になっていけると未来は明るいですよね。活動頑張って下さい
女性	50代	●●（企業名）では正社員以上の仕事をしていますが女性だけパート扱いです。仕事をしていない男性は上司にこびるのでお金、給料がいっぱいもらえます。女性を下っ端に見ていて言葉遣いも乱暴です。いじめで退職する人が多い会社です。
女性	50代	私の父（80代）は幼少時、女性に負ける、劣るのは男の恥と教育されたそうです。そういった頭の固い年代の方達がいる以上は中々本当の意味で男女平等な世界を築くのは難しいと思います。そして私自身も男だから、女だからと根っこの部分でそのような植え付けのような考え方があるのも否めません。私の子供（一人は成人して社会人、一人はまだ高校生）ですがこれからの若者によりみんなが生きやすい社会を託すほかありません。一人ひとりの意識改革が必要だと思います。
女性	50代	女性の声に耳を傾け、女性の意見を取り入れるために、女性管理職、女性議員を増やす。
女性	50代	男女共同参画を社会がいろいろ言っても女性自身に向上心がなければ成立しない。「平等なのだから責任を持て」とか「同じ立場で仕事をするべき」とか言われるかもしれないと思っている。また家庭内での「仕事」と「家事」を平等にするところからだと思う。会社でも責任、家でも重労働が待っていれば社会に進出する気にはならないだろう。
女性	50代	男女働くことが優先され、子どもが置き去りにされているように感じる子育て世代。各家庭で大事に育てていく親教育も課題だと思う。
女性	50代	男性と女性の「性」はどうにもならないと思う。どうしても向き不向きはあるので、女性が向いている職業などがあるのは仕方がない。力仕事をメインにすることは望まないし、きびしい。仕事の内容でお金が違ってくるのも理解するが、明らかに女性が向いていそうな職業のお給料の一般的な金額が少ないのはなんでだろうか。そういう所を見直して欲しい。
女性	50代	法整備も大事ですが、意識の変革における行政の取り組みは、もっと大事だと思います。
女性	60代	30 代後半、40 代のヨガやエアロビクスや水泳のインストラクターに新聞をとっていない人が多いことに、驚いています。嫌なニュースは見ないなど、無知がジェンダー問題に気づかないままのような気がします。若くても古い男女の仕事の概念のままで、疑わない。 私見ですが、高校卒業後、地元での就職という人は、実家から通勤するケースが多く、自分の家庭の影響が大きい。そもそもブルーカラーが多い。 研修といっても、そういう人たちが興味を持つはずもなく、受けることはない。PTA も自分の都合が優先で、皆やりたがら

性別	年齢	ご意見
		ないし、大変だった。 市がどうやって、どのような施策でこの難しい、微妙な問題に取り組めるのかわかりませんが、まずは家庭内の意識改革が必要ではないかと思います。
女性	60代	そのためになにをやっているのか？公開をしてほしいです。自分も勉強不足なのがよくわかりました。
女性	60代	まずは若者が都会へ行ってしまうことを危惧したほうが良い。男女共同…といっても上田市には年寄りばかりで男性が優位。上田市が衰退して行く気がします。若い女性が子供を産む病院も二つ位しかなくどうやって子育てしていくのか心配。自治会の仕事も本当はやりたくない。
女性	60代	まだまだ、差別区別が慣習として浸透している。それを堂々と口にすることが年齢世代にかかわらずあるように思う。なかなか難しいと日頃から感じている。
女性	60代	育児、介護共夫婦協力により、仕事、社会活動、こなせていかれる様にすすめていくのが行政の仕事だと思います。SNSにそのような事を広める事が大事でもあると思います。困っている人に寄り添う世の中であるのがいいです。
女性	60代	家族と家庭を支える女性の評価が年々下がり、社会へ出て働かないことが低い評価につながっているように思えてなりません。就職してポストを得て稼げる女性も尊重しますが、家庭にいて家族を支え地域の活動をしている女性も大切な存在だと思います。その点市はどのようにお考えなのでしょうか？
女性	60代	子供の頃から、男女共同参画社会の考え方に触れることは、とても大切だと思います。 困り事があった時、適切な相談窓口にスムーズにつながれたらいいと思います。たくさんの窓口があることや内容をもっとわかりやすく発信して欲しいです。
女性	60代	市の事業にかかわっている方々に感謝します。いろいろな取り組みがある事、又知らない言葉が沢山ありました。今後もこの様な意識調査等を多数の方に行い知る機会を増やしていただきたい。
女性	60代	十数年前にいちど「市民プラザゆう」で開催された DV、モラハラの被害者が集まって話をする会があった。当時の私は夫のモラハラ、DV で行き詰っており、この会で少しは吐き出せてとても救いになった。もっともらしいきれいごとの会よりも、今困っていて心が折れそうになっている女性に対する具体的な事案を考えて欲しい。また弁護士でなくても離婚に関する法律的な相談ができる機会とか…（たとえば司法書士とか…）あと DV 被害を訴える相談とか…（警察関係とか…）
女性	60代	条例の改正、意識改革のための広報、PRの促進
女性	60代	人権同和懇談会など自治体主催の勉強会には参加するようにしています。 今後もよろしくお願いします。
女性	60代	男女共同参画と言う言葉自体も現在知らない人が多いと思います。地区で勉強会を開催しても、地区役員の方と少数しか参加しないのが現状なのでは。職場でもそういう機会をもうけて進めてほしい。子供も年齢に合わせた方法で授業にとり入れてみたら、小さいころからの教育が大事。正直年代重ねた人は正直無理なんでしょうか？
女性	60代	男女共同参画社会だからリーダー的立場に女性を登用する場合、社会的風潮に合わせるのではなく、実力が伴った人間の登用を望みます。男女共に実力を発揮したいと思うのであれば、それに伴う努力を各々すべきであり、その上でみんなから認めてもらえると思います。女性をお飾り的に持ち上げるのは間違いであり、男女共同と言うより、人間として、性別問わず、能力を引き出し認める社会であって欲しいと願います。
女性	60代	保育士の待遇を改善し子育て中の母親が子供を預けやすく安心して働ける上田市にしてほしいと思います。男性の育児参加、家事分担が当たり前になると良いと思います。
女性	70代	まずは女性が活躍しやすい条件を整えていく事が、行政としては一番考えてほしい事ではないでしょうか。女性が活躍しやすい状況ができ、色々な場で活躍して行く事で、社会の意識も変わってくる様に思います。
女性	70代	参考資料にあるように上田市が女性の役割に対して、高い位置にあるとは思いません。もう少し女性の働きが楽になるようにしてください。育児、介護休業が取れるのは公務員と大企業だけです。
女性	70代	私、男女こだわらずに能力ある人が活躍すべきだと思います。皆がそういう目を持つべきです。
女性	70代	私は男の人、女の人それぞれにやっぱり役割という物があると思います。すべて 2 で割ると言うような訳にはいかないと思います。それに若い時、中年、老年期と余裕の面も違ってきます。そんな事も考えてやってもらいたいです。
女性	70代	社会とのつながりがなく家族、姉妹との中でほとんど周りを見ることがなくのんびりとした生活をしていましたので、今回の回答はむずかしくせまい中で暮らしていたんだと気が付きました。
女性	80歳以上	これはむずかしい問題である。男の役割と女の役割は違うところもあり、男として女として長所、短所あり。人間として見るべきだがその人その人の長所短所を自分で判断するしかない。私は主人と 59 年じきに 60 年になるが、今主人の介護をしているが初めて 2 人の時間がふえて話もよく出来なく食べる事もむずかしい主人だが、私にとって大事な主人だなあと思います。主人は主人で家族を守るため 90 才の人生を精一杯過ごしてくれたなあとつくづく思います。二人で最後の人生を全うしたいなと毎日介護に頑張っています。夫婦だからこそできるんだと思う

性別	年齢	ご意見
女性	80歳以上	むずかしい事なのでうまく言えません
女性	80歳以上	わからない
女性	80歳以上	女の人が家事に縛られて自分の好きな事ができないなんてことがないように、男性が家事、育児をしても普通だと思えるような取り組みをして欲しい。男性ばかりが転勤対象ではなく女性でも身軽な女性(単身で転勤しても問題ない人)を転勤対象として考えて欲しい。
男性	20代	あまりにも男だから女だから言いすぎ。男性も今までがんばってきた。女性も今まで強く主張しすぎている気がする。逆に結果女性より男性の負担が増えてるのではないですか。お互いを認め合うやさしさ、まず家族で協力することの大切さを伝えるべき。外に支援を求めすぎ。財政的にお金ないのに今は支援支援と言いすぎ。僕はそう思います。
男性	20代	頑張って生きましょう日本
男性	20代	今までの「男だから…、女だから…」にとらわれず、一人一人が個性を活かせるにはどうすればいいか真剣に考えてそのつど必要な政策が行われていけばいいと思います。男の人が家事をやったっていいし、女の人が会社の役員、社長になってもいいし…、男、女に関わらずそれぞれが得意なことをやっていけばいいと思います。どんな人でも個性を生かせるのが一番いいと思います。
男性	20代	小さい頃から男はこうあるべき、女はこうあるべきと決めつけないで、得意分野を伸ばせるような教育、社会にしていかないと、いつまでも男女平等にはならないと思う。
男性	20代	男女平等と聞くと、管理職や政治の場における女性の「人数」というように、男女の数合わせをすることが重要であるかのような印象を受けることが多いです。しかし、男女共同参画の目的は、「機会の平等」だと思います。管理職等になりたいと思える「機会が平等か」が重要であり、男女の割合が同じという「結果の平等」がゴールになっては目的に沿わないように感じます。大切なことは選択の自由なので、それを数字やデータで表すことは難しいと思いますが、人々の捉え方が少しでも変わり議論が前に進むような発信をしてほしいと感じます。
男性	20代	男女平等の名目での女性優遇ではなく、能力や適性によって男女平等を目指していく社会を作れるような事業を希望します
男性	30代	このアンケートの質問が分かりづらいので改善してほしい。選択された質問以外は画面に出ないようにしてほしい。
男性	30代	男だから、女性だからとこだわっていては社会において発展する機会を逃しているのと同じであると思います。特に会社はもとより、国家としての科学、化学の場合など可能性が失われているのがとても問題になっています。我々はまず家庭から考えを変えていかなければ社会全体の発展はしないと思っています。
男性	40代	次世代を担う子供達に伝えてゆくのは勿論のこと、まず高齢者から若者まで大人側が社会づくりへの意識を持てるような発信をすること。 これまでの社会で積み重ねられてきた年月を鑑み、結果を性急に求めず先の世代も視野に入れて少しずつ進めること。
男性	40代	女性の積極的な管理職への登用などはむしろ男性への差別と思います。能力のある人間が管理職になるべきです。これは男女共同参画という名の一方的な押し付けです。
男性	40代	全てを一度にはできないため、優先順位と中長期(5年程度)のビジョンを定め取り組んで頂きたい。
男性	50代	アンケートの内容に抵抗感があり途中で止めてしまいました。
男性	50代	なし。
男性	50代	もちろん必要であるとは思いますが、上田市は医療や介護の分野でもっと支援を手厚くしたりと、もっと力を入れるべき優先順位が違うのではないかなと感じることが多々あります。なんとかという大会に向けて何面も作ったテニスコートも、高齢化社会や地球温暖化である現状に果たして利用度合いが見合ったものであったのか甚だ疑問を抱いております。上田市は市長がもっともっと前に出てきて様々な事柄を市民に訴えるべきだと思います。寄付されたとかそんなことばかりで写真で目にすることはありますが、市長は何をやっているのかさっぱり分かりません。
男性	50代	もっと広報でアピールすべき
男性	50代	今回こうしてアンケートが来たことによって初めて男女共同参画を上田市が行っている事を知りました。もっと広く認知される事をした方が良い。
男性	50代	社会全体の、労働に対する意識(長時間労働を賛美し、男性は仕事だけに集中すれば他はなにもしなくても許されるが、女性は、仕事も家事も育児も介護もやって当然といった考え)を変えない限り、女性の社会進出も、男性の育児や家事への参加も進まない。ですので、長時間労働の是正や柔軟な働き方が選択出来るよう、社会の労働への意識改革を行政が率先して取り組んで欲しいと考えます。
男性	50代	女性を真にリスペクトするならば、子を産む産まないの選択を一定時期に決定することに寛容であるべき。
男性	50代	女性を積極的に登用＝女性だから登用、ではないと思う。 女には任せられない、という差別意識を持った男性がいる一方で、女だから責務を免れる、として表に出ようとしない女

性別	年齢	ご意見
		性もいる。 「女だてら」「男まさり」こういった言葉に違和感を覚え使わない世代が増えるまで、地道に啓蒙し続けるしかない。
男性	50代	性に関わらず本人の意思がまず先にあることが抜けている気がする。反面、各性別でしかできないことすら放棄することまで認めてしまっては意味がない。 本質的な平等を全ての人が学ぶ必要があり、理解されない限り何も変わらない。
男性	50代	男女のこだわりが早くなくなるといいですね。
男性	50代	男性と女性の根本的な違い、女性は子供を産める。男性は産めない。この原理、原則は変えられない。しかしコミュニケーションを深め相互理解と協力を推し進めることで、より良い社会関係を構築し男女間の平等をもっと向上させていくことは可能であると信じている。
男性	50代	日本古来から風土風紀は根強く残っていると思われますが、時代の流れで緩和されつつあります。参考資料の女性議員数が14人まで増やせれば男女より良い議会での意見が出て共同参画社会づくりの市の事業にもプラスになっていくと思われます。各家庭内でこの事業案がよりよく話し合いができればもっと一人一人の考えに変化が出ていくと思いますが、小、中、高での教育現場にも取り入れてはと思います。余談ですが上田市独自の物価高対策も必要かと。上田市政はもっと市民目線が必要かと思いますが。
男性	60代	「男性だから 女性たから」ではなく、出来る人を登用する。
男性	60代	これまでの施策を継続推進してほしい
男性	60代	ご苦労様です。
男性	60代	行政とか、誰かが何時の間にか決めるのでは無く、時間がかかっても、話し合うことで、理解を深め、納得して決めていかなければ、結局、絵に描いた餅になるだけだと思います。
男性	60代	国、全企業、学校、家庭、個人、全てが変わらなければ、難しいと思います。
男性	60代	女性の社会進出が進むと…結婚しない女性が増え少子化を招きます。また結婚しても男性は分担しなければならない家事、育児に時間を費やしその愚痴を聞いた後輩たちは「結婚なんてしないほうがよい」と考えるようになります。女性の「社会的地位アップ」「男女参画」も大事ですが、「結婚は素晴らしい」「結婚するのが普通」的な風潮を高めていってほしいと思います。特に上田市には男女が「ふれあう」「知り合う」ことのできる場所、企画、を考えていただきたいです。
男性	60代	人の話は良く聞き、理解していただきたい。
男性	60代	男女の身体的な壁を乗り越えて、1人の個の観点から、その人の持っている能力を活かせるような多様な社会であれば、共同で参画できる機会が増えるように思います。
男性	60代	地域の関わりにもっと女性に参加してほしい
男性	60代	日々の業務お疲れ様です。残念ながら国や各自治体が旗を振っても、各自がその気にならないと社会は動かない。ではどうするか？地道にPRし学校教育を充実させることが大切と考える。（時間はかかるけど）
男性	60代	平等とは、何かを考えて、少しずつ社会の仕組みを変えていく、取り組みをして下さい。
男性	70代	・昭和世代の人間は「母は家事、男は仕事」の生活習慣が当たり前の中で生活してきた。 ・男にしか出来ないこと、女性にしか出来ないことを基本として「男女共同参画社会」の施策を考えることがキーポイントである。
男性	70代	1. 現在困っている人、苦しんでいる人への支援 2. 個人の意識変革と社会的合意形成
男性	70代	1～14まで必要であり制度として進めていってほしい。
男性	70代	あいにくですが上田市の取り組みについては知りません。
男性	70代	わが国は労働人口減少期に入り働ける人は高市総理の様に「働いて、働いて、働いて」行かなければ豊かな社会にはならない。楽しくて豊かな生活などあり得ない。頑張れる人は男性も女性もなく協力し合って豊かな日本国にしてほしい。昭和20年代生まれはそうして働いてきた。小中学校時代は（家庭も学校も）大切だと思う。「難しい言葉や英語などを多用しすぎる」
男性	70代	育児休暇や介護休暇等が男女共に普通に取得出来るようになること、幼稚園、小、中、高校の教育無償化につながるような取り組みをして欲しい。
男性	70代	県内で三番目の人口（約 15 万人）を擁する上田市の課長級以上の職員比率が 14%であるという現状を考えると市の取組は未だ充分になされていないと言えます。坂城町の 30.8%や松本市の 29.1%を目指すことは難しいと考えますが、少なくとも近隣の千曲市や小諸市並みに 20%近くを目指して欲しいです。男女共同参画社会に向けたさらなる強化と取組みに期待します。併せて女性議員の割合を増やすことも必要かと思います。
男性	70代	自治会長などに女性が立候補し易いよう、各自治会に働きかけを行って欲しい。
男性	70代	女性の管理職割合を決め、積極的に雇用していく

性別	年齢	ご意見
男性	70代	女性個人が男性と平等で働きたいとの意識を持つような対応策を考える。
男性	80歳以上	80歳過ぎの夫婦です、妻(82歳)が記入しました。
男性	80歳以上	なし
男性	80歳以上	男女共同参画社会づくり…賛成です。これからの若い人たちはともかく、古い風習といわれた生活環境で戦前生まれの私達はすぐには民主的な新しい考え方にはついていけない面があります。女性は「大和撫子的」がいい…意識的、積極的な生き方になると「でしゃばりすぎる」「前に出すぎる」…と。口に出す人は少なくなっても腹の中では…。古い人たちの中はまだこういう人たちが多い。だが周囲の人や環境を気にして生活する人が多いと思います。まだまだ時間がかかると思います。
男性	80歳以上	男女共同参画社会づくりに関する研修等に、男性が積極的に出席する環境づくりに努めて頂きたい。
男性	80歳以上	男女平等の権利社会の確立をお願いします。(法の整備)

その他の回答

問3 「男性は仕事、女性は家事・子育て・介護等」といった性別によって役割を固定する考え方について、あなたはどう思いますか。（1つ）

問3－2 問3で「賛成」、「どちらかといえば賛成」と答えた方におたずねします。それはなぜですか。（いくつでも）

性別	年齢	その他の意見
女性	20代	自分は仕事をバリバリするよりは家事をしてるのが好きだから
女性	30代	わたしは正社員として働く意欲がなく、家事育児とパートにやりがいを感じているから。
女性	30代	親の介護は実子がすればいいと思う。
女性	30代	女性が家族の世話を行うことが当たり前の風習があるため。
女性	30代	仕事と家事・育児を両立することも大切だと思いますが、お互いができるのであれば良いが、負担がどちらかに偏るのであれば分業は賛成かなと思います。 また、帰宅時に大人の居ない家(核家族)は、子どものメンタルの成長に不安があります。
女性	40代	そうした場合の他人の見方
女性	40代	その家によって対応が違っていいと思う。 介護できる人が介護を、仕事できる人が仕事を、家事ができる人が家事をやればいいと思う。
女性	50代	男子は XY、女子は XX という性染色体をもち、男性ホルモン、女性ホルモンと基本的に違いがある。行動や特性に違いがある。女性らしさ、男性らしさがあってよいと思う。女性だから男性だからでなく、得意なところを分担しお互いを尊重できると良い。
女性	60代	昔のように大家族で子育てできないので、子供の心の成長、安定には受け止めてもらえる存在（母親）が必要だと思うから。
女性	60代	家庭によって色々な考え方があっても良いと思うので
女性	70代	男と女は体力的に差があるので、それぞれの役割があると思う。家庭を大切にしないと子供の非行、不安、さみしさと大きな影響があると思う。
女性	70代	女性の方が細かいことに気が回るから
女性	80歳以上	男性が子育てをしていても良いとは思わない
男性	18・19歳	家庭ごとにそれぞれの形があればよいと思う。夫の収入、妻の健康状態。全く同じものがないのに性別によって役割を一概に固定することには反対だが、ホルモンバランス等の身体的都合もあるので、子育ては妻がやりやすく出産後も精神状態は夫の方が良好であることが多いと推測できるので、その影響があると考えられるから。
男性	20代	体力などの身体能力の違い
男性	30代	状況による為片方が収入が十分であれば働かなくてよいから。
男性	30代	男性にしかできない事、女性にしかできない事もあるのと、自然と男性は仕事、女性は家事、子育てになってしまうと思います。
男性	30代	女性と男性の役割が変わってもいいが、女性が今までも男性の責務を負うか？
男性	40代	生物として男性、女性の向き不向きはあると思うから
男性	40代	子供を産むのは女性にしかできない
男性	40代	男性の育児に限界があるように、女性にも仕事に限界があることがあるので。
男性	50代	幼児期の子育てに限り、子供の人間形成に母親の愛情が非常に大切だと思うから。
男性	50代	基本的な役割は確認しつつ、お互い助け合う状況が良いと思うから。

問3－3 問3で「どちらかといえば反対」、「反対」と答えた方におたずねします。それはなぜですか。（いくつでも）

性別	年齢	その他の意見
女性	18・19歳	人それぞれ、自分が得意なことをやればいいと思う
女性	20代	男女関係なく共に生活する上でお互いに助け合い尊重し合うのは当然だと思う。
女性	20代	適材適所
女性	20代	女、男、関係なく同じ社会を生きる「人間」だから
女性	20代	男が稼げないから
女性	30代	個人個人ができることを協力して実施することが大切で、性別で役割を分担する必要性を感じない。
女性	40代	社会においても家庭においても、性別ではなく個々の特性が生かされるべき。

性別	年齢	その他の意見
女性	40代	家事育児介護を女性がするのであれば女性が仕事をしなくても生活できるような社会にするべき。仕事をしてさらにそれらを女性がやるのは不平等
女性	40代	夫も家庭内のことに、もっと深く関わるべきだと思うから
女性	40代	性別で分担するものでは無い
女性	40代	そもそも退職ができずに仕事の都合で未婚のままであるため答えられない
女性	40代	私は常勤で働いているので家事、子育て、介護も全て行うことは難しいので。
女性	50代	今の時代は育児休暇もあります
女性	50代	世の中、変わってきたから
女性	50代	女性が仕事と家庭を全て見るには大変だと思う。
女性	50代	男性でも家事が得意だという人もいると思います。男性が主夫として家にいても良いのでは？それは家族単位で話し合って、お互いに納得し合えばいい事で外部の人間が口を出す事ではないと思います。
女性	50代	性別に関係なく得意なことを担当すれば良い
女性	50代	分担と割りきるから問題が起こる。協力しあい息抜きをしながら介護や子育てをしていかないと潰れると思います
女性	60代	必ずしも男性のほうが収入が良いわけではないので
女性	60代	出来る人がやるべき
女性	70代	出来る人が出来ることをすればよいと思います。
女性	80歳以上	夫と同じ 17 時までの仕事をして帰ってきても、すぐに食事の支度や家事をしなければならなくて不公平
男性	30代	夫妻ならすべてのことを支えてあげたいので
男性	30代	働きたい働きたくない、収入や支出など、状況に合わせて好きなように決めて良いと思うから
男性	30代	性別関係なく得手不得手はあると思うので家庭によって変えていけばいいと思うため
男性	40代	みんなでできることを考えてやればいいと思うから
男性	50代	離別して子育ての経験があるので仕事、家事両立は大変です。
男性	50代	生物として元々女性でなければ出来ない部分が多くあり、全てにおいて男性が代わりにできることではない。男性側、女性側、双方共に「生物としての性の役割」の線引きを見失っていると思う。少子化要素のひとつでもあると思う。
男性	50代	性別でなく、適性の方が重要だから
男性	60代	性別に関係なく，役割を果たすための能力や時間がある人が，必要とされるときにその役割を引き受ければよい． 役割分担は固定されるものではない．状況は変化していくので，変化に応じて役割分担は変わるものと考える．
男性	60代	ケースバイケースでもっともその家庭及び環境に合った役割を選択すべき
男性	70代	妻の社会参加は大切だから生きがいに通ずる
男性	70代	一生健康を維持するために良い事と考えるから。介護職としては？です。（健康面のみの考え方として）

問4　家庭や学校教育の中で男女が平等な社会をつくるために、どのようなことが必要だと思いますか。（いくつでも）

性別	年齢	その他の意見
女性	20代	行政が男女平等に生きていかれるシステムを構築すべき
女性	40代	5 の性教育を幼児期から行うについては反対です。性について正しい教育を行うのは難しく、小学校高学年から徐々にで良い気がします。逆に性に対して嫌悪感を抱いてしまう場合もあると思います。 性に対しての教育は慎重に適切な時期、中学生頃にはしっかりと行なってほしいです。
女性	40代	地域が子育てしやすい環境（選択できる放課後の居場所）を作る事も重要だと考えます。子育てをしながら社会で活躍する女性の環境を調べてみてほしいです。彼女たちは子育てをサポートしてくれる親たちが近くにいると思います。サポートなしに女性の活躍はありません。
女性	40代	ニュースで児童の盗撮がたびたび聞かれる中で、どのように共同を図ろうとしているのか、検討すべき他の問題がある
女性	40代	LGBTQ の方たちも受け入れるべき。発想や考え方がとてもユニーク、勉強になります。
女性	60代	相手の話を聞くことが大切。手があいていたら「手伝おうか？」と思いやる気持ちを皆がもつこと、役割も大切だがひとにおしつける、まかせる、自分は得する、楽する、といったことをやめる事。
男性	40代	男女平等という名の一方的な押し付けをしない。
男性	40代	子ども達だけでなく大人世代への啓発、教育も必要だと思います。
男性	50代	そもそも国が誘導しようとしている男女平等の観念形態がずれている。地方自治を維持して、国家の継続のための施策を図るのであれば女性の生産活動提供を経済活動に求めてはならない。

性別	年齢	その他の意見
男性	50代	男性しかできないこと、女性しかできないこと、男性の大切さ、女性の大切さ、人としての大切さを理解した上で、多様性の尊重を学ぶ必要があると思う。 多様性だけに注目することにより、結果的に少子化、性による偏重意見を加速させている気がする。
男性	50代	男女共同参画には男女平等の教育が必要だと思うが、性の多様性の教育は不要だと思っているため、該当する選択肢がなく、その他を選んだ
男性	60代	世の中が男女平等な社会を浸透、定着させ、同時に、家庭内にて男女平等の育成を進めていくべき。それが日本全国で一斉に始めないと出来ない事と考えます。
男性	60代	政治家も同様に行っていただきそういう社会を自然になる様。
男性	60代	平等であることを望むのならば，そのために果たすべき責任や義務があることを教育する必要がある. 平等を誰か（社会）に要求するのならば，それにふさわしい行動を求める. 基本的に平等（対等）な扱いは，自分の意思決定と行動によって獲得するもので，他人任せにするものではない.
男性	70代	家庭、学校、職場、社会等にて男女共同参画の必要性をさらに推進する事

問6　女性の社会参画が進みつつありますが、自治会長やPTA会長、政治・行政などの企画立案・決定の場には、まだ、女性が少ないのが現実です。このような方針決定の過程に、女性の参画が少ない理由は何だと思いますか。（いくつでも）

性別	年齢	その他の意見
女性	20代	女性自身にその気がないから。女性の方がやること（家庭のことなど）が多いから。
女性	30代	自治会・PTA 会長共に、女性が主体的に参加したいと思えるような魅力的なものではないため。 男性も仕方なくやっているのでは？
女性	30代	どうでもいい。
女性	30代	家庭の事で忙しいから。
女性	30代	そもそも女性が進んで参加したいのかどうか不明である。
女性	30代	女性で役員をやりたがる人が少ないから。 責任を負いたくない女性の方が圧倒的に多いです。 「機会を与えてもらえない」とかじゃなく、多くの女性は、別にやりたくないんです。
女性	40代	男性が今までやってきたのでその流れでだと思います。そしてやはり家事、子育てをしているのは女性が多いので、会議や行事にいくのは大変だから。家事、子育てを分担する認識が低いまま、社会での女性の役割分担を広げてしまうと、女性への負担がかかりすぎてしまうので気を付けてほしいです。
女性	40代	家庭が忙しいから
女性	50代	忙しいから
女性	50代	女性を下に見ている
女性	50代	男性ばかりの中にはなかなか入りにくいものです
女性	50代	家事、育児、介護と時間の制限がある為、役員になる事が難しいと思います。
女性	60代	参画を面倒だと思う女性が多いのでは？
女性	70代	難しいです
女性	80歳以上	社会的活動が少ないから。家族や家のことに時間を使っているから。
女性	無回答	子育て中に女性が「～長」をやるのはとても大変。やりたい、できる人がやるのは賛成だが「女性の意見」として会議に参加したり、意見を反映する仕組みは必要。（長ではなく何人も女性の役員が意見するのを）
男性	18・19歳	能力的な問題が考えられるから。
男性	20代	「意思決定の場」へ参画する意思を持つ男女の割合の差
男性	20代	そもそも立ち位置を望む女性がいるのかなという疑問がある。
男性	30代	男が女性の下で働きたくないと言う古い考えがあるから
男性	30代	女性自身も、男性がやるもんだ！って思っていそうだから
男性	30代	長期間男性が役割を担ってきたことも一因としてあると思うが、そもそもやりたがる女性がいない、もしくは少ないのではないか。
男性	30代	そもそもそういった場に女性が自らの意思で参加することが少ないと思う。
男性	30代	女性の社会参画しにくい仕組みなのか、女性が社会参画したい割合が少ないのか、どちらが問題なのか？
男性	30代	よくわからない
男性	30代	女性の能力不足

性別	年齢	その他の意見
男性	30代	希望者が少ないため
男性	40代	積極的にやりたい女性が少ないから。
男性	40代	全体的に見れば携わろうという女性は多くないから
男性	40代	積極的に参画する女性が少ないことや、家事を担う女性が多いため、時間的な余裕がないことが要因と考えられます。
男性	40代	女性が立候補しない
男性	40代	やる気のある女性ばかりではないから
男性	50代	子を産み、一定の年齢まで育てることの母としての負担を軽視している。
男性	50代	女性側に参加意識の低い人がいる
男性	50代	ロールモデルになる人がいても、女性自身の意識に変化をもたらす活躍や影響力がないから。 また、女性自身が自ら率先して強い意志を持って活躍したいと思う人数そのものが少ないから。
男性	50代	女性中心な子育てになっているから家を空けられない事もあると思う
男性	50代	能力ある女性が少ないのでは
男性	50代	やりたいと思う女性自身が少ないから。女性自身がそれらの活動に興味を持つ方が少ない。
男性	50代	女性自身がなりたがらないから
男性	50代	自治会長やPTA会長自体、やりたがる人がいるのか？　喜んでやる人がいるのか疑問
男性	50代	子供世代を見ていると女性がリーダーになっている場面が多い。時代は変わって来ると思う。
男性	50代	本人の積極的に行いたいという意識
男性	60代	女性自身にその気がない
男性	60代	女性の役割が現状多々あるため
男性	60代	意思決定に参画する意思を持つ女性の数が少ないためではないか. 意思決定には責任が伴うので，その責任を引き受ける覚悟を持てないのではないか. 責任を果たす役割を，自分以外の誰かが引き受けてくれるならば，その誰かの性別に関係なく歓迎されるので，組織や環境の問題は少ないと思う.
男性	70代	女性自身が意思決定の場に出たがらない人が多いから
男性	70代	女性は家事の時間が多いため
男性	70代	女性が役員をやりたがらない

問7　女性が働き続けるうえでの問題はどのような事だと思いますか。（いくつでも）

性別	年齢	その他の意見
女性	30代	ホルモンバランスの乱れ、生理などの体調面がよくないことがあること。
女性	40代	家事、子育て、学校の役員、地域の役員をしているのは女性が多いので、この環境で正社員で働くのは祖父母の協力が得られない方達はとても大変だと思います。私の周りで共働きの方達はほとんどみんな体調くずされて、乳癌や子宮の病気になってしまい、治療しながら働いてます。
女性	40代	小学生の下校が早過ぎる。 うちの地域は放課後の子供の居場所の選択肢は一択。その児童クラブに自分の子供が合わなかったら働く選択肢は奪われる。
女性	40代	妊娠出産でどうしても仕事を離れなければいけない状況が出てくる
女性	50代	介護施設が整備されたとしても、お金の問題が出てくると思います。
女性	80歳以上	時間がないこと
男性	20代	男女ともに小生の知識がない
男性	30代	妊娠があるから
男性	40代	専業主婦希望の女性が多いこと
男性	40代	子どもが体調不良や怪我の時、親の介護や通院等で休まなければならないことが多い。子どもの人数が多いほど休みも多くなるが職場で理解されないし、休めなくて子どもを犠牲にしなければいけなくなることが多い
男性	50代	問題視する観点がずれている。
男性	50代	女性にしか子供を産めないから。母乳は女性しか与えられない。
男性	50代	女性自身が、自身のキャリアよりも子の活動を優先する事例が多い
男性	50代	それぞれの家庭の事情があるのでわからない
男性	60代	本人次第、男性も女性も同じ。

性別	年齢	その他の意見
男性	60代	無回答
男性	70代	⑩の家族を家族、会社、社会の理解へと変更

問8　職場で女性のリーダー（管理職）を増やすときに障害となるものは何だと思いますか。（いくつでも）

性別	年齢	その他の意見
女性	20代	無回答
女性	30代	わからない
女性	30代	仕事より家庭を大切にしたい人が多いと思う。
女性	30代	無回答
女性	40代	よく分かりません
女性	40代	リーダーになりたいという女性が少ない。責任ある立場に立ちたくない。
女性	40代	サービス残業が辛い
女性	60代	メディア等で「女性管理職が少ない」という記事を見かけますが、社長や主事など男性ばかりです。掛け声だけ。
女性	70代	社会から離れ長くなりますのでわからない
女性	70代	難しいです（理解することが）
男性	18･19歳	無回答
男性	20代	体力面やメンタル面などの男女の違いによって職場や働き方など様々な面においても考え方の違いがあるため
男性	30代	妊娠による離脱
男性	30代	長野県は製造業が多く、体力勝負なところがあるので必然的に男性が上役(管理職)になりやすいと考える。比率の問題は難しいのでは？
男性	40代	管理職に適した能力を持つ女性が少ないこと。
男性	40代	全体的に見れば管理職に就きたい女性は多くないから
男性	40代	女性自身も管理職になろうと思っていないのと、会社が女性を選ぼうとしない風潮が合致してしまっている。
男性	40代	無理に増やす必要がない
男性	40代	無回答
男性	50代	女性自身が課題を理解していない。
男性	50代	根本的に女性にしか子供は産めないし、母乳を授乳できないから。
男性	50代	女性自身が望んでいない。家庭を優先される方が多く、夫と相談してまで、その待遇を望んでいない
男性	50代	女性自身がなりたがらないから
男性	50代	管理職を望む女性が少ないこと
男性	60代	女性自身にその気がない
男性	60代	男女問わずリーダーという立場に魅力、やり甲斐などを見出していない現状の就業者及びその家族が多数を占めている。現在従事しているリーダー達の組織内への説明、アピール不足とその資質、能力、可能性を秘めた人材の採用不足。
男性	60代	女性が管理職になる意欲が低い。逆を言えば、管理職に魅力が無いかも。周りの環境もその意識。
男性	60代	会社の方針かどうか
男性	60代	会社が男社会で、そもそも女性の能力を伸ばす努力が少ない
男性	70代	全ての女性が管理職に向いているとは思わない。
男性	70代	女性が管理職になりたがらない傾向がある。
男性	80歳以上	現役でないため回答不可

問 10　男性が育児休業や介護休業の制度を利用することが進まないのは、どうしてだと思いますか。（いくつでも）

性別	年齢	その他の意見
女性	18･19歳	今までの社会の考えが残っている
女性	20代	自分がその立場であることをわかっていないから、周り（身近）が、それが当たり前である環境でないから
女性	20代	育児休暇を利用すると給料が貰えないと思っているから。
女性	30代	二人して休業する必要なんてないし、向いている人が休めばいい。
女性	30代	そもそも性別差別の固定観念と社会通念があるため、男性が育休･介護休業を取得するにあたり、其れに倣った慣習の固着がある以上、世間体の壁･社会的に理解を得られ難いという弊害のハードルは越えられないと思う。

性別	年齢	その他の意見
女性	30代	職場の人員体制や収入面での対応が整備されていなかったり制度が整っていない
女性	30代	休業取得時の生活の不安や、休業明けの自身のポジションがキープされているかなど。 また、1 年以上取得した際の仕事へ戻った時の浦島感をどの程度で戻せるかなど。
女性	40代	代わりの人材がいない
女性	40代	勤務者数が不足している 勤務が組めるのならいくらでも取得してもらってよい
女性	50代	職場に介護休業の制度があるか知らない。育児休業がある事は知っている（取っている人がいる）
女性	50代	家事と同等に思われている、家にいる＝介護できると思われている
女性	60代	介護や育児は手がかかってとても大変なこと。一度にいくつものことをこなせる男性は少ないのでは？
女性	60代	企業により男性の育児休業などの取り入れ方が違うため
女性	70代	難しいです、理解が不可
男性	20代	世間がそういった状況だから
男性	30代	社会の理解が追いついてない
男性	30代	職場の長期離脱による疎外感
男性	30代	男性は仕事を優先するべきだと世間が考えているから
男性	40代	求められる「働き方」が休業をとれるような内容ではない
男性	40代	育児休業を取得すると、所得が減るため、生活が苦しくなるため。
男性	40代	個人や会社だけの問題ではなく、働き手（男女どちらでも）の給与が外国に比べて低く、休暇も取りにくい社会全体の改革も必要。
男性	40代	両方共休めない、給料少なくなる。
男性	40代	育休中の給料が減るから。例えば、夜勤手当てがなくなる等。基本給だけで生活していくのは厳しい。
男性	50代	時代背景は言い訳にしないが、子の視点で見れば母の愛情に接していたいと考える。
男性	50代	そもそも率先してやろうとしていないから。
男性	50代	育児休業支援額を100%にした方が安定すると思います。生活資金で悩まず育休が取りやすいと思います。海外では480ヶ月育休もある国もありますよ。
男性	50代	自営にそのような制度がない
男性	50代	私の職場は活用されている
男性	50代	仕事を休むことができない為、中小企業は。
男性	60代	男性にとって都合の悪いことは女性にと習慣的にあり。
男性	60代	男性にその気がなく仕事のほうが楽だから。
男性	60代	該当する機会がなかった
男性	70代	現状では休業がとれるだけの社会的な支援体制が乏しい。
男性	70代	在勤時はかかる制度がありませんでした
男性	80歳以上	回答者の私が既に退職し経験がないから

問 11　女性が分担する機会が多い家事・子育て・介護等に男性が積極的に参画していくためには、どのようなことが重要だと思いますか。（いくつでも）

性別	年齢	その他の意見
女性	20代	“権利”であるか　”義務”であるか考える機会を知ったり体験すること
女性	40代	子育ては夫婦2人では無理だと思います。祖父母の協力やヘルパーさん保育所などに頼りながら行わないと、男性側にも負担が多すぎてしまいます。そういった負担が子供への虐待へも繋がってしまうので、祖父母が健康であることやヘルパーさん、保育所の充実が大切だとおもいます。
女性	40代	お給料の安定
女性	40代	男性自身の意識。家事・子育て・介護等、自分は正社員で働いているから出来ないと言い訳を言う。元々、やる気が無い。
女性	50代	男性の育休を義務化する。
女性	60代	子供の頃から家の手伝いをする習慣をつけること。
女性	70代	難しいです
女性	70代	幼少期より家事等をつねに行うように男性にもやってもらう事

性別	年齢	その他の意見
男性	40代	女性が携わるのと同じ環境を男性に対して整える事
男性	40代	どちらかといえば男性は料理が苦手な人が多いため、栄養バランスの取れた料理を提供するサービスなど、料理面でのサポートがあると、男性も育児に参画しやすくなると思います。
男性	40代	問 10 のアンサー同様に社会全体の改革（働き手の給与、所得上げること）を政府、行政、企業、教育などすべての分野で可能な所から取り組むことが急務。
男性	40代	経済的な支援。
男性	50代	家庭環境は十人十色であって男女どちらかがこうすべきというものは推し量れない。ケースバイケースで良いと感じます。
男性	50代	男は家事がにがて、女は得意
男性	70代	男性が家事・子育て、介護が、面倒と感じており仕事に逃げているのではないか？
男性	80歳以上	勤務先の上司の意識改革と理解が必要（会社経営を含む）

問 16 「男女共同参画社会」とは、「男女が、互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる社会」です。あなたは、この社会を実現するために、行政が今後どのようなことに力を入れて行くべきだと思いますか。（いくつでも）

性別	年齢	その他の意見
女性	40代	子育てを夫婦 2 人だけでしなければいけないのではなく、大変な場合には助けを借りようという考え方を広める。 ギブ&テイクの考え、仕事を人に押し付けない、他者を大切にする考えを大切にする。 学校教育や家庭、地域において、人との関わりコミュニケーション能力を高める、自分の気持ちを上手く相手に伝える方法など。
女性	40代	よく分かりません
女性	40代	小学生の放課後の居場所に選択肢を！
女性	50代	広報も大事ですが、新聞に掲載する機会を多くする事でより多くの方の目にとまると思います。 アンケートで知らない言葉や性暴力相談窓口が多くありました。そういう方は多いと思います。広報でも掲載されてきたと思いますが、解説付きで掲載してほしいです。又中学生、高校生も当たり前にしっている環境が性暴力の抑止力になると思います。
女性	60代	男女問わず人として尊重される社会をつくる事は難しいが、工夫や知恵を出し合って地域も協力しおもいやりのある世の中になって欲しい。市の職員さんの人数が少なくて大変だと思う。忙しすぎるのを改善することも大切。（定時に帰宅できる部所とそうでない部所）
女性	70代	むずかしくてわかりません。
女性	70代	今現在の私の立場ではわかりません。
男性	20代	女性女性ばかり言いすぎ。少数派の意見聞きすぎ。
男性	30代	能力による区別
男性	50代	何のために男女平等を考えるのかを再考すべき。
男性	50代	学校教育において男女によって授業内容を変えることをやめるべき
男性	50代	人権の学習機会はとても多いと思います。減らしてもいいです。
男性	50代	無回答
男性	70代	「働いて、働いて…」と言うような総理大臣の誤りを正していくこと。